

〔か〕 (材木商) 神田區材木町六〇伯父。井口與三郎氏 (鎌倉合名會社社員) 義兄里。野島喜助氏 (神田區表猿樂町) 甲斐絹卸。

神野清五郎氏

明治十五年五月七日生

【營業又】 關東織物問屋株式會社神野商店代表取締役社長

【は職名】 東京市日本橋區富澤町十三番地 電話(浪花三三・五六四)

【は勤務先】 府下荏原郡大崎町袖ヶ崎百九十一番地 電話(高輪五三)

【住 所】 東京市日本橋區富澤町十三番地

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡愛知川町六十一番地田中久右衛門氏の二男先代神野清五郎氏の養子となり明治三十三年養父病歿の跡を継ぎ襲名相續す先代は丸辨市田商店に勤続二十年後ち獨立今日の業礎をなし氏亦商事見習として市田商店に勤務四年後ち先代の遺業を繼承し關東織物問屋として著聞あり大正十二年の震災に相當の損害を喫したるも努力せり、昭和五年九月十三日資本金二十五萬圓全額拂込の株式會社神野商店を設立し其代表取締役となる温厚なる紳士なり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 門徒宗

【所得税】 三、四一八圓 【營業收益税】 八四〇圓

【家庭】 妻エイ女 東京都下京區烏丸通佛光寺下ル大政所六

ノ八〇木村榮次郎妹明治二十年一月六日生。長女芳子女 明治四十年七月六日生精華高等女學校出身。長男清一郎氏 明治四十四年十月卅日生東京商科大學豫科在學。二男金之助氏 大正四年十一月八日生東京府立第一商業學校在學。三男房之助氏 大正七年一月一日生高師附屬中學在學。

【主なる親戚】 神野伊三郎氏 (青森松木屋商店取締役) 從兄弟。

【主なる出身者】 遠藤貞三郎氏 (神樂坂ほてい屋吳服店主)。河原治兵衛氏 (淺草向柳原吳服商)。國領信治郎氏 (大崎町桐ヶ谷吳服商)。青山久三氏 (通旅籠町十九洋反物卸商)。

角田晴之助氏

明治十五年一月二十日生

【營業又】 毛織物仕立卸株式會社角田商店取締役社長

【は職名】 府下南葛飾郡寺島町千七百七十番地 電話(墨田三三)

【は勤務先】 東京市神田區須田町二十二番地 電話(神田七六)

【住 所】 府下豊多摩郡千駄ヶ谷町五百六十二番地

【本籍地】 東京市日本橋區横山町三丁目六番地

【略歴】 氏は先代平次郎氏の長男にして昭和二年二月先代死亡に因り家督相續す、先代は元尾州藩士角田平吉氏の二男にして明治初年洋服裁縫業を習ひ同二十年頃まで陸軍被服廠に

縫工卒の養成指導員となり辭職後本業を開始す。大正八年三月

月業容擴張したる爲め合資組織となし翌九年六月更に現組織に改めたり、目下寺島町に工場を置き神田須田町營業所の外朝鮮京城には支店格として角田被服株式會社あり尙ほ千代田毛織社長並に東京モスリン紡織會社の取締役たり。

【家庭】 妻こう女 明治十七年七月三日生。妹三代子女 明治四十四年一月十日生大正十年十二月先代平次郎氏養女入籍。

【主なる親戚】 伊藤辰次郎氏 妻里方淺草區東三筋町十八番地。鈴木まる女 妹三代子女里方本所區龜澤町四十番地。

影山七太郎氏

明治五年四月十六日生

【營業又】 吳服卸 田島商店主

【は職名】 東京市日本橋區金吹町四番地 電話(日本橋三六四)

【は勤務先】 東京市日本橋區富澤町十三番地

【住 所】 府下西多摩郡増戸村山田七百五十八番地

【略歴】 氏は田島時次郎氏の二男に生れ明治二十九年三月二十七日影山清八氏の養子となれり。而して明治三十四年實兄清助氏が現所に開業するや業務を補佐し居りしが清助氏は大正二年病歿せる爲め當主其後を繼承し爾來堅實なる經營の下

に今日に至る。

【家庭】 妻茂の女 明治十三年五月二十三日生。養子數郎氏 昭和四年二月六日生田島清之助氏三男。

【主なる親戚】 市内麴町區下六番町一五赤松則次郎氏 妻女里方。

片岡龜吉氏 (通稱)

明治三十四年十二月十四日生

【營業】 吳服卸商

【營業所】 東京市神田區岩本町二十二番地 電話(浪花三三)

【住 所】 東京市本郷區駒込道分町三十番地

【本籍地】 東京市神田區岩本町二十二番地

【略歴】 氏は現戸主辰吉氏の長男として生れ一ツ橋尋常高等小學校高等科一學年修業後大正四年より同八年迄東京市日本橋區濱町本田啓次郎商店に見習ひ其後は父業を授けつゝありしが昭和四年三月實父隱居するに當り營業一切を氏の名義に改め今日に至る實父辰吉氏は淺草區駒形町小澤龜吉氏の長男にして後片岡家の養嗣子となり夙に日本橋區三金質商に入店後前記本田啓次郎商店に修業を積み大正二年獨立せる人にて今日同業中資産業容共に重きをなすものなり。

〔か〕

【宗教】 門徒宗 【所得税】 二、二〇一圓

【營業收益税】 七〇〇圓

【家庭】 實父辰吉氏 明治元年一月生。實母コウ女 明治九年七月生。深川區常盤町辻新次郎氏妹。妻女はな女 明治四十年七月生。埼玉縣蕨町今井初太郎氏二女。長女資子女 昭和四年八月生。

【主なる親戚】 叔父萩原徳次郎氏 大阪市此花區上福島明治火災保險株式會社神戸支店員。叔父八百川熊太郎氏 市外落合上落合貸家業。實母從兄武市昇太郎氏 深川區山本町材木間屋。實母從兄林文次郎氏 淺草區馬道一丁目家具小賣商。妻女實家今井初太郎氏 埼玉縣蕨町ナイフ製造販賣業。

【主なる出身者】 二、三あるも差したるものなし。

片山 鉞 平氏

明治十八年一月九日生

【營業又】 洋服製造並羅紗販賣片山洋服店主

【職業名】 東京市牛込區早稲田鶴巻町五十九番地 電話(牛込三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は亡片山保平氏の二男にして年少より親戚なる市

内本郷區森川町武田洋服店に奉公數年の後明治三十九年實見保平氏と共に現所に開業業務を補佐して協力經營營業の任にあり鋭意努力の結果漸次伸展して業礎を築き昭和四年七月保平氏の歿後營業を繼承し無難に今日に至る。現時山ノ手方面に於ける有力店として認められ其の充實せる業容は氏の經營才能と相俟つて益々順調なる進展過程を辿りつゝあり。氏は温厚にして實直の間あり内外の印象佳良にて業界に信望を繋ぎ居れり。

【趣味】 旅行 【宗教】 眞言宗

【所得税】 四八圓 【營業收益税】 三〇圓

【家庭】 妻とよ女 明治二十年一月二十八日生。千葉縣蘇我町會我野高橋留次郎氏五女。長女實枝子女 大正四年十月六日生。川村女學院在學。二女乙枝女 大正七年二月三日生。川村女學院在學。長男實氏 大正十年八月二十八日生。

【主なる親戚】 從弟前田善太郎氏 市内牛込區岩戸町七會社員。同佐々木進氏 市内本所區東兩國二丁目陸軍々醫。

【主なる出身者】 根來定氏 東京府下澁谷町氷川下洋服商。

紙谷 作次郎氏

明治二十五年二月二十日生

【營業】 婦人子供服生地卸商

【營業所】 東京市神田區多町二丁目七番地 電話(神田器三七)

【住 所】 府下豊多摩郡落合町下落合千五百二十九番地

【本籍地】 富山縣下新川郡石田村石田六千八百九十九番地

【略歴】 氏は本籍地に於て父金次郎氏の三男として生れ富山中學校卒業後久しく家事の手傳ひをなし居りしが大正七年上京して稅務署に勤務せり、されども約一ケ年にして同署を辭し斯業を志し神田區旭町同業野村商店に入店せり而して十二年震災に際して主家を退き同區猿樂町一丁目二番地に現業を開始更に昭和四年現所に進出せり氏は中々の研究家にして斯業の見學には時々出張する外に又専門家を訪問し知識を廣めつゝありて一面地味なる節儉家として一般に好印象あるものなり。

【趣味】 旅行、讀書 【宗教】 眞宗

【營業收益税】 三三圓

【家庭】 妻キヨ女 明治三十二年七月十日生。長男勉氏 大正六年八月三十日生。長女百合子女 大正十一年九月十八日生。二男貢氏 大正十三年十月十一日生。三男武氏 昭和二年

年二月十四日生。四男孝氏 昭和四年十二月十日生。

【主なる親戚】 本家紙谷金次郎氏 富山縣下新川郡石田村、農業。妻女實家川木長佐氏 富山縣下新川郡石田村、農業。

鏑木 昭 二氏

昭和二年五月十四日生

【營業又】 吳服太物洋反物小賣中村屋店主

【職業名】 府下荏原郡大森町百二十七番地

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は亡鏑木鐵三郎氏の長男にして昭和二年十一月二十九日鐵三郎氏死亡に因り家督相続なしたるも未成年者なれば營業一切は日本橋區人形町たちばな屋吳服店仕入部古參店員たりし佐々木捨吉氏をして擔當せしめあり、同店は當主の祖父亡八太郎氏の開業に係り後養子鐵三郎氏に譲りたるも鐵三郎氏八太郎氏共に相次で病歿せるに因り營業を繼承し今日に至る。

【所得税】 一五六圓 【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 母君代女 明治二十八年二月十四日生。荏原郡蒲田町大字蒲田新宿千四百四十二番地吉田和子女母昭和二年四月亡

〔か〕

鐵三郎氏と婚姻す。

【主なる親戚】 楠木き代女 祖母、大森町二千四百八十九番地。

梶原藤三郎氏

明治八年二月二十日生

【職業名】 吳服太物洋反物小賣合名會社大丸吳服店代表社員

【營業所又は勤務先】 東京市淺草區瓦町六番地 (電話淺草四三〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣入間郡南古谷村有山茂平氏の三男にて年少の頃より斯業を日本橋區大傳馬町向山小平治商店に見習ひ明治三十五年かね女に懇望され梶原家に入家し爾來かね女を補佐し大いに盡力せしが同女病歿後大正十年九月一族を出資者として資本金十萬圓の現合資會社を組織し自ら代表社員として今日に至り、偶々十二年の震災に會し店舗、商品、家作等一切烏有に歸せしも相當の資産を有し居る事とて直後何等の支障なく復興せり、因に氏は稀に見る實着家にして毎早朝より家業に就き店員を督勵し居れりと云ふ。

【所得税】 八〇圓

【家庭】 妻せん女 明治十八年一月二十三日生、長男兼太郎氏 明治四十二年十二月二十八日生、二男義平氏 明治四十二年六月二十七日生、四男嘉四郎氏 大正二年一月十五日生、三女藤枝女 大正四年四月二十三日生、五男豊廣氏 大正六年三月十二日生、六男邦雄氏 大正七年十月二十二日生、四女善枝女 大正九年十一月三十日生、七男藤喜知 大正十二年三月二十七日生、五女房子 大正十五年八月九日生。

【主なる親戚】 長野縣石堂町五三藏市右衛門氏 妻女實父。

よ の 部

吉田芳太郎氏

明治十年十月十二日生

【職業名】 毛織物問屋株式會社吉田商店取締役社長

【營業所又は勤務先】 東京市日本橋區江戸橋一丁目六番地三 (電話代表日本橋三三三)

【住所】 府下荏原郡入新井町山下 電話(大森 三三三)

【本籍地】 東京市日本橋區江戸橋一丁目六番地三

【略歴】 氏は大阪市東區道修町五丁目三六番地戸主平民吉田太四郎氏實弟にして明治卅六年五月五日分家同卅七年現所に獨立し大正三年吉田一家を以て十萬圓の合名會社を創立同時に代表社員に就任、同九年三月資本金百萬圓(全額拂込濟)の株式會社に組織を變更、爾來同店取締役社長として經營今日に至る。現在大阪市東區淡路町三丁目二十一番地及び小樽市色内町七丁目三番地に各支店を有する外、朝鮮京城南大門通には同店別動隊とも云ふ可き毛織物卸商株式會社睦商會(資本金卅萬圓全額拂込濟)あり。大正九年の恐慌、同十二年の關東震災時にありても綽々たる餘裕を示し、東京同業間有數の資産家と稱せらる、而して同店の今日あるは畢竟地味堅實なる營業方針を以て終始邁進し、着々地歩を鞏固にせるに

外ならず、温厚篤實なる紳士にして各方面に信用厚きを以て名あり。

【趣味】 書畫骨董園藝 【所得税】 六四三六圓

【家庭】 妻ちよ女 明治十五年十月二日生、東京市芝區芝口二丁目九番地廣瀬久藏氏四女、長男辰雄氏 明治三十七年十一月八日生、慶應義塾理財科出身、第一銀行本店爲替課勤務。長女花子女 大正元年十二月八日生、昭和五年三月東京女學館卒業、特に音楽、茶の湯、生花に興味を有す。

【主なる親戚】 實兄吉田太四郎氏 大阪市東區道修町五丁目株式會社吉田商店監査役。吉井芳太郎氏 市外入新井町同店専務。

【主なる出身者】 毛糸商石崎誠一氏 營業所麴町區丸の内二の二丸ビル内、自宅芝區白金三光町三〇番地、三ツ葉屋毛糸店。西川篤次郎氏 株式會社睦商會専務取締役、朝鮮京城南大門通。

吉田悦一郎氏

明治十二年九月十三日生

【職業名】 廣幅織物雜綿布卸合資會社吉田悦商店代表社員

〔よ〕

〔よ〕

【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區元濱町西縁河岸十五 電話(浪花三三)
【住 所】 同 所
【本籍地】 愛知縣春日井郡西枇杷島町大字下小由井字南門屋町七番地

【略歴】 氏は同區元濱町同業横井商店先代横井鍋吉氏の甥に當り多年同店に奉公し大正四年獨立したるものなり創業以來幾多の波瀾を経て最近組織に變更し氏は勞務出資の代表社員たり人物採算家なれ共對人印象良好なり。

【家庭】 妻女しげ女 明治二十五年十二月十八日生、昭和四年九月結婚。長男源太郎氏 明治三十九年十月二十八日生同店有限社員父業を補佐す。弟愛次郎氏 明治二十九年十月生同店出資有限社員。

【主なる親戚】 同區元濱町綿ネル、クレツプ雜綿卸横井健次郎氏。三重縣四日市市濱一色九百二十三番地森松治郎氏(妻女兄)。

吉田 貞一氏

明治二十九年五月十八日生

【營業所又
は職名】 越後米澤織物卸株式會社東京山西支配人
【勤務先】 東京市日本橋區新和泉町八番地 電話(浪花1000)

【住 所】 東京市麴町區下二番町六番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は新潟縣北魚沼郡堀之内 四、二五一番地戸主吉田シツ女の長男なり明治四十一年六月十三日同縣小千谷町西脇新次郎商店に奉公し精勵怠らず後ち東京支店詰となる大正十二年の震災後西脇商店が生産部と問屋部を區別し問屋部を獨立せしめ株式會社山西商店を創立したる際氏は舊西脇商店東京支店の支配人となり經營を進め居りしが昭和四年末西脇山西商店を合併株式會社東京山西を創設さるゝや其支配人となる目下其經營の衝に携はりあるが性着實にして如才なき人として知らる。

【宗教】 門徒宗

【家庭】 妻富子女 明治三十五年五月三十一日生、麴町區麴町六丁目十一番地戸主中西淺治郎氏長女。長男充氏 大正十二年三月十九日生、麴町小學校に通學中。二男萬三郎氏 大正十四年六月十八日生。三男和夫氏 昭和三年三月七日生。

【主なる親戚】 岳父中西淺治郎氏 麴町六丁目十一番地に呉服商を営む。義弟瀧田春雄氏 日本橋區葺屋町に中形裏地問屋を営む。

吉川 安吉氏

明治四十年六月三日生

【營業所又
は職名】 風呂敷及綿布加工卸商
【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町十六番地 電話(浪花三三)
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代安吉氏の二男に生れ昭和四年六月先代死亡に依り幼名篤次郎を改め相續襲名せるものにして早稲田實業を中途退學し目下家業に従事し居るものなり、先代は滋賀縣より出で横濱市原商店を経て上京丸辨市田商店にて見習ひ明治三十年獨立せり爾來奮闘良く商勢を揚げ其の死後は姉婿勝次氏一切の店業を引受け良く當主安吉氏補佐の任を全し居れり、勝次氏は山形縣米澤市に生れ同市辰己屋洋品店に十七ヶ年格勤せる人にて大正十四年氏の姉春女の婿養子に迎へられ爾來店業の柱石となり實着の聲高きものなり。

【宗教】 禪宗

【家庭】 實母安女 明治十四年十一月二日生。義兄勝次氏 明治二十五年八月七日生。姉春女 明治三十五年五月十四日生。妹花女 明治四十四年四月十八日生頌榮高等女學校卒。妹廣女 大正三年三月一日生淺草實科女學校卒業後家政學院

二年在學。

【主なる親戚】 實母安女實家 北村清次郎氏市内日本橋區通旅籠町風呂敷問屋。勝次氏實家 市川忠次氏山形縣米澤市車町鮮魚商。遠縁吉川新太郎氏 京都株式會社丸辨市田京都店幹部。遠縁中村重太郎氏 市内日本橋區富澤町織物問屋叔母縁先中村大次郎氏 府下小松川町呉服小賣業。岡田文藏氏 市内本郷區風呂敷問屋。

【主なる出身者】 北村清次郎氏 前記主なる親戚参照。

吉川 萬藏氏

明治二十六年五月七日生

【營業所又
は職名】 呉服太物洋反物小賣三河屋吳服店主
【營業所又
は勤務先】 府下北豐島郡南千住町一丁目四十七番地 電話(淺草三三六)
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は愛知縣中村吉川伊三郎氏の三男にして十八歳の時上京芝區露月町赤のれん吳服店に奉公せしも同店破綻の爲め神田區久右衛門町山本吳服店に轉ざるが又もや主家廢業の爲め爾來淺草元吉町邊に行商を爲し遂に大正八年頃現業を開始せるものなり而して大正十四年八月類焼の厄に遭ひたるも

【よ】

其後土地の發展に連れ漸次現容を爲すに至れり。

【家庭】 妻喜久女。明治三十二年九月一日生。長男光一氏。大正十三年三月二十八日生。長女雅子女。昭和三年四月二十三日生。

【主なる親戚】 市内浅草區元吉町三久保寺徳次郎氏。妻女里方。

吉野藤一郎氏

明治八年十二月十五日生

【營業又
は職名】

染吳服、銘仙、絹卸株式会社吉野藤商店社長

【營業所又
は勤務先】

東京市日本橋區長谷川町七番地(東京支店) 電話(浪花三〇〇九)
群馬縣高崎市新町四十六番地(本店) 電話(浪花四〇〇九)
京都市室町通三條南

【住 所】

群馬縣高崎市新町四十六番地 電話(高崎三三)
群馬縣北甘樂郡富岡町大字富岡千二百一十一番地

【本籍地】

【略歴】 氏は亡先代吉野藤作氏の長男にして先代は新潟縣の人群馬縣富岡町横田吳服店に奉公し斯業を見習ひ明治廿八年同町に前賣業を開始したるものなり、藤一郎氏は父業を見習ひ尙ほ同地物産なる生絹の有望なるに着眼し高崎市に進出して卸業を開始して業礎を確立同四十三年に東京に支店を開設し尙ほ昭和六年八月一日より京都上掲の地に出張所を新設せり、商手腕に富める徳望家にて實力ある好店員輩出し絹並に

銘仙問屋として全國的に地盤を有せる中堅店たり。

【趣味】 碁 【宗教】 門徒 【所得税】 四四三八圓

【家庭】 母トリ女。文久元年八月生。妻サタ女。明治十二年七月三日生。長男藤作氏。明治卅三年八月十三日生。高崎商業出身東京店在勤同店監査役。二男秀雄氏。明治卅五年七月三日生。慶應理財科卒業。四男五郎氏。明治四十二年十一月廿一日生。東京農業大學卒業。三女節子女。明治四十五年五月十日生。跡見高女卒業。深川森濱三郎氏長男と婚約。五女和子女。大正五年七月廿六日生。高崎商業在學。義弟宗三郎氏。明治二十年三月廿二日生。同店取締役富岡支店擔當者。養妹カツ女。明治廿五年一月十一日生。宗三郎氏妻女。姪春子女。明治四十五年四月十八日生。宗三郎氏長女跡見高女在學。甥一雄氏。大正六年一月十六日生。宗三郎氏長男富岡小學在學。六女郁子女。大正八年八月十三日生。高崎小學在學。婦とき江女。明治卅四年六月七日生。長男藤作氏妻。孫晋氏。大正十一年十月廿四日生。藤作氏長男。三男三郎氏。明治四十年八月廿八日生。松江高等學校卒業。目下東京支店在勤。孫美智子女。大正十四年五月十二日生。藤作氏長女。婦はつ女。明治卅六年二月四日生。二男秀雄氏妻。孫皆子女。昭和二年四月廿七日生。秀雄氏長女。孫紀子女。昭和二年七月十九日生。藤作氏二女。孫祥子

女。昭和四年九月廿二日生。藤作氏三女。孫陽一氏。昭和五年八月廿二日生。秀雄氏長男。婦錦子女。明治四十三年十二月卅一日生。四男五郎氏妻女。

【主なる親戚】 宮島松治氏。新潟縣柏崎町、母トリ女弟。崎吉左衛門氏。新潟縣刈羽郡野田村妻女里方。間島辰女氏。新潟縣刈羽郡北鯖石村目下横濱居住。日本網管販賣部長子息。二女俊子女夫。高崎市九藏町百七番地岸龜吉氏。長男妻女里方。群馬縣富岡町栗林愛之助氏。二男妻女里方。新潟縣刈羽郡田尻村山田時次氏。四男妻女里方。

吉野吉五郎氏

明治二十一年三月十三日生

【營業】 毛織物小物加工卸

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町二番地 電話(浪花三九九)

【住 所】 同 所

【本籍地】 富山縣高岡市一番町四十八番地

【よ】

【略歴】 氏は富山縣高岡市一番町四十八番地米田又吉氏の二男として生る。明治三十三年氏の實姉にして吉野家の相續人と

なれる吉野ひさ女の養子となり現姓を名乗る而して十九歳の

時戸出物産株式會社に入り累進して同社東京支店主任となりしが同社が大正十年一月東京支店を撤廢するや在社約廿年にして退社し同支店跡に本業を開始し爾後震災等に會し相當の損害を受けたるも屈せず兎も角も現容をなし性細心理性に富める努力家として知らる。

【趣味】 謡曲 【宗教】 門徒宗 【所得税】 一一圓

【家庭】 妻操女。明治廿九年九月三十日生。小樽市若竹町三室嘉太郎氏長女。甥米田桑太郎氏。明治卅七年九月廿一日生。吉野氏の長兄米田又吉氏の長男。米田桑太郎氏妻てる女。明治三十九年五月十四日生。三室嘉太郎氏三女にして吉野氏妻女の實妹なり。

【主なる親戚】 吳服商米田又吉氏(高岡市一番町)。小樽水上署勤務船長三室嘉太郎氏(岳父)。北海道銀行東京支店長小野寺吉五郎氏(従兄弟)。

吉井芳太郎氏

明治十七年五月三日生

【營業又
は職名】

毛織物問屋株式會社吉田商店専務取締役

【よ】

【營業所又】 東京市日本橋區江戸橋一丁目六番地電話(日本橋 吳) 電話(大森)201
【住 所】 府下荏原郡入新井町新井宿二千四百四十五番地
【本籍地】 大阪府東成區南中道町一丁目三十四番地

【略歴】 氏は大阪府人亡源三氏の實弟にして、明治四十二年六月二日家督を相続す同卅七年上京、遠縁なる吉田商店に入店し大正二年同店が合名會社に變更さるゝや氏は其の社員となり同九年三月株式會社創立と同時に専務取締役に選任され今日に至る資性濃厚にして潤達なる紳士なり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 淨土眞宗 【所得税】 一一八〇圓

【家庭】 妻女テル女 明治廿一年十一月七日生、福島縣人亡馬弓賢助氏長女明治四十五年二月廿九日婚姻入籍、長男嘉一郎氏 明治四十五年三月五日生慶應後武内栖鳳塾入塾、長女とく女 大正二年十二月廿一日生東京女學館卒、同家政部通學。二男憲太郎氏 大正四年三月廿七日生慶應商工科四年在學。四男良雄氏 大正七年三月廿二日生。二女和子女 大正八年九月八日生五男文男氏 大正十二年四月五日生。四女壽江子女 大正十三年七月廿七日生、五女成子女 昭和二年一月廿三日生。六女壽美江女 昭和三年七月廿一日生。實弟正次郎氏 明治廿一年一月一日生。

【主なる親戚】 吉田芳太郎氏 東京市日本橋區江戸橋一丁目

吉田商店社長、義兄馬弓孝元氏 福島縣西白河郡白河町字二番町七。義弟吉澤久次氏 大阪市東區館屋町一丁目三番地、實妹ウノ女夫。

吉岡藏二氏

明治十年二月二十日生

【營業所又】 吳服太物洋反物小賣株式會社稻元屋吳服店取締役
【職名】 東京市本郷區根津八重垣町二十七番地電話(下谷)5510
【營業所又】 東京市本郷區青山南町五丁目七十五番地電話(青山)3311
【住 所】 東京市本郷區根津八重垣町二十七番地
【本籍地】 東京市本郷區根津八重垣町二十七番地

【略歴】 氏は神奈川縣小田原町亡吉岡信德氏の二男にして年少の頃より同縣藤澤町丸三稻元屋吳服店に奉公し明治卅六年東京市深川區常盤町に獨立開業し大正三年には京橋區岡崎町に翌四年には本郷區根津八重垣町に夫々支店を設け震災後深川店を店員安藤氏に譲り之に代ふるに市外龜戸町に更に支店を増設し本郷店を本店格となしたるが昭和四年八月に至り京橋店は閉鎖せり。之より先大正十一年一族出資を以て資本金十四萬圓の合名會社を組織して營業を續けたるが昭和四年九月資本金十萬圓半額拂込の株式會社稻元屋吳服店を設立して今日に及べり。

—(190)—

【家庭】 妻さた女 明治十五年十一月九日生。二男敏彌氏 明治四十四年三月十九日生慶應義塾在學。三女綾子女 大正二年七月十六日生跡見高女卒。四女典代女 大正四年十二月十六日生跡見高女在學。四男要氏 大正九年五月七日生。五男康之氏 大正十一年十一月廿四日生。
【主なる親戚】 石井忠次郎氏 妻女里方、東京市日本橋區元濱町六番地。鈴木圭三氏 二女幾代女縁家日本橋區兜町、株式仲買。
【主なる出身者】 伊藤政吉氏 東京府下日暮里町、稻元屋吳服店。滿田重藏氏 東京市下谷區萬年町近江屋吳服店。曾我良之助氏 東京市本郷區東片町曾我吳服店。小島今太郎氏 東京府下巢鴨町高島屋吳服店。

吉村新藏氏

明治三十六年二月二十一日生

【營業所又】 吳服太物洋反物小賣吉むら吳服店主
【職名】 東京市本所區綠町二丁目三番地 電話(本所)511
【營業所先】 東京市本所區綠町二丁目三番地 電話(本所)511
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代新藏氏の二男に生る、大正九年先代病歿す

るや年少にして相續襲名し營業は實母たま女補佐の下に經營爾來順調に進展し現在に及ぶ、因に氏は慶大理財科出身なり
【所得税】 七二圓 【營業收益税】 九四圓
【家庭】 母たま女 明治九年四月十五日生。妻てい女 明治三十一年十一月一日生。弟義雄氏 明治三十八年三月二十三日生。妹うた女 明治四十年一月二十九日生。弟順三氏 明治四十一年九月七日生。妹ふみ女 明治四十四年二月五日生。妹滿惠女 大正二年一月一日生。弟清氏 大正四年十一月十六日生。

横田禎之氏

明治二十九年四月二十七日生

【營業所】 毛斯綸洋反物卸 東京市日本橋區富澤町三番地 電話(浪花)3555
【住 所】 府下荏原郡大崎町今里七百六十三番地電話(高輪)2171
【本籍地】 滋賀縣愛知郡東押立村大字平松五百十九番地

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡八木莊村大字番之莊村川彦左衛門氏の三男にして中等學校卒業後大阪丸紅商店に兩三年間見習ひたる事あり大正六年三月望まれて静岡市吳服町先代横田禎之氏の養子となり大正十一年二月養父の死亡によりて家督相續し同年前名彦三郎を改めて禎之を襲名せり家業は先々代の

—(191)—

〔よ〕

開業に係るものなるが大正十三年五月東京市日本橋區橋町一丁目十一番に店舗を設けて進出し自ら之を監督して静岡店は古参店員に任せ兩店相俟つて隆盛に赴き來れるが其後更に東京店は現所に轉じ今日に至る。温厚篤實なる紳士なり。

【趣味】 謡曲、能樂 【宗教】 天台宗

【所得税】 五〇一圓 【營業收益税】 一五一圓

【家庭】 養母りう女 明治十一年三月五日生。妻嘉壽女 明治三十五年二月十七日生。三輪田高等女學校卒業。長女元子女 大正十四年九月五日生。二女禮子女 昭和三年七月十五日生。

【主なる親戚】 竹村喜平氏 養母里方滋賀縣蒲生郡朝日野村大字鑄物師。深田與三兵衛氏 妻里方、日本橋區富澤町京吳服卸。澤井藤助氏 實兄一太郎氏養父日本橋區田所町綿布及洋反物卸。澤井一太郎氏實兄大阪市備後町澤井大阪支店擔當者

横田 榮助氏

明治五年六月八日生

【營業又職名】 銘仙及生絹染組買組大森喜右衛門商店東京支店支配人代理

【營業所又勤務先】 東京市日本橋區本石町四丁目二十六番地 電話(日本橋二三)一六五・一六六

【住 所】 東京市牛込區矢來町百四十番地

【本籍地】 埼玉縣秩父郡横瀬村二百八十五番地

【略歴】 氏は埼玉縣人前戸主榮助氏長男に生れ、明治三十一年七月十一日家督を相続す、同十七年當店に入り漸次拔擢されて約三十年前當支店會計主任兼支配人代理となり今日に至る勤続四十八年にして一意専心當店の爲に努力す、殊に計數の理に明く温厚篤實なる紳士なり。

【趣味】 圍碁 【宗教】 禪宗

【家庭】 妻女セキ女 明治十七年四月十一日生。埼玉縣人亡小 林半藏氏長女明治三十九年五月三十一日婚姻入籍。長男榮之助氏 明治四十一年八月十一日生、専修大學卒業書研究。長女靜子女 大正三年七月四日生、千葉縣立奥田女學校卒。二男友二郎氏 大正九年二月十八日生、赤城小學五年在學。婦 千代女 明治四十一年二月十五日生、埼玉縣人松本源次郎氏 三女。孫榮子女 昭和六年一月十六日生。

【主なる親戚】 松本源次郎氏 埼玉縣秩父郡秩父町大字大宮一三〇長男榮之助氏妻女里方、米穀商。實弟横田三之助氏 同町農業。義弟小林暉次氏 同郡同町。

岸十五號地。

横井 健次郎氏

明治二十三年十一月五日生

【營業又職名】 綿ネルクレップ卸商合資會社横井商店代表社員

【營業所又勤務先】 東京市日本橋區元濱町十一番地 電話(浪花美)〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は名古屋市亡早川政高氏の二男にして年少時より姻戚たる横井鍋吉商店に入り大正八年同店々主亡鍋吉の養子となりたり、通稱惣吉と稱す、昭和二年七月養父鍋吉氏死亡に因り家督相続し今日に及ぶ。

【趣味】 商業 【宗教】 眞宗 【所得税】 二二五圓

【家庭】 養母あむ女 故鍋吉氏養母慶應三年十二月二十九日生。妻はな女 明治十七年十二月四日生。長男道郎氏 昭和三年三月二十七日生。

【主なる親戚】 早川清太郎氏 實兄、ライジンクサン代理店、名古屋市旅籠町七十二。染谷小赤氏 吳服太物商、川越市連雀町。

〔よ〕

【主なる出身者】 尾藤延二郎氏 日本橋區龜井町。三浦千吉氏 神田區東龍閑町。吉田悦次郎氏 日本橋區元濱町西緑河

横江 正知氏

明治十一年六月三十日生

【營業又職名】 京吳服卸小賣西陣屋店主

【營業所】 東京市四谷區忍町二十三番地 電話(四谷豊美)

【住 所】 同 所

【本籍地】 京都市中京區室町通夷川上鏡屋町三十五番地

【略歴】 氏は東京の加藤正明氏長男にして一年志願を了へ京都に轉住し親類なる横江徳三郎氏二女キミ女の婿となりて明治四十一年京都室町通りに店舗を構へ其後大正六年上京現所に店賣持出及糶卸をも兼營し今日に至るものなり。

【所得税】 二五四圓 【營業收益税】 一六八圓

【家庭】 妻キミ女 明治十八年三月二日生。長女玉女 明治三十八年七月十九日生。二女喜代女 明治四十三年九月九日生。三女久子女 大正二年三月十一日生。五女美代子女 大正九年九月二十七日生。三男知三郎氏 大正十三年六月十二日生。四男昭氏 昭和五年三月一日生。長男正一氏 當主實家へ養子となりたるも尙同店にて持出販賣に従事す。

【主なる親戚】 京都市上京區室町通生絹張屋業横江善次郎氏

妻女實弟。

米澤豊加氏

明治十三年四月七日生

【營業又
は職名】 營業羅紗切賣業 米澤羅紗店主

【營業所又
は勤務先】 東京市神田區小柳町三十五番地 電話(神田三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は金澤市山の上町米澤嘉太郎氏長男にして十五歳の頃上京日本橋區室町大瀧商店に奉公し居りしが勤続二十年の後卸商として獨立逐次向上なし大正元年頃現所に移り震災後斯業に轉換せるものなり。

【家庭】 妻ハナ女 明治二十年二月六日生。長男松太郎氏 明治三十八年十二月八日生。長女鈴女 明治三十五年八月五日生。埼玉縣大里郡深谷町藤井守一氏と婚姻。父嘉太郎氏 安政元年十一月四日生。浅草區玉姫町に分家。母なみ女 安政五年八月二十四日生。右に同じ。

たの部

田中 齊氏

明治二十六年十一月二十五日生

【營業又
は職名】 木綿問屋株式会社田端屋商店社長

【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區新大坂町一番地 電話(浪花二三・三三・三三)

【住 所】 神奈川縣鎌倉町雪ノ下六百二十六番地 電話(鎌倉三〇)

【本籍地】 三重縣津市下部田千二百八十三番地

【略歴】 氏は伊勢の富豪田中治郎左衛門氏の嗣子なり、東京帝國大學英法科出身の法學士にして曩きに歐米を視察す。同店は創業三百年の歴史を有し業界に於ける伊勢店の一流として各方面より絶大の信用と期待を以つて迎へられ居るものにして店業の經營は先年富永専務を聘用して益々家業の恢弘に努め居り、父君治郎左衛門氏亦公共事業に盡くす事厚く曩きに紺綬褒章を賜はる父子共に温厚の徳望家なり。

【宗教】 淨土宗

【家庭】 父田中治郎左衛門氏 萬延元年三月二十七日生。母ふみ女 明治三年七月二十四日生。弟力氏 明治三十三年五月二十二日生。古河電氣會社社員。弟介氏 明治四十二年一月

十日生、第一高等學校在學。弟允氏 大正二年十一月二十八日生。妹合子女 大正五年九月二十六日生。長男敏行氏 大正十二年十月七日生。長女道子女 大正十五年二月十四日生。二男正路氏 昭和四年六月五日生。弟力氏妻惠美女 明治四十一年七月十三日生。

【主なる親戚】 亡妻清子女實家松方五郎氏 東京市芝區西久保櫻川町一二東海生命外四會社重役。力氏妻惠美女實家下山英五郎氏 兵庫縣有馬郡高平村。實母實家關戶守彦氏 名古屋市西區堀詰町一ノ一七愛知銀行日本貯蓄銀行各取締役。中條瀬兵衛氏 東京市日本橋區蠅殼町、醬油釀造業。

田中新左衛門氏

明治二十二年四月二日生

【營業又
は職名】 京及關東吳服セル問屋合資會社田源商店無限代表社員

【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區長谷川町二番地 電話(浪花二〇四)

【住 所】 滋賀縣愛知郡愛知川町大字中宿五十一番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣北埼玉郡加須町野本喜四郎氏の三男にして中學校卒業後藤野謹詰東京出張所に入店恪勤するところありしが偶々先代亡田中源治氏に嚆望せられて大正五年七月長

〔た〕

女はつ子女の婿養子となり大正九年二月五日分家せり初め田源商店東京店主席たりしが同店が大正八年一月合資會社（現在資本金五十萬圓）となり爾來同店無限代表社員として東京店監督の任に當り來れるものにして人物溫和着實にして商手腕あり各方面の印象頗る良好なり。

【趣味】 運動、謠曲 【宗教】 眞宗

【所得税】 一七六圓 【地租】 五三圓

【家庭】 妻はつ女明治二十八年三月十五日生滋賀縣立彦根高等女學校卒業。長女和女大正九年三月十五日生。

【主なる親戚】 實父野本喜四郎氏 埼玉縣北埼玉郡加須町大字久下八三番地、米穀商。實兄野本和助氏 日本橋區堀江町、洋酒罐詰卸業。成宮喜兵衛氏 京都市室町四條下る義叔父、人絹及織物卸。田中源治氏 本家義兄亡源治氏嗣子滋賀縣愛知郡愛知川町同店代表社員。

【主なる出身者】 京吳服卸生島十男吉氏 日本橋區濱町二の三七。羅吳服伊藤幸助氏 日本橋區村松町。吳服太物小賣業今村正近氏 荏原郡大井町。福島多一郎氏 日本橋區長谷川町織物及蚊帳卸。吳服太物小賣業高橋章助氏 府下日暮里町。羽田九兵衛氏 麻布區今井町。羅吳服。

田中清一氏

明治二十年二月十二日生

【營業又】 前掛及セル中形卸合資會社田中清一商店代表社員

【職業先】 東京市日本橋區新大阪町三番地 電話（浪花 九四）

【住】 府下豊多摩郡中野町水川九番地 電話（中野 五九）

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は福井縣今立郡北山村落井田中清太夫氏の四男にして明治四十五年分家す年少時より區内伊勢町前川商店に奉公し約十年勤続し後明治四十四年退店して獨立現業を開始せり當初は區内室町に店舗を構へ後住吉町蠅殼町田所町に轉じて更に昭和四年現所に轉じ來たる。震災後現合資會社を設立してその代表社員となり業務の向上を計りつゝ今日に至る

【趣味】 植木 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻キミ女 明治二十五年一月三十一日生日本橋區堀江町二丁目亡加藤菊太郎氏長女。長女清子女 明治四十五年五月廿八日生成美高女卒業。二女美代子 大正三年九月十四日生成美高女在學中。三女靖子女 大正五年八月二十八日生千代田高女在學中。四女鶴子女 大正八年一月一日生千代田高女在學中。五女富子女 大正十年七月十六日生。長男清之助氏 大正十三年二月四日生。

【主なる親戚】 前記加藤安兵衛氏 金物商。本所區練町酒井貞夫氏 吳服小賣商。前記田中清太夫氏 生家。

田中三男氏

明治十四年五月二十日生

【營業】 廣幅綿布卸

【營業所】 東京市日本橋區高砂町七番地 電話（浪花 三九）

【住】 同 所

【本籍地】 埼玉縣北葛飾郡八木郷村大字徳島五番地

【略歴】 氏は埼玉縣北葛飾郡八木郷村大字徳島亡田中治三郎氏の三男にして現在戸主壽平治氏の弟なり。十七歳の頃より京都某染織屋に奉公し後東京府下南葛飾郡大畑村の義兄所有の染工場經營に携はり二十六歳の時市内通油町に友仙の製造販賣業を開始せしが數年にして業績面白からざりしたため大正四年末同區濱町一丁に移り本業を開始せり。震災後區内久松町に轉じ十三年二月之を賣却して現所に進出し人物如才無く染織に相當の手腕を有し居れり。

【所得税】 二九〇圓 【營業收益税】 一六圓

【家庭】 妻りん女 明治十六年三月二十七日生。長男作治氏 明治四十二年十二月十六日生（慶應義塾高等部在學）。長女

シ女 大正二年五月五日生、市立第一高女卒。二女しづ女 大正八年十二月七日生久松小學校生徒。三女ウメ女 大正十年一月一日生久松小學校生徒。

【主なる親戚】 森田しづ女（實姉）吾嬬町大畑。松本巳之助氏（妻女の里方）南葛飾郡小岩町大字小岩。田中壽平治氏（實兄）北葛飾郡八木郷村大字徳島。

田中泰藏氏

明治二十六年十二月九日生

【營業】 毛織物卸商

【營業所】 東京市日本橋區彌生町三番地 電話（浪花 五八）

【住】 同 所

【本籍地】 府下荏原郡大森町百二十二番地

【略歴】 氏は東京市外大森町百二十二番地田中關太良氏の三男なり十五歳の時區内彌生町毛織物卸島田利右衛門商店に勤務し勤続十四年に及びたるが大正八年一月の好況時主家より積立金及慰勞金を受け無事退店三月獨立せり最初は主としてブローカー的營業をなしたるより大正九年の暴落時にも資金を失ふ事なく亦大正十二年の震災には相當の損害を受けたるも逸早く復興し爾後努力怠らず現容をなすに至れり資性堅實

【た】

營業熱心をもつて知らる。

【趣味】 芝居 【宗教】 門徒宗

【所得税】 四〇圓 【營業收益税】 三九圓

【家庭】 戸主父田中關太良氏 安政四年十一月二十日生大森町百二十二番地兄徳藏氏方にあり。兄徳藏氏 明治二十一年一月十五日生は大森町に洋服商を営む。兄嫁とき女 明治二十五年六月十九日生横濱市根岸町字馬場七〇八岡島亦雄氏の姉。妻輝子女 明治三十三年一月十二日生深川區大島町今塚丑太郎氏長女。
【主なる親戚】 田中徳藏氏(大森町百二十二番地)實兄。深川區大島町七(今塚盛太郎氏)は義兄。

田部金次郎氏

明治八年四月二十六日生

【營業又】 木綿問屋株式會社九丁子商店事務取締役

【職業名】 東京市日本橋區田所町三番地

【勤務先】 電話 浪花 三〇・四〇二・四〇三

【住 所】 兵庫縣武庫郡鳴尾村西濱

【本籍地】 大阪府東區淡路町三丁目十五番地
【略歴】 氏は亡田部武與門氏の長男にして明治二十六年三月家督相續す明治十七年四月舊薩摩治兵衛商店に入り累進して

同店の後身株式會社薩摩商店の監査役に擧げられ大阪支店長たりしが昭和三年薩摩治兵衛氏隱退するに及びて専務取締役に累進せり而して同六年株式會社丸丁子商店と改稱されたる後も依然専務取締役として目下兵庫縣鳴尾に閑居し隨時上京して店務を總覽す。

【宗教】 眞宗

【家庭】 母はる女 嘉永二年四月二十三日生。妻セイ女 明治十六年十一月四日生。二女文女 大正三年三月三日生。三女正女 大正六年一月三十一日生。

【主なる親戚】 笹倉正兵衛氏 妻里方、大阪府東區南久太郎町二丁目五四。田部徳三郎氏 實弟、大阪府東區淡路町一丁目一八。大村清次氏 實妹よする女夫、滋賀縣犬上郡彦根町内保たつ女 前妻亡久千代女里方、大阪府東區淡路町三丁目一五。

田島清太郎氏

明治十九年三月一日生

【營業】 吳服太物卸商

【營業所】 東京市神田區岩本町三十一番地 電話 浪花 三三三

【住 所】 同 所

啓次郎氏 實弟。

田村 豊氏

明治十五年十二月四日生

【營業又】 百貨店株式會社新宿松屋常務取締役

【職業名】 東京市四谷區新宿三丁目四十八番地京王電東新宿驛内

【勤務先】 電話 四谷 五〇六・五〇七

【住 所】 府下豊多摩郡澁橋町柏木三百二十三番地

【本籍地】 長野縣諏訪郡落合村二十八番地

【略歴】 氏は本籍地故田村順齊氏の二男にして大正十一年四月父の死後により家督を相續す明治二十七年若く上京して神田區今川橋松屋吳服店に入り奉公約二年の後日本橋區通松屋吳服店に轉じ恪勤多年に及び其の間精勵にして店主の信任厚く大正三年擧げられて同店支配人に推され努力經營の結果大いに業績を收む昭和四年三月同店の新宿に進出して株式會社新宿松屋の設立せらるゝに及び常務取締役に就任し爾來同店の實務を擔當して熱心經營しあり人物温厚にして實直各方面の印象宜しく内外の信望厚し。

【趣味】 謡曲、書畫、骨董 【宗教】 日蓮宗

【所得税】 五五圓

【家庭】 妻さと女 明治二十四年三月七日生、山梨縣甲府市

【本籍地】 東京市日本橋區田所町二十一番地

【略歴】 氏は亡田島忠藏氏の長男に生れ明治二十二年三月父の病歿によりて家督を相續し同四十五年四月黨女と婚姻す。年少時より日本橋區吳服卸商田中四郎左衛門商店に奉公し勤

續約十年にして圓滿退店更に糶吳服商本田啓次郎商店に勤務すること一年信用熟するに及び舊主及び親戚援助の下に大正元年獨立して本業を開始す爾來氏の銳意努力により業況順調に進展して逐次内容を充實せしめ震災をも無難に切抜け以て今日の業礎をなすに至る、性温厚着實にして各方面の印象佳良なり。

【宗教】 門徒宗 【所得税】 一二六圓

【營業收益税】 一六四圓

【家庭】 妻薰女 明治二十二年五月一日生。長男壽夫氏 大正二年六月二十五日生。長女美惠子女 大正四年五月一日生。二女恭子女 大正七年六月十日生。姉タミ女 明治十六年十月三十一日生。三女靖子女 大正十二年十月二十七日生。二男光衛氏 昭和三年一月二日生。母ユウ女 安政四年七月二十日生。

【主なる親戚】 市内日本橋區本石町四丁目三〇、福田幾次郎氏 妻女里方。市内日本橋區濱町二丁目九、糶吳服問屋本田

〔九〕

柳町六〇里吉清平氏長女。長男純男氏。大正二年二月二十六日生。東京府立五中卒。二女惠津子女。大正五年二月四日生。立正高女在學。

【主なる親戚】 又従兄牛山武兵衛氏。日本橋區通二ノ四松屋呉服店社長。姉婿坂本注平氏。長野縣諏訪郡落合村瀬澤。父里方宮澤正誠氏。山梨縣北巨摩郡小淵澤村。母里方杉浦健三氏。山梨縣甲府市外西條村醫業。長女隆子女婿松岡隆氏。廣島縣廣島市皆實町六一八陸軍工兵中尉。

田端要平氏

明治十三年五月十二日生

【營業】 羅紗及羅紗既製品卸商

【營業所】 東京市神田區柳町一番地 電話浪花(六七・五十二三)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は前戸主田端貫三氏の長男に生れ昭和四年三月家督を相続せり。店業は先代の創業に係り微々たる古着商より身を起し今日確固たる地歩を其の商勢及得意先に示しつゝありて氏は年若き頃より父業の許にありて店業に關與せしものなれば同店現在の業礎は與つて氏の力に依るを大なりとせらる

公職としては現在京濱羅紗同盟會第四部評議員たる外東京羅紗各定會の幹事たり尙登山旅行に興味を有し毎週出掛くるを例とし東京登山旅行俱樂部の幹事たり。

【趣味】 登山旅行 讀書 【宗教】 天台宗

【所得稅】 一六一二圓 【營業收益稅】 四四八圓

【地租】 一七一圓

【家庭】 實母かよ女。慶應元年十月生。府下池袋山口熊次郎氏三女。妻てる女。明治十九年一月生。神田區元柳原町小峰三郎氏姉。長男正巳氏。大正六年一月生。府立第三商業學校二年在學。四男章治氏。大正十二年九月生。麴町曉星小學校一年在學。養女せい女。大正五年七月生。埼玉縣大里郡實妹川岸てい女。四女日本女子商業學校三年在學。養女あや子女。大正十年六月生。本所區向島妻女實妹野村マツ女。長女淡路小學校三年在學。

【主なる親戚】 妻女實家小峰三郎氏。神田區平永町羅紗切賣商。叔父田端吉五郎氏。群馬縣新田郡尾島町農業。

【主なる出身者】 川岸明平氏。神田區籠町羅紗切賣商。藤守一氏。神田小川町既製品小賣商。小峰三郎氏。神田平永町羅紗切賣商。西林拾吉氏。神田區籠町羅紗既製品卸商。

田名網茂三郎氏

明治十六年一月十三日生

【營業】 ショール、ハンカチーフ、シャツ類卸

【營業所】 東京市京橋區橫町一丁目七番地 電話京橋(三六〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は栃木縣足利郡北里村亡田名網茂平氏の次男にして十五歳の時上東京橋區銀座會和商店に奉公し永年勤続の後明治四十四年圓滿退店して本業を開始せり。翌四十五年芝區三田四國町二番地實兄田名網重三郎氏より分家して一家をなす。

【所得稅】 六四九圓 【營業收益稅】 一五三圓

【家庭】 妻ゆう女。明治二十一年三月二十一日生。長男弘一氏。明治四十三年六月二十九日生。二男雄次氏。大正六年二月十四日生。三男輝雄氏。大正九年十一月四日生。

【主なる親戚】 市原留五郎氏。妻里方、千葉縣千葉郡蘇我町

田口三郎氏

明治二十一年八月十一日生

【營業】 太物卸商

【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町二丁目八番地電話浪花(三三〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 埼玉縣北埼玉郡忍町大字行田百五番地

【略歴】 氏は亡田口治八氏の二男に生れ日本橋區通鹽町木綿間屋栗原宗次商店に入り勤続十四年大正四年退店して同區大傳馬鹽町に獨立斯業を開始す。大正十二年春現所を買入れ更に改築し進出したる翌九月震災に遭遇したるものなるが既に相當業礎を築かれある事として且災後の努力により順調に復興し來れるものなり。氏は着實穩健の商人にして賣買兩方面の信望あり。

【趣味】 旅行 【宗教】 門徒宗

【所得稅】 三九圓 【營業收益稅】 六四圓

【家庭】 妻女しづ女。明治三十四年一月三日生。南埼玉郡久喜町大字久喜新三百二十五番地亡飛高房藏氏の長女。長女良子女。昭和二年九月二十四日生。

【主なる親戚】 兄田口隆資氏。埼玉縣行田に於て足袋製造卸業。義兄同縣久喜町、酒造業飛高久一氏。同縣太田村農中島

〔九〕

〔九〕

重太郎氏。
【主なる出身者】 同區大傳馬町木綿卸業安岡金次郎氏。府下北千住新橋際大黒屋吳服店主石井寅之助氏。

建石角次郎氏

明治二十一年九月二十一日生

【營業】 木綿問屋

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町六番地電話(浪花)三・三〇八

【住所】 東京市牛込區東五軒町三十八番地電話(牛込)三〇八

【本籍地】 東京市日本橋區長谷川町六番地

【略歴】 當主は東京市神田區新銀町四番地石井嘉平氏の二男として生れ、多年建石商店に勤務しありたるが大正七年五月先代建石三藏氏の二女の婿養子となる資性温健着實先代の遺業を辱めず、店業は天保年間の創業にして先々代より漸進的に産を増殖し來れると共に同業者の薄資時代其人物を見込み直接回接に援助をなし善く大成せしめたるもの枚擧に遑あらず、毎年頭同店の徳を慕ひて年賀に來るもの引も切らずと謂ふ、而して店務は支配人仲村益藏氏に委ね地所部は堀越西田の兩氏擔任せしめあるが何れも堅實をもつて知らる。

【趣味】 謡曲、園芸 【宗教】 日蓮宗

【所得税】 七七一圓 【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 養母きつ女。先代の未亡人明治三十年八月二十九日生。妻今女。明治三十年八月二十九日生、先代之建石三藏氏の二女にして明治四十三年八月先代歿後家督を相續す。長女

田口浦次郎氏

明治三十五年六月八日生

【營業】 洋服既製品卸

【營業所】 東京市神田區東龍園町十八番地

【住所】 同 所

【本籍地】 東京市神田區東松下町八番地

【略歴】 氏は埼玉縣浦和町七田口市之丞氏の二男にして昭和四年三月神田區豊島町二十七番地實見田口市之丞氏より分家して一家をなす夙に神田區豊島町西脇源二商店に入り約三ヶ年勤続の後退店して實見市之丞氏の店務を補佐しつゝありしが、昭和二年現所に獨立して以て今日に及べり。

【家庭】 妻ミツ女。明治四十三年十一月五日生、長女歌子女

。昭和四年五月十八日生。二女幸子女。昭和六年一月二日生

【主なる親戚】 田口市之丞氏。實兄、神田區豊島町二十七番地。岩淵金作氏。妻里方、宮城縣遠田郡田尻町。

厚子女。大正八年一月十九日生女子大附屬女學校生徒。長男三藏氏。大正十年一月八日生東大久保高千穂小學校生。二男榮藏氏。大正十一年十月二十五日生、高師附屬小學校生。二女三重子女。大正十三年十二月十九日生女子大附屬小學校生徒。三男裕藏氏。大正十五年十二月二日生。四男弘藏氏。昭和三年九月四日生。

【主なる親戚】 石井嘉七氏。東京市小石川區原町一〇(當主の生家)。三越裝飾部長。青地伊一氏。東京市麴町區平河町十番地(養母の生家)。

【主なる出身者】 堀井定藏氏。(織物問屋)東京市日本橋區橋町三丁目、齋藤不二三氏。(新聞取次業)在長野市。熊ヶ谷政藏氏。(乾物商)下谷區入谷町。

瀧 富太郎氏

明治十八年六月六日生

【營業】 織物現金問屋合名會社瀧富商店代表社員

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町七番地 電話(浪花)三六三

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡稻枝村大字山良田亡瀧利平次氏の

息にして明治二十八年一月二十二日家督を相續す幼にして兩親を失ひ十三歳の時大阪某織物問屋に奉公して在店九ヶ年後退店して上京日本橋區彌生町中川平七商店に入り後仕入係となる大正元年中川商店を退店して獨立織物卸業を開始す、爾來幾度か辛酸を嘗めて努力し現金問屋を營むに至り次第に順調の業容を示し現に資本金三十萬圓の合名會社瀧富商店代表社員として其の商手腕の卓越しあるをもつて知らる。

【趣味】 讀書 【宗教】 門徒宗

【所得税】 四〇二一圓 【營業收益税】 二〇二一圓

【地租】 二九〇圓

【家庭】 妻房女。明治二十三年八月三十一日生愛知縣起町二十七戸主織物買繼吉川彦三郎氏の長女。長男富一郎氏。大正元年十二月十五日生府立第一商業卒後大阪洋反物問屋野呂克商店に奉公中。二男眞次郎氏。大正四年十月生は府立第三商業學校在學。三男敏一氏。大正七年一月八日生府立第三商業在學。

【主なる親戚】 吉川彦三郎氏。妻女里方(愛知縣起町織物買繼商)。市川徳次郎氏。實弟出版業(池袋)。

【主なる出身者】 北原數馬氏。堺町織物問屋。松村彌三郎在千住町吳服商。園伊商店。久松町織物卸商。

〔九〕

瀧浦順平氏

明治十四年一月二十六日生

【營業又
は職名】 廣幅織物及婦人子供服卸生地商合資會社瀧浦商店代表社員

【營業所】 東京市日本橋區馬喰町二丁目九番地

電話(浪花空室・三三三)

【住 所】 東京市本所區東兩國一丁目三番地

【本籍地】 東京市日本橋區馬喰町二丁目九番地

【略歴】 瀧浦家は島根縣松江市の士族にして東京に移住せしは氏が二歳の折なりしと云はる氏は年若くして市内紙問屋に奉公し十九歳に至り横濱商館に轉じ斯業を見習ひたる後明治三十七年日本橋區葺屋町に獨立開業せり然るに日露戰爭に補充兵として召集せられしかば之を閉店除隊後即ち明治四十一年五月區内村松町に開店し大正三年現所に進出せしものなり氏の太ッ腹なるは定評ある處にて且つ商手腕に富み居るものなれば好況時に良く進展し業界に重きをなすに至れり、されども震災にて打撃甚大なるものあり組織を合資會社に改め之が代表社員として復舊の途上にあると雖も其の商勢に於ては従前に比しさして遜色なく依然一方の權威店たるを失はず氏は大正五年九月實父寅三郎氏の隠居に依り家督を相續し以つて今日に至る。

【趣味】 演藝 【宗教】 禪宗

【所得税】 三三三圓 【地租】 七〇圓

【家庭】 妻君子女 明治二十年五月生。長女多喜子女 明治四十三年十一月生第一高等女學校卒業後家庭に在り。長男達平氏 大正三年三月生府立第一商業學校五年在學。二男良造氏 大正五年六月生早稻田實業學校二年在學。三男實氏 大正十年二月生久松小學校三年在學。四男復平氏 大正十二年九月千代田小學校一年在學。五男雄介氏 大正十五年五月生。【主なる出身者】 玉木昌一郎氏 市内日本橋區村松町三五廣幅物ブローカー。

瀧口藤太郎氏

(通稱 藤次郎)

明治二十一年一月三日生

【營業】 中形裏地加工卸商

【營業所】 東京市日本橋區橋町一丁目七番地 電話(浪花 八七七)

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區高砂町十一番地

【略歴】 氏は埼玉縣忍町大字行田の出身幼少の頃上京日本橋區富澤町中形裏地加工卸商内田定助商店(現存せず)に奉公し永年勤続大正三年日本橋區浪花町に獨立斯業を開業十年六月

和泉町に轉じ震災に會し相當の打撃を蒙りしも災後克く機敏に活動し直ちに同所に再起爾來順調に業績の伸展を得昭和四年一月現所に移りしものにして壯年薄資より身を起し幾多の難關ありしも是を踏破し今日の業礎を築きしものなり。

【趣味】 將棋、書畫 【宗教】 禪宗

【營業收益税】 五六圓

【家庭】 妻たけ女 明治二十七年九月二十六日生、埼玉縣北埼玉郡忍町大字行田荒物雜貨商原田平三郎氏二女なり。

【主なる親戚】 荒物雜貨商原田平三郎氏 埼玉縣忍町字行田妻女生家。西洋料理業瀧口幸三郎氏 東京市下谷區御徒町藤太郎氏實兄。

瀧口孝平氏

明治十七年二月九日生

【營業】 毛斯綸加工卸商

【營業所】 東京市日本橋區新乘物町四番地 電話(浪花 三三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は千葉縣船橋町瀧口長兵衛氏の次男にて十三歳の折市内日本橋區反物問屋青木五兵衛商店に入り恪勤二十三

年に及び支配人次席となりしが大正七年四月圓滿退店と共に

市内日本橋區通旅籠町に斯業を以つて獨立せり爾來良く進展し震災後一時岩代町に移り更に昭和二年十二月現所に移轉せり遣り口は地味にして堅實方針を採り居れば一般の印象良し

【趣味】 論 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻幸女 明治二十七年三月五日生。長男清一郎氏 明治四十四年九月十九日生府立第三中學卒業後慈惠院醫科大學豫科二年在學。二女八重子女 大正九年四月十一日生久松小學校四年在學。

【主なる親戚】 妻女實家赤穂幹之丞氏 府下吾嬬町染物業。本家長兄瀧口長次郎氏 千葉縣東葛飾郡船橋町九日市一八〇番地旅館料理業。弟島田健次氏 東京市内小石川區白山御殿町横濱電線株式會社員。弟窪田林造氏 東京市内本郷區千駄木町藥劑師。弟佐藤重一氏 市内日本橋區藥研堀町慈惠院大學教授兼東京病院耳鼻喉科部長。

瀧川忠次郎氏

明治二十一年六月二十一日生

【營業】 廣幅織物卸商

〔九〕

【營業所】 東京市日本橋區久松町十四番地 電話(浪花三六・六〇)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は日本橋區濱町二丁目十一番地瀧川勘四郎氏の三男として生る夙に區内富澤町洋反物問屋井上市兵衛商店に勤務中主家の閉店に際し同僚坂田源之助氏及故山田彦次郎氏等と相謀り主家の得意先と殘商品を引受け匿名組合の組織として營業を開始するに至れるが大正四年十二月氏は匿名組合を離れて區内新乗物町十四番地に單獨開業し爾來長足の進歩を遂げ大正九年の暴落時にも無難に經過せるより大正十年四月現所を買収移轉し來り次第に業容を擴大し現在に至る。

【趣味】 書畫 【宗教】 眞言宗

【所得税】 二九一圓 【營業收益税】 一八二圓

【家庭】 妻清子女 明治二十六年十二月十六日生埼玉縣新郷村上新郷二四三渡邊清三郎(茂八襲名)氏二女、二男浩一氏 大正七年七月二十一日生日下久松小學校通學中、三男直彌氏 大正十年二月二十四日生久松小學校通學中、四男清氏 大正十二年五月五日生れ久松小學校通學中。

【主なる親戚】 實兄瀧川清次郎氏(淺草區小島町七三)。岳父渡邊喜代三郎氏は行田足袋同業組合長及埼玉縣會議員。

瀧澤新吉氏

明治五年五月十六日生

【營業又】 太物卸商合資會社瀧澤商店代表社員

【營業所】 東京市日本橋區久松町三番地 電話(浪花三六九)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣北足立郡蕨町大字蕨四千三番地農瀧澤新五郎實弟幼少より日本橋區近在双子卸商芳賀吉之助商店に奉公勤続十八年に及び明治三十二年三十四歳にして日本橋區久松町二十二番地に獨立開業す震災に際しては妻女實家の後援により現在の地に遷り今日に及ぶ、現在合資會社瀧澤商店代表社員なり。

【家庭】 妻まさ女 明治二十五年八月二十六日生、東京市外板橋町字瀧野川二千四百九番地質商平田重次郎氏五女三輪田高女卒。長女康江女 大正五年一月二十七日生東京市立忍ヶ岡高女在學中。

【主なる親戚】 瀧野川資産家平田重次郎氏 妻女實家。赤坂區一ツ木町洋品店松下宇助氏 妻女妹婿家。

龍 停 三 氏

明治二十四年十月十日生

【營業】 太物卸商

【營業所】 東京市日本橋區高砂町十三番地 電話(浪花四三三)

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣愛知郡栗枝見村字服市三百八十八番地

【略歴】 氏は本籍地に於て亡巳之吉氏の長男として生る生家龍家は祖先に儒者ありて代々彦根藩に仕へたる家柄なり氏は多年市内日本橋區深田商店に勤続し大正十年二月區内堀留町に獨立し後村松町を経て昭和四年現所に移轉せり經營は中川平七商店出身の實弟洋三氏を補佐として地味堅實なる事は定評のある處なり。

【宗教】 禪宗

【家庭】 妻滿佐女 明治三十三年七月二十三日生。長男實氏 大正十二年九月生。長女繁女 大正十四年三月生。二男豊女 昭和二年二月生。二女公女 昭和四年六月生。三女美女 昭和六年一月生。弟洋三氏 明治二十七年九月生。洋三氏妻とら女 明治三十八年十月生。同長男昭次郎氏 昭和四年七月生。

【主なる親戚】 實母實家森野芳太郎氏 北海道瀬棚町、雜

貨商。妻女實家村木久治郎氏 滋賀縣愛知郡秦川村無職。洋三氏妻女。實家河村彦二郎氏 埼玉縣兒玉町雜貨商。

瀧田春雄氏

明治三十二年九月十九日生

【營業】 中形加工卸

【營業所】 東京市日本橋區堀町五番地 電話(浪花三三〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區長谷川町五番地

【略歴】 氏は横濱市石川町一丁目三十五番地瀧田萬五郎氏の八男として生れ大正十三年四月同市本牧町字大島に分家して一家をなし翌年十一月現本籍地に轉籍す。年少の頃上京して日本橋區萬河岸久我嘉助商店に奉公し約十四年間勤続大正十四年二月圓滿退店して現業を開始せり、其の發賣に係る中形三春染は業界既に定評ある處にして開業資金三百圓なりし爲め其三及び自己名春雄の一字を以て之が商標となしたるものなりと聞くが圖案並に宣傳に付天才的技倆を有し中形界に於ける一異彩なり。

【趣味】 大弓 【宗教】 淨土眞宗

〔九〕

【家庭】 妻幸女 明治三十六年十二月十一日生、長女ヒロ女
昭和三年八月十四日生、二男政彦氏 昭和五年七月七日生
弟幸四郎氏 明治三十六年七月十四日生 店務補佐。妹美瑛保
女 大正二年十一月三日生 御茶の水高女出身。

【主なる親戚】 瀧田萬五郎氏（生家にして實父）横濱市本牧大
島一、六〇〇。中西淺次郎氏 妻里方、麴町區六丁目十一番地
瀧田徳太郎氏 實弟、（神奈川縣横濱市潮田）。

高羽 憲 次氏

明治二十二年二月七日生

【職業名】 毛織物卸株式会社高羽商店専務取締役

【營業所】 東京市麴町區麴町五丁目三番地 電話（九段）2011・1674

【住 所】 東京市麴町區紀尾井町三番地 電話（九段）101K

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は前戸主高羽惣四郎氏長男に生れ、昭和三年四月
二十三日家督相続をなす、慶應義塾卒業後英國カレッジに留
學五ヶ年にして歸朝、大正二年十二月資本金百萬圓（内拂込
六十萬圓）の株式会社高羽商店を設立専務取締役となり今日
に至る、資性濃厚にして學識卓抜なる紳士なり。

【趣味】 ゴルフ、謡曲、洋畫 【宗教】 眞宗

【所得税】 一一四〇圓

【家庭】 實母よし女 嘉永六年一月十六日生 千葉縣津郡
木更津町鈴木與四郎氏妹、明治二十年十一月二十九日前戸主
惣四郎氏と婚姻。妻女藤枝女 明治二十七年十月一日生、東
京府荏原郡大井町三五四五番地戸主亡後藤惣作氏三女、大正
七年五月二十七日當家に入籍東京女學館卒業。實弟國良氏 明
治二十三年十月二十九日生、早大商科卒業、株式會社高羽
商店監査役。國良氏妻女さち女 明治三十一年十二月十二日
生 愛知縣八名郡三上村三四番地戸主豊田穰氏三女、大正八年
九月九日高羽國良氏と婚姻入籍、名古屋市立高女卒業。實弟
春芳氏 明治二十六年一月二十日生、商工中學卒業。義妹瑗
子女 明治三十七年五月五日生、淺草區象潟町九番地戸主小
林愛雄氏長女、東京府立第一高女卒業、大正十四年三月十八
日高羽春芳氏と婚姻入籍す。甥芳雄氏 大正九年一月十五日
生、實弟國良氏長男なり。姪喜久子女 大正十五年四月十九
日生、實弟高羽春芳氏長女に當る。

【主なる親戚】 義兄亡後藤績氏 東京府荏原郡大井町三五四
五番地。豊田穰氏 神奈川縣神奈川町、元千代田生命横濱支
店長、義妹さち女實家なり。小林愛雄氏 淺草區象潟町九番
地、義妹瑗子女實家に當る、醫學士にして醫師開業中。從兄

高羽惣兵衛氏 麴町區麴町五丁目二番地、株式會社高羽商店
取締役社長。

【主なる出身者】 羅紗及綿布卸佐藤太三郎氏 麴町區麴町十
丁目四番地、株式會社佐藤太三郎商店取締役社長。

高橋 太郎 吉氏

明治十八年九月九日生

【營業】 裏地中形加工卸

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町十番地 電話（浪花區六）

【住 所】 府下北多摩郡武藏野町西窪二百七十四番地

【本籍地】 東京市日本橋區長谷川町十番地

【略歴】 氏は千葉縣市原郡千種村岡田紋太郎氏の二男に生る
元日本橋區新大阪町吳服卸佐久間嘉七商店（現存せず）に奉公
し居たるが明治四十三年七月二十八日先代太郎吉氏の女フサ
女の婚養子となり先代病歿するや四十四年舊名茂三郎を改む
震災當時は淺草區東町に於て吳服小賣商を営みしも大正八年
頃より感ずる所ありて轉業を志し居たれば此を一轉機となし
本業裏地中形間屋となり爾來不屈の努力を続け幾何もなく現
在の基礎を築くに至る性極めて淡泊にして實直、同業中稀に
見る努力家なり。

【趣味】 園芸、野球 【宗教】 禪宗

【所得税】 一四二圓 【營業收益税】 一一二圓

【家庭】 妻フサ女 明治十七年十一月二十三日生、長女敬子
女 大正十五年一月五日生。

【主なる親戚】 市外日暮里町元金杉二〇六七吳服太物小賣三
崎屋吳服店、高橋捨一郎氏 婚養子。

【主なる出身者】 川崎市宮前町一三吳服太物洋反物小賣沼屋
吳服店 沼口惣五郎氏。南葛飾郡平井町岡野屋吳服店 岡野寛
氏。

高橋 惣 三郎 氏

明治十七年四月三日生

【營業】 中形、裏地、捺染物卸

【營業所】 東京市日本橋區新材木町十五番地 電話（浪花區三）

【住 所】 同 所

【本籍地】 埼玉縣南埼玉郡岩槻町大字岩槻千三番地

【略歴】 氏は前戸主高橋類次郎氏二男なり、年少の頃市内日
本橋區元濱町石井忠次郎商店に奉公し、明治四十年頃區内鵜
殼町に開業せし以來同四十五年頃橋町に出で大正六年通油町
十五番地に轉じ震災後現所に來れるものなり、中形裏地は大

〔た〕

部分自製に係り販路は災前市内小賣屋を主としたるも其後茨城方面に得意を開拓し年商約十五萬圓を遂行す。機敏且犀利なる人物にして熱心經營に當りつゝあり。

【家庭】 妻女千歳女 明治三十四年九月二日生、東京市淺草區下平右衛門町三番地戸主なるも廢家の上昭和四年十一月二十八日當主惣三郎氏と婚姻入籍す。長女きぬ女 明治四十三年三月二十三日生、東京府立第一高女卒業。二女静子女 大正二年一月九日生、東京府立實科第一高女卒業。長男宗一氏 大正九年六月三日生、久松小學四年在學。三女房子女 大正十三年一月十七日生。

【主なる親戚】 實兄高橋藤三郎氏 埼玉縣南埼玉郡岩槻町大字岩槻一〇〇三番地、農業。義父不破龜三郎氏 淺草區下平右衛門町三番地、無職。

【主なる出身者】 中形裏地卸森四郎氏 日本橋區龜井町、吳服太物小賣業不破正成氏 東京府下向島町。

高橋龜太郎氏

明治十九年六月十七日生

【營業】 毛織物既製品卸商

【營業所】 東京市神田區豐島町三十四番地 電話(浪花三三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は高橋定五郎氏の長男なり、神田區豐島町三十四番地に生れ十五歳の時神田區岩本町六番地古着洋服卸商桑澤賢藏商店に入り約十年間斯業を見習ひ圓滿退店し神田區東龍閑町十九番地に於て本業を開始し爾來地味堅實なる方針を辿りたれば業容漸次伸展し現在土手界隈に於ける堅實なる店舗と稱され居れり、性格は温厚篤實にして眞面目なる人物との定評あり。

【趣味】 謠曲 【宗教】 曹洞宗

【所得稅】 七九四圓 【營業收益稅】 三三六圓

【家庭】 父定五郎氏 安政六年九月十日生。妻はま女 明治二十四年九月十八日生、日本橋區吳服町一番地會社員鈴木半藏氏長女。長男敏郎氏 明治四十五年二月六日生、高輪商業學校卒業後家事に従事中。長女喜美女 大正二年十月二十三日生、日本橋高等女學校在學中。二女信子女 大正四年七月二十五日生、東京府立第一女學校在學中。二男健二氏 大正六年十月二日生、京華商業學校在學中。三男正三氏 大正十年一月三日生。四男英男氏 大正十三年九月二十八日生。

【主なる親戚】 義弟鈴木祐一郎氏 洋服既製品商東京府下大井町。實弟林政次郎氏 東京府下大井町。

【主なる出身者】 松本春吉氏 洋服商、東京府下千住町二丁目。同岡清氏 同。長野市岡田町。鈴木祐一郎氏 同。東京府下大井町。

高橋ひさ女

明治七年一月十日生

【營業又 職名】 羅紗既製品卸小賣高久商店主

【營業所又 勤務先】 東京市神田區須田町二十一番地 電話(神田三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 同女は神田區柳町三番地亡高橋傳兵衛氏の長女にして同所に羅紗既製品卸業を營み居りたる高橋徳兵衛氏の實姉なり初め群馬縣新田郡尾島町橋本房五郎氏長男又市氏に嫁し一男二女を擧げたるも故ありて離縁となり明治卅三年十月分家して一家を成す。本業開始は明治廿五年頃の事にして爾來熱心經營に當り大正六年十二月再び又市氏を入夫として迎へたるも同氏は昭和二年十月東京府下中野町にて死亡す。

【所得稅】 一〇六八圓 【營業收益稅】 四四八圓

高橋源次郎氏

慶應三年六月十九日生

【營業又 職名】 毛織物既製品洋傘ショール卸越後屋合資會社代表社員

【營業所又 勤務先】 東京市日本橋區通鹽町十三番地 電話(浪花三三〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府人亡高橋元助氏の長男にして明治十四年七月家督相續す十一歳にして東京市日本橋區横山町二丁目洋傘卸商梅澤萬助商店に入り約十年間斯業を見習ひて圓滿退店し同區藥研堀町一番地に本業を以て獨立開業せり、明治卅九年頃組織を合資會社となし大正十一年二月之を解散したるが翌十二年再び會社組織に改めて現在に及ぶ。

【宗教】 曹洞宗 【所得稅】 二九五圓

【家庭】 長男敏夫氏 大正元年十一月廿二日生。二男貞男氏

〔九〕

大正十五年九月三日生。婦さゝ女。明治廿五年九月十九日生。養子亡親氏妻。孫錦女。大正五年十二月廿三日生。孫達雄氏。大正十二年七月十三日生。孫武雄氏。昭和二年一月十七日生。

【主なる親戚】 關根次郎氏。妻里方、埼玉縣粕壁町。岩崎育太郎氏。埼玉縣川越市南町洋服商。

【主なる出身者】 宮本金次郎氏。東京市淺草區左衛門町洋傘商。

高橋次助氏

明治十六年三月十日生

【營業又】 羅紗直輸入卸高橋次助商店店主

【職業名】 東京市京橋區銀座西四丁目五番地 電話(銀座三〇八)

【營業所又】 同 所

【勤務先】 同 所

【略歴】 同氏は栃木縣に生れ年少の頃より上京し銀座丸善呉服店に修業せるものなり創業は明治三十八年にして當初洋服裁縫のみなりしが大正六七年頃の好況時代に羅紗切賣部をも併設し以て進展を速む。兎に角業界成功者の一人たるを失はず現在東京洋服裁縫同業組合評議員の職にあり、而して卸部

の販賣は東京横濱の高等洋服店に直接賣込む外全國主要都市に約十八店の代理店を有し又洋服裁縫部は十數年來の牢固たる地盤ありて實業家及高等官吏等より品質本位の注文を受け居るもの尠からずと稱さる。

【營業收益税】 八四〇圓

【家庭】 養母トミ女。文久二年十二月二十三日生。妻はる女

明治二十一年二月二十日生。長男孝氏。明治四十五年四月二十日生。二男馨氏。大正四年九月四日生。三男進氏。大正七年一月一日生。四男明氏。大正十年六月二十日生。

【主なる親戚】 静岡縣駿東郡揚原村二七二高島菊次氏。妻女實父。

【略歴】 氏は亡高田惣五郎氏の二男にして大正十三年三月父惣五郎氏死亡に因り家督相続す夙に熊ヶ谷中學を卒へ父業を

高田良平氏

明治十九年六月三十日生

【營業又】 吳服類生染紺卸高田合名會社代表社員

【職業名】 東京市日本橋區通油町二十一番地 電話(浪花五〇六)

【營業所又】 埼玉縣大里郡深谷町大字深谷六十一番地

【勤務先】 同 所

【略歴】 氏は亡高田惣五郎氏の二男にして大正十三年三月父惣五郎氏死亡に因り家督相続す夙に熊ヶ谷中學を卒へ父業を

高田保六氏

明治三十七年十一月三十日生

【營業又】 羅紗卸藤井善次郎商店東京出張所擔當者

【職業名】 東京市日本橋區大傳馬町一丁目十二番地 電話(浪花一八〇)

【營業所又】 東京市赤坂區溜池町二番地

【勤務先】 滋賀縣栗太郡治田村大字目川三百八十七番地

【本籍地】 滋賀縣栗太郡治田村大字目川三百八十七番地
【略歴】 氏は本籍地に於て尋常高等小學校卒業後大正八年四月大阪に出で羅紗卸商藤井善次郎商店に入店せり、而して格勤多年此の間大阪市大成學館に二ヶ年英語を學びたる事ありて漸次店主の信用を得る處となり震災後即ち大正十三年主家が東京に出張所を設置するや氏は撰ばれて之が主任として赴任せり。

【趣味】 芝居、讀書、謡曲 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻この女。明治四十二年九月二十七日生。長女英子女。昭和六年一月二十四日生。

【主なる親戚】 義弟稻波誠之助氏。京都市鹿ヶ谷米穀商。義弟高野綱夫氏。滋賀縣栗太郡治田村農業。妻女實家西井彌市氏。滋賀縣野洲郡守山町材木商。長兄高田米太郎氏。滋賀縣栗太郡治田村大津市役所吏員。實母實家立入英次郎氏。滋賀

扶けたるが嘗て代議士たりし事もあり、亡惣五郎氏は深谷絹銘仙の買繼業を營み晩年に至りて高木寛一氏の經營たりし織物卸業を高田商事株式會社に於て買収し東京支店となし良平氏一切の經營に任じ今日に至る。

【趣味】 釣、狩獵 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻タケ女。明治廿四年九月十五日生。長男富之氏。明治四十五年三月廿六日生。松江高校在學中。二男森次郎氏。大正三年六月廿五日生。店務見習中。長女絹子女。大正六年五月卅一日生。熊ヶ谷高女在學中。三男忠三氏。大正九年九月廿一日生。和夫氏。昭和三年三月一日生。

【主なる親戚】 高木寛一氏。亡母里方、埼玉縣深谷町。小林福次郎氏。妻里方、埼玉縣大里郡岡部村。福島ヨシ女。實姉埼玉縣深谷町。

【主なる出身者】 高田慶四郎氏。埼玉縣深谷町。機業。木村彌兵衛氏。同。長野明作氏。同。望月兵太郎氏。同。小林金一氏。東京市神田區佐久間町。武田信次郎氏。東京市外王子町十條。

〔九〕

〔た〕 縣野洲郡守山町農業。次兄谷口豊三郎氏。京都市下京區七條通加茂川筋西入稻荷町吳服商。義兄田中儀三郎氏。滋賀縣栗太郡笠縫村小學校長。三兄野淵收藏氏。京都市上京區淨福寺通上立賣西入ル眞倉町吳服卸商。四兄若井久五郎氏。京都市下京區新町無職。

高木鶴吉氏

明治十九年七月五日生

【營業又】 毛斯綸小物加工卸商合資會社高木商店代表社員
【職業名】 同
【營業所又】 東京市日本橋區久松町一番地 電話(浪花三三三)
【勤務先】 同
【住所】 同
【本籍地】 茨城縣猿島郡境町千五百三十九番地

【略歴】 氏は本籍地に於て亡高木清治郎氏の長男として生れ境町尋常小學校卒業後十四歳の折上京し日本橋區彌生町島利商店に入り格勤十九年に及び大正六年區内小傳馬町三丁目洋反物卸商として獨立せり震災後業勢に鑑み現業に移り區内元濱町西縁河岸を経て昭和四年十二月現所に移轉せり、氏は温健着實にして極めて對者に好印象を與へ居ると共に經營地味を旨とし居るが爲年來の得意地盤牢固たるものあり且つ其の製品に係るお芽出度風呂敷を初め昭和十二支鶴の子鳥の子

等の商標に因る製品業界に良く認められ居るものなり。

【宗教】 淨土宗
【家庭】 妻與宇女。明治二十八年九月二十日生。三男亮氏。大正十年七月十四日生。久松小學校三年在學。長女美智子女。大正十二年十月二十一日生。久松小學校一年在學。四男文吾氏。昭和二年十一月二十六日生。

【主なる親戚】 伯父高木直次郎氏。茨城縣境町吳服太物小賣業。妻女實家渡邊定一郎氏。茨城縣結城郡宗道村元旅館業。

高木與吉氏

明治二十八年一月二十八日生

【營業】 吳服太物卸商
【營業所】 東京市日本橋區長谷川町九番地 電話(浪花三三三)
【住所】 同
【本籍地】 滋賀縣神崎郡建部村大字下野二百四十四番地

【略歴】 氏は故高木新藏氏の次男に生れ年少時京都市小泉合名會社に入店し同店が東京に支店を設くるに當り轉勤し爾來格勤多年支店次席の地位にありしが大正十五年三月退店獨立斯業を開始したるものにして昭和五年一月同區橋町より現所に進出し來れり扱品は兩毛館林尾州伊豫久留米織物等にして

手堅き經營にて漸次進展し居るものとす。

【宗教】 淨土眞宗

【家庭】 妻いわ女。明治三十五年六月十三日生。滋賀縣蒲生郡中野村大字小脇九十八番屋敷農業川口多兵衛氏の次女なり。長女芳子女。大正十二年六月二十一日生。長男忠男氏。大正十四年十一月二十八日生。

【主なる親戚】 氏實兄滋賀縣神崎郡下野農業高木金四郎氏。姉そわ女の縁先同縣蒲生郡八幡町酒釀造業川端庄治郎氏。

【主なる出身者】 日本橋區小傳馬上町半襟風呂敷卸商小林吟之助氏。

高木幸三氏

明治二十七年二月十七日生

【營業】 羅紗切賣商
【營業所】 東京市神田區連雀町十七番地 電話(神田一七七)
【住所】 同
【本籍地】 富山縣氷見郡女良村中田二千七百六十七番地

〔た〕 氏は亡高木喜作氏の長男として生る年若くして上京し神田區羅紗商武神商店に入り多年修業する處ありたるが大正九年財界恐慌期に主家破綻するに至り止む無く退店し同輩

會田佐長氏及小林鶴藏氏等と共に合名會社千代田羅紗店を起し震災後之を株式組織とせるが遂に昭和二年整理解散せり爾來各自獨立する事となり氏は切賣商として現所に創業せり現下斯界不振の折柄之が經營には幾多の曲折を免かれざるも氏は過去の豊富なる經驗と商手腕を以て良く進展を期し居れり

【趣味】 野球 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻滿壽美女。明治三十二年十二月十三日生。山梨縣中巨摩郡松島村長塚一五八三井英一郎長女。長女博子女。大正十一年四月二十八日生。次女信子女。大正十三年十月二十日生。長男利純氏。昭和二年七月五日生。次男秀直氏。昭和五年一月生。

【主なる親戚】 妻女實家三井英一郎氏。山梨縣中巨摩郡松島村農業。

高木市次郎氏

明治八年三月一日生

【營業又】 吳服太物小賣田原屋吳服店擔當者
【職業名】 同
【營業所又】 東京市赤坂區新町四丁目一番地 電話(青山三〇〇)
【勤務先】 東京市赤坂區青山高樹町十二番地
【住所】 同
【本籍地】 同

〔た〕

【略歴】氏は亡高木元八氏長男に生れ明治十四年十月五日家督相續す元同店顧問たりしも主任地村力造氏が病氣にて隠退するや其後自ら經營の衝に當り今日に至る大正十三年七月妻女たか女を喪ひたり。而して現今本支店兼務の支配人として手腕信望共に備りたる人物と稱さる。

【趣味】圍碁、將棋 【宗教】淨土宗

【家庭】養子ふぢ女 明治三十九年一月十日生滋賀縣滋賀郡堅田町佐々木米吉氏五女。婿養子義之助氏 明治三十年六月二十日生京都市下京區三條通新町高木治良兵衛氏弟。

高野 丈吉氏

明治四十二年三月二十二日生

【營業又】秩父織物行商秩父屋店主

【營業所又】東京市本郷區弓町一丁目一番地 電話(小石川五〇)

【住 所】同 所

【本籍地】埼玉縣秩父郡秩父町大字大宮千五百七十四番地ノ一

【略歴】氏は亡高野丈吉の三男にして現所に生る。家督は實兄丈吉氏相續し居たるも同氏は昭和三年九月死亡せるより當主舊名理三郎を改めて丈吉を襲名の上家督相續せり、幼少の頃より父業を見習ひ傍ら早稲田實業に通學し豫科修業中實兄

の死亡に遭ひたれば中途退學して家業を繼承せるものなり。

【家庭】母けい女 明治七年八月一日生。妹ミネ女 明治四十五年四月十五日生。

【主なる親戚】内田孫市氏 母里方、府下下練馬村。

高 梨 林 治氏

明治十六年五月十五日生

【營業】風呂敷手拭卸商

【營業所】東京市日本橋區新材木町十五番地 電話(浪花五五)

【住 所】同 所

【本籍地】千葉縣安房郡鴨川町前原二百二十番地

【略歴】氏は千葉縣鴨川町中西榮治氏の三男にて後親戚たる高梨家を相續す十三歳にして上京し同郷出身者たる日本橋區堀留町綿布卸商石井伊兵衛商店に入り、勤続十九年良く苦節に耐ゆ、大正二年十月下谷區二長町に獨立以來確固たる信條の下に奮闘を重ね日本橋區元柳町及大傳馬町を経て現所に進出するに至れり高梨家は氏を以つて十六代とする舊家にて累代郷里に在りて紺屋たりしが先代頃に全く廢業するに至れり氏は堅實なる性格者にて身心磨練の意味にて毎年木曾御嶽山へ登山參拜するを例とす現下店員八名を使用し居れり。

【宗教】日蓮宗 【所得税】七〇圓

【營業收益税】七五圓

【家庭】妻屋す女 千葉縣小湊町水上常松氏三女、明治二十七年八月生。長男隼吉氏 大正四年九月生、京橋商業學校四年在學。二男死亡。三男泰治氏 大正十五年三月生。

【主なる親戚】生家中西利弘氏 千葉縣鴨川町履物商。妻女實家水上常松氏 千葉縣小湊町吳服太物小賣。義兄西宮悅太郎氏 東京市日本橋區馬喰町三丁目小間物問屋。

高杉吉之助氏

明治二十年八月十二日生

【營業】羅紗既製品卸

【營業所】東京市神田區岩本町六番地 電話(浪花三〇)

【住 所】同 所

【本籍地】同 所

〔た〕

【略歴】氏は東京府豊多摩郡和田堀村戸主高杉卯之助氏實弟にして明治四十五年七月九日分家戸主となる。明治三十四年十四歳の頃神田區岩本町五番地羅紗既製品卸業島村助七商店に奉公し、二十八歳にして主家没落と同時に退店、大正四年四月淺草區元柳原町に獨立し、其後神田區東松下町に轉じた

るが大正九年三轉して現所に移れり、現在約十名の店員を使用し熱心經營に當りつゝあり、温厚篤實なる紳士なり。

【趣味】旅行、釣魚 【宗教】眞宗

【家庭】妻女トク女 明治二十八年三月十七日生、東京市本所區吾妻町二丁目戸主十八日鶴藏氏實妹、趣味常盤津、琴、生花、二男時雄氏 大正六年一月二十九日生、東京府立第一商業二年在學。二女芳子 大正十年十月二日生、東京市立和泉小學三年在學。三男勳氏 大正十三年四月十四日生。四男武氏 大正十五年十月十八日生。三女和子女 昭和三年十一月十五日生。實弟彌太郎氏 明治四十年四月十五日生、横須賀鎮守府所屬水兵、目下支那上海陸戰隊從屬中。

【主なる親戚】實弟高杉菊次郎氏 淺草區永住町、材木商。義兄佐藤金藏氏 神田區多町、古着市場理事、衣類問屋。義兄三村清三郎氏 赤坂區青山南町六丁目二十六番地。實兄高杉卯之助氏 東京府豊多摩郡和田堀村。義兄十八日鶴藏氏 本所區吾妻町二丁目三十三番地、金物及製車業。

高瀬榮太郎氏

明治二十八年三月一日生

【營業】 中形裏地加工卸

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町二十四番地 電話(浪花西三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 栃木縣安蘇郡田沼町大字戸奈良六百十五番地

【略歴】 氏は亡高瀬忠藏氏の四男に生る明治四十二年上京岡正合資會社に奉公し勤続多年よく業務に精勵して支配人となり主家に盡す所尠ならずしが昭和二年三月退店當初浪花町に於て獨立本業を開始す爾來順調に經過せるより昭和五年春現所に移轉せり。

【趣味】 釣魚 【宗教】 禪宗 【所得税】 三四圓

【家庭】 妻はな女 明治三十五年十二月二十日生大妻高女出身。長男昌三氏 昭和三年四月二十五日生。兄芳次郎氏 明治二十年四月十四日生本籍の戸主にしてもと荒庄商店に勤務し目下實弟榮太郎氏を補佐しあり。母ミワ女 嘉永五年二月三十日生。姪カツ女 大正七年一月十三日生芳次郎氏長女。姪マサ女 大正九年二月二十九日生同二女。姉チヨ女 明治十一年六月十二日生。

【主なる親戚】 京橋區本八丁堀五丁目一綿火藥原料商株式會社齋藤商店常務取締役齋藤兼吉氏 妻女里方。

立花百之助氏

元治元年一月八日生

【營業又】 毛織物既製品卸商合名會社立百商店代表社員

【營業所又】 東京市神田區東龍岡町十九番地 電話(浪花西三)

【住 所】 埼玉縣南埼玉郡川通村字大戸

【本籍地】 東京市神田區東龍岡町十九番地

【略歴】 氏は先代伊兵衛氏の三男なり、日本橋區久松町に生れ帝國大學豫備門を卒業後明治卅年現所に於て古着商を獨立創業し明治三十五年毛織物既製品卸商に轉じ爾來刻苦精勵したれば業容漸次伸展し大正十一年合名會社を組織するや代表社員となり業礎全く確立して商號立百商店と稱し名實共に斯界に於ける重鎮と目されるに至る、資性濃厚篤實にして敬神崇佛の念厚く稀に見る人格者と知られ居れり。

【趣味】 謠曲、盆栽 【宗教】 眞宗

【所得税】 二二二圓 【營業收益税】 會社名儀二八圓

【地租】 一四五圓

【家庭】 妻たか女 明治五年七月四日生、神田區岩本町五吳

服商鯉江善吉氏長女。長男光春氏 明治四十四年四月七日生京華商業卒業後大阪市東區淡路町毛織物卸商岸商店に斯業見習中。二男正司氏 大正二年五月三十一日生、埼玉縣粕壁中學在學中。

【主なる親戚】 立花重次郎氏 毛織物既製品卸商神田區東龍岡町二。立花隆藏氏 會社員、東京府下大森町新井宿木原山【主なる出身者】 北澤元吉氏 毛織物既製品商、神田區豊島町、神保金次郎氏 同、北海道小樽市色内町。鈴木市太郎氏 同、淺草區阿部川町。

立花重次郎氏

明治十八年十一月十日生

【營業又】 毛織物既製品卸株式會社立花商店取締役社長

【營業所又】 東京市神田區岩本町六番地 電話(浪花西三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代重次郎氏の長男にして日本橋區千代田小學校高等科卒業後生家に在りて父業を見習ひ大正三年一月父重次郎氏死亡に因り幼名鉄之助を改め相續襲名せり、次で大正九年二月一族を以つて株式組織に變更し之が社長として今日

に至る。店舗の創業は先代重次郎氏に始まり夙に地盤を地方とせるものにて歴史古く且つ店勢資産共に斯業界一流の權威店たるは一般周知の處なり、氏は温健なる風格を備へ店業にありて克く其の統率を全うし紳商としての面目躍如たるものあり。

【宗教】 日蓮宗

【家庭】 實母うた女 文久三年四月生市内小石川區鴛籠町町田紋次郎氏叔母。妻つ彌女 明治二十六年七月生市内神田區須田町山崎利助氏二女。長女玉枝女 大正四年六月生佛英和高等女學校三年在學。長男英夫氏 大正六年十月九日生曉星中學一年在學。三女満里子女 昭和三年二月二十日生。

【主なる親戚】 叔父立花百之助氏 神田區東龍岡町羅紗既製品卸商。妻女實家山崎啓之助氏 本郷區湯島天神町雜貨貿易商。實弟立花實氏 立花商店專務取締役。

【主なる出身者】 大谷徳太郎氏 神田區東松下町吳服商。天野良之助氏 濱松市菅原羅紗既製品小賣。古松銀造氏 前橋市、羅紗既製品卸商。

立花 實氏

明治二十一年三月二十九日生

【職業名】 毛織物既製品卸商株式会社立花商店専務取締役

【職務先】 東京市神田區岩本町六番地 電話(浪花)二九・三〇四

【住 所】 東京市神田區駿河臺北甲賀町十三番地電話(神田)三〇四

【本籍地】 東京市神田區中猿樂町十七番地

【略歴】 氏は先代立花重次郎氏の二男として生れ京華商業學校卒業後高島屋飯田株式会社横濱支店に勤めしことあり後輔重兵第一大隊へ一年志願兵にて入營退役後生家に在りて父業を授け大正九年組織を株式會社に改むると共に之が専務取締役として仕入方面一切を擔當しつゝ現在に至れり氏は濃厚なる中に商手腕に富み實兄重次郎氏と共に良く店業の面目を維持し居るものなり、大正九年四月分家す。

【宗教】 日蓮宗 【所得稅】 一四八圓

【家庭】 妻女ひで子女 明治二十九年九月生下谷區西黒門町野本玉吉氏長女。長男淳男氏 大正三年二月生慶應大學法科豫科一年在學。二男二郎氏 大正五年一月生京華商業學校二年生在學。三男三郎氏 大正七年十一月生女子高等師範附屬小學校六年生在學。長女惠美子女 大正十一年一月生女子高等師

範附屬小學校三年在學。

【主なる親戚】 實兄立花重次郎氏 神田區岩本町立花商店取締役社長。叔父立花百之助氏 神田區東龍閑町羅紗既製品卸商。妻女實家野本玉吉氏 下谷區西黒門町書籍商。

【主なる出身者】 實兄立花重次郎氏參照。

立花 茂治氏

明治二十三年七月二十二日生

【職業】 婦人子供服製造卸商

【職務先】 東京市神田區岩本町二番地 電話(浪花)六三〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市神田區豐島町三十六番地

【略歴】 氏は東京市京橋區南小田原町四丁目五番地千谷金兵衛氏の三男に生れ大正十五年一月立花百之助氏の長女千代女の婿養子として入籍し合名會社立百商店に幹部として務め居りしが昭和二年に至り圓滿諒解の上神田區柳原町二九番地に斯業を以つて獨立し昭和六年三月現所に進出し來れり氏は性極めて溫和なる中にも理性に富み商手腕に長じ斯業者間に於て最も其の將來の期待され居るものなり。

【宗教】 眞言宗

【家庭】 妻千代女 明治二十五年三月十五日生。長男毅一郎氏 昭和三年五月十日生。

【主なる親戚】 妻女實家立花百之助氏 神田區東龍閑町一九合名會社立百商店主。

立花 兼甫氏

明治二十六年五月十八日生

【職業名】 毛織物既製品卸商合名會社立百商店代表社員

【職務先】 東京市神田區東龍閑町十九番地 電話(浪花)六三〇

【住 所】 東京市神田區豐島町三十六番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代善太郎氏の二男なり、群馬縣碓氷郡大竹村に生れ十三歳の時上京して神田區東龍閑町十九番地毛織物既製品卸商立花百之助商店に入り恪勤中天分の商才は懇望せられて三女キヨ女の養子となり分家創立す、爾來擔當者として縦横の手腕を振ひ時代の進運に伴ひ子供服加工卸を開始日夜奮勵努力し克く立百商店の名を辱めず逐年隆盛に向ひつつあるは氏の奮闘に依る處亦大なりと評せらる。

【趣味】 釣魚、旅行 【宗教】 眞宗 【所得稅】 八二圓

【家庭】 妻キヨ女 明治三十二年九月十日生、神田區東龍閑

町一九毛織物既製品卸立花百之助氏の三女に生れ一ツ橋高等女學校卒業長唄に堪能なり。

【主なる親戚】 宮下秀吉氏 畫家、東京府下長崎町北洗四八九。久米辰五郎氏 農、埼玉縣飯能町。

武神 清吉氏

明治十八年七月十三日生

【職業名】 毛織物卸商合資會社武神商店代表社員

【職務先】 東京市神田區岩本町八番地 電話(浪花)七〇〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代榮吉氏の長男に生れ十五歳にして市内芝區丸山羅紗店に奉公せしが十九歳の折病氣を以つて退店せり爾來生家に在りて父業を繼ぎ既製品卸商より羅紗卸商に進出し好況時代には資本金百萬圓の株式組織を以て其の業容を全國に張り資産業勢共に同業間に重きをなしたり、されども大正九年の恐慌續いて十二年震災によりて受けたる損害甚大なるものありて店業の縮少を止むなくせられ茲に現組織を以つて之が代表社員として今日に至る。大阪市東區淡路町の支店は實弟潤造氏に擔當せしめ全店員尙二十五名を擁し居れり。

〔た〕

【趣味】 園芸、繪、讀書、易學、その他 【宗教】 天理教
【家庭】 妻女要女 明治二十一年七月生、府下西巢鴨町宮仲
神定忠兵衛氏長女。長男秀雄氏 明治四十年九月生京都帝大
法科二年在學。二男輝夫氏 曉星中學校卒業目下家庭に在。
三男三郎氏 大正二年二月生第一高等學校文科一年在學。養
女園子女 大正十年三月生(實父芝區露月町村田彌助氏)千櫻
小學校在學。

【主なる親戚】 從兄鈴木徳次郎氏 神田區黒門町羅紗既製品
卸商。義弟鈴木仙吉氏 京橋區木挽町料理店萬安主。妻女實
父神定忠兵衛氏 府下西巢鴨町宮仲元質屋業。

【主なる出身者】 本間安藏氏。會田勝亮氏。福田要藏氏。高
木幸藏氏。桑原定次氏。福島謙藏氏。村田彌助氏。金安榮之
助氏。早部保司氏。何れも市内に在りて羅紗切賣商及至潰商
たり。

武井榮一氏

明治二十九年三月十二日生

【營業又
は職名】 蚊帳及細綿卸商武井東京店擔當者
【營業所】 東京市日本橋區通油町二十一番地 電話(浪花三五)

【住 所】 同 所

【本籍地】 愛知縣名古屋市西區御幸本町通り六丁目十五番地

【略歴】 氏は本籍地に於て實父泉三郎氏の長男として生れ名
古屋市立商業學校中途退學の上京都市美濃利商店に入店せり
而して兵役の際退店し名古屋騎兵第三聯隊に入り現時後備騎
兵伍長勤務上等兵たり、除隊後は生家に在りて父業に依りて
修業を積み大正十三年四月東京に支店を設立し漸次隆盛とな
るに及び氏は擔當者として上京し如才無き手腕を振ひ益々業
容進展するところあり、同店は名古屋店市御幸本町通りに本
店を有し大阪市東區瓦町にも支店を設置しあるものにして本
店は氏の實父泉三郎氏主掌し大阪店は氏の實弟三三氏擔當し
居りて三店共に東西のデパートを主なる得意として活躍しつ
ゝあるものなり。

【趣味】 謠 【宗教】 禪宗 【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 實父泉三郎氏 明治五年五月生。養母ゆう女 泉三
郎氏の後妻にして明治十八年三月生。實弟三三氏 明治四十
年二月二十一日生愛知商業出身大阪店擔當者。實妹信子女 大
正二年十月生名古屋女子商業卒業後本籍地に在り。實弟五
郎氏 大正七年六月生愛知商業在學中。妻女利恵女 明治三
十六年三月生名古屋第一高女卒業。長女英子女 大正十五年

二月生。二女茂子女 昭和三年十二月生。長男淳一氏 昭和
五年七月生。

【主なる親戚】 亡母實家立木勇二氏 榮一氏の實弟にして立
木家を相続し目下大阪店を補佐しつゝあり。實弟武井直四郎
氏 兵事關係に依り昭和五年分家し目下大阪店に在り。養母
實家浦山小兵衛氏 名古屋市西區六句町家具問屋。妻女實家
鈴木藤十郎氏 名古屋市西區下長者町綿布買繼問屋。實妹辰
子女縁先和田光次郎氏 岐阜縣羽島郡笠松町厨糸問屋。

【主なる出身者】 武井誠一郎氏 名古屋市中區東武平町蚊帳雜
貨卸商。伊藤信義氏 名古屋市中區東田町雜貨小賣。池田幸
七氏 名古屋市中區杉野町蚊帳雜貨卸商。

武田安司氏

明治二十四年九月八日生

【營 業】 綿布生地卸商
【營業所】 東京市日本橋區富澤町二十五番地電話(浪花四〇・三三三)
【住 所】 同 所
【本籍地】 愛知縣海部郡神守村字百島二十二番戸

【略歴】 氏は愛知縣海部郡神守村武田龜太郎氏の三男にして
前名を門太郎通稱を安司氏と稱せるものなるが昭和六年四月
六日認可を得て通稱安司を本名となせり、氏は年少時より名

古屋兼松商店に奉公し大正九年九月同店東京支店主任となり
大正十一年迄關東地盤の開拓に努めたるが同年本店に還り翌
十二年一月圓滿退店の後上京區内和泉町に獨立開業し後現所
に移れり資性着實機敏にして現容をなすに至れり。

【趣味】 盆栽、茶道 【宗教】 門徒宗

【所得税】 一一五圓 【營業收益税】 五六圓

【家庭】 父龜太郎氏 安政五年一月四日生。妻花子女 明治
卅年五月十一日生。長男賢氏 大正八年三月一日生京華商業
學校生。二女節子女 大正十二年六月十五日生久松小學校通
學。亡長女富子大正九年五月廿二日生は大正十三年拾月五日
病歿。

【主なる親戚】 宮地勝三郎氏 愛知縣海部郡篠田村(父の生
家)。淺野由太郎氏 愛知縣海部郡神守村(亡母の里)。目下部
延三郎氏 妻里方(京都市高倉通松原上る樋の下町)。三輪梅
太郎氏(姉よう女夫)愛知縣海部郡永和田村。

竹内周吉氏

明治三十三年四月十二日生

【營 業】 足袋生地廣幅綿布卸商

〔た〕

【營業所】 東京市日本橋區新材木町東萬河岸四十八號 電話(浪花三六八)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代周吉氏の二男に生れたるが長男早世せしため大正十三年四月先代死亡と共に家督を相続し同時に幼名定七氏を改め襲名せるものなり、氏は小學校卒業後區内鐵砲町野崎金物店に奉公せし事あるも前記の如く實兄の死去に逢ひて歸店せる人にて爾來店業に就き今日に至れるのにて性穩健着實にして商手腕に富み良く先々代來の家名を擴張しつゝあり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 一〇八圓

【營業收益税】 三九圓

【家庭】 繼母勢い女 明治九年四月十四日生。姉琴女 明治三十一年三月十九日生。實弟信吉氏 大正三年一月二十二日生。妻喜代女 明治四十年九月十一日生。長女啓子女 昭和三年四月二十八日生。二女貞子女 昭和五年一月十七日生。

【主なる親戚】 繼母實家金澤兼吉氏 市内神田區三河町三日四。次弟武木利喜造氏 市内神田區三崎町二ノ一七。妻女實家佐藤安次郎氏 市内日本橋區高砂町七。

竹内龍吉氏

明治十四年八月十九日生

【營業所】 京吳服卸商丸竹商店主

【營業所先】 東京市日本橋區通油町二十四番地 電話(浪花三〇二)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣甲賀郡石部町大字西寺六百九十番地

【略歴】 氏は竹内信行氏の三男にして年少の時京都市京吳服商津田常商店に入店し同店が東京支店を設くるに及びて支店支配人として一切を經營し來りたるが其後本店詰となり昭和三年退店して現所に斯業を開始したるものなり營業は京吳服にして市内問屋に供給する外地方前賣店にも賣込む堅實方針の下に進出し居るものとす。

【宗教】 眞宗 【所得税】 一五圓

【營業收益税】 二四圓

【家庭】 妻はや女 明治二十二年七月六日生。滋賀縣栗太郡笠縫村酒釀業奥村角太郎氏の妹なり。長女つや女 大正五年四月二十日生。精華女學校在學。次男英一氏 大正八年五月二十日生。

【主なる親戚】 氏の實弟横濱市東神奈川町富士電氣株式會社會計課長野村綱次郎氏。

竹内藤三氏

明治十九年三月十七日生

【營業所】 中形加工卸商合資會社竹藤商店代表社員

【營業所先】 東京市日本橋區橋町三丁目十四番地 電話(浪花三三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣犬上郡多賀村二百九十八番屋敷

【略歴】 氏は本籍地に於て竹内政吉氏の長男として生れ明治三十四年上京區内田所町木綿金市卸商井川榮吉商店入り格勤多年に及びたるも同四十一年に至り主家廢業する事となりたれば區内高砂町に主家の地盤を繼承して獨立せり爾來幾多曲折ある過去を経て大正十三年來店業組織を合資に改め仲間専門屋として現所に移り今日に至れるものにて氏は性極めて溫健且つ豊富の經驗を有し居れば其の活躍期の當來するを期されつゝあり。

【趣味】 讀書、旅行 【宗教】 眞宗

【家庭】 實父政吉氏 萬延元年正月生。實母千賀女 慶應三年二月生。實弟捨三氏 明治三十四年四月生。實弟榮藏氏 明治二十三年十月生。榮藏氏妻トシ女 明治三十四年七月生。榮藏氏長男政太郎氏 大正十五年三月生。同二男正二郎氏 昭和三年十月生。捨三氏妻滿喜女 明治三十六年九月生。以上八名群馬縣下仁田町に於て吳服太物小賣商を營む。實弟正一良氏 明治二十三年一月生。同妻はる女 明治二十九年二月生。同長女なつ子女 大正九年七月生。同二女節子女 大正十二年一月生。同三女みどり女 大正十四年五月生。同四女ひで子女 昭和二年九月生。同長男正夫氏 昭和四年一月生。以上七名は正一良氏滋賀縣八幡商業學校教諭に付き其の地に在り。

藤三氏妻金女 明治二十五年十月生。同長男藤太郎氏 大正二年四月生。專修商業學校卒業後稻源商店に入店せり同二男重信氏 中央商業四年退學目下南洋渡航の目的にて家庭に在り。

【主なる親戚】 母千賀女實家蒲山幾松氏 東京市赤坂區溜池葉子商。叔母つる女縁先加久馬岩次郎氏 大阪市堂島綿花商妹千代女縁先山口康太郎氏 東京市日本橋區堀留町前川太郎兵衛商店支配人。藤三氏妻金女實家戸所さだ女 滋賀縣犬上郡彦根町無職。正一良氏妻はる女實家市田傳吉氏 滋賀縣神崎郡旭村農業。榮藏氏妻トシ女實家宮川あい女 久原房之助

〔九〕

庭女中頭。捨藏氏妻滿喜女實家細川金一郎氏。滋賀縣瀬田町氏書藉商。

【主なる出身者】郡司叶氏。東京市日本橋區村松町綿布金巾ブローカー。

竹山文吉氏

明治十四年十二月二十二日生

【營業名】毛斯綸、銘仙小賣竹屋モスリン店主
【營業所】東京市四谷區新宿三丁目十番地 電話(四谷モスリン) 電話(銀座四谷) 電話(小石川五反田) 電話(小石川五反田) 電話(小石川五反田)
【住 所】東京市本郷區東片町一丁目
【本籍地】同 所

【略歴】氏は新潟縣南蒲原郡坂井村大字三林甲五十一番地亡竹山富五郎氏の四男なり幼時北海道札幌丸井今井吳服店に奉公し後同店が株式會社に組織を變更するや同店支配人となり其後同店卸部を獨立株式會社藤武良商店の設立せらるゝや其専務取締役に擧げられたるが昭和二年五月退社し毛斯綸銘仙類の小賣業を開始す逐次豫期の成績を脩め來れり資性機敏着實をもつて知らる。

【趣味】將棋 【宗教】淨土眞宗

【所得稅】九二九圓 【營業收益稅】三三六圓

【家庭】妻トシ女。明治二十一年十月十五日生新潟縣三條町五十嵐佐佐衛門長女。二女文子女。明治四十四年十一月廿八日生。長男直一氏。大正六年二月二十三日生、府立第五中學通學中。四女芳子女。大正八年七月十八日生小學校通學中。

二男博二氏。大正十二年六月三十日生。三男光三氏。昭和二年十月九日生。三女千代子女。大正三年八月七日生。

【主なる親戚】竹山竹四郎氏(新潟縣南蒲原郡坂井村大字三林甲五十一番)實兄。五十嵐佐佐衛門氏(新潟縣三條町日吉町七一)岳父。

竹中慧音氏

明治十六年十月五日生

【營業名】毛斯綸小賣巴屋モスリン店主
【營業所】東京市四谷區傳馬町三丁目二十五番地電話(四谷三三六) 電話(四谷三三六) 電話(四谷三三六)
【住 所】同 所
【本籍地】滋賀縣犬上郡彦根町大字連着三十番地

【略歴】氏は江州彦根町法縁寺住職亡竹中慧門氏の三男に生る年少時北海道に渡り今井吳服店函館店に奉公し勤続十餘年にして無事退店大正二年上京現所に獨立せるものなり爾來順調に推移し經營今日に及ぶ。

【所得稅】一四六圓 【營業收益稅】一一二圓

【家庭】妻植子女。明治二十九年十二月二十六日生。長男久男氏。大正五年三月二十七日生。二男惠二氏。大正七年七月二十二日生。三男三良氏。大正十年三月三十一日生。四男宏氏。大正十三年一月一日生。五男孝氏。大正十五年三月十四日生。六男隆良氏。昭和三年六月二十三日生。
【主なる親戚】市内牛込區山吹町二七五巴屋モスリン店主竹中捨丸氏。實弟。静岡縣沼津町野澤俊次郎氏。妻女實父。

竹中捨丸氏

明治二十二年八月十六日生

【營業名】毛斯綸小賣巴屋モスリン店主
【營業所】東京市牛込區山吹町二百七十五番地 電話(牛込四三六) 電話(牛込四三六) 電話(牛込四三六)
【住 所】同 所
【本籍地】滋賀縣犬上郡彦根町連着三十番地

【略歴】氏は滋賀縣彦根町法縁寺住職亡慧門氏の五男に生れ次兄慧音氏が函館今井吳服店に勤務せし居りしを以て其縁故にて同店に十餘年間奉公し大正六年圓滿退店の上當時四谷にて開店中の實兄の店務を補佐し居りしが大正十二年五月現所に獨立開業せり、同町及び看町、市外龜戸町に支店を設け順

調に經過し來れるものなり。尙氏は大正十五年先妻の病歿に遭ひ昭和四年現妻女を迎へしものなり。

【所得稅】八一圓 【營業收益稅】九〇圓

【家庭】妻敦子女。明治四十二年十一月五日生。長女壽子女。大正十二年九月六日生。二女壽々子女。大正十五年八月十一日生。三女スミ子女。昭和四年二月二十七日生。

【主なる親戚】市内四谷區傳馬町三丁目二五モスリンセル小賣商巴屋竹中慧音氏。實兄。札幌市北三條西三十三丁目三野澤愛親氏。妻女實兄。

竹中菊次郎氏

明治三十二年一月二十五日生

【營業名】吳服太物小賣商竹屋吳服店主
【營業所】東京市赤坂區青山南町三丁目四十九番地 電話(青山二六〇) 電話(青山二六〇) 電話(青山二六〇)
【住 所】同 所
【本籍地】同 所

【略歴】同氏は埼玉縣出身にして曾て神戸稅關輸出課に勤務せる事ありしも後四谷武藏屋に入りて斯業を見習ひ同業を營む先代菊次郎氏に見込まれて養子となり大正十一年先代隱居するや本名哲男を更め相續營業を繼承するに至れり爾來大過

〔九〕

なく經營し今日に及ぶ。

【營業收益稅】 八四圓

【家庭】 養父音壽氏(前名菊次郎)嘉永四年一月十一日生。妻美女。明治三十九年九月二十三日生。長男邦男氏。大正十二年七月二十日生。長女榮美子女。昭和四年一月二十七日生。義姉鶴女。明治十八年五月二十九日生。竹中善吉氏未亡人。姪延子女。大正二年一月二日生。同治子女。大正四年三月二十五日生。同貞子女。大正五年七月十二日生。

【主なる親戚】 埼玉縣南埼玉郡菖蒲町池畑一從氏。叔父。

竹中延次郎氏

明治二十七年九月三十日生

【營業】 半襟小物卸商

【營業所】 東京市日本橋區彌生町六番地 電話(浪花五〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 群馬縣前橋市天川町九百十五番地

【略歴】 氏は時次郎氏の二男として本籍地に生る土地の小學校卒業後上京し區内長谷川町半襟問屋金川屋湯澤商店に入り約十ヶ年修業の上大正十三年間滿退店して區内潜町に獨立せり震災後氏は一時小物製造方面に關與せるため實弟舛三氏に

營業一切を擔當せしめたる事ありしも近來再び店業に戻り熱心經營を續け居れり。

【家庭】 實父時次郎氏。慶應元年十月生。母りう女。明治六年十二月生。實兄勝太郎氏。明治二十六年四月生。實弟舛三氏。明治三十四年二月生。同善四郎氏。明治四十年八月生。實妹サク女。明治四十三年十月生。同蝶子女。大正五年二月生。勝太郎氏長男辰藏氏。大正五年八月生。同長女靜江女。大正八年三月生。同二女澄子女。大正十一年十一月生。同三女幸子女。大正十四年九月生。舛三氏妻はま女。明治四十四年五月生。以上本籍地にありて菓子商を營む。妻ハル女。明治三十二年三月生。

【主なる親戚】 實母實家齋藤松太郎氏。埼玉縣兒玉郡本庄町生。生糸商。妹さく女。縁先安藤三義氏。前橋裁判所監督書記。妹むめ女。縁先岩上光次氏。淀橋警察署高等係勤務巡査。

谷岡鐵藏氏

明治十七年十二月十六日生

【營業】 毛斯輪卸

【營業所】 東京市日本橋區通油町十五番地 電話(浪花五二)

【住所】 同 所

谷泰助氏

明治二十二年十一月四日生

【營業】 吳服太物小賣商

【營業所】 府下南葛飾郡龜戸町一丁目四十八 電話(隅田三六)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は栃木縣安蘇郡佐野町士族谷與吉氏の長男として生る十五歳の時上京して日本橋區長谷川町織物問屋熊井商店(現存せず)に奉公し忠勤怠らず店主の信任厚かりしが明治四十三年兵役の爲め退店し大正元年除隊して獨立行商を始め具に辛酸を嘗む遂に大正六年現所に斯業を開店し好況に恵まれて大いに業績を收め震災後大正十三年日本橋に進出して問屋を兼營せしことあり現時江東方面に於ける最有力小賣商として店員十九名を使用し業容旺なり氏は性機敏にして商才あり自ら店員に伍し更に伸展を期し居れり。

【趣味】 大弓 【宗教】 時宗

【所得稅】 七三二圓 【營業收益稅】 二五二圓

【地租】 五圓

【家庭】 繼母ハル女。明治二年一月四日生。群馬縣邑樂郡谷田村岡部文吉妹。母そよ女。明治二十一年五月十七日生。南葛飾

〔九〕

【本籍地】 東京市神田區松枝町十番地

【略歴】 氏は大阪市東區寶來橋に生れ十二歳の頃上京し本所區向島須崎町毛斯輪加工業谷岡兼藏氏方に奉公、後望まれて大正三年一月兼藏氏の養女竝子女の婿養子となり。更に大正十一年三月分家せり、營業は大正四年神田區松枝町に獨立開業し昭和五年に至り現所に移轉す。

【趣味】 將棋 【宗教】 天理教

【營業收益稅】 八四圓

【家庭】 妻竝子女。明治二十四年九月二十日生。谷岡兼藏氏養女。長男正藏氏。大正三年九月十八日生。市立第二中學在學中。二男喜久藏氏。大正七年八月十二日生。成溪中學在學中。三男悌三氏。大正十年五月十一日生。長女美枝子女。大正十四年四月三十日生。

【主なる親戚】 千縣市川町谷岡兼藏氏。養父。兵庫縣川邊郡小田村忌部松藏氏。實家。芝區高輪南町森廣藏氏(安田銀行副頭取)。妻女叔父。

〔六〕

郡小松川町島村和助妹。長女喜美子女。大正三年五月二十三日生。千葉縣市川高女在學。長男一氏。大正五年三月三十日生。保全商業在學。弟平三郎氏。明治三十年九月十七日生。三男三郎氏。大正九年八月一日生。二女竹子女。大正十一年二月十六日生。四男史郎氏。大正十三年三月十四日生。平三郎氏妻はつ女。明治三十七年五月十八日生。南葛飾郡大島町田中平吉氏長女。平三郎氏長男昌雄氏。大正十四年二月二十八日生。平三郎氏長女和子女。昭和二年四月二十八日生。四女鶴子女。昭和三年九月二十八日生。平三郎氏二男清氏。昭和五年六月二十七日生。五女重子女。昭和五年九月五日生。

【主なる親戚】 叔父矢部八重吉氏。府下大井町。同矢部幸四郎氏。

丹下 徳治郎氏

文久三年十二月十四日生

【職業】 染吳服西陣織物卸島津商店擔當者
 【職名】 東京市日本橋區通油町十七番地 電話(浪花三三六)
 【營業所】 東京市日本橋區堀留町二丁目十九番地電話(浪花三三六)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 滋賀縣犬上郡彦根町大字本五十七番屋敷

【略歴】 氏は本籍地に於て丹下清治氏の二男として生れ少年時親類筋に當る丹下半兵衛氏の養子となる人なり而して夙に同地吳服商島津吉兵衛氏に仕へ後年埼玉縣熊谷支店詰となりたるが明治三十三年主家廢業せしに依り氏は同店を讓受け獨立經營する事となり逐年進展し昭和二年に至り熊谷店を切揚げ本店に進出せしものなり氏は性温篤にして自ら第一線に立たざるも婿養子宇吉氏の補佐宜しきを得専心業容の進展に努力しつつあり。

【趣味】 書畫 【宗教】 眞宗
 【家庭】 妻女いや女。明治五年三月二十九日生。娘靜女。明治二十八年一月十五日生。婿養子宇吉氏。明治二十八年九月一日生。孫誠一氏。大正十四年一月一日生。孫貞治氏。昭和六年一月一日生。

【主なる親戚】 妻女實家清水音次郎氏。奈良縣式上郡柳本村農業。養子宇吉氏實家大橋善助氏。滋賀縣神崎郡南五個莊村農業。

立川 利平氏

元治元年十月八日生

【營業】 廣幅織物卸商
 【營業所】 東京市日本橋區通油町十七番地 電話(浪花三三六)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 東京市日本橋區小傳馬町二丁目八番地

【略歴】 氏は德島縣美馬郡江原村に生れ二十五歳の折上京し日本橋區濱町に於て本業を開始せしも失敗に歸したるが爲め同區新大阪町辰巳商店に入り修業せり、而して十三年恪勤の後再び獨立せり氏は堅實一方の人にして良く進展し來れるものなるも現時既に老齡に達し居れば營業一切を養子豊氏に擔當せしめ居れり豊氏は區内小舟町久保田商店出身にして機敏且熱心に従事しつゝあり。

【宗教】 眞言宗 【所得税】 (豊名義)六四圓
 【營業收益税】 (豊名義)一三圓
 【家庭】 妻ふく女。文久元年一月十六日生。長女きん女。明治二十六年九月二十八日生。二女たつ女。明治三十三年八月二日生。二女婿養子豊氏。明治三十一年十一月三十日生。

【主なる親戚】 豊氏實家。岩崎元治氏神奈川縣愛甲郡依知村農業。

多賀 權藏氏

明治二十四年九月二十九日生

【營業】 半襟小物卸
 【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町一丁目三十番地 電話(浪花三三七)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京都府與謝郡三河内村亡安田利右衛門氏の三男にして年少の頃より阪根清京都店に奉公し其の在店中大正三年四月多賀利一氏に望まれて同氏養女満さ江女の婿養子となり養父の家業を繼承して今日に及ぶ。

【家庭】 養父利一郎氏。文久二年四月二十二日生。養母ツユ女。慶應三年二月二十日生。妻満さ江女。明治二十六年十月二十五日生。二男富郎氏。大正五年五月三十日生。長女光子女。大正八年九月二十二日生。

【主なる親戚】 岡本光三郎氏。養母里方。埼玉縣兒玉郡本庄町。安田喜代藏氏。實兄。京都府與謝郡三河内村。

〔九〕

〔た〕

種村源之介氏

明治十八年四月十八日生

【營業所】 中形裏地卸
【營業所】 東京市日本橋區久松町六番地 電話(浪花三六)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣犬上郡河瀬村大字蓮臺寺二十六番屋敷平民種村源藏氏實弟にして明治三十八年四月十日分家戸主となる。年少時上京し日本橋區橋町綿布商布施榮次郎商店に奉公したるが、大正二年主家廢業により地盤を繼承同區藥研堀に現業を開始其後橋町に移轉し大正五年現所に轉じ同九年の暴落及び同十二年の震災等難關に苦難を嘗めつゝも無事に切抜け、大正十五年中隣家の地上權を買収、昭和三年の區整には逸早く店舗の建築をなし經營今日に至れり同店製品は中形裏地共江戸錦繪染の商標を附し染質ともに堅牢との定評あり濃厚なる紳士なり。

【趣味】 謠曲(觀世) 【宗教】 眞宗

【所得税】 七二圓 【營業收益稅】 八四圓

【家庭】 妻きく女 明治二十七年六月二十一日生。東京市深川區西平井町一五〇番地水野廣吉氏長女。長女喜美女 大正

五年一月八日生東京府立第一高女三年在學。二女富美子女 大正九年六月二十日生。長男正太郎氏 大正十一年一月五日生。三女澄子女 大正十二年八月六日生。二男廣治氏 大正十四年九月十九日生。四女和子女 昭和三年二月二十七日生。

【主なる親戚】 義父水野廣吉氏 東京市深川區西平井町一五〇番地海運業。實兄種村千太郎氏 滋賀縣犬上郡河瀬村大字蓮臺寺米穀及肥料商。

その部

曾田一藏氏

明治二十九年十月十九日生

【營業所】 吳服卸小賣合資會社曾田商店代表社員
【職業】 吳服卸小賣合資會社曾田商店代表社員
【營業所先】 東京市神田區東松下町五十五番地 電話(浪花三七五)
【住所】 同 所
【本籍地】 新潟縣刈羽郡柏崎町本町四丁目千二百三十番地ノ二

【略歴】 氏は新潟縣柏崎町曾田新九郎氏の三男にして嘗て亡父が臺灣に吳服商を營み居りし際之に従事し居りたるが後廢業ともに上京本郷區春木町に糶吳服業を開始し昭和三年八月に至りて營業を會社組織に改め代表社員となりて今日に至れり。

【宗教】 禪宗

【家庭】 妻マヌ女 明治三十二年九月十日生。長女幸子女 大正十一年六月三日生(千櫻小學校在學)。長男祐司氏 昭和二年五月二十六日生。二女孝女 昭和五年十一月十二日生。兄共助氏 明治十八年十月二十一日生生家相續。嫂ヨネ女 明治二十二年四月二十五日生共助氏妻。姪博子女 大正三年

八月十三日生共助氏養女。甥金救太氏 大正六年十二月七日生共助氏長男。甥豊二氏 大正十四年二月二十四日生共助氏二男。嫂ネイ女 明治二十八年二月十九日生亡兄自助氏妻。甥康延氏 大正六年四月八日生亡兄自助氏長男。甥健吉氏 大正十五年一月三日生亡兄自助氏三男。

園部四郎氏

明治三十年十二月十一日生

【營業所】 羅紗卸商
【營業所】 東京市日本橋區馬喰町十七番地 電話(浪花三三〇)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は千葉縣八幡町一七六五園部謙吉郎氏の四男として生れ本所區二葉高等小學校卒業後十六歳にて市内日本橋區通旅籠町暮田羅紗店に入り修業多年に及びしが二十七歳の時主家閉店するに至りたれば止む無く同區馬喰町十九番地に獨

〔七〕

立せり爾來奮闘良く進展するを得て震災後現所に移轉せるものなり營業は遣り口極めて消極的なるも堅實一方の店舗なれば創業後喰込みとなりたる事なく年次若干の進展を見せつゝあり。

【趣味】 園芸、芝居 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻たま子女 明治三十七年生。長男一郎氏 大正十四年十二月八日生。二男鎌二氏 昭和三年二月八日生。長女嘉子女 昭和五年六月生。

【主なる親戚】 實家園部謙吉郎氏 千葉縣八幡町一七六五元醫師。長兄園部謙太郎氏 千葉縣八幡町一七六五毛糸ブローカー。次兄園部錦次郎氏 東京市外大塚金物小賣商。妻女實家岩城市太郎氏 東京市日本橋區本石町藥種問屋。妻女叔父石河新次郎氏 東京市日本橋區錢砲町羅紗切賣商。義兄生井伊四三氏 東京市神田區橋本町羅紗卸商。

園田治郎吉氏

安政四年七月十四日生

【營業又
は職名】 半襟服裝品小賣 弘治治商店主

【營業所又
は勤務先】 東京市京橋區銀座七丁目一番地 電話(銀座)二四七

【住 所】 東京市赤坂區一ツ木町八十六番地
【本籍地】 東京市京橋區銀座七丁目一番地

【略歴】 氏は京都市下京區第一組六角猪熊町園田治助氏の三男に生れ長じて大阪市島田八郎左衛門商店に奉公せしが同店の破綻後僅少の資本を以て獨立せり、然るに間もなく失敗閉店し明治二十四年上京芝區琴平町に借家羅吳服を営むに及び漸次進展し明治三十六年に至り現所を買収するに至れり、營業は長男三郎氏名義を以てし現時氏は目下赤坂に隱居し居れり。

【所得稅】 四三四圓 【營業收益稅】 二五二圓

【家庭】 長男三郎助氏 明治十三年四月二十二日生。婦きみ女 明治十九年三月三日生。三郎助氏妻。孫太郎吉氏 明治四十一年十一月三日生。孫治三郎氏 大正五年三月十四日生。孫惠三氏 大正八年三月六日生。孫華子女 大正十二年十二月八日生。孫雄三氏 大正十四年一月二日生。

【主なる親戚】 市内神田區表神保町一伊澤弘芳氏 婦きみ女實家。

曾我良之助氏

明治二十二年二月二十一日生

【營業又
は職名】 吳服太物小賣 曾我屋吳服店主

【營業所又
は勤務先】 東京市本郷區駒込東片町百三番地 電話(小石川)三〇〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は神奈川縣出身にして明治四十年頃上京し深川區常盤町稻元屋吳服店に奉公し同店が本郷區根津八重垣町に支店を設置するに及び同店主として經營の衝に當りしも大正六年六月退店現所に獨立開業し今日に至る。

【所得稅】 一六三圓 【營業收益稅】 一二一圓

【家庭】 妻むめ女 明治二十五年一月二十五日生。長男完次氏 大正五年一月十五日生。二男正二氏 大正六年十一月十五日生。四男邦夫氏 大正九年十一月十日生。

【主なる親戚】 神奈川縣足柄下郡曾我村二一曾我券次郎氏 實兄。茨城縣西茨城郡北山内村八九一兩海虎雄氏 妻女實弟。

〔七〕

塚本定右衛門氏

明治二十年十二月三十日生

【營業又】各種織物屋株式會社塚本商店代表取締役、塚本合名會社代表社員

【住】所 東京市日本橋區伊勢町八番地 電話(日本橋三三二) 滋賀縣神崎郡南五個莊村大字川並五千二百四十番地

【本籍地】同 所

【略歴】氏は先代定右衛門氏長男に生れ業界の最高權威たる塚本宗家の當主なり、大正十四年十二月三十日家督を相続同十五年一月四日幼名定治郎を改め定右衛門を襲名す、滋賀縣八幡商業學校を卒業後直ちに家業に従事現時同店(資本金三百萬圓全拂)の代表取締役として業容の進展並に業界の爲めに努力するところあり濃厚篤實なる紳士なり尙ほ株式會社は少壯の同族重役となり又一面に資本金六百萬圓の合名會社を大正七年同族の長老相寄りて創立し先代定右衛門氏中心たりしが現時は當主此を繼承して又其の代表社員たり。

【趣味】書畫、骨董 【宗教】佛光寺派眞宗

【所得稅】二六、三三九圓

【家庭】實父定治氏 文久元年三月十八日生、大正十五年一月四日前名定右衛門を定治に改名す。妻女三鶴女 明治二十七年六月二日生、滋賀縣蒲生郡馬淵村大字倉橋部村地研三氏三女京都女學卒業、明治四十四年十二月二十七日婚姻入籍。

長男定一郎氏 大正元年九月二十六日生。長女千嘉女 大正三年七月二十四日生。二男眞二氏 大正六年十月一日生。三男繁三氏 大正十二年四月十日生。四男史郎氏 大正十四年九月二十日生。二女房子女 昭和三年九月十六日生。三女登三子女 昭和五年七月二十七日生。

【主なる親戚】塚本源三郎氏 同縣同郡同村同字、塚本合名會社出資社員。塚本長治郎氏 同縣同郡同村、當社取締役。塚本市藏氏 同縣同郡同村同字、當社監查役。塚本清三氏 同縣同郡同村同字當社取締役。塚本信三氏 同縣同郡同村同字、當社取締役。

塚本市藏氏

明治十九年八月二日生

【營業又】株式會社塚本商店監查役、塚本合名會社出資社員

塚本信三氏

明治十九年十二月三十日生

【營業又】東京市日本橋區伊勢町八番地 電話(日本橋三三二) 滋賀縣神崎郡南五個莊村大字川並七千三百三十七番地

【略歴】氏は前戸主塚本市右衛門氏長男にして大正十四年四月十一日家督相続をなす、夙に當店店務に干與しつゝありたるが現次尙ほ監查役として努力しつゝあるものにして徳望家なり。

【趣味】書畫 【宗教】眞宗

【所得稅】四、七一五圓

【家庭】父市右衛門氏 安政五年九月十五日生、大正十四年四月十一日隱居。母とみ女 元治元年八月十五日生、滋賀縣人亡村田武右衛門氏二女、明治十四年十一月十五日婚姻入籍妻女ひさ女 明治二十六年九月二日生、滋賀縣大津市菱屋町二十一番地徳田定吉氏二女明治四十四年十一月十八日婚姻入籍。長男市太郎氏 大正三年一月二十五日生、二男友次郎氏 大正五年四月二十八日生。長女あい女 大正八年九月二十四日生。三男勇三氏 大正十一年十一月五日生。三女文子女 大正十四年十一月十八日生。

【主なる親戚】塚本定右衛門氏欄參照。

【營業又】株式會社塚本商店取締役 塚本合名會社出資社員

【略歴】氏は前戸主塚本佐兵衛氏二男にして大正五年十二月三十日家督を相続す、株式會社塚本商店取締役なるが資性濃厚にして同店の業容進展に盡すところ尠からず。

【趣味】謠 【宗教】眞宗 【所得稅】四、七八二圓

【家庭】實母ちよ女 慶應元年一月二日生、滋賀縣人亡川島茂兵衛氏長女、明治十九年二月二十七日婚姻入籍。長女千津女 大正五年一月十三日生。妻女千代女 明治三十二年十二月四日生、滋賀縣栗太郡山田村大字南山田百十番屋敷堀井政之助氏長女。三女銚子女 大正十一年九月六日生。長男信一氏 大正十四年八月四日生。

【主なる親戚】義弟川島茂一郎氏 滋賀縣神崎郡南五箇莊村大字塚本十七番屋敷。實弟豊吉氏 同縣同郡同村川並二五〇塚本佐兵衛氏五男、大正七年十一月二十二日分家。實弟善七

〔2〕 氏 〓京都市上京區小山下總町三七の五、塚本佐兵衛氏六男にして大正十年一月十日分家。義弟小室一夫氏 〓京都府與謝郡岩瀧町字岩瀧一八三、實妹よし女の夫に當る。是の外塚本定右衛門氏欄參照。

塚本清三氏

明治二十六年三月二十二日生

【營業名】 株式會社塚本商店取締役、塚本合名會社出資社員
【職業名】 同上
【營業所先】 東京市日本橋區伊勢町八番地 電話(日本橋三三六)
【住所】 滋賀縣神崎郡南五箇莊村川並六百七十六番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は前戸主糸右衛門氏長男に生れ大正十五年三月二日家督相續をなす嚴父糸右衛門氏は夙に當店柱石として今日の隆盛を致さしめたる人なるが相當老境に入りしを以て隱退するに及び氏は嚴父に代り株式會社塚本商店取締役に就任同店の爲めに努力しつゝあり。

【趣味】 書畫 【宗教】 眞宗 【所得稅】 一、四五七圓

【家庭】 父糸右衛門氏 〓慶應元年一月十一日生。母ますゑ女 〓明治五年八月四日生、同縣人天野定治郎氏長女、明治二十二年六月十四日婚姻入籍。妻女うめ女 〓明治三十五年三月一

日生、京都市下京區松原通東洞院東入本燈籠町一四番地亡安盛常次郎氏長女、大正九年八月三日婚姻入籍。長女喜代子女 〓大正十年十二月一日生。二女ハマ女 〓大正十一年十二月十一日生。長男清氏 〓大正十五年三月十一日生。五女純女 〓昭和五年一月二十五日生。

【主なる親戚】 實弟新吉氏 〓同縣同郡同村同字同番地に現住大正十五年三月二十日父糸右衛門氏と共に分家。實妹千枝女 〓同上。塚本定右衛門氏欄參照。

塚本長治郎氏

明治七年十一月二十一日生

【營業名】 株式會社塚本商店取締役
【職業名】 同上
【營業所先】 東京市日本橋區伊勢町八番地 電話(日本橋三三六)
【住所】 滋賀縣神崎郡南五箇莊村川並百二十六番屋敷
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡南五箇莊村大字川並平民塚本久七氏實弟なるが、明治十六年五月九日亡塚本ます女との養子となり同二十一年九月一日家督相續をなす資性温厚長者の風あり同店の爲めに盡すこと亦大なるものあり。

【趣味】 書畫、骨董 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻女つた女 〓明治二十一年二月二十八日生、滋賀縣神崎郡南五箇莊村大字宮莊八九五高田善兵衛氏妹、明治三十九年三月五日婚姻入籍。長男長三氏 〓明治四十一年七月二日生。二男祐治郎氏 〓明治四十三年七月十六日生。二女きみ女 〓大正三年五月十五日生。

【主なる親戚】 塚本定右衛門氏欄參照。

塚本平吉氏

明治二十五年一月十八日生

【營業名】 綿布卸
【營業所】 東京市日本橋區小舟河岸一三號 電話(浪花二八五)
【住所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣神崎郡南五箇莊村大字川並百十五番地

【略歴】 氏は滋賀縣南五箇莊村塚本權右衛門氏長男に生れ大正五年九月十二日福永はな女と婚姻す、元來同店は維新前時代の開業に係り爾來順調を辿り茨城縣潮來町にも支店を設け父權右衛門氏監督の下に今日に至る。

【所得稅】 一一六圓 【營業收益稅】 九八圓

【家庭】 父權右衛門氏 〓明治二年二月十一日生。母せい女 〓明治七年十月卅日生。妻はな女 〓明治三十二年一月二十三日

生。長女久の女 〓大正七年二月十四日生。二女鈴野女 〓大正九年十一月廿二日生。長男平治郎氏 〓大正十一年八月五日生。二男謹次郎氏 〓大正十四年四月十二日生。三男福三郎氏 〓昭和三年三月十四日生。三男富恵女 〓昭和五年四月十九日生。祖母いく女 〓嘉永元年十一月四日生。弟久三郎氏 〓明治四十年一月二十五日生。弟重吉氏 〓明治四十一年七月二十九日生

【主なる親戚】 滋賀縣坂田郡柏原村松浦久雄氏 〓妹芳子女 〓滋賀縣神崎郡五峰村中村貞次郎氏 〓實弟。市内日本橋區通油町株式會社中井長商店取締役中井德藏氏 〓妹琴女夫。

塚本鉢三郎氏

明治十六年九月二日生

【營業名】 百貨店株式會社松坂屋取締役兼上野店銀座店營業部長
【職業名】 同上
【營業所先】 東京市下谷區上野廣小路一番地 電話(下谷二一〇)
【住所】 東京市本郷區湯島新花町九十三番地電話(小石川三三三)
【本籍地】 名古屋市東區京町二丁目二番地

【略歴】 氏は亡塚本心誠氏の二男にして本籍地塚本峯吉氏の叔父に當り大正三年三月分家して一家を成す同年八月東京市本郷區湯島切通坂町亡川上熊藏氏長女むら女と婚し二男一女

を擧げたるも大正十一年二月同女の死亡により昭和三年三月現妻女と婚姻す、同店上野店及び銀座店の営業部長として名あり性温厚にして内外の徳望を加へつゝあり。

【所得税】 一二四一圓

【家庭】 養子正一氏 大正元年八月一日生。長女榮子女 大正四年一月二十九日生。長男淳氏 大正十年十二月三十一日生。妻すゑの女 明治三十二年六月一日生。二男孝氏 昭和三年四月十一日生。

【主なる親戚】 養子正一氏父山田春男氏 本郷區湯島切通坂町四二。妻兄加藤長二郎氏 愛知縣海部郡津島町向島字居森一八六六。甥塚本峯吉氏 名古屋市東區京町二ノ二〇。

塚本伊三郎氏

明治二十四年一月九日生

【營業】 太物、絹綿交織、セル綿

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町八番地 電話(浪花二五)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡南五個莊村大字川並八百十二番地

【略歴】 氏は滋賀縣人亡塚本伊三郎氏(當店先代)長男にして幼名を秀次郎氏と云ふ、元來當店は約二十三年前先代創業に

係り爾來順調なる進展をなしつゝありたるも、大正十二年十月二十九日病歿するに及び翌十三年一月十四日家督相續をなし、同年十月九日實父伊三郎氏を襲名す、災後一時埼玉縣大宮町に假營業所を設け更に現所に移轉、令弟豊太郎氏と協力經營に従事しつゝあり、滋賀縣八幡商業學校卒業の秀才にして現在使用店員約十四名、勤儉力行の人にして温厚着實なる紳士なり。

【趣味】 謡曲(觀世) 【宗教】 眞宗

【營業收益税】 一四〇圓

【家庭】 妻女はな女 明治三十二年一月七日生、滋賀縣人先代亡塚本伊兵衛氏二女、京都家政高女卒、趣味讀書及び旅行大正六年四月二十日婚姻入籍。實母すき女 慶應元年十一月十四日生、滋賀縣人亡塚本伊一郎氏長女、明治二十三年十月十八日婚姻入籍大正十二年十二月十九日夫伊三郎氏死亡に因り婚姻解消。實弟豊太郎氏 明治二十五年十二月五日生、亡塚本伊三郎氏二男、同店勤務中。同妻女(義妹)なみ女 明治三十三年七月四日生、滋賀縣人波田藤之助氏長女、滋賀縣愛知川高女卒大正十一年五月十六日婚姻入籍。姪子女 塚本豊太郎氏長女、大正十五年九月二十五日生。姪子女 伊三郎氏 昭和三年十月二十一日生、塚本豊太郎氏二女。

【主なる親戚】 從兄高橋政右衛門氏 小石川區白山前町、吳服商。義兄塚本伊兵衛氏 府下蒲田町御園三番地、前織物問屋。中川平七氏 日本橋區彌生町、織物問屋。

塚本彌七郎氏

明治十七年六月二十三日生

【營業】 加工綿布卸 株式會社三惠商店專務取締役

【營業所】 東京市日本橋區元濱町五番地 電話(浪花 六五)

【住 所】 東京市日本橋區濱町三丁目五十五番地

【本籍地】 東京市日本橋區岩代町一番地

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡南五個莊村亡塚本彌平氏四男にして大正三年四月十四日分家を爲し同年十二月三日現妻女と

女と婚姻す、氏は年少より上京し日本橋區富澤町舊篠原商店に奉公し勤続二十八年の久しきに及び後支配人となりて先代歿後主家に盡す所ありしが震災後主家閉店に際し其地盤一切を繼承すると共に十三年四月に開店せるものなり、而して昭和五年四月六日資本金二十萬圓(拂込十二萬圓)の株式會社に組織を更め現在に至る。温厚にして商手腕ある實際家なり。

【宗教】 淨土眞宗 【所得税】 五三圓

【營業收益税】 一三四圓

塚本藤助氏

明治三十一年九月二十日生

【營業】 吳服太物小賣業近江屋吳服店店主

【營業所】 東京市本所區石原町一丁目二番地ノ一 電話(墨田五七)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣犬上郡龜山村大字清崎百十三番地藤村萬彌氏二男に生れ、昭和三年一月卅日塚本善枝女に入夫婚姻をなす、前名を善藏と稱したるも昭和三年四月廿日當店先代藤助名儀を襲名し妻女と協力營業に従事しつゝあり。

【主なる親戚】 滋賀縣神崎郡八幡村大字垣見三十九番地近藤米治郎氏 妻女里方。本所區柳島青木染工場主青木利雄氏。滋賀縣神崎郡南五個莊村塚本勘兵衛氏。

〔2〕

【宗教】 眞宗 【所得税】 六二圓
 【營業收益税】 七〇圓
 【家庭】 妻女善枝女 明治四十二年五月六日生、大正十二年九月一日家督相續、亡塚本藤助氏二女、二男滋男氏 昭和五年十一月七日生。
 【主なる親戚】 實父藤村萬彌氏 滋賀縣犬上郡龜山村大字清崎一三農業。

塚田 頼藏氏

明治六年十一月五日生

【營業】 吳服太物小賣塚田屋吳服店主
 【營業所】 東京市神田區松富町二十六番地 電話(神田五〇六)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 長野縣松本市大字北深志和泉町千十二番イ號地
 【略歴】 氏は長野縣人塚田茂八氏長男に生れ明治四十三年四月九日家督相續をなす、年少時上京し日本橋區本石町所在佐羽商店に奉公し勤続多年に及びたるが明治三十一年十月圓滿退店の上現所に獨立せるものなり。
 【宗教】 眞言宗 【所得税】 二二圓
 【營業收益税】 四四圓 【地租】 二〇圓

【家庭】 妻女はつ多女 明治十年六月十日生、長野縣人倉橋増藏氏長女、明治三十三年十二月八日婚姻入籍、義妹きう女 明治十九年二月二日生、長野縣人内田茂市氏三女、明治三十八年十二月十六日婚姻入籍、姪子女 明治四十年十一月六日生、亡實弟金藏氏長女、甥節三氏 明治四十二年十一月三日生、亡實弟金藏氏長男、三女蝶子女 明治四十四年十一月十九日生、婿養子三郎氏 長野縣人分部文三郎氏實弟、昭和六年一月十七日入籍、三女蝶子女夫、甥茂男氏 明治四十五年五月十八日生、亡實弟金藏氏二男、姪夫妙女 大正三年一月五日生、同金藏氏二女、姉ふし女 明治四年十月二十八日生、四女幾久女 大正三年九月二十四日生、三男穰氏 大正六年十月七日生、五女節女 大正十一年二月十八日生、姪友子女 大正十年六月十八日生、亡實弟金藏氏三女。

【主なる親戚】 義父倉橋増藏氏 長野縣東筑摩郡今井村三〇一農、内田茂市氏 長野縣南安曇郡高家村四三六、農、分部文三郎氏 長野縣松本市大字深志博勞町二二〇、各種織物卸。

辻 義三郎氏

明治二十九年十一月二十日生

【營業】 關東織物並に縫紉 辻新兵衛商店主
 【職業名】 同上
 【營業所】 東京市日本橋區通油町四番地 電話(浪花 三〇)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は群馬縣高崎市紺屋町三十六番地亡中島利兵衛氏二男に生れ大正十一年六月二十日辻新三郎氏養子糸女と婿養子縁組をなす、大正七年度小樽高商出身にして業界の新知識を以て稱せられ實務経験は當家入婿以來の事なるも熱心着實なる氏の性格は養父新三郎氏の監督指導と支配人古關孝一氏の補佐と相俟つて開業約三十年の歴史を有する當店の將來を一層囑望さる而して老主新兵衛氏は今や六十九歳の高齡を以て隠退し目下悠々として餘生を樂しみつゝあり。

【趣味】 謡曲(觀世) 【宗教】 眞宗
 【所得税】 一〇〇圓 【營業收益税】 三一九圓
 【家庭】 養父新三郎氏 明治九年八月二十四日生、埼玉縣入間郡飯能町一三吉田増藏氏三男、明治三十二年十月十八日辻新兵衛氏養子となる。養母つる女 明治十五年五月十三日

生、辻新兵衛氏長女、妻女糸女 明治三十三年十一月十八日生、辻新兵衛氏二女、日本橋高女卒業趣味生花。長男彰一氏 大正十二年六月二十三日生、十思小學校在學。二男康文氏 大正十四年五月六日生。三男弘氏 昭和二年五月二十六日生
 【主なる親戚】 叔父中島仙助氏 高崎市中紺屋町、染絹卸業 同吉田清三郎氏 埼玉縣飯能町一三三、吳服商、實兄中島三郎氏 高崎市中紺屋町三六株式會社岡本洋紙店專務取締役
 【主なる出身者】 モスリン洋反物綿布卸伊藤平三郎氏 日本橋區橋町四丁目三番地、綿布卸大熊丑之助氏(先代) 日本橋區田所町一七。

辻 金之助氏

明治十三年一月九日生

【營業】 木綿金巾卸商
 【營業所】 東京市日本橋區富澤町八番地 電話(浪花 四六)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 東京市日本橋區富澤町二十六番地
 【略歴】 氏は福井縣小濱町亡吉岡嘉兵衛氏の三男にして前名を恒三郎と稱し夙に大阪市吉岡萬次郎商店に修業し二十四歳の時先代金之助氏の養子となり明治三十六年先代隠居に因り

家督を相続し同時に襲名したるものなり營業は先代金之助氏が明治九年の創業に係り滋賀縣神崎郡旭村の出身にして店礎を築ける人なるが當主も亦繼承以來堅實なる經營を進めつゝあり濃厚なる紳士なり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 門徒宗 【所得税】 二一六圓
【營業收益税】 八一圓

【家庭】 妻ゑい女 明治二十二年十一月十一日生。長男啓一氏 明治三十九年九月二十二日生。慶應經濟科出身。二男俊次氏 明治四十一年七月十三日生。府立第一商業出身。四男準造氏 大正二年四月二十九日生。慶應經濟學部在學。五男悟朗氏 大正三年五月十六日生。慶應商工部在學。六男對三氏 大正四年七月三十一日生。

【主なる出身者】 日本橋區通油町風呂敷問屋中村三平氏。同區彌生町糸問屋栗田直太郎氏。同區久松町木綿問屋秋山幸三郎氏。同區大傳馬町風呂敷問屋西川常八氏。

辻末吉氏

明治十年五月五日生

【營業名】 加工綿布卸商山本元三郎商店支配人

【營業所又】 東京市日本橋區長谷川町十番地 電話(浪花番)・二五五・四七九

【住 所】 東京市日本橋區濱町三丁目一番地

【本籍地】 滋賀縣蒲生郡日野町大字上野田千八百八十番地

【略歴】 氏は滋賀縣人亡中榮傳左衛門氏の三男として生る後ち母姓辻を名乗る明治四十一年四月十日分家して一家を創立す幼時上京日本橋區長谷川町加工綿布卸商近元商店の創業當時入店して精勵怠らず前支配人前田米吉氏の後を承けて支配人となる先代の信認厚く先代歿後によく當主を補佐して店舗の經營を全ふしあり着實の手腕家として知らる。

【宗教】 淨土宗 【所得税】 二七四圓

【家庭】 妻とよ女 明治二十一年十月二十六日生。橋本勘太郎氏長女なり。長女富美子女 明治四十三年一月十四日生。日本橋高等女學校卒業。長男一雄氏 大正元年八月十五日生。府立第三中學校卒業。二女光枝女 大正三年十二月二十一日生。府立第三高女通學。二男秀雄氏 大正七年二月十一日生。府立第三中學生。四女美代子女 大正十一年十二月十九日生。濱町小學校通學。三男康平氏 昭和二年十一月二十五日生。四男正孝氏 昭和五年三月十四日生。

【主なる親戚】 辻與三吉氏(江州相續人)。橋本勘太郎氏(寺島町一二八)妻女の生家。辻富藏氏(甥)久松町(中形裏地卸商)

辻富藏氏

明治二十一年七月二十八日生

【營業名】 加工綿布並に生地卸合資會社辻富商店代表社員

【營業所又】 東京市日本橋區久松町十三番地 電話(浪花番)・三三九

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣蒲生郡日野町上野田千八百八十番地

【略歴】 氏は前記本籍地亡戸主辻與三吉氏四男にして永年市内日本橋區長谷川町山清商店に奉公し、大正九年十一月獨立加工綿布並に生地卸業を開始す、而して昭和二年六月資本金參萬圓を以て合資會社辻富商店を設立、氏はその無限代表社員となる努力家にして才氣煥發の人なり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 三四二圓

【家庭】 妻くの女 明治二十七年九月二十七日生。滋賀縣人安井末次郎氏二女、大正九年九月二十四日婚姻入籍。養子忠治氏 昭和二年十二月十一日生。滋賀縣蒲生郡日野町大字上野田一番屋敷辻與三郎氏二男、昭和五年十月三十日養子縁組入籍。

【主なる親戚】 實兄辻與三郎氏 前記本籍地居住、日野信託株式會社取締役社長。叔父辻末吉氏 日本橋區濱町三丁目、

辻靜一氏

明治二十一年三月十七日生

【營業名】 半襟京吳服卸

【營業所】 東京市日本橋區岩代町一番地 電話(浪花番)・

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡北五個莊村大字宮莊三百八十九番地

【略歴】 氏は滋賀縣犬上郡彦根町東新町小林源吉氏甥にして明治二十五年四月五日同縣神崎郡北五個莊村大字宮莊三八九番地亡辻源兵衛氏の養子となる、當初は養家の業たる米穀商に従事せるが二十歳の時上京、日本橋區富澤町京吳服卸商深田與三兵衛商店に入店勤続十四年の後、大正十年四月獨立す濃厚篤實なる紳士にして熱心經營に當りつゝあり。

【趣味】 演劇 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻女そと女 明治三十二年八月十一日生。滋賀縣犬上郡大瀧村大字富之尾五九番屋敷坂上儀平治氏五女、大正八年六月六日婚姻入籍。長女知惠女 大正八年十二月二十四日生。日本橋區久松小學校六年在學。長男忠一氏 大正十年六月二十二日生。同小學四年在學。三女惠美子女 大正十五年六

同區長谷川町中形一〇捺染加工卸近元商店支配人。

(2)

月二十日生。二男孝一氏。昭和三年二月二十日生。四女喜久子女。昭和四年十一月八日生。
【主なる親戚】 義兄坂上儀十郎氏。本所區横網町、酒造業。従兄市橋治三郎氏。日本橋區久松町五、京吳服卸。従兄中川與惣太郎氏。日本橋區橋町二の七、京吳服卸。

堤 辰次郎氏

明治元年十二月二日生

【職業名】 八王子織物買繼並に關東吳服卸堤合名會社代表社員
【營業所又】 東京市日本橋區通旅籠町十一番地 東京支店 電話(浪花三三三) 八王子市八日町八番地(本店) 電話(浪花三三三) 八王子市八日町八十四番地
【住 所】 八王子市八日町八十四番地
【本籍地】 滋賀縣犬上郡豊郷村大字八町二十四番屋敷
【略歴】 氏は滋賀縣犬上郡豊郷村中村巳之吉氏の實弟にして明治十九年十月堤家の先代いよ女の養子となり同時に家督を相続す。明治三十年八王子市に吳服小賣業を開始し大正五年買繼業に轉業したるが同十五年六月に至りて東京市神田區岩本町に東京支店を設置し卸業をも兼業するに至れり。其後昭和三年三月八王子本店東京支店を合併して現合名會社を新設して氏はその代表社員となりしが實務の一切は古參店員諸氏に擔當せしめ自らは實務を退いて餘生を樂しみつゝあるものなり。徳望家として聞ゆ。

【趣味】 書畫骨董 【宗教】 眞宗
【家庭】 妻いと女。明治十年四月六日生。滋賀縣犬上郡豊郷村亡青山新平氏長女。長男滿雄氏。大正七年五月九日生。府立第三商業在學中。

【主なる親戚】 八王子市八日町中村海造氏。同店出資社員。滋賀縣犬上郡豊郷村。青山新平氏。日本橋區田所町八番地。青山合名會社。青山末吉氏。織物問屋。北海道旭川市三條通り。青山與惣吉氏。會社重役。

土屋留次郎氏

明治二十一年十二月二日生

【職業名】 八王子織物買繼並に關東吳服卸株式會社土屋留商店社長
【營業所又】 東京市日本橋區本町四丁目十七番地 東京支店 電話(浪花三三三) 本店 八王子市南町二十七番地 電話(浪花三三三) 八王子市南町二十七番地
【住 所】 八王子市南町二十七番地
【本籍地】 同 所
【略歴】 氏は幼名を勝太郎氏と稱し前戸主亡土屋留次郎氏長男なり、東京府立第二中學卒業後、實地見習の爲め横濱市伊勢佐木町百貨店相模屋に入店約三年を経て退店、直ちに自店

坪田民司氏

明治二十三年十一月十一日生

に復歸し大正四年七月四日令父留次郎氏病歿するに及び先代を襲名家督相續をなす、而して昭和四年一月二十四日資本金百萬圓(全拂)の株式會社を設立、氏は其の取締役社長に就任今日に至る。着實温厚なる紳士にして八王子商工會議所副會頭たりし事あり現に同市所得稅營業收益稅調査委員たり。
【宗教】 眞言宗 【營業收益稅】 一三九圓
【家庭】 母エイ女。明治十二年五月九日生、府下西多摩郡恩方村下恩方一四〇五番地、亡松井又六氏二女、大正三年六月三十日先代と婚姻入籍。妻女クニ女。明治二十二年四月二十日六日生、八王子市大野龜次郎氏二女に生れ同市内大横町三番地田野倉常藏氏養女となり明治四十二年十一月三十日當主留次郎氏と婚姻入籍す、八王子女學校卒。長女ヤス女。大正三年二月二十三日生、八王子女學校在學。妹ヨシ女。大正三年八月二十日生、先代留次郎氏二女、八王子女學校在學中。
【主なる親戚】 實弟土屋宗治氏。八王子市萬町二九、當店取締役。従弟西川敬治氏。八王子市、西川買繼店主。田野倉常藏氏。八王子市大横町三番地無職。大野喜太郎氏。同市明神町五二六、摺糸業。土屋新藏氏。同市八日町五二、當店監査役
【主なる出身者】 機業家小島助次氏。八王子市横山町。絹綿布卸小室榮三郎氏。日本橋區村松町四三。

【營業】 大島紳卸商
【營業所】 東京市日本橋區富澤町二十九番地 電話(浪花三三三)
【住 所】 同 所
【本籍地】 福井縣遠敷郡西津村湊第十五號二十三番地
【略歴】 氏は福井縣遠敷郡西津村湊第十五號二十三番地、酒井藩土坪田脩造氏の三男なり十四歳の時京都市烏丸四條上る織物問屋下忠商店に奉公したるが後ち東京支店詰となり次第に登用せられて後ち吳服部主任となる大正十五年二月退店獨立本業を開始す最初區内高砂町十一番地にありしが昭和三年中現所に轉ず着實力行の人なり。
【趣味】 撞球 【宗教】 法華宗
【家庭】 妻くにゑ女。明治二十九年十二月十一日生。長野縣諏訪郡北山村字芹澤、辰野市之助氏五女。
【主なる親戚】 兄坪田脩吉氏(淀橋町柏木三三三)は京大出の工學士にして現に陸軍技術本部技師たり。

(3)

【な】
な の 部

中島伊平氏

慶應元年九月七日生

【職業又】 生染絹銘仙問屋株式會社中島商店相談役

【職業所又】 東京市日本橋區新村木町七番地 電話(浪花 一七)

【住 所】 東京市小石川區小日向臺町二丁目八番地 電話(小石川 120)

【本籍地】 群馬縣高崎市寄合町二十二番地

【略歴】 氏は埼玉縣人向山小平次氏實弟にして明治二十二年四月九日先代伊平氏の養子となり、同二十四年四月十六日家督を相続同年同月十八日幼名米次郎を改名す、夙に身を實業界に投じ高崎銀行東上鐵道日本セメント加富登麥酒北海道瓦斯日本纖維工業各株式會社重役として知られたりしが現時日清紡績、東神火災保險、北海道瓦斯各株式會社監査役並びに小穴製作所(株式)及び當店相談役たり。

【趣味】 書畫骨董、謠 【宗教】 眞言宗

【所得税】 四八、九四〇圓

【家庭】 妻女むめ女 明治十年四月十九日生養父亡伊平氏長女明治廿四年二月十三日婚姻す。長男雷二氏 大正元年九月

八日生、豊山中學卒、北海瓦斯株式會社社員。

【主なる親戚】 今泉訓男氏 長女貞子女(明治三十九年六月二十二日生) 夫小石川區小日向臺町二の八帝大法科卒出版業堤秀夫氏 神奈川縣逗子町河間、二女仙子女夫、帝大經濟科卒。三菱銀行職員。

中島淳次郎氏

明治十七年三月十七日生

【職業又】 廣幅織物卸合資會社會和商店代表社員

【職業所又】 東京市京橋區銀座三丁目九番地 電話(京橋 六〇)

【住 所】 東京市小石川區表町百九番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は栃木縣安蘇郡犬伏町大字犬伏二九七番地戸主中島喜一郎氏の二男なり明治三十七年二月二十日前戸主中島ユウの養子となる大正九年栃木縣犬伏町より轉籍し來れるものなり夙に銀座會和商店に勤務し、目下其代表社員たり。店業は會和喜一郎氏の創業内外織物商としての個人經營の老舗の營業を基礎とし大正十二年七月資本金五萬圓の合資會社となし熱心經營に努力しあり。

【家庭】 妻コヲ女 明治二十四年二月三日生、長男誠一氏 大正五年頃無事退店して橋町三丁目に斯業を開始し大正九年の恐慌に打撃を蒙り其瘡痍癒えざる内大震災に遭遇したるものにして災後の再起には相當苦心を窺知されしが仕入先の厚意にて兎も角營業再開するを得たるものなり其後橋町一丁目に出で昭和三年現所に移る其間種々なる曲折あれ共仕入先は永年の關係にして氏の人物及内容を知悉し居るより支障なく營業を続け居るものなり。

明治四十五年六月十二日生、長女文子女 大正五年八月十一日生、二男敬二氏 大正十年二月九日生、二女嘉子女 大正十四年八月二十八日生、三女洋子女 昭和六年一月七日生。

【主なる親戚】 中島喜一郎氏(代表者生家)栃木縣犬伏町。山本増藏氏(妻女の里)同縣佐野町。矢島七兵衛氏(養母亡ユウ生家)同縣越名村。

【主なる出身者】 (會和商店として)西田繁次郎氏 東京市淺草區左衛門町廣巾織物商。佐藤清吉氏 同上。廣瀬豊松氏 日本橋區橋町(廣巾織物商)。生田茂氏 (日本橋區藥研堀)廣巾織物商。田名網茂三郎氏 京橋區上禎町(シヨール雜貨卸)。安藤新太郎氏 京橋區五郎兵衛町(ネクタイ商)。桐定次郎氏 芝區兼房町七(裝飾織物商)。

中島伊三良氏

明治十四年三月九日生

【營業】 半襟小物卸商

【營業所】 東京市日本橋區新大阪町七番地 電話(浪花 一七)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡豊原村亡中島助五郎氏の四男に生

れ東京市日本橋區田所町木綿問屋澤井藤助商店に永年奉公し大正五年頃無事退店して橋町三丁目に斯業を開始し大正九年の恐慌に打撃を蒙り其瘡痍癒えざる内大震災に遭遇したるものにして災後の再起には相當苦心を窺知されしが仕入先の厚意にて兎も角營業再開するを得たるものなり其後橋町一丁目に出で昭和三年現所に移る其間種々なる曲折あれ共仕入先は永年の關係にして氏の人物及内容を知悉し居るより支障なく營業を続け居るものなり。

【宗教】 門徒宗

【家庭】 妻とめ女 明治十三年四月十一日生、愛知縣愛知郡東押立村字大澤十八番屋敷亡野村利七氏三女。長女つる女 明治四十二年一月二十八日生にして長女つる女には先年同店々員養子となし居れ共戸籍上手續なし。

【主なる親戚】 氏の長兄中島權左衛門氏は郷里に於て農業を營む。妻女實家も現在兄野村寅藏氏の代にして同じく農業を營む。

〔本〕

中村英太郎氏

明治二十二年十月二十八日生

【職業又】 加工綿布蚊帳疊糸卸中村合名會社代表社員

【は職名】

【營業所又】 東京市日本橋區彌生町四番地 電話(浪花 五三三)

【は勤務先】 滋賀縣神崎郡南五個莊村石馬寺七百二十三番地

【住 所】

同

所

所

【略歴】 氏は中村鹿太郎氏長男にして大正十五年二月二十七日家督を相続す、當店は大保年間の創業に係り、明治二十五年十一月中村合名會社を設立、先代鹿太郎氏代表社員たりしが、大正十五年二月引退するに及びて、氏は其の代表となり今日に及ぶ、東京本店の外に福島市本町に支店(一般織物小賣)を有し之を統轄しつゝあり、滋賀縣立八幡商業學校を卒業す。

【趣味】 觀劇、碁將棋

【宗教】 禪宗

【家庭】 實母つな女 元治元年六月二十一日生、滋賀縣神崎郡和田村四三屋敷中村嘉兵衛氏姉明治十四年五月五日婚姻入籍。妻女惠美女 明治三十年三月十九日生、同縣蒲生郡島村大字丹山五十一番屋敷西川六左衛門氏長女大正四年五月十五日婚姻入籍。長男良太郎氏 大正五年九月二十七日生、滋賀

京し來る事稀なり、氏に目下三男一女あり何れも秀才と稱され眞の子福者なり。

【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻みつ女 明治八年五月二十日生、滋賀縣坂田郡島居本村宇島居本平民高橋邦太郎氏妹。二男吉治氏 明治卅五年一月十一日生慶應義塾出身にして目下三菱銀行本店勤務。三男孝三氏 明治卅八年九月二十四日生、神戸高商出身にして滋賀縣人伊藤長兵衛氏(株式會社丸紅商店社長)と養子縁組目下住友銀行本店勤務。長女桂子女 明治四十三年十二月八日生滋賀縣人若林乙吉氏(伊藤長兵衛氏姻戚)長男新一郎氏に嫁す。四男正雄氏 大正二年九月二十六日生彦根中學校通學中。婦たま女 明治四十年九月二十日生二男吉治氏妻にして滋賀縣人醫師谷鎌次郎氏三女なり。

【主なる親戚】 在江州中村鹿太郎氏。同安藤與惣次郎氏。大阪丸紅社長伊藤長兵衛氏。在江州若林乙吉氏。同谷鎌次郎氏

中村正太郎氏

明治二十年二月二十五日生

【職業又】 本綿卸株式會社中村商店取締役社長

【は職名】

縣立膳所中學在學。長女禮子女 大正九年八月四日生。二男隆次氏 大正十三年四月一日生。二女留里子女 昭和四年五月八日生。

【主なる親戚】 實妹多喜女 滋賀縣犬上郡彦根町大字丸野木三八の二、昭和二年五月三日分家。伯父安藤與惣次郎氏 出資社員。伯父中村芳三郎氏 滋賀縣神崎郡南五個莊村石馬寺、當店出資社員。

中村芳三郎氏

明治元年八月十四日生

【職業又】 加工綿布蚊帳疊糸卸中村合名會社出資社員

【は職名】

【營業所又】 東京市日本橋區彌生町四番地 電話(浪花 五三三)

【は勤務先】 江州能登川驛前

【住 所】 東京市日本橋區彌生町四番地

同

所

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡石馬寺平民中村治郎兵衛氏の三男なるが明治十二年十二月一日親戚中村照女の養嗣子となる而して中村一族の經營になる東京市日本橋區彌生町中村合名會社の出資社員にしてと株式會社麻絲商會の代表社員たる外近江蚊帳株式會社の専務取締役をなせるが近時關係事業の取締役代表社員を辭任し多く江州能登川驛前の自宅にありて上

【營業所又】 東京市日本橋區元濱町十番地 電話(浪花 三三三・二六七)

【は勤務先】 東京市本郷區駒込神明町四百番地 電話(小石川 三三三)

【住 所】 滋賀縣神崎郡北五個莊村大字和田四百四十五番地

【本籍地】

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡北五個莊村大字和田四百四十五番地中村茂助氏の長男にして明治四十四年十一月十三日父茂助氏死亡により家督を相続す、通稱を幹と稱し幼少時大阪薩摩商店支店に入りたるが後ち同店閉鎖と共に退店し歸りて店務に従事す本業は嘉永年間中村吉兵衛氏の創業にして明治四十二年五月合名會社の組織となし後正太郎氏代表社員となりたるが大正八年八月株式會社に組織を變更今日に及びり。

【趣味】 將棋

【宗教】 門徒宗

【所得稅】 七〇圓

【家庭】 母とせ女 明治二十三年一月二十日生。長女純子女 大正五年一月三十一日生府立第一高女通學。長男亡量一氏大正七年四月十三日生大正八年一月十六日死亡。二女桂子女 大正九年九月二十九日生小學校通學。二男靖氏 大正十三年六月八日生小學校通學。三女全子女 大正十五年三月三日生。

【主なる親戚】 中村吉兵衛氏(店主母の生家)五箇莊村和田二番戸。中村善太郎氏(同店監査役)同五箇莊村。中村傳三郎氏(實弟にして東京田中源商店勤務)芝區高輪車町。中村賢造氏

〔女〕

〔實弟にして神崎商業出身〕京都外興商店員。中村吉郎氏(同店事務取締役にして實妹千代夫)下谷區下根岸六番地。井口榮太郎氏(京都絞卸商妹愛子夫)京都市中京區新町通。塚本泰三氏(妻女の生家相續人)五箇莊村大字川並。

〔主なる出身者〕栗原宗治氏(區内通鹽町)中形裏地問屋。大田定吉氏(區内緑河岸)織物販賣。

中村柳二氏

明治八年十一月七日生

〔營業〕 吳服太物卸商

〔營業所〕 京都市神田區岩本町二十二番地 電話(浪花長番)

〔住所〕 同 所

〔本籍地〕 埼玉縣北足立郡土合村大字田島千四十九番地ノ二

〔略歴〕 氏は岐阜縣加茂郡八百津町六二一番地戸主古田秋三郎氏實弟なり、同店は數百年來の舊家豪商なるが氏は明治十八年上京し日本橋區彌生町織物問屋三浦善之助商店に入店格勤十三年の後明治三十二年九月現所に獨立せり、資性潤達にして商才に富み濃厚篤實なる紳士なり。

〔趣味〕 園藝 〔宗教〕 眞言宗

〔所得税〕 一、七〇四圓 〔營業收益税〕 一五四圓

〔家庭〕 妻女亡光子(明治十八年一月廿八日生、日本橋區濱町二丁目十二番地戸主渡邊三次氏長女昭和六年五月三十一日逝去。長男治七氏(明治卅四年七月二十八日生、曉星中學卒業爾來家業に従事す。四男泰三氏(大正六年二月五日生、成立商業三年在學。長女純子女(大正十年十一月十二日生、東京市立和泉小學校四年在學中。)

〔主なる親戚〕 實兄古田秋三郎氏(岐阜縣加茂郡八百津町、地主。實弟後藤喜七氏(岐阜縣武儀郡關町、地主。義兄足立藤七氏(同縣同郡同町地主、實姉ひさ女嫁先。

〔主なる出身者〕 織物卸業押切政之助氏(神田區松下町、廣幅織物卸業山岸末吉氏(下谷區練堀町。織物卸業松戸勝之助氏(神田區佐久間町。

中村富平氏

明治二十六年二月一日生

〔營業名〕 風呂敷問屋中村三平商店主

〔營業所又勤務先〕 京都市日本橋區通油町二十四番地 電話(浪花KCOM)

〔住所〕 京都市芝區伊皿子町二十四番地 電話(高輪二四六)

〔本籍地〕 滋賀縣神崎郡伊庭村千九百七十番地

〔略歴〕 氏は先代中村三平氏の長男にして夙に豊應義塾大學江南長七氏(區内橋町風呂敷問屋。美濃部五三郎氏(區内通旅籠町風呂敷問屋。小林傳吉氏(本郷區吳服太物小賣商。遠藤松五郎氏(日本橋區新材木町風呂敷問屋。

中村重太郎氏

明治二十九年五月三十一日生

〔營業〕 中形裏地加工卸

〔營業所〕 京都市日本橋區富澤町十一番地 電話(浪花三三五)

〔住所〕 同 所

〔本籍地〕 同 所

〔略歴〕 氏は埼玉縣北埼玉郡忍町大字行田富田治郎助氏の實弟にして舊名を堅三と稱せしが、大正十三年五月當家へ入婚し、同年六月先代重太郎氏病歿に因り家督を相續し同時に先代を襲名す氏は早稻田大學商科の出身にして爾來斯業の經驗を積み支配人島崎義藏氏の補佐と相俟て業勢の伸展を計りつゝあるものなり。

〔趣味〕 運動 〔宗教〕 天理教 〔營業收益税〕 一三二圓

〔家庭〕 養祖母志津女(安政四年七月十八日生。養母こと女

三日生先代中村重太郎氏の長女東京女學館出身。長男隆英氏

〔女〕

〔實弟にして神崎商業出身〕京都外興商店員。中村吉郎氏(同店事務取締役にして實妹千代夫)下谷區下根岸六番地。井口榮太郎氏(京都絞卸商妹愛子夫)京都市中京區新町通。塚本泰三氏(妻女の生家相續人)五箇莊村大字川並。

〔主なる出身者〕栗原宗治氏(區内通鹽町)中形裏地問屋。大田定吉氏(區内緑河岸)織物販賣。

を卒業し家業に従事す大正十年十月十日先代歿後家督を相續せり家業は先代中村三平氏の開業に係る氏は滋賀縣伊庭村の人幼少時上京日本橋區富澤町金巾問屋辻金之助商店に奉公し勤續七年の後退店明治二十四年日本橋區元濱町に獨立開業し其後富澤町に移り明治二十九年八月現所を買収移轉し隆々の進展を示し先代歿後當主先代の遺業を繼承し來れるものなり。

〔宗教〕 門徒宗 〔所得税〕 二、五七二圓

〔營業收益税〕 五〇四圓

〔家庭〕 妻かゝ女(明治三十五年十二月十六日生跡見高女出身。長男富郎氏(大正十三年十二月十六日生三田小學校在學。長女良女(大正十五年三月三十日生。二女千恵女(昭和三年一月十七日生。三女亡香代(昭和四年三月十五日生昭和五年五月一日死亡。二男勝郎氏(昭和五年十二月七日生。弟得平氏(明治三十九年九月十七日生第一銀行淺草支店に勤務。弟武氏(大正五年四月三日生市立第二中學校に通學中。

〔主なる親戚〕 川村駒次郎氏(母亡よね女生家)滋賀縣神崎郡北須田。大西茂昭氏(妹姉美女縁嫁先)芝區車町(海軍大尉)。

西村和吉氏(妻女の里)在鎌倉。

〔主なる出身者〕 矢古島源一郎氏(區内長谷川町風呂敷問屋

〔本〕

大正十四年十月十五日生。長女圭子女。昭和三年九月二十七日生。

【主なる親戚】日本橋區通旅籠町綿布商飯田元七氏。同區高砂町中形加工卸中村重藏氏。埼玉縣行田富田治郎助氏。郵便局長。

【主なる出身者】日本橋區高砂町綿布商清水捨三氏。深川區靈岸町吳服太物小賣商須賀源十郎氏。

仲村 益藏氏

明治九年三月十四日生

【職業又職名】本編問屋建石角次郎商店支配人

【營業所又勤務先】東京市日本橋區長谷川町六番地 電話(浪花)三〇〇

【住所】東京市日本橋區濱町三丁目壹番地

【本籍地】東京市日本橋區富澤町二十七番地

【略歴】氏は東京市日本橋區富澤町二十七番地仲村卯之藏氏の三男なり夙に日本橋區長谷川町六番地織物問屋建石商店に勤務し精勵の聞えあり前支配人木内松藏氏の跡を承けて支配人となる元來仲村氏の父卯之藏氏は建石商店の初代に仕へ後ち支配人となりしものにて同店今日に至る迄の功勞者なるため先代歿時其墓碑は建石家の墓所の一部に建てられたる等に

て主家と仲村家とは特種の關係にあり自然現下に於ても經營一切は仲村支配人に任せられたるが氏は温健着實主家の方針を守り爲す處に誤ちなく内外に信望あり。

【趣味】碁 【宗教】日蓮宗

【家庭】妻トク女。明治十七年九月二十三日生。東京市人井出武太郎氏長女なり。長女光女。明治四十二年四月八日生。紅葉川高女卒。三女清子女。大正三年八月七日生。日本橋高等女學校生徒。六女千鶴女。大正十一年十月二十六日小學校通學中。

【主なる親戚】中村豊藏氏(實弟)在下谷區谷中町。井出武四郎氏(妻女の里)在中野町。

中村 幸吉氏

明治八年九月十九日生

【職業又職名】毛織物卸仲介業 京濱羅紗同盟會副會長

【營業所又勤務先】東京市京橋區銀座西四丁目五番地電話(京橋)五七三

【住所】同 所

【本籍地】同 所

【略歴】氏は埼玉縣北埼玉郡手子林村上手子林七番地戸主平民岩崎源一郎氏の五男なり明治三十一年十一月六日中村壽々女の養子となり舊名今次郎を幸吉氏と改む少時上京日本橋區

中村 恒司氏

明治二十六年六月六日生

【職業】婦人子供服製造卸商

【營業所】東京市日本橋區横山町一丁目四番地 電話(浪花)三〇〇

【住所】同 所

【本籍地】東京市日本橋區横山町二丁目十二番地

【略歴】氏は中村小三郎氏の二男なり、北海道檜山郡江差町字法花寺町六十一番地に生れ十五歳の時上京して日本橋區横山町一丁目ブラシ問屋徳永保之助商店に入り恪勤十四年間大正九年圓滿退店し日本橋區若松町にて洋品雜貨卸商を獨立創業したるが偶々時代の變遷に伴ひ本業の將來有望なると見るや大正十一年より主力を本業に轉じ爾來精勵せしかば遂に同業者中一流の班に列し鞏固たる地盤を築くに至れり。性は機敏にして覇氣に富み新進氣鋭の人物として氏の將來を囑目され居れり。

【趣味】スポーツ 【宗教】曹洞宗

【所得稅】六二圓 【營業收益稅】七八圓

【家庭】妻キク女。明治三十四年七月二十九日生。日本橋區矢倉町袋物商大島屋商店員高橋喜平次氏三女。長女光枝女。大正八年八月二十八日生。長男宗一郎氏。大正十年四月十四

〔本〕

通二丁目島田末吉商店に奉公勤務十三年の後退店當初日本橋區三代町に於て毛織物ブローカーを開始し其後本材木町に轉じ震災後現所の地上權を買收移轉し來り資性着實にして同業中の一二流筋には頗る印象佳良の人にして目下京濱羅紗同盟會副會長たり。

【趣味】謡曲 【宗教】日蓮宗

【家庭】妻しげ女。明治十六年十二月八日生。長男東一氏。明治三十九年一月十三日生。早稻田實業學校卒業し目下洋服仕立業を營む。長女文子女。明治四十三年四月十六日生。東洋家政女學校出身。二男益三氏。大正三年一月二十五日生。府立第一商業學校生徒。二女俊子女。大正七年三月三日生。府立第六高女通學。三男充男氏。大正十年五月二十三日生。泰明小學校生徒。四男誠之氏。大正十二年六月二十日生。泰明小學校生徒。【主なる親戚】岩崎作太郎氏埼玉縣手子林村(當主の生家相續人)。石井善次郎氏淺草區聖天町二九(妻女の里)竹細工商。古屋傳次郎氏(麴町永田町)東洋製菓取締役、古屋商店社長(義兄)。古屋三郎氏通二丁目菓子卸商實弟。

〔本〕

日生。二男清之助氏明治二十二年一月五日生。三男和夫氏昭和二年八月一日生。
【主なる親戚】 義父高橋喜平次氏日本橋區矢ノ倉町。實兄中村小三郎氏小間物商北海道江差町。

中村眞實氏

明治二十九年一月二十五日生

【營業又職業名】 羅紗仕立品卸大七商店支配人

【營業所又は勤務先】 東京市日本橋區久松町十四番地 電話(浪花七五)

【住 所】 同 所

【本籍地】 埼玉縣入間郡堀籠村字堀籠六十三番地

【略歴】 氏は埼玉縣入間郡堀籠村字堀籠六十三番地中村昇祐氏の五男なり十四歳の時上京日本橋區彌生町毛織物問屋島田利右衛門商店に奉公恪勤精勵其手腕を認められ居りしが主家の親戚にして同僚たる鈴木岩次郎氏が震災後獨立開業するに際し其補佐として共に退店鈴木店主と協力大七商店の發展に努め同店今日の業礎をなせる氏に負ふ處尠ならずと言ふ資性温良にして店主の信任厚し。

【趣味】 運動競技 【宗教】 眞言宗

【家庭】 父母共に歿し氏は尙獨身なり。

【主なる親戚】 青木五兵衛商店(田所町)支配人江口金三郎氏 玉屋モスリン店主江口秀藏氏(淺草區田島町)は共に氏の從兄弟なり。

中川平七氏

明治十九年九月八日生

【營業】 各種織物問屋

【營業所】 東京市日本橋區彌生町一番地 電話(浪花二六)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡葉枝見村大字下稻葉戸主亡辻清七氏實弟にして幼名を利三郎氏と稱し明治三十年六月二十九日中川家の養嗣子となり大正六年三月二日家督を相續、同年四月二十五日先代平七を襲名す、夙に早大商科を卒業し業界の新知識なるも其の鋭鋒を現はさず先代の遺業を承けて地味堅實なる經營をなしつゝあるものにして資性情義に厚く美談からず業界に數多の中堅問屋の出身者あるは先代の遺徳と氏の徳望あるが爲めなり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗 【所得税】 一、三、三六圓

【營業收益税】 五〇四圓 【地租】 一六七圓

中川與惣太郎氏

明治十五年九月二十五日生

【營業】 京呉服卸

【營業所】 東京市日本橋區橋町二丁目七番地 電話(浪花五九)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣犬上郡松原村九十七番地

【家庭】 養母まさ女明治七年一月十六日生、中川平七氏實姉に當る、明治二十年三月十七日亡先代中川平七氏と婚姻入籍、妻女しげ女明治二十五年八月七日生、滋賀縣人井上小三郎氏三女、大正二年十月十九日婚姻入籍、長女通子女大正六年三月十二日生、女子商業學校三年在學、二女靜子女大正九年一月十三日生、久松小學在學中。
【主なる親戚】 義父井上小三郎氏滋賀縣蒲生郡老蘇村大字西老蘇八一〇 酒造業。甥辻清七氏日本橋區濱町三の六、當店尾州物仕入及販賣係、小樽高商卒、辯理士。實兄中川佐一郎氏日本橋區濱町三の六、當店支配人。實兄辻清三郎氏滋賀縣愛知郡葉枝見村大字下稻葉、農業。從兄弟塚本伊三郎氏日本橋區通旅籠町八、織物問屋。同大橋藤八氏同區富澤町、織物問屋。甥阿藤清兵衛氏日本橋區通油町二二、京呉服卸。

【主なる出身者】 綿布裏地卸塚本三藏氏日本橋區富澤町二織物卸瀧富太郎氏。日本橋區通旅籠町七、毛斯綸洋反物卸桂田傳次郎氏同區富澤町七、毛斯綸洋反物卸北村謙藏氏同區通旅籠町二。太物卸大辻松吉氏同區彌生町五。風呂敷卸馬場末吉氏同區久松町。太物卸、辻吉三郎氏同區高砂町。

〔本〕

【家庭】 妻すへ女明治二十四年七月二十一日生、滋賀縣人亡森長平氏三女、明治四十五年五月二十二日婚姻入籍、彦根高女卒、長女治子女大正十四年十二月一日生。

【宗教】 眞宗 【所得税】 五五〇圓

【營業收益税】 一六八圓

地味着實なる手腕家なり。

【略歴】 氏は前戸主中川作平氏長男にして幼名を作右衛門氏と云ひ明治三十七年十二月十三日家督相續をなす、年少より親戚なる静岡市村山呉服卸商店に入り明治四十一年獨立し藤澤横須賀次いで横濱等を根據として持出を營み、後日本橋區龜井町新道より村松町久松町と轉々大正十三年十月現所(山要メリヤス跡)に移轉せるものにして大正四五年頃より業容漸次好轉し震災前迄比較的良好、震災後兩三年間は殊に順調經過し現今にありては兎も角堅實味ある商店として知らる、

〔本〕

【主なる親戚】 義兄森喜十郎氏 滋賀縣犬上郡龜山村大字檢二ノ一、農業。市橋治三郎氏 東京市日本橋區久松町五。
【主なる出身者】 吳服太物小賣商若林作次郎氏 千松屋吳服店主、荏原郡碑倉村碑文谷。

中川慶次郎氏

明治十七年十二月三十日生

【營業】 染吳服西陣物卸

【營業所】 東京市日本橋區富澤町十四番地東京店電話 浪花三六〇

【住所】 京都市佛光寺烏丸東入ル

【本籍地】 京都府伏見市中油掛町九十六番地

【略歴】 氏は京都府人亡中川峯次郎氏二男に生れ、明治四十三年二月二十二日家督相續をなす、伏見市立彰徳高等小學校卒業後直ちに庶務に従事し、先代歿後同氏之を繼承大正十一年には大阪市東區安土町二丁目至翌十二年には日本橋區元濱町に同十三年には京都市五條通り間之町角に各店舗を設け異常なる進出を期する所ありて其の第一線に活動しつゝあり、温厚着實なる紳士なり實弟孝三郎氏東京店の經營を擔當す。

【趣味】 謡曲(觀世流) 【宗教】 淨土宗

【營業收益税】 二二二圓

【家庭】 妻女サト女 明治二十五年六月三十日生、京都府人上原源之助氏長女、大正七年十一月二十九日婚姻入籍。長女

公子女 大正八年四月二十八日生。二女綾子女 大正九年十月二十四日生。長男峰夫氏 大正十三年十月八日生。三女迪子女 昭和三年二月二日生。

【主なる親戚】 實弟孝三郎氏 日本橋區元濱町河岸東京店勤務。實弟逸太郎氏 京都市佛光寺烏丸東入る、京都店染絹係義弟永田義三郎氏 大阪市東區高麗橋三の二十五、第三十四銀行和歌山支店長。義弟宮谷保文氏 京都市上京區寺之内通千本東入る姥ヶ寺の前町三九、醫師。義父久武松之助氏 兵庫縣有馬町有馬町七九七、旅館。義父上原源之助氏 京都府久世郡淀町字新町二八五、淀町役場收入役。

【主なる出身者】 吳服太物小賣業齋藤幸七郎氏 大阪市東區中本町。同業岡田基太郎氏 伏見市字今。同業岸野儀一郎氏 伏見市兩替町四丁目。

中川泰治氏

明治二十二年二月二十二日生

【營業】 吳服卸合資會社中川泰治商店無限代表社員

【營業所】 東京市日本橋區村松町八番地 電話(浪花) 三〇〇

【住所】 東京市日本橋區村松町四十三番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は長野縣上伊那郡中箕輪村九七〇番地八號戸主北條不二男氏叔父にして昭和二年八月八日當店先代中川金兵衛氏二女光子女と婿養子縁組、同時に分家戸主となる。三越本店に約二十年間勤続後年桐生物仕入主任として敏腕を振ひたることあり、最近現會社に組織を變更せり。

【趣味】 野球 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻女光子女 明治三十五年五月二十八日生 故中川金兵衛氏二男。

【主なる親戚】 甥北條不二男氏 長野縣上伊那郡中箕輪村九七〇番地。義兄中川喜一郎氏 日本橋區村松町八、吳服文庫卸。

〔本〕

中井長兵衛氏

明治二十一年十二月二十二日生

【營業】 京吳服並に關東吳服卸株式會社中井長商店代表取締役

【營業所】 東京市日本橋區通油町六番地 電話(浪花) 三三三

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡五峰村大字佐野八百四十九番地

【略歴】 氏は京都織物問屋松居久左衛門氏の弟にして同市中塚商店に勤務して實務を見習ひ適齡後先代長兵衛氏の養子となり以來家業に従事して業容の進展に努むるところあり昭和三年三月同店が株式會社となるや同店取締役就任し翌四年二月先代長兵衛氏の死亡により彰三を改めて襲名し代表取締役役に就任し今日に至る、同店は明治初年以來の老舗にして現時義弟德藏氏取締役として長兵衛氏を補佐す兩氏共に温健なる紳士にして德藏氏は早稲田大學商科を卒業せる新進の人なり。

【趣味】 謡 【宗教】 眞宗

【所得税】 九一圓 【營業收益税】 六五圓

【家庭】 妻は津女 明治二十七年四月七日生先代亡長兵衛氏長女。長男一郎氏 大正六年二月八日生府立一商在學。長女

〔本〕

綾子女 大正八年十月二十七日生久松小學在學。二男榮一氏 大正十一年十月廿六日生久松小學在學。二女絹子女 昭和三年三月二十日生。三女文惠女 昭和六年四月二十三日生。弟貞治郎氏 明治三十四年五月生神崎商業卒業在店。同妻豐子女 明治四十年七月十二日生千代田高女卒業。弟三郎氏 明治四十五年三月生京都二商卒、横濱株式會社越前屋店員。

【主なる親戚】 中井德藏氏 先代長兵衛氏長男別家す。松居久左衛門氏(上掲)。塚本平吉氏 日本橋區小舟河岸織物問屋(德藏氏妻女兄)。中井喜一郎氏 日本橋區田所町毛斯綸卸。

【主なる出身者】 持田卯七氏 日本橋區小傳馬町。大西幸次郎氏 同區久松町。

中井喜七郎氏

明治二十一年十二月九日生

【營業又】 毛斯綸洋反物卸中井喜一郎商店主
【職業】 同上
【營業所又】 東京市日本橋區田所町九番地 電話(浪花K10)
【勤務先】 同上
【住 所】 同上
【本籍地】 滋賀縣神崎郡五峰村大字佐野六百五十一番地

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡五峰村大字佐野出身中井喜一郎氏の長男にて大正十三年八月喜一郎氏隱居に因り家督相續す先

代は十七歳の頃上京日本橋區通油町舊松坂晴吉商店に奉公し 累進して支配人となり大正九年同店の株式組織となるや擧げられて専務取締役に就任し爾來一切の經營に當りたるが大正十五年春獨立現業を開始し今日に及ぶ。

【宗教】 眞宗 【所得税】 二〇七圓

【營業收益税】 一一二圓

【家庭】 父喜一郎氏 嘉永五年十月八日生、妻なを女 明治二十九年七月十二日生。長男喜彦氏 大正十二年一月一日生

【主なる親戚】 小林金十郎氏 妻里方滋賀縣神崎郡五峰村大字猪子。中井長兵衛氏 市内日本橋區通油町絹物卸。村田長兵衛氏 大阪市東區南本町織物問屋。

中西儀兵衛氏

明治元年一月八日生

【營業】 手巾(名花印)製造卸
【營業所】 東京市日本橋區葺屋町七番地電話(浪花P00・K1133R)
【住 所】 同上
【本籍地】 同上

【略歴】 氏は東京府人亡小林源七氏長男に生れ幼名を兼太郎氏と稱す、明治二十五年十二月二十三日先代中西儀兵衛氏養

仲彦太郎氏

明治八年一月十八日生

子ヒサ女の婿となり同四十二年三月三十一日家督相續をなす 養父亡先代儀兵衛氏は明治十二年開業以來刻苦精勵今日の資産と基礎を築くに至れるものにして現在市内デパート及近縣關西東北等殆んど全國的に普ねく販賣網を有し、市内一流手巾屋として知らる温厚着實なる老紳士なり。

【趣味】 讀書 【宗教】 淨土宗

【所得税】 七、〇六七圓 【營業收益税】 一一〇四圓

【家庭】 養母カメ女 弘化元年八月九日生、京橋區南鍛冶町亡村本吉兵衛氏二女。妻女ヒサ女 明治七年四月十四日生 明治二十一年二月九日麴町區一番町六番地村本豊吉氏長女入籍。養子花子女 明治四十四年二月十九日生、大正八年三月七日(日本橋區蠅殼町一)の四村元政治郎氏長女)入籍。

【主なる親戚】 實兄小林幸次郎氏 淺草區新片町二番地、無職。養父村本豊吉氏 麴町區一番町六番地、無職。村本政次郎氏 日本橋區蠅殼町一、養子花子女實父。

【主なる出身者】 莫大小洋傘手巾製造卸熊澤豊次郎氏 日本橋區横山町二丁目。

〔本〕

【營業】 關東織物卸
【營業所】 東京市日本橋區新大阪町四番地 電話(浪花三三三)
【住 所】 同上
【本籍地】 同上

【略歴】 氏は京都府人亡仲清右衛門氏三男に生れ明治三十九年四月二日分家す年少より市内日本橋區久松町所在元下忠東京支店に入り後年支配人たり、大正元年六月區内濱町に獨立し二年元濱町に同十年四月現所に移轉今日に至る、温かなる人物なり。

【趣味】 書畫骨董、碁將棋 【宗教】 眞宗

【營業收益税】 七二圓

【家庭】 妻女喜代女 明治十六年四月三十日生、淺草區北田原町三ノ五梶川喜助氏長女明治四十一年五月十八日婚姻入籍 養子仲育三氏 大正六年一月二十九日生、京都市室町姉小路北入る仲庄吉氏二男明治中學二年在學、昭和四年四月二十九日入籍。

【主なる親戚】 實兄仲清兵衛氏 京都市上京區姉小路通り堀川西入る樽屋町四五四、御召問屋。實兄仲榮吉氏 京都市元

〔本〕

誓願寺大宮生糸卸業。義兄梶川喜助氏。淺草區北田原町三ノ五、煙草下駄小賣業。甥仲章太郎氏。京都市舊大宮通り中立賣南入る。京都府立商業三年在學。
【主なる出身者】 吳服太物小賣業伊勢喜助氏。伊勢喜吳服店主、府下落合町。

中 杉 舉 藏 氏

明治二十年二月一日生

【營業名】 毛斯綸加工物卸合資會社 王一中杉商店代表社員

【は勤務先】 東京市日本橋區長谷川町三十三番地 電話(浪花八重)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣蒲生郡中野村大字今堀六百八十九番地

【略歴】 氏は滋賀縣蒲生郡中野村大字今堀亡中杉喜代松氏の二男にして明治四十一年九月喜代松氏死亡により家督相続す幼少の頃上京して日本橋區富澤町毛斯綸卸商近與西村商店に奉公し恪勤遂に同店販賣部長の要職に就けり其の後一時退店せるも再び主家に還へり支配人として敏腕を振ひ後圓滿退店して大正十一年四月獨立開業し翌十二年十二月合資會社に變更せり頭腦明敏商手腕に富む。

【趣味】 謠曲 【宗教】 淨土宗

【所得税】 一、〇〇二圓 【營業收益税】 一〇四圓

【家庭】 母やす女。安政三年二月生郷里に在り。妹キリ女。明治二十三年一月五日生病身にて獨身母と共に郷里に在り、妻とみ女。明治二十五年三月五日生。長男學一氏。大正六年九月七日生府立第一商業生。二男修二氏。大正八年五月十六日生東華小學校生。三男眞三氏。大正十五年五月十二日生。長女まさ女。大正九年十月五日生東華小學校生。二女道子女。大正十一年四月三十日生東華小學生。三女ヒサ女。大正十三年九月十二日生東華小學生。

【主なる親戚】 中杉藤四郎氏。實弟淺草區千束町萬屋モスリン店主。中杉與四郎氏。實弟市外龜戸。東野忠次氏。妻女實兄滋賀縣蒲生郡櫻川村。東野源三郎氏。妻女姻戚群馬縣高崎市酒業。

【主なる出身者】 村田彌五郎氏。市内日本橋區岩代町モスリ加工卸。

中 野 作 治 郎 氏

明治十八年十一月二十日生

【營業名】 廣巾綿布卸合資會社 中野作商店代表社員

【主なる親戚】 義兄竹川與三郎氏。前記妻女本籍地在住會社員。實弟中野與吉氏。本籍地在住、白米商。實弟彌一氏。日本橋區久松町毛織物商。實弟政次氏。日本橋區久松町十一番地、綿布仲立業。

中 野 彌 一 氏

明治二十六年七月十四日生

【營業】 毛織物卸

【營業所】 東京市日本橋區久松町六番地 電話(浪花六〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は福井縣坂井郡三國町坂井港岩崎甲三八番地亡中野勘右衛門氏三男なり、夙に上京し日本橋區彌生町毛織物商大利島田商店に奉公し恪勤約二十數年に及びたるが、大正十四年圓滿退店、昭和元年二月現所に獨立す、資性濶達にして着實努力の人、開業後幾何もなく年次順調なる進展を遂げつゝあり。

【趣味】 撞球 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻女榮女。明治三十五年十二月二十八日生、淺草區駒形町島田又右衛門氏二女、下谷池の端實科高女卒業、大正

〔本〕

【營業所又】 東京市日本橋區通旅籠町十九番地 電話(浪花五〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 福井縣坂井郡三國町坂井港岩崎甲三十八番地

【略歴】 氏は福井縣坂井郡三國町坂井港岩崎甲三八番地亡中野勘右衛門氏長男に生れ明治四十一年十月二十一日家督相続をなす、是より先郷里小學を卒業するや直ちに上京し、市内日本橋區新大坂町洋反物卸齋藤嘉商店に入店、勤続十六年の後大正三年四月圓滿退店の上、同區通旅籠町に獨立、同六年頃久松町に移轉し資本金三萬圓を以て中野合名會社を設立、昭和五年五月三十一日現合資會社に變更其の代表社員として今日に至る細心努力の人にして目下四名の店員を督勵し第一線に活躍しつゝあり。

【趣味】 圍碁、將棋、園藝 【宗教】 眞宗

【所得税】 六六圓

【家庭】 妻女わか女。福井縣坂井郡三國町坂井港臺三三三亡竹川與吉氏二女、明治二十六年二月十五日生明治四十三年福井縣師範學校卒業、長女喜美子女。大正四年八月四日生、日本橋高女三年在學。長男善次郎氏。大正十一年十月二十日生、日本橋區久松小學校二年生。二男安治氏。大正十四年八月十七日生。

〔注〕

十四年九月三十日婚姻入籍。趣味生花茶の湯。長男昭一氏。昭和二年五月二十二日生。

【主なる親戚】 義父島田又右衛門氏。淺草區駒形町資産家。實兄中野作治郎氏。日本橋區通旅籠町一九、廣幅綿布卸商。實兄中野與吉氏。本籍地在住、白米商。實弟政次氏。日本橋區久松町一一番地、綿布仲立業。義弟花村榮吉氏。日本橋區馬喰町四丁目十七番地、子供婦人服製造卸。

中澤信三郎氏

明治二十二年六月十五日生

【營業又】 各種織物問屋合資會社丸正商店代表社員

【は職名】 東京市日本橋區通洲町十一番地 電話 浪花(三三)

【は勤務先】 同 所

【本籍地】 滋賀縣蒲生郡東櫻谷村大字佐久良百十一番地

【略歴】 氏は故中澤忠吉氏の長男に生れ年少時上京し丸正増田善兵衛商店に入り大正十四年同店が株式會社となりては其取締役となりて綿布部主任たりしが昭和三年増田商店廢業し京都市シヨール洋傘問屋田中久之助氏が新に合資會社丸正商店の資本主となり同店の營業を助成するに及び氏は同店の無限責任社員たると共に支配人として經營を擔當今日に及ぶ資

性穩健着實なる士なり。

【宗教】 眞宗

【家庭】 母かよ女。文久三年十二月十三日生。妻りよ女。明治三十一年八月六日生。長男忠造氏。大正十年五月六日生。

二男勇造氏。大正十二年二月十八日生。長女房子女。昭和二年二月二十日生。三男幸造氏。昭和五年十一月十日生。

【主なる親戚】 弟中澤圓治郎氏は名古屋市鈴木商店に勤め後愛知縣一の宮市に於て織物買繼商を營む。

中坪彌太郎氏

明治二十五年十一月二十五日生

【營業又】 毛織物卸商株式會社中坪商會代表社員

【は職名】 東京市京橋區五郎兵衛町二十二番地 電話(京橋六六七)

【は勤務先】 府下荏原郡大井町四千三百二十四番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代彌市氏の二男なり、京橋區南鍛冶町に生れ京都中學卒業後家事に従事中大正十一年先代病歿せる爲め家督相続本業を繼承し代表社員となり爾來縦横の手腕を振ひ性來の商才と相俟つて同店今日の業礎を築き斯界に重きをなすに至れり。

【趣味】 旅行 【宗教】 淨土宗

【所得稅】 二一六圓 【營業收益稅】 一〇九圓

【家庭】 妻あき女。明治二十六年九月五日生、神田區通新石町十六番地地主山口四方吉氏長女。

【主なる親戚】 義兄山下龜治郎氏。同社取締役、麴町一丁目一。實弟波多野常五郎氏。洋服商京橋區南鍛冶町二九。

中谷一郎氏

明治十八年三月三十日生

【營業又】 甲斐絹卸商丸共商店代表者

【は職名】 東京市日本橋區新和泉町六番地 電話(浪花三二六)

【は勤務先】 山梨縣南都留郡谷村町二百六十六番戸

【本籍地】 同 所

〔注〕

【略歴】 氏は山梨縣谷村町亡中谷龜太郎氏の長男にして明治二十七年五月家督相続す、土地の甲斐絹商牛田五郎商店に奉公する事約二十年に及び大正十二年震災後僚友小林喜一、手島充次、安達和一の三氏並びに實弟政時氏等と共同經營にて東京市四谷區新宿に本業を開始し其の代表者となりて今日に及ぶ、現所に移りたるは昭和四年にして目下郷里山梨縣谷村町に甲斐絹織工場を營み本業の傍ら之が監督に従事せり。

【家庭】 妻茂子女。明治二十八年二月八日生。長女濱枝女。大正十二年二月十八日生。弟健藏氏。明治二十三年八月二十日生、郷里にて甲斐絹織に従事す。弟政時氏。明治三十六年四月十五日生株式會社久保田商店勤務中。婦千代女。明治三十年七月二十一日生、健藏氏妻。甥文彦氏。昭和三年十二月十三日生、健藏氏長男。

【主なる親戚】 田中森太郎氏。亡母實兄山梨縣南都留郡谷村町、福島積善氏。妻里方、同縣北都留郡上野原町、渡邊進榮氏。二女しづ子。女養父同縣南都留郡小立村。田中幸助氏。實妹たけの女。夫、同縣同郡谷村町。田中信雄氏。實妹君子。夫、同縣同郡同町。

中臺與吉氏

明治十三年二月十二日生

【營業】 吳服小賣商美濃屋吳服店主

【營業所】 東京市日本橋區濱町一丁目十六番地 電話 浪花(三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は栃木縣人五月女元次郎氏實弟にして幼名を辰三郎と云ふ明治三十八年十月九日中臺家前戸主與吉氏長女トク

〔五〕

女と婿養子縁組をなし、同四十二年一月十三日家督を相続同年二月十日襲名す、銀座越後屋出身の人にして着實なる營業振をなしつゝあり。

【趣味】 圍碁 【宗教】 淨土宗 【所得税】 一八六圓

【家庭】 養母ツタ女、文久元年六月一日生。妻女トク女、明治十五年九月二十八日生。長女喜美女、明治三十九年九月八日生、私立精華高女卒、趣味裁縫。二女千代女、明治四十二年三月二十六日生、精華高女卒。長男光一氏、明治四十四年一月九日生、早稻田高等學院文科一年在學。二男博氏、大正元年十二月二十日生、京華商業卒。三女愛子、大正三年七月一日生、精華高女四年在學中。

【主なる親戚】 婿尾崎詮次氏、神田區岩本町、織物仲間卸、實妹みよ女夫。實兄五月女元次郎氏、栃木縣安藝郡田沼町三、四農業。

【主なる出身者】 吳服小賣業中臺清吉氏、日本橋區蛸殼町三丁目。同業西山誠喜氏、日本橋區濱町三の五。同業今井一郎氏、日本橋區湯島天神町二一。

内藤彦一氏

慶應元年七月六日生

【營業名】 百貨店株式會社松屋吳服店常務取締役

【營業所】 東京市京橋區銀座六丁目一番地 電話(京橋)三三三三

【住】 東京市京橋區銀座六丁目二ノ六番地

【本籍地】 山梨縣北巨摩郡圓野村上岡井第二五四九番地

【略歴】 氏は亡内藤朝政氏の長男にして夙に株式會社松屋先代古屋徳兵衛氏に仕へ松屋鶴屋吳服店支配人として活躍し松屋今日の業容の裏には氏の力大なるものありとは既に定評ある處なり、氏は業界稀に見る卓越せる才腕家にして現時同店常務取締役たる外日本加工ペンキ社長、小武川電力、小武川電器、昭和土地、東洋モスリン、各會社監査役及び東京織物用品相談役、松竹興業取締役を兼任し實業界に雄飛しつゝあるものなり。

【宗教】 神道 【所得税】 五一九六圓

【家庭】 妻しん女、明治五年一月十四日生。養子長一氏、明治三十四年十二月二十九日生。嫁恒子女、明治四十四年七月二十五日生。孫幸太郎氏、昭和六年一月十九日生。

【主なる親戚】 妻女里方古屋徳兵衛氏、東京市麹町區五番町

松屋社長。長一氏實家神谷金之助氏、横濱市中村町一五二八、姪縁先大橋藤八氏、東京市日本橋區富澤町織物問屋。分家内藤丈夫氏、北海道旭川市七條通裁判所官舎。養子妻實家牛山武兵衛氏、東京市日本橋區通四丁目吳服太物小賣商松屋吳服店主。

内藤榮二氏

明治二十九年三月十七日生

【營業】 子供服地卸

【營業所】 東京市日本橋區村松町七番地 電話(浪花)七七〇

【住】 同 所

【本籍地】 兵庫縣加古郡加古川町字加古川五十一番地

【略歴】 氏は兵庫縣人内藤嘉太次郎氏長男にして夙に上京、日本橋區田所町中谷商店(現黒谷商店前身)に奉公し二十五歳迄約十年間勤続の後、店主歿後退店し暫らく本郷區駒込林町の舊主家に寄寓してブローカーを營み、大正十年區内久松町に昭和二年十月同區新和泉町に轉じ更に三轉して現所に來れるものなり、勤勉努力の人にして熱心經營の衝に當りつゝあり。

【趣味】 野球 【宗教】 眞宗

内藤儀之助氏

明治十一年十月十三日生

【營業名】 吳服太物小賣住吉屋吳服店店主

【營業所】 東京市芝區三田四國町二番地四號 電話(三田)三三六

【住】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は兵庫縣加西郡北條町東南三十二番地亡内藤儀兵衛氏長男に生れ大正十三年三月二十七日家督を相続す。夙に上京し同區同町播磨屋吳服店(不現存)に奉公する事多年の後

〔注〕

明治四十年頃圓満退店現所に獨立今日に至る、熱心眞面目の人物なり。

【宗教】 眞言宗 【所得税】 二二六圓

【營業收益稅】 一六八圓

【家庭】 二男義雄氏 明治四十一年九月三十日生。二女喜代子女 明治四十三年十月十二日生。三男三郎氏 明治四十五年七月十六日生。四女喜久女 大正五年十月五日生。實弟慶治郎氏 明治十六年十二月五日生。實妹好女 明治二十四年十二月十三日生。義妹好惠女 明治四十年四月三日生、兵庫縣人小松龜太郎氏七女、大正三年二月一日亡父内藤儀兵衛氏と養子縁組入籍。

【主なる親戚】 采岡彦一氏 廣島縣賀茂郡廣村一五六番地、農業、長女美代女。小松龜太郎氏 兵庫縣加西郡北條町の内北條町二五三番地、義妹好惠女實父、商業。

永井甚右衛門氏

明治十九年十二月三日生

【營業又
は職名】

吳服太物小賣合資會社越後屋吳服店代表社員

【營業所又
は勤務先】

東京市京橋區銀座二丁目二番地四號 電話(京橋區)三四〇

【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府北多摩郡砂川村二五一高野重藏氏の二男にして清藏氏の弟なり年少より日本橋區橋町一ノ五織物問屋石井合名會社に奉公せしが大正三年三月先代甚右衛門氏に囑望され長女の婿養子となり業務を補佐して怠らず。大正八年九月先代の病歿により家督を相續襲名し營業を繼承す、同店は文政五年初代甚右衛門氏の創業に係り銀座に於ける老舗にして氏は其の六代目に當り昭和五年七月營業を現組織に改むるに及び代表社員となる人物温厚にして内外の信望あり推されて東京吳服商同業組合副組長及び東京織物商工信用組合理事長の任にあり又銀座町會役員を兼ね公事に奔走しあり。營業は社員にして支配人たる高木若松氏擔當す高木氏は年少時より同店に勤務すること多年精勵の聞高く且つ商才に富み良く今日の業勢を築くに與りて力あり。

【趣味】 謡曲、書畫 【宗教】 眞宗

【所得税】 四七九圓 【營業收益稅】 一七六圓

【家庭】 養母多美女 明治元年四月二十八日生。妻ます女 明治二十一年七月六日生先代甚右衛門氏長女。長女雅子女 大正三年十月二十日生精華高女在學。長男政雄氏 大正九年

月二日生高千穂小學在學。二女富久子女 大正十二年十二月二日生。

【主なる親戚】 山本悌二郎氏 東京府荏原郡目黒町上目黒五本木二六五八正二位勳二等前農林大臣。中村瀧次郎氏 日本橋區本石町三ノ九藥問屋。小川專助氏 日本橋區葺屋町八釐甲商。

【主なる出身者】 永井岩吉氏 横濱生絲商澁澤喜作商店支配人。中臺與吉氏 日本橋區濱町一ノ一六美濃屋吳服店。山口爲吉氏 東京府下淀橋町柏木七九高島屋吳服店。鈴木鐵之助氏 芝區愛宕下町ゑり銀。岡田吉次郎氏 京橋區南傳馬町二ノ三。飯田多吉氏 京橋區築地三丁目悉皆業。

永尾庄三郎氏

明治十六年八月二十一日生

【營業】

洋反物半襟小賣業寶屋モスリン店主

【營業所】

東京市四谷區傳馬町三丁目三十番地 電話(四谷區)三五〇

【住所】

同 所

【本籍地】

同 所

〔注〕

【略歴】 氏は京都府人永尾幸七氏三男に生れ、大正三年九月十七日分家す夙に北海道に渡り札幌今井吳服店に勤続するこ

と多年退店と共に上京し、明治四十年三月現所に獨立せり、性温厚にして勢心努力の人なり。

【趣味】 寫眞 【宗教】 眞言宗

【營業收益稅】 五〇圓

【家庭】 姉ゆき女 明治八年五月十二日生。永尾幸七氏長女姪好女 明治三十九年六月二十二日生。京都府人永尾貞一氏妹、大正三年九月十七日姉ゆき女養子縁組。妻女イツ女 明治二十六年九月八日生。新潟縣人石川六太郎氏長女、大正三年十月二日婚姻入籍。長男敏氏 大正四年一月八日生。長女露子女 大正八年十月十五日生。二男巖氏 大正十一年四月一日生。三男淳氏 大正十三年三月十二日生。二女榮美子女 大正十五年八月四日生。三女美登里子女 昭和三年八月八日生。

【主なる親戚】 義父石川六太郎氏 新潟縣南蒲原郡三條町大字三條字四の町九八番地、商業。永尾貞一氏 姪好女實兄、京都市下京區西新屋敷上之町一四六番地、商業。

〔本〕

永尾貞一氏

明治三十四年六月二十二日生

【營業】 吳服太物小賣寶屋モスリン店主
 【營業所】 府下荏原郡蒲田町御園三百三十三番地 電話(蒲田四七)
 【住所】 府下荏原郡蒲田町新宿六十八番地
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京都府人永尾市松氏長男にして明治四十五年五月二十四日家督を相続す十一歳の時上京し四谷區内賣屋に奉公し後北海道札幌今井吳服店に勤務せるが大正十三年退店の上、翌十四年六月現所に開業今日に至る、溫和にして商才ある人物なり、熱心經營に従事す。

【趣味】 碁 【宗教】 浄土宗

【所得税】 五〇圓 【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 實母ハル女 明治十一年一月十七日生、京都府人矢部爲次郎氏妹、明治三十三年八月七日婚姻入籍。實妹とみ女 明治四十五年四月十七日生。妻女浪江女 明治三十九年五月二十八日生、京都府人宮川太一郎氏實妹、昭和三年一月三十日婚姻入籍。長男幸雄氏 昭和三年五月二十二日生。

【主なる親戚】 義兄宮川太一郎氏 京都府下京區西洞院通蛸薬師下ル古西町四三五、吳服太物商。

直江新太郎氏

明治十五年四月十一日生

【營業】 毛斯輪吳服太物小賣商
 【營業所】 府下豊多摩郡淀橋町角管四番地 電話(四谷三五三)
 東京市麻布區坂下町一番地 電話(高輪四六一)
 東京市四谷區新宿二丁目六十九番地 電話(四谷三五二)
 府下荏原郡大崎町谷山百三十三番地 電話(高輪四四三)
 東京市淺草區馬道一番地ノ一號 電話(淺草四三三)
 府下荏原郡大井町四千三百三十二番地 電話(大塚三三三)
 府下巢鴨町宇巢鴨千三百三十三番地 電話(大塚三三三)

【住所】 府下巢鴨町宇巢鴨千三百三十三番地 電話(大塚三三三)
 【本籍地】 新潟縣三島郡與板町大字與板甲三百八十七番地

【略歴】 氏は星野珪太氏の長男として生る然るに母トノ女は生家直江家を建つる必要上星野氏と離縁し明治十六年八月二十五日新潟縣與板町堀猪吉氏二男文吉氏と結婚して直江家を復興し其後夫妻の間に男子なかりしをもつて大正九年四月六日當主新太郎氏を養子となす昭和五年一月四日養父文吉氏隱居したるをもつて其家督を相続す當主は年少の頃より札幌今井吳服店に入り精勵怠らず次第に其手腕を認められて店主今井藤七氏の信任厚く選ばれて旭川支店支配人となり後ち同店樞要の店舗たる札幌店の支配人になり累進し大正八年二月同店の支配人に累進し大正八年二月同店が株式會社に組織を變更せる際其常務取締役に擧げられ大正九年其姉妹會社たる今井

醸造及藤武良商店の設立さるや更に又取締役に選任され同店に盡す處尠ながらざりしが大正十一年五月豫ての志たるモスリン小賣の連鎖店を東京市の内外に實現すべく社長今井藤七氏の諒解上に獨立本業を開始し爾後漸進現容をなすに至る。

【所得税】 一二二五圓 【營業收益税】 四四二圓

【家庭】 養父文吉氏 安政四年八月十五日生。母トノ女 文久三年八月二十六日生。妻サダ女 明治十八年七月十四日生。與板町小林良平氏三女。長男新一氏 明治四十三年一月三十日生。早稻田大學。二男榮造氏 大正五年五月六日生。京北實業學校。妹ヨシ女 明治四十年七月二十二日生。

【主なる親戚】 今井久平氏 札幌(株式會社今井吳服店常務取締役)。

行木宗七氏

慶應二年三月二十一日生

〔本〕

【營業】 關東織物卸
 【營業所】 東京市日本橋區村松町十五番地 電話(浪花四七)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府人服部萬吉氏實弟なるが明治二十五年十

一月二十五日絶家行木亥三郎跡を再興す、幼名を喜久松と稱し幼時一大旦住家の養子となり日本橋區橋町石井清兵衛商店(石井合名)に入り斯業を見習ふ事卅餘年の久しきに及ぶ、然るに先代清兵衛氏妻女の實弟たる行木の絶家となり居りしを前記の如く氏が再興する事となりしを以て大住家は實弟正三郎氏に繼がしめ明治四十二年主家を退店現所に獨立せるものなり。

【趣味】 誦 【宗教】 眞宗 【所得税】 二五圓

【營業收益税】 八九圓

【家庭】 妻女さだ女 明治四年十二月二十八日生。群馬縣人岩本茂平氏二女、明治二十五年四月六日婚姻入籍。長男喜一郎氏 明治二十七年八月四日生。嫁喜久女 明治三十四年十月二十四日生。喜一郎氏妻女、東京府人亡富永平次郎氏三女大正九年八月二十八日婚姻入籍。二男恒三郎氏 明治三十六年十月四日生。三男善三郎氏 明治三十九年四月十三日生。四女磯子女 明治四十五年一月二十二日生。孫佐喜子女 大正十二年六月十九日生。長男善一郎氏長女、孫澄子女 大正十五年十月八日生。喜一郎氏二女、孫陽一氏 昭和三年十二月七日生。

【主なる親戚】 義父山本茂平氏 群馬縣山田郡桐生新町、富

〔五〕 永庄平氏 東京府南足立郡千住町大字千住町五ノ三七、雜貨小賣業。實弟大住正三郎氏 日本橋村松町一五、當店擔當者

並木孝三氏

明治三十一年七月二十二日生

【營業】 吳服太物小賣 並木吳服店主
【職業】 府下豊多摩郡澁谷町上通三丁目三十四番地 電話(青山11011)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は澁谷町並木種太郎氏三男にして十六歳の頃日本橋區芳町玉川屋吳服店に奉公せしが二十一歳の時圓滿退店し除隊後主人息女現ハツ女と結婚し相當の後援を受けて大正八年頃現所に開業し現在に至りしものなり。

【所得税】 二二六圓 【營業收益税】 一四〇圓
【家庭】 妻ハツ女 明治三十四年七月十日生。長女正子女 昭和三年二月二十七日生。
【主なる親戚】 東京府北多摩郡砧村八五九石井欣次氏 妻女實弟。

長澤時之助氏

明治九年六月二十四日生

【營業】 羅紗卸商
【營業所】 東京市日本橋區通三丁目七番地 電話(日本橋吳器)
【住所】 同 所
【本籍地】 茨城縣猿島郡新郷村中田五百七十六番地

【略歴】 氏は埼玉縣北埼玉郡不動岡村高橋幸右衛門氏の四男にして不動岡小學校卒業後十四歳にして上京し日本橋區川瀬石町にて質商たりし高橋彦次郎商店に入り恪勤十三年に及び二十六歳の折京橋區岡崎町相勝羅紗店に轉じたり然して同店に勤続する事三年にして遠縁に當る長澤家に養子となり後分家して明治三十八年現所に獨立せり氏は頗る意志強固にて終始變らざる一貫せる方針を以て良く店業を隆盛ならしめ今日に及ぶ。

【宗教】 眞宗 【所得税】 三一二圓
【營業收益税】 八四圓
【家庭】 妻たみ女 明治十六年十一月生。長男幸三郎氏 明治三十九年三月生中央大學商科卒業後目下家庭に在り。二男榮一郎氏 大正二年一月生明治大學商科一年在學。三男健三郎氏 大正七年十一月生城東小學校六年在學。四女茂子女 〃

大正十二年九月生城東小學校一年在學。
【主なる親戚】 本家妻女實父長澤茂一郎氏 茨城縣猿島郡新郷村酒造業。生家高橋近三郎氏 埼玉縣北埼玉郡不動岡村農業。

長岡藤吉氏

明治十六年十一月十九日生

【營業】 綿布卸
【營業所】 東京市日本橋區新大阪町八番地 電話(浪花△三)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡葉枝見村大字本庄三十二番屋敷田口佐右衛門氏の二男にして幼少より日本橋區橋町荒井半兵衛商店に奉公したるものなるが同店の廢業するや氏は現養父長岡喜兵衛氏の下に一店員として勤む。爾來實直に奉公し氏の才能と商手腕を見込まれ明治四十三年喜兵衛氏の長女コト女の養子として入轉し株式會社長岡商店代表取締役たりしが日下家族名儀の個人經營に移し綿布卸を營む。

【趣味】 謡曲 【宗教】 曹洞宗 【所得税】 七〇圓
【家庭】 妻コト女 明治二十二年九月二十八日生當戶主喜兵

衛氏(慶應元年五月二十五日生)の長女なり。君太郎氏 明治二十七年一月十九日生喜兵衛氏の長男にして藤吉氏を補佐し共に家庭にあり。洋之助氏 明治三十三年八月二十九日生喜兵衛氏の三男幼少より病弱にして家庭にあり。康一郎氏 明治四十三年九月十日生藤吉氏の長男にして早稻田實業學校卒業日本橋區モスリン卸商杉村商店に勤務中。富美枝女 大正二年一月三日生藤吉氏長女にして日本橋區高女卒業の後家庭にあり。鉄二郎氏 大正四年八月八日生藤吉氏の二男にして府立第一商業學校在學中。憲三郎氏 大正八年二月九日生藤吉氏の三男にして小學校在學中。三重女 大正十二年九月六日生藤吉氏の二女家庭にあり。つゆ子女 長男君太郎氏の妻。司郎氏 君太郎氏長男。朔夫 君太郎氏の二男。
【主なる親戚】 樂器商三光堂主 松本光太郎氏 戶主喜兵衛氏 二女三千代女と婚姻す。帶地袴卸商沼崎勘兵衛氏 日本橋區通旅籠町。
【主なる出身者】 吉野屋吳服店高野貢氏 四谷區新宿三丁目大服商店服部敏氏 日本橋區久松町。木綿卸商鈴木錦次郎氏 日本橋區米澤町一五。

〔本〕

長沼眞夫氏

明治二十年二月二十七日生

【職業】

吳服太物小賣合資會社九作武藏屋吳服店代表社員

【勤務先】

東京市本所區善妻橋三丁目二ノ三 電話(墨田支店)

【住所】

同 所

【本籍地】

同 所

【略歴】氏は現戸主長沼丈夫氏實弟なり、夙に市内四谷區傳馬町武藏屋吳服店に永年奉公したるが、大正十二年震災と共に退店し、翌十三年三月現所に獨立す、昭和三年九月二十日資本金五千五百圓を以て合資會社武藏屋吳服店を設立、氏は其の無限代表社員として今日に及ぶ、手腕家にして溫和熱心なる人物なり。

【趣味】

野球 【宗教】 眞宗

【家庭】實兄丈夫氏明治十八年四月二十日生、亡長沼稱郷氏二男にて現戸主たり。實母やす女、萬延元年二月十八日生、群馬縣人、桑野二藤治氏四女、明治四十二年一月十二日亡長沼稱郷氏と婚姻入籍。實兄丈夫氏妻女とめ女、明治二十九年十二月十八日生、愛媛縣人、加藤良三氏四女、大正五年三月三十一日丈夫氏と婚姻入籍。甥雄太氏、大正七年九月四日生、

長崎義文氏

明治二十八年九月十一日生

【營業】 吳服太物小賣業

【勤務先】 府下南葛飾郡小岩町下小岩千八百八十二番地

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】氏は東京府人、亡長崎惣次郎氏二男に生れ、大正九年六月三日家督を相続す、當長崎屋吳服店は約三十五六年前に先

代惣次郎氏が足袋及び賣藥小賣業を創めたるものにして、大

正九年五月二十六日先代死歿と同時に同氏之を繼承し、程なく現業に轉換するに至れり、現在同地界隈に於ける有力吳服店として知らる、商機を見るに敏にして且溫和なる紳士なり

【宗教】 眞宗 【所得税】 一三二圓 【營業收益税】 一一二圓

【家庭】 實母ふく女、元治元年二月二十日生、同郡同町字中、小岩竹内徳三郎氏長女、妻女いよ女、明治三十二年六月十三日生、同郡鹿本村大字興之宮二七二番地伊藤武助氏長女、大正八年二月十八日婚姻入籍。長女悦子女、大正八年二月二十日生、小岩小學五年在學。長男康行氏、大正十二年十一月二十八日生、同小學一年在學。二男聖明氏、昭和元年十二月二十八日生、

【主なる親戚】 義父伊藤武助氏、同郡鹿本村大字興之宮二七二、農業。實弟秀保氏、亡長崎惣次郎氏三男、大正十三年十一月二十日分家す、現住所同郡同村下小岩三一六八番地農業

生井伊四三氏

明治二十五年十二月一日生

【營業】

羅紗綿布卸商合資會社大五生井商店代表社員

【主なる親戚】 妻の實兄岩城市太郎氏(區内本石町藥種問屋)。同業石河信次郎氏(區内鐵砲町) 園部四郎氏(區内馬喰町) 共に義兄弟なり。

【主なる親戚】 妻の實兄岩城市太郎氏(區内本石町藥種問屋)。同業石河信次郎氏(區内鐵砲町) 園部四郎氏(區内馬喰町) 共に義兄弟なり。

【主なる親戚】 妻の實兄岩城市太郎氏(區内本石町藥種問屋)。同業石河信次郎氏(區内鐵砲町) 園部四郎氏(區内馬喰町) 共に義兄弟なり。

【主なる親戚】 妻の實兄岩城市太郎氏(區内本石町藥種問屋)。同業石河信次郎氏(區内鐵砲町) 園部四郎氏(區内馬喰町) 共に義兄弟なり。

【主なる親戚】 妻の實兄岩城市太郎氏(區内本石町藥種問屋)。同業石河信次郎氏(區内鐵砲町) 園部四郎氏(區内馬喰町) 共に義兄弟なり。

【主なる親戚】 妻の實兄岩城市太郎氏(區内本石町藥種問屋)。同業石河信次郎氏(區内鐵砲町) 園部四郎氏(區内馬喰町) 共に義兄弟なり。

〔む〕
むの部

村越庄左衛門氏

安政六年三月十五日生

【營業】 絹布染生地問屋村越庄左衛門商店主
【營業所】 東京市日本橋區長谷川町二十六番地 電話(浪花)四五・三三三〇
【住 所】 東京市赤坂區青山南町六丁目百三番地電話(青山)四五〇〇
【本籍地】 東京市日本橋區長谷川町二十六番地

【略歴】 氏は東京府人村越榮助氏長男に生れ先代亡庄左衛門氏養子となる。當家は屋號を田原屋と稱し萬延二年頃よりの舊家にして代々呉服商を營み絹布染生地卸の外に赤坂區新町一丁目に支店として呉服太物小賣業を經營しつゝあり、業界の素封家として名あり。

【宗教】 淨土宗 【所得稅】 一〇、四四七圓
【營業收益稅】 一五九圓

【家庭】 嫁るい女 明治二十五年一月五日生、長男耕平氏未亡人京橋區銀座三ノ四松澤八右衛門氏三女。三女狹子女 明治三十一年七月十八日生。孫其達氏 亡耕平氏長男、大正八年三月一日生。孫欣示氏 亡耕平氏二男、大正十年三月十五日生。

日生。

【主なる親戚】 松澤八右衛門氏 京橋區銀座三丁目四番地、

村越福三郎氏

明治二十五年十月二十五日生

【營業】 絹布染生地問屋村越庄左衛門商店總支配人
【職名】 同上
【營業所】 東京市日本橋區長谷川町二十六番地電話(浪花)四五〇〇
【住 所】 同上
【本籍地】 同上

【略歴】 氏は故橋本富八氏の三男にして大正四年五月六日村越家の養子となる。店主庄左衛門氏は營業に關係せず福三郎氏一切を支配し居るものにして妻女増子女(村越庄左衛門氏四女)及長男徳雄氏は大正十二年歿し爾來孤獨生活にありて、温厚篤實なる紳士なり。

【宗教】 淨土宗 【所得稅】 一、一〇四圓
【主なる親戚】 村越庄左衛門氏欄参照。

村田茂七氏

明治二十六年一月二十六日生

【營業】 毛斯綸洋反物卸株式會社村田商店取締役社長
【職名】 同上
【營業所】 東京市日本橋區新大阪町十番地 電話(浪花)三六〇〇
【住 所】 東京市牛込區山谷河原町十八番地 電話(牛込)三三〇〇
【本籍地】 東京市日本橋區新大阪町十番地

【略歴】 氏は當店創業者たる先代茂七氏の三男にして大正五年四月四日家督相續をなす。幼名を悟郎と云ひ大正五年六月十三日茂七に改名、同七年五月十八日資本金五十萬圓(全拂)を以て株式會社村田商店を設立するや氏は其の取締役社長に就任今日に至る。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞言宗
【所得稅】 一、六六一圓 【營業收益稅】 一〇八一圓

【家庭】 實母シナ女 文久三年十月十日生、大阪府人中谷孫七氏長女、明治二十一年十月十日婚姻入籍す。長男榮之助氏 大正五年一月四日生。妻女ふさ女 明治三十二年二月二日生。東京府人桑原林之助氏二女、昭和二年四月八日婚姻入籍、先妻大正十四年四月死亡。
【主なる親戚】 義父桑原林之助氏 下谷區仲御徒町一ノ二三

無職。

【主なる出身者】 毛斯綸小賣業淺野晋次郎氏 日本橋區松島町近江屋モスリン店主。毛斯綸問屋菅昌之助氏 京都。

村田平治氏

明治二十五年四月六日生

【營業】 京吳服、染絹、絹袖卸、合名會社村平商店代表社員
【職名】 同上
【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町二丁目六番地電話(浪花)三三〇〇
【住 所】 同上
【本籍地】 滋賀縣蒲生郡武佐村宇長光寺百二十九番地

【略歴】 氏は村田平三郎氏の長男に生れ年少時上京、日本橋區富澤町深田與三兵衛商店に奉公し、恪勤十八年に及び大正十年圓滿退店して獨立開業せしものなり。爾來順調に經過して今日に至る現在は市内外を通じて相當鞏固なる地盤を築くに至れるなり。

【宗教】 淨土宗 【所得稅】 七五圓
【營業收益稅】 八四圓

【家庭】 妻コウ女 明治二十八年十二月十五日生大阪府中河内郡南高安村安井松次郎氏四女。長男庄平氏 大正十年十二月十四日生目下郷里の祖父の下にあり。次男順平氏 大正十

〔む〕

二年十二月十六日生、長女壽美子女。大正十四年十一月十五日。次女充子女。昭和二年十二月十五日。なほ郷里には氏の實父平三郎氏、實母ツヨ女共に健在なり。

【主なる親戚】 大阪市住吉區松原町鶴ヶ岡村田善平氏。平治の實弟にして阿部彦山林土地株式會社支配人たり。大阪府中河内郡南高安村字恩地安井松次郎氏。無職。

村田東洋兒氏

明治三十二年四月六日生

【職業】 桐生御召卸合資會社大同商店無限代表社員

【職業所】 東京市日本橋區堺町五番地 電話(浪花三三)

【住所】 同所

【本籍地】 滋賀縣東淺井郡竹生村大字香花寺三百八十二番地

【略歴】 氏は滋賀縣東淺井郡竹生村大字香花寺四二ノ二戸主村田豊氏二男に生れ大正四年三月二十七日同縣同郡同村同字三八二村田マク女の養子となり同四年十一月十三日家督を相続す。大正十年大倉商業學校を卒業し、義兄大岡信一氏の創業經營に係れる大岡商店(京御召卸)に寄寓店務を補佐する處あり、然るに大正十二年三月當店は資本金三千圓を以て合資會社に組織を變更、大いに業容を企圖しつゝある中、同十四

年三月店主大岡氏病歿するに及び氏は直ちに同店無限代表社員に就任今日に至る。温厚篤實なる青年紳士にして目下熱心經營に従事せり。

【趣味】 野球

【宗教】 浄土宗

【家庭】 妻女すみ女。明治三十七年七月二十三日生、東京府人亡近藤可雄氏五女、大正十四年十二月一日婚姻入籍、石川縣立金澤高女卒才媛、趣味長唄生花等。長女洋子女。昭和二年四月二十六日生。長男一郎氏。昭和四年四月一日生。

【主なる親戚】 實姉大岡秀子女。小石川區戸崎町三、先代信一氏未亡人。伯父中川齊治氏。滋賀縣東淺井郡大里村大字會根醫師。伯父中島俊一氏。同縣同郡同村大字錦織、醫師。

村田彌助氏

明治十五年八月十五日生

【職業】 毛織物卸商 合資會社村田羅紗店代表社員

【職業所】 東京市芝區櫻田本郷町十番地 電話(銀座西二)

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は先代喜兵衛氏の長男なり。横濱市太田町に生れ十四歳の時芝區露月町毛織物卸商丸山政吉商店に入り格勤二

十五年明治四十五年同店が株式會社丸山商店となるや氏は常務取締役就任したるが其後解散して大正十二年現所に獨立し昭和六年三月資本金三萬圓の合資會社となる。

【趣味】 旅行

【宗教】 日蓮宗

【所得稅】 七一圓 【營業收益稅】 一〇三圓

【家庭】 母きく女。安政六年三月十三日生。妻はる女。明治十八年三月十九日生。麻布區六本木町一樂器商田邊鐘太郎氏妹。婿養子松三郎氏。明治三十六年八月七日生。長野縣埴科郡松代町綿商吉味軍兵衛氏二男にして昭和二年一月十九日長女梅女と養子縁組入籍す。長女梅女。明治四十年一月八日生。家政女學校卒業。二女喜代女。明治四十四年九月二十日生。家政女學校在學中。孫壽美子女。昭和五年三月十七日生。【主なる親戚】 義兄田邊鐘太郎氏。樂器商、麻布區六本木町。義兄吉味軍兵衛氏。綿商、長野縣埴科郡松代町。

村田左吉氏

明治四年一月八日生

【職業】 吳服太物小賣業近江屋吳服店主

【營業所】 東京市下谷區竹町十二番地 電話(下谷三三)

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は滋賀縣犬上郡龜山村村田甚五郎氏二男に生れ、明治十七年二月二十七日前戸主村田伊八氏の養子となり、即家督を相続す、夙に上京市内日本橋區織物問屋西澤商店に奉公し勤続永年に及びたるが、明治三十八年五月圓滿退店、直ちに現所に斯業を開始せり、着實勤勉の人にして目下店員約十名を使用し、長男新吉氏補佐の下に經營しつゝあり。

【趣味】 歌舞伎

【宗教】 眞宗

【所得稅】 二二八圓 【營業收益稅】 一三四圓

【家庭】 妻女もと女。明治十二年五月二十五日生、東京府人松居貞次郎氏妹、明治三十二年六月十五日婚姻入籍。長男新吉氏。明治三十三年七月二十一日生。四女喜世女。明治四十三年十一月二十六日生。二男房治氏。大正二年六月二十四日生。五女宜子女。大正七年三月一日生。六女實子女。大正八年十月六日生。婦ハル女。明治三十八年三月五日生、東京府人橋本宗一郎氏妹にして昭和四年三月九日婚姻入籍。

【主なる親戚】 義兄松居貞次郎氏。深川區入船町二番地無職。婿恩田藤吉氏。本郷區春木町三の一九、長女とく女夫會社員。桐山徳三氏。深川區佐賀町二の七、三女愛子夫。橋本

〔む〕 宗一郎氏 府下南葛飾郡本田町大字立石七四一長男新吉氏妻女實兄。

氏 昭和四年二月十七日生。
〔主なる親戚〕 内藤徳左衛門氏 妻女里方、埼玉縣入間郡吾妻村大字荒畑

武藤貞保氏

明治十七年六月十日生

〔職業名〕 吳服太物小賣合資會社大田屋吳服店代表社員

〔營業所又〕 府下北豊島郡板橋町大字瀧ノ川二千三百五十番地

〔住所〕 同 所

〔本籍地〕 同 所

〔略歴〕 氏は府下調布町駒木野武藤清治氏の長男にして十三歳の頃より埼玉縣所澤町吳服小賣商山田力藏商店に奉公し勤続十五ヶ年にして退店大正元年十二月獨立開業今日に至りしものにして近隣一帯の同業中頭角を現はし業勢盛なり。

〔所得税〕 一四一圓

〔家庭〕 父清治氏 安政元年十月十二日生。妻きち女 明治二十二年九月十四日生。弟榮一氏 明治二十二年五月二十五日生。弟昇氏 明治四十年十二月一日生。長女恵女 大正三年五月二十日生。二女徳女 大正四年九月十四日生。長男俗治氏 大正七年七月二十六日生。二男茂氏 大正十年七月二十四日生。三男雄治氏 大正十五年四月十七日生。四男錦司

村上信丸氏

明治十五年十一月一日生

〔職業名〕 吳服太物雜貨小賣

〔營業所〕 東京市赤坂區新町二丁目七番地 電話(青山五〇一)

〔住所〕 同 所

〔本籍地〕 同 所

〔略歴〕 氏は滋賀縣犬上郡豊郷村大字四十九院一二番屋敷村上利三郎氏の甥にして、亡村上壽か女の男にして、明治四十三年五月十六日分家戸主となる。年少時福岡縣若松市島瀬吳服店に約七年間在勤其の後上京して糶吳服を営む事五ヶ年の後、大正元年現所に斯業を開始す。性温厚にして几帳面なる人物なり神佛尊崇の念厚く郷里八阪の地蔵を最も信仰す。

〔宗教〕 眞宗 〔所得税〕 八八九圓

〔營業收益税〕 三七八圓

〔家庭〕 妻女あゐ女 明治三十三年十月二十六日生。滋賀縣犬上郡豊郷村大字四十九院八六五番地亡増田榮治郎氏四女、

大正十四年四月二十三日婚姻入籍。嫡々子信太郎氏 大正九年六月五日生、滋賀縣犬上郡豊郷村豊郷小學校三年在學。義弟増田拾三氏 明治三十六年十月生、妻女あゐ女實弟。
〔主なる親戚〕 従妹村上すゑ女 滋賀縣犬上郡豊郷村大字四十九院一二番屋敷、古鐵商。實父岡村多内氏 滋賀縣愛知郡日枝村字吉田、酒造業。
〔主なる出身者〕 糶吳服商當馬久藏氏 赤坂區新町一丁目。

村岸武雄氏

明治三十八年三月三十日生

〔職業名〕 廣幅織物卸

〔營業所〕 東京市日本橋區馬喰町二丁目十一番地電話(浪花三三三)

〔住所〕 同 所

〔本籍地〕 同 所

〔略歴〕 氏は前戸主亡村岸留吉氏二男にして大正九年十一月二十八日家督相續をなす。昭和二年三月商科大學卒業後、商況視察の爲め英國に渡り、約一年間滞在の後歸朝。目下熱心經營に従事しつゝあり。博學温厚なる紳士なり。

〔趣味〕 ラグビー、短艇、水泳 〔宗教〕 眞宗

〔所得税〕 一五一圓 〔營業收益税〕 六七圓

〔家庭〕 實母さく女 明治五年十二月十日生、岐阜縣海西郡蛇池村五二亡田中錢九郎氏二女。妻女君女 明治四十二年生、市内小石川區武島町三番地淺野鐵二氏長女昭和二年三月文華高女卒、生花、茶の湯、琴等に趣味を有す昭和五年十二月三十日婚姻。
〔主なる親戚〕 義父淺野鐵二氏 小石川區武島町三、凸版印刷株式會社取締役。叔父米澤利吉氏 淺草區千束町二の二八第一人形屋メリンス店主。伯父田中唯一氏 日本橋區馬喰町四の二〇、雜貨卸。伯父村岸豊吉氏 大阪市西淀川區大仁町二の八、メリヤス製造卸。

麥野藤次郎氏

明治二十六年八月四日生

〔職業名〕 中形裏地金巾卸

〔營業所〕 東京市日本橋區濱町二丁目十二番地 電話(浪花五〇二)

〔住所〕 同 所

〔本籍地〕 同 所

〔略歴〕 氏は麥野金兵衛氏の長男なり。年少時より日本橋區長谷川町近元山本元三郎商店に奉公し恪勤精勵したるが大正八年金兵衛氏病歿せるに因り退店して家業を繼ぎ、本業を開

【む】 始今日に至る。

【趣味】 讀書 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻よし女ニ明治三十四年七月九日生静岡市本通八丁目四九杉山丑太郎氏五女静岡縣立高等女學校卒業。長男謙次郎氏ニ大正十二年五月十二日生。

【主なる親戚】 義兄ニ日本橋區通油町モスリン小物卸丸山脇助氏。静岡市本通八丁目製材業杉山丑太郎氏。日本橋區本石町雜入形製造卸渡邊芳次郎氏。同區通り一丁目蚊帳卸古島久治郎氏。

う の 部

植村傳助氏

明治二十年三月九日生

【營業】 羅紗卸業

【營業所】 東京市日本橋區金吹町四番地 電話(日本橋九〇・九〇三)

【住所】 東京市小石川區久堅町二十四番地 電話(小石川 五〇)

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府人先代傳助氏長男明治四十三年十一月四日家督を相続し同年同月十九日前名傳を改む、先代傳助氏は夙に千葉縣より出身横濱に於て貿易商に従事し、明治十八年市内日本橋區本町に羅紗販賣業を經營、同十二年英獨佛各地を視察し同三十九年仁川に支店を設立、次いで倫敦に店員を派遣し直輸入をなす等活躍見るべきものあり、當主傳助氏は明治四十二年應慶應義塾理財科を卒業し同四十四年歐米各國を巡遊、大正二年歸朝す、東京府多額納税者にして且濃厚篤實稀に見る紳士なり。

【趣味】 日本音樂 【宗教】 日蓮宗

【所得稅】 五五九一圓 【營業收益稅】 一三四四圓

【家庭】 繼母ゑん女ニ慶應三年八月十三日生、明治二十八年

五月二十九日日本橋區小網町三の九亡中澤善三郎氏婦入籍。

妻女廣子女ニ明治三十年六月二日生、長野縣人子爵諏訪忠元

氏二女、大正三年十二月二日婚姻入籍、跡見女學校卒の才

媛趣味生花音樂等、長男傳氏ニ大正十年六月十七日生、實姉

八重女ニ明治十四年一月八日生、二男實氏ニ大正十二年七月

三十日生、三男佐氏ニ大正十四年六月二十二日生、四男秀氏

ニ昭和三年六月十九日生、長女美惠子女ニ昭和五年八月十四

日生。

【主なる親戚】 實弟龜次郎氏ニ赤坂區檜町五、慶應卒業、大正十三年十二月十八日分家。義父諏訪忠元氏ニ長野縣諏訪郡上諏訪町二八四三イ號(本籍)現住所市外中野町桐谷一〇四五子爵。義弟關幸重氏ニ麻布區霞町一九番地、當店支配人。

植村和吉氏

大正五年十一月一日生

【營業】 足袋地卸商

【營業所】 東京市日本橋區本船町二十五番地 電話(浪花三六四)

【住所】 府下荏原郡大井町元芝八百九番地 電話(高輪三九)

【本籍地】 東京市日本橋區本船町二十五番地

【略歴】 同店は五代前の創業に係り同業中の老舗なり先代は

〔5〕

北多摩郡郷地村紅林家の出にして同家に入婿し現未亡人コト女は同區長谷川町にて綿布問屋たりし瀧川松兵衛氏の妹なり昭和五年八月先代歿して相續し營業は母コト女親權者として義兄實氏經營を爲す實氏は先代の郷里中野芳太郎氏の三男にして長姉ミキ女の婿養子となれる人なり同家は代々隱徳家を以て知られ實力も又見るべきものあり。

【宗教】 日蓮宗 【所得税】 四九五圓

【營業收益税】 九〇圓 【地租】 一二〇圓

【家庭】 母コト女 明治十年八月二十八日生。義兄實氏 明治三十七年九月十八日生。姉ミキ女 明治三十八年十一月二十三日生日本橋女學校出身。姉ゆき子女 明治四十四年一月一日生、日本橋高女卒業。姉しげ女 大正四年九月五日生第一高女通學中。叔祖母トミ女 萬延元年十月十六日生。

【主なる親戚】 日本橋室町早川ビロロカ長谷川由太郎氏 【主なる出身者】 日本橋區堀留足袋原料卸商大内六右衛門氏

牛山武兵衛氏

明治十二年五月二十日生

【營業】 吳服太物小賣商松屋吳服店主
【又は職名】 百貨店株式會社新宿松屋取締役社長

【營業所又】 東京市日本橋區通四丁目十一番地 電話(日本橋)七三〇
【は勤務先】 東京市四谷區新宿三丁目四十八番地 電話(四谷)三三八
【住 所】 府下荏原郡目黒町元三田六十七番地 電話(高輪)六六六

【本籍地】 東京市日本橋區通三丁目四番地

【略歴】 氏は東京府士族牛山武兵衛氏の長男に生れ、明治四十四年四月二十六日家督相續、同年六月十日前名半藏を改め武兵衛を襲名す、當店(松屋)は先代武兵衛氏明治二十九年頃開業したるものなるが先代歿後當主之を繼承し、昭和四年三月二十日更に別働隊として四谷區新宿三の四八に資本金十五萬圓全額拂込済の株式會社新宿松屋を設立、氏は其の取締役社長に就任今日に至る、會て所得稅調査委員なりしことあり、現に日本橋通四丁目町内總代の職にあり、温厚なる紳士にして雅號を牛山或は啞禪と稱し和歌俳書に長ず。

【趣味】 謠曲、文學 【宗教】 天台宗

【所得税】 四六六圓 【營業收益税】 三四四圓

【家庭】 妻女もと女 明治十六年十月十八日生、神奈川縣人先代古屋徳兵衛氏二女、御茶水高女卒、明治三十五年三月七日婚姻入籍。長男源一郎氏 明治四十年七月十五日生、慶應大學在學中。二男雅夫氏 大正三年十二月十五日生、府立第五中在學。三男武吉氏 大正六年三月二十三日生。四女賀千子女 大正九年一月二十四日生。四男博義氏 大正十年十月

二十五日生。五女眞貴子女 大正十三年四月二日生。

【主なる親戚】 義兄古屋徳兵衛氏 株式會社松屋吳服店取締役社長、古屋合名會社代表社員。細田愼一氏 日本橋區西河岸町一、會社員(二女鶴子嫁先)。婿内藤長一氏 京橋區尾張町二の六、煙草商菊水商店主(三女恒子嫁先内藤彦一氏養子)

宇野文平氏

安政五年九月二十三日生

【營業】 各種綿布卸合名會社宇野文商店代表社員
【は職名】 東京市日本橋區新大坂町五番地 電話(浪花)三〇〇
【營業所】 滋賀縣坂田郡長濱町大字祝九番地
【住 所】 滋賀縣坂田郡長濱町大字祝九番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は亡先代文平氏長男に生れ前名を尙次郎と稱したるが明治二十五年三月九日家督を相續同三十三年五月八日襲名す、而して先代は永年日本橋區新大坂町吳服太物問屋外村宇兵衛商店の支配人なりし關係上年少より氏も亦同店に入り父の隱退後を承けて支配人となりたるも明治三十八年退店して歸郷す、然るに同四十四年頃舊主改革ありて従前の卸業を廢止するに至りしかば之を遺憾とし同年十二月現店舗に依りて本業を開始、大正十二年二月資本金三十萬圓の株式に組織

を變更、昭和三年一月一族出資拾萬圓の合名會社に改め嗣子文三氏を中心とし益々業容の進展に努力しつゝあり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 九四圓

【地租】 一二六圓

【家庭】 妻女その女 慶應三年三月十五日生、滋賀縣人塚本和介氏妹、明治十六年九月十一日婚姻入籍。長男文三氏 明治二十三年三月五日生、當店擔當者。三男哲四郎氏 明治二十七年四月四日生、當店出資社員。五男寅藏氏 明治三十五年八月十八日生、同出資社員。婦常女 明治二十九年四月十日生滋賀縣人松居久右衛門氏二女、大正六年八月二十四日文三氏と婚姻入籍。孫文雄氏 大正七年十一月十六日生、嗣子文三氏長男、滋賀縣立長濱商業在學中。孫直治氏 大正十年三月二十八日生、文三氏二男。婦コウ女 明治三十六年十一月二十六日生、滋賀縣人岡崎定五郎氏四女、大正十二年一月十一日三男哲四郎氏と婚姻入籍。孫一子女 大正十三年一月二十日生、嗣子文三氏長女。孫實氏 昭和三年五月十一日生、孫起世子女 大正十三年二月十二日生、三男哲四郎氏長女。孫隆太氏 昭和三年八月二十五日生、同哲四郎氏長男。

【主なる親戚】 塚本直次郎氏 京都市下京區西洞院通三條下傳寺町七一四、吳服卸、二男直三郎氏の義父。外村宇兵衛

〔5〕

氏 滋賀縣神崎郡南五個莊村大字金堂四八一、長女はつ女嫁先。松居久右衛門氏 滋賀縣神崎郡北五個莊村大字龍田一一一、婦常女實父。岡崎定五郎氏 滋賀縣蒲生郡北比都佐村大字内池八一三婦コウ女實父。

【主なる出身者】 吳服太物小賣業藤村徳次郎氏 市内本所區押上町、同業永野芳太郎氏 市内赤坂區青山七丁目、同業松井傳太郎氏 日本橋區蠟燭町三ノ一一。同業丸橋爲一氏 府下井荻町西荻窪。

宇津木長次郎氏 (通稱)

明治三十一年一月五日生

【營業】 吳服卸
【營業所】 東京市神田區元柳原町十九番地 電話(浪花四八六)
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は栃木縣安蘇郡佐野町堀越太造氏の實弟にして、元日本橋區橋町山本嘉七商店に勤務し居たるが、先代半造氏に望まれて大正十一年入婿し昭和四年十月先代の病歿に因り家督を相続す。性温厚にして如才なく對人印象佳良なり。

【宗教】 日蓮宗 【所得稅】 一三五圓

【營業收益稅】 八六圓

【家庭】 養母チヨ女 明治二年七月二十七日生、妻芳江女 明治三十八年九月六日生、宇津木半造氏長女。長男敬一氏 大正十一年九月二十八日生、長女國子女 大正十三年十二月二十六日生、二女弘子女 昭和二年二月二十日生、三女教子女 昭和三年十二月十四日生。

【主なる親戚】 埼玉縣所澤町増田敦藏氏。淺草區左衛門町堀越善三郎氏 帽子卸商。氏の實家堀越太造氏 吳服太物商。【主なる出身者】 神田區美土代町宮澤孝至氏 糶吳服商。

宇佐美左一氏

明治十九年十二月十六日生

【營業】 小幡綿布及雜綿布卸合名會社宇佐見商會代表社員
【職名】 同 所
【營業所】 東京市日本橋區新大坂町七番地 電話(浪花五三〇)
【勤務先】 同 所
【住 所】 千葉縣東葛飾郡市川町宮田二百五十六番地
【本籍地】 東京市日本橋區新大坂町七番地

【略歴】 氏は愛知縣人宇佐美惣助氏三男に生れ年少の頃日本橋區大傳馬町に在りし足袋生地問屋に奉公し明治四十年退店して同志十名と共に堀留町に資本金一萬五千圓を以て二六商會を設立、大正十五年脱退し現所に獨立す。而して大正十二

年震災を動機として合名會社(資本金一萬四千圓)宇佐美商會を創立、氏は其の代表社員として今日に至る。理智的にして熱心家なり。

【趣味】 園藝 【宗教】 眞言宗
【所得稅】 一三八圓 【營業收益稅】 二六〇圓
【家庭】 妻女なか女 明治二十五年二月二十三日生、千葉縣人深山榮次郎氏妹、大正元年十月二十三日婚姻入籍。長男正一氏 大正七年九月三十日生、市川小學六年在學。二女和子女 大正十一年五月三十日生、同上小學二年在學。三男博氏 昭和三年八月十七日生。
【主なる親戚】 義兄深山榮次郎氏 千葉縣東葛飾郡明村根本一足袋製造卸。義弟山藤基氏 日本橋區岩代町、雜綿布卸女婿。大川唯四氏 千葉縣東葛飾郡市川町市川五九六字佐美商會出資社員、長女文子女の夫に當る。
【主なる出身者】 綿布卸森順一氏 日本橋區小傳馬町二九、綿布卸。太田鈴三氏 日本橋區馬喰町一の八。

内田金藏氏

文久三年十月十日生

【營業】 中形裏地卸

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町十六番地 電話(浪花二九〇)
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所
【略歴】 氏は福井縣遠敷郡小濱清瀧町亡佐野重右衛門氏二男 明治十五年八月十一日内田家前戸主内田官治氏養子となり、同十七年四月二日家督を相続す。年少より實家の業たる吳服太物小賣に従事すること多年、二十三歳の折多少の資金を以つて上京、西陣より綿帶を仕入れ販賣し居りたるが、明治三十三年日本橋區元濱町より同區彌生町に移轉、更に現所に三轉して今日に至る着實勤勉の人なり。
【趣味】 觀劇 【宗教】 眞宗
【所得稅】 九〇五圓 【營業收益稅】 一七九圓
【家庭】 妻女すい女 明治九年一月二十一日生、埼玉縣人小泉磯右衛門氏姉、明治三十一年六月三日婚姻入籍。長女とく女 明治三十一年十一月二十四日生、婿養子留次郎氏 明治二十二年二月十一日生、滋賀縣人亡藤井彌平氏二男、大正十二年十二月十七日長女とく女と婿養子縁組入籍。孫裕康氏 大正十二年十二月四日生、孫修三郎氏 大正十四年十月十九日生、孫健造氏 昭和四年一月三十一日生。
【主なる親戚】 義弟小泉磯右衛門氏 埼玉縣北足立郡浦和町一一〇四番地。藤井彌三郎氏 滋賀縣犬上郡豊郷村大字四十九

統院七四の一婿養子留次郎氏實兄。

内田健治氏

明治二十六年五月三十日生

【營業】 中形生地及加工師
【營業所】 東京市日本橋區蠣殼町三丁目十三番地電話(浪花四四一)
【住所】 同 所
【本籍地】 東京市本郷區駒込淺嘉町百一番地

【略歴】 氏は埼玉縣北足立郡蕨町大字蕨二番地戸主亡内田猪之助氏實弟に生れ大正八年十二月一日分家す、郷里小學校を卒へるや直ちに上京し、明治三十九年市内日本橋區堺町元石橋傳藏商店に入店勤続永年に亘れるが同店が一時閉店し西河岸榮太樓の後援にて再起したる際氏は之が中堅となりて盡す處あり、然るに同店は大正十二年震災を動機として閉店せるより氏は現所に本業を開始し今日に至る。資性潤達にして明敏なる紳士なり。

【趣味】 讀書(統計的) 將棋、野球 【宗教】 眞言宗
【營業收益稅】 一六圓

【家庭】 妻女保女 明治三十年六月二十四日生、埼玉縣人高橋茂氏姉、大正八年十月十三日婚姻入籍。長男博道氏 大正

八年十二月二十四日生、日本橋區有馬小學校五年在學。二男俊男氏 大正十年十月十六日生、同上小學三年在學。長女信子女 大正十四年九月十八日生。二女節子女 昭和三年六月六日生。

【主なる親戚】 義弟高橋茂氏 本郷區駒込淺嘉町一〇一、早稻田實業學校卒、東京貯藏銀行駒込支店次長。實兄内田義三郎氏 埼玉縣蕨町字須賀町、三共織工場經營。實兄小山助藏氏 同縣同町同字、機業家。義甥吉田良利氏 同縣同町同字早大政經科卒安田銀行三田支店勤務(書記)。義弟浦井吉三郎氏 本所區太平町二の一八、東京貯蓄銀行本所支店長、義兄御蘭生淳氏 明大出身、名古屋控訴院判事、妻女保女の實姉夫。

内海虎吉氏

明治六年二月十二日生

【營業又職名】 吳服太物小賣 油屋吳服店主
【營業所又勤務先】 東京市小石川區大塚町十二番地 電話(小石川六六)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は内海利兵衛氏の二男なり。元來同店は約二百年

内西鐵藏氏

明治二十三年四月五日生

【營業又職名】 京吳服卸合資會社内西商店無限責任代表社員
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區長谷川町二十三番地
【住所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣犬上郡千木村大字正法寺二百四十番地

【略歴】 氏は前戸主内西與四郎氏二男にして大正八年二月十日分家す年少より東京市日本橋區富澤町織物問屋深田商店に奉公し永年恪勤したるが過ぐる震災により退店、大正十二年十月本郷に獨立し、其後日本橋區箔屋町村松町を経て、同十三年八月現所に移轉昭和二年三月資本金五千圓の合資會社を設立して現職に就任今日に至る溫和なる紳士なり。

【趣味】 野球 【宗教】 眞宗
【家庭】 妻女まさ女 明治二十八年五月十三日生、滋賀縣犬上郡千木村大字西沼波一二六番屋敷戸主山形利平氏養妹、大正八年二月十九日婚姻入籍す。

【主なる親戚】 義父山形利平氏 滋賀縣犬上郡千木村大字西沼波一二六番屋敷、雜貨化粧品商。實兄内西與三郎氏 同縣同郡同村正法寺二四〇番地、農業。

前の開業に係り當主は其五代目なり而して代々足袋製造販賣を以てその業とせしも約二十餘年前當主營業を繼業するに當りて吳服太物部を設け爾來漸次伸展して今日に至れるものなるが氏は斯業の外先代よりの事業たる三等郵便局長をも兼務し居れり。

【宗教】 眞言宗 【所得稅】 六三八圓

【營業收益稅】 一五九圓 【地租】 一六圓

【家庭】 妻とく女 明治十二年八月三十日生北豊島郡石神井村字關甲六三七番地井口傳次郎氏二女。長男利一氏 明治四十年一月二十五日生生成城中學出身現在店務從事。二男庄二氏 明治四十三年五月四日生明治大學豫科在學中。二女榮子女 大正六年七月二十五日生府立第二高等女學校在學中。

【主なる親戚】 千葉縣市原郡姉ヶ崎町三木徳三氏 勸銀千葉支店勤務。牛込區矢來町佐藤富太郎氏 米穀商。同町野木徳太郎氏 無職。

【主なる出身者】 府下西巢鴨町三家二三九三出浦春吉氏 吳服小賣。

梅田建次郎氏

明治十九年十二月一日生

【職業名】百貨店株式会社白木屋取締役兼呉服部長

【營業所又】東京市日本橋區通一丁目九番地 電話(日本橋三區) 〇〇〇〇

【勤務先】府下北豊島郡日暮里町七十番地 電話(下谷区) 〇〇〇〇

【本籍地】滋賀縣栗太郡草津町大字草津八百八十九番地

【略歴】氏は滋賀縣人梅田石松氏の長男、夙に當店に入り専ら社業の發展に盡す處あり、美きに同店大阪支店長たりし事あり、現に當店取締役兼呉服部長として重きをなす、温厚篤實なる紳士にて内外に衆望厚し。

【趣味】運動、讀書 【宗教】眞言宗

【所得税】二五三圓

【家庭】父梅田石松氏 文久三年十月六日生、母ナカカ女 明治四年二月七日生、大阪府人井出久治郎氏長女、大正三年十月二十一日婚姻入籍。妻ナヲ女 明治二十年八月二日生京都府人林與吉氏長女大正五年二月二十五日婚姻入籍。長女初枝女 明治四十二年二月一日生

【主なる親戚】伯父宮本新次郎氏 大阪市東區岡山三六五義祖父井出久治郎氏 大阪府三島郡高槻町大字高槻四九三、繼

母ナカカ女實家。義父林與吉氏 京都府久世郡宇治町大字宇治町三二四番戸。

梅田勇藏氏

安政四年十月十七日生

【職業名】呉服小賣商 ちりめん商店主

【營業所又】東京市芝區宮本町八番地 電話(芝區) 〇〇〇〇

【本籍地】同 所

【略歴】氏は滋賀縣竹野郡網野町前戸主源次郎氏二男なり、夙に京都に出で縮緬生地屋となりたるが明治二十三年上京し叔父の知人なる某問屋後援の許に當初芝區金杉橋附近に小規模なる店舗を開き次で芝神明より現所の向側に移轉、更に同三十四年現所に移轉今日に至る、店員十數名を使用し熱心經營に従事す、温厚篤實なる老紳士にして、冷靜緻密なる氏の創造的頭腦は從來幾多の發明を完成し、宮内省御用雨戸閉閉器及び飛行機部分品等既に五種の專賣特許を受けたる外實用新案特許五件あり。

【趣味】發明 【宗教】日蓮宗

【所得税】一〇四圓 【營業收益税】一〇二圓

【家庭】妻女いと女 元治元年十一月二十四日生、京都府竹野郡網野町平民室野兵左衛門氏二女。長男延藏氏 明治十四年九月二十六日生、獨學にて中學卒業檢定合格、營業擔當者なり。長女てつ女 明治十九年七月二十日生、大正元年十二月二十五日芝區七軒町二番地に分家。婦トヨ女 明治十三年十月二日生、長男延藏氏妻女、大阪市南區北桃谷町二番地松村重太郎氏二女。孫笹子女 明治四十一年二月二十三日生、長男延藏氏二女、女子大學女工保全科卒業。三女美ゆ子 明治四十四年八月十二日生、長男延藏氏三女、女子大學國文科三年在學。孫淨藏氏 大正元年十一月八日生、延藏氏二男、東京市立第一中學卒業。孫淨眼氏 大正二年十二月十七日生延藏氏三男、東京市立第一中學五年在學。孫美登妻女 大正五年一月五日生、延藏氏四女英和女學校三年在學。孫一相氏 大正十一年四月九日生、延藏氏四男、東京市立神明小學校二年在學。

【主なる親戚】松村重太郎氏 京都市下京區聚樂通仲町二七番地、シヨール製造卸業、長男延藏氏妻女トヨ女實父。

の部

野村市太郎氏

明治十二年三月二十六日生

【職業名】 天笠、金巾卸 野村合資會社代表社員
 【營業所又】 東京市日本橋區長谷川町三番地 電話(浪花三六九)
 【勤務先】 東京市本郷區上富士前町九十四番地電話(小石川一四〇〇)
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は名古屋市中區中の町野村清藏氏の長男にして年少時は家業たる荒物繩疋等の營業に従事したるが二十六歳の頃上京して日本橋區彌生町金巾卸朝生彦三郎商店(現存せず)にて斯業を見習ふ事約三ヶ年にして獨立す。爾來順調に經過して大正八年三月一族を以て現合資會社を設立し爾來無難を辿りつゝ今日に至る。

【宗教】 眞宗 【營業收益税】 五四七圓

【家庭】 妻はる女 明治十七年一月十七日生京橋區木挽町三丁目山梨唯吉氏長女。長男貞一氏 明治四十二年十月四日生帝大經濟學科在學中。二男正次郎氏 大正二年二月三日生府立商業學校卒業日下在室。三男八郎氏 大正三年十二月三日

生開成中學在學中。

【主なる親戚】 名古屋市西區牧野村内三〇野村兼次郎氏 壘表卸。

【主なる出身者】 府下西巢鴨町大塚、淺野宗三郎氏 廣巾物小賣。

野村幸助氏

明治十九年四月九日生

【營業所】 中形裏地加工卸
 【營業所】 東京市日本橋區橋町一丁目十二番地 電話(浪花七三三)
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は神奈川縣秦野町字會屋野村松五郎氏の三男として生る年少時上京して日本橋區通旅籠町二十一番地金巾問屋櫻井半六商店に奉公し同店の廢業後更に新大阪町宮田幸兵衛商店に入り勤続十年にして退店し大正元年六月溜町一ノ二十に獨立開業し震災後現所に移轉して今日に及べり。氏は人物眞面目にして活動家たり店員五名を使用して中堅店舗の實を擧げ一意店務に従事し居れり。尙ほ本年藤助を幸助に改む。

【趣味】 謠曲 【宗教】 天台宗

【所得税】 三四二圓 【營業收益税】 一五六圓

【家庭】 妻はる女 明治二十七年一月二十日生千葉縣安房郡鴨川町石崎萬吉氏五女。長男秀雄氏 大正三年三月十五日生府立一商在學。二男達次郎氏 大正五年三月十九日生青山學院在學。三男光郎氏 大正八年十二月十四日生。長女トシ子 女 大正十二年一月十六日生。二女マサ子 女 大正十四年九月一日生。

【主なる親戚】 石崎常吉氏 日本橋區新大阪町四綿布問屋。庄司助松氏 千葉縣安房郡鴨川町吳服商。野村喜太郎氏 神奈川縣縣秦野町會屋。

野村三郎氏

明治十六年九月二十五日生

【營業所】 中形裏地加工卸
 【營業所】 東京市日本橋區橋町一丁目五番地 電話(浪花三六九)
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣比企郡松山町野村金十郎氏の三男なり。大正二年九月分家す。明治二十八年四月上京して當時日本橋區長谷川町に木綿問屋を營みし日比德次郎商店に勤務し精勵

の間へあり、大正元年無事退店して區内龜井町に獨立爾後漸次業容の伸展に連れ同町十五番地に進出し震災後現所に移轉して今日に至る。氏は着實にして遣り口手堅く危険味なき經營をつゞけ居るものなり。

【趣味】 談論 【宗教】 淨土宗
 【所得税】 四八圓 【營業收益税】 一五一圓

【家庭】 妻ミツ子 女 明治二十年六月二十六日生神田區松枝町梅田文太郎氏長女。長女敏子女 大正二年九月二十八日生府立第五高等女學校出身。

【主なる親戚】 梅田久雄氏 (妻女の生家相續人) 神田區松枝町。野村茂氏 埼玉縣松山町 (店主生家藥商)。

野村信太郎氏

明治二十七年一月十二日生

【職業名】 子供服エプロン卸 合名會社野村子服店社員
 【營業所又】 東京市本所區東兩國一丁目十二番地
 【勤務先】 同 所
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 岐阜縣大垣市東船町二百十八番地ノ三

【略歴】 氏は野村百次郎氏の四男にして元大阪市東區北久寶寺町に於て斯業を營み居たるが大正十一年合資會社に組織を

變更し震災後東京に轉ずるに及びて個人店に復歸し淺草區北元町に開業せり。而して昭和二年五月事情に因り更に合資會社に再組織變更をなし、次で昭和六年五月十二日資本金四千圓の合名會社野村子服店を設立松野秀雄氏を代表社員となし氏は其出資社員となる。

【趣味】 將棋 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻つう女 明治三十二年二月十八日生大垣市寶村町松野幾次郎氏長女。

【主なる親戚】 大垣市室林町松野幾次郎氏 妻女實家。

野村外松氏

明治三十二年二月八日生

【營業又
は職名】 吳服卸みすじ屋吳服店代表社員

【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區村松町三十番地

【住
所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡建部村字下野四十五番地

【略歴】 氏は年少時より日本橋區富澤町大橋藤八商店に奉公し勤続二十有六年に及び、後年には主として仕入方を擔當し居たるが昭和二年四月間満退店して獨立せり。頗る勤勉家として主家が勤中二十六ヶ年を通じて缺勤二日に過ぎずと説か

る。尙昭和六年四月九日みすじ屋吳服店を設立其代表社員たり。

【趣味】 相撲、將棋 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻薰女 明治廿三年十二月一日生石川縣河北郡三谷村字深谷石屋二左衛門氏長女。長女孝子女 大正十一年二月二十六日生。長男藏氏 大正十三年十一月三十日生。二男耕平氏 昭和二年一月二十一日生。二女浦子女 昭和五年十一月二十五日生。

【主なる親戚】 野村又七氏(生家)滋賀縣神崎郡建部村。石屋二左衛門氏(岳父)石川縣河北郡三谷村旅館業。本所區押上町三五奥野音一郎氏(親族)。

野崎賢之助氏

明治十三年十一月二十五日生

【營業又
は職名】 八王子織物買繼並に關東吳服卸株式會社土屋留商店取締役東京店支配人

【營業所又
は勤務先】 (本店)東京市日本橋區本町四丁目十七番地電話(日本橋三五七) (本支店)東京市八王子市南町二十七番地

【住
所】 東京市日本橋區本町四丁目十七番地

【本籍地】 府下西多摩郡殿ヶ谷村八百九十二番地野崎祐之助氏方

【略歴】 氏は北多摩郡中藤村波多野賢次郎氏の長男なるが八歳の時殿ヶ谷村八九二番地野崎豊三郎氏の養子となり現姓を

名乗る夙に八王子土屋留次郎商店に入店震災前迄は横濱支店支配人なりしが大正十二年八月主家が株式會社土屋常七商店を併合し旁々横濱店を震災後廢止するに際し東京店支配人となる亦株式會社土屋留商店の取締役たり。

【趣味】 謡曲

【家庭】 戸主義弟祐之助氏 明治十七年九月一日生。妻イト女 明治二十年一月二十五日生荒井榮藏氏長女明治四十二年十二月二十七日入嫁。長男誠一氏 明治四十四年十一月二十六日生早大通學中。

【主なる親戚】 荒井榮藏氏(妻女里)北多摩郡砂川村。森谷貞助氏(弟)八王子土屋商店本店支配人。

野口新兵衛氏

明治七年十二月十一日生

【營業又
は職名】 吳服太物小賣合名會社伊勢新吳服店代表社員

【營業所又
は勤務先】 東京市麹町區麹町五丁目五番地 電話(九段 三六七)

【住
所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は麴町四丁目六番地(廢家)中村庄三氏の三男にして舊名を才太郎と稱せしが明治三十二年十一月先代野口新兵

衛氏の養子となり長女かね女と婚姻す。明治四十年先代病歿により襲名せり。近年氏は區會議員に擧げられ公職方面に努力する等相當多忙を極め來りし爲め店務は古參店員某氏に擔當せしめ更に昭和四年合名組織に變更し氏は代表社員として現在に單にその監督の位置にあるものなり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 一七九二圓

【家庭】 妻かね女 明治九年三月二十一日生先代長女。長男幸吉氏 明治三十四年十一月七日生慶應大學理財科卒業現在麴町區下二番町に別居中。幸吉氏妻美津女 明治三十三年八月十五日生深川區入船町野口留吉氏三女。

【主なる親戚】 牛込區餘丁町野口榮次郎氏(洋品小賣商)。麴町區中六番町十一番地内藤三守氏(休職工兵中佐)。

野呂豊吉氏

明治十三年十月十日生

【營業
所】 (本店)廣幅綿布製織(出張所)廣幅綿布卸

【營業所
又(出張所)】 東京市神田區松枝町一番地 電話(浪花三五三)

【住
所】 埼玉縣北足立郡青木村大字前川 電話(鳩ヶ谷 九)

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は前代議士野呂丈太郎氏の實弟にして約三十五年

前分家す。當初は微々たるものなりしも漸進して同地一流の機業家と稱せらるゝに至れり。後前掲場所に出張所を設け現に自家製品以外の商品をも扱ひ相當手廣き商内を遂行しつゝあり。氏は何等の道樂を有せず専心商賣道に營むことを以て終生の趣味となし居るものなりと。

【宗教】 眞宗 【營業收益税】 九三圓

【家庭】 (妻女死亡) 長男安太郎氏 明治三十二年十二月十五日生本店にて從業中。二男清一氏 明治四十二年一月一日生東京商工學校卒業目下横須賀海兵團入隊中。安太郎氏妻まさ子女 明治三十四年三月十三日生埼玉縣北足立郡神根村根岸加藤久太郎氏長女。外に安太郎氏に榮一、信雄氏の二男あり。

【主なる親戚】 埼玉縣北足立郡青木村上青木野呂桂介氏(無職)。同縣同郡神根村根岸野呂幸太郎氏(機業)。同所加藤久太郎氏(機業)。

野水寅資氏

明治二十三年五月二十二日生

【營業名】 洋反物絹布小賣 藤屋モスリン店主

【營業所又】 府下荏原郡大森町中原百八十八番地 電話(大森三三六)

【住 所】 同 所

【本籍地】 新潟縣南蒲原郡三條町大字三條字四ノ町二百二十六

【略歴】 氏は新潟縣三條町亡松谷藤資氏の二男にして絶家となりたる同地野水家を再興したる人なり、年少の頃より北海道今井吳服店に奉公し恪勤精勵の譽れ高かりしが大正十一年五月圓滿退店して上京し府下巢鴨町百三十三番地直江新太郎氏の經營せる藤屋モスリン店連鎖事業に與り、氏の信任厚かりしも同氏諒解の下に大正十四年十一月退店後藤屋號を以て本業を開始す温厚篤實なる紳士なり。

【宗教】 眞宗 【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 妻フキ女 明治三十七年三月四日生。二男謙一氏 大正十三年九月六日生。長女節女 大正十四年九月七日生。二女弘子女 昭和二年五月二十二日生。

【主なる親戚】 高野能治郎氏 妻(實兄)新潟縣三條町一ノ宮吉野長太郎氏 亡妻里方北海道網走郡網走町。宗村敬三郎氏 新潟市古町本町通鶴屋モスリン店主。

くの部

久保田惣右衛門氏

明治十二年六月二十四日生

【營業名】 織物買廻及卸問屋株式会社久保田商店取締役社長

久保田織物工業株式会社取締役社長

桑華織物株式会社取締役社長

株式会社久保田酒造店取締役社長

八王子商工會議所會頭

八王子織物同業組合評議員

八王子市教育會副會長

八王子市稅務署管内所得調査委員長

北相織物同業組合組長

武相甲織物同業組合副組長

東京市日本橋區小舟町一丁目三番地

電話(浪花)三六・三三三・三三〇〇

八王子市八日町九十四番地 電話(03)・三三・三三〇〇

八王子市旭町十番地 電話(三六)・三三・三三〇〇

東京市牛込區南町二十一番地 電話(牛込)三五五三

【本籍地】 神奈川縣津久井郡串川村根小屋七百一番地 電話(相模中野) 〇

【略歴】 氏は先代亡喜右衛門氏の長男にして神奈川縣津久井郡串川村根小屋に生る。前名を實太郎と稱せしが明治三十六年十一月十三日惣右衛門と改む大正十五年一月先代隱居に因りて家督を相續せり元來久保田家は代々神奈川縣津久井郡に

居住し農を以て本業とし織物は文政年間同家七代の祖先により創業せられ爾來子孫相亞て之れを繼承し先代喜右衛門に到り八王子を營業の中心と定め各地に支店を設置し専ら當主營業の實權を掌握し現在の基礎を成せり、大正八年十二月時代の進運に伴ひ織物に關する各種事業を夫々株式組織と革め商業部を株式会社久保田商店(資本金百萬圓全額拂込濟)工業部を久保田織物工業株式会社(資本金二十萬圓全額拂込濟)となし氏は專務取締役となり後先代歿後は社長を就任し久保田家經營時代より永年勤續せる店員を以て夫々要部に配置し業容極めて順調なり猶氏は八王子商工會議所會頭、八王子市織物同業組合評議員、八王子市稅務署所得調査委員等の公職に推され又郷里に於ても北相織物同業組合組長に推舉せられ繁忙なる事業經營の傍ら地方商工業のため盡瘁する所尠ならず、資性温厚にして徳望あり優秀なる店員の輩出せる亦是なりと謂ふべし。

【趣味】 圍碁 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 五八一六圓

【家庭】 妻キク女 明治十五年四月一日生東京府南多摩郡鶴川村小島守政長女。長男禮治氏 明治四十一年五月十二日生東京商科大學在學中。長女綾子女 明治四十四年四月二日生府立第六高女卒業。次女芳子女 大正二年九月九日生府立第

〔ク〕

六高女在學中。次男悌二氏大正六年七月三日生府立第四中學通學中。三女潛子女大正十一年十一月二十二日生市立愛日小學校通學中。

【主なる親戚】小島孝氏妻女生家相續人在東京府南多摩郡鶴川村字小野路。小鹽八郎右衛門氏貴族院議員、神奈川縣農工銀行頭取、神奈川縣多額納稅者にて姻戚。在神奈川縣中野相川村字戸田。平本文平氏生母の生家相續人在神奈川縣津久井郡串川村字關。

久保富太郎氏

明治十五年七月一日生

【營業又】染網銘仙卸株式會社中島商店代表取締役 中伊合名會社出資社員

【營業所又】東京市日本橋區新材木町七番地 電話(浪花 一七)

【住 所】東京市下谷區谷中清水町三番地

【本籍地】埼玉縣大里郡岡部村大字宿根一番地

【略歴】氏は埼玉縣人久保久平氏叔父にして亡父幸七氏長男なり明治二十九年中島伊平商店に入店し只管忠勤する處ありしが後年拔擢せられて同店支配人となり昭和四年三月一日株式會社中島商店創立さるゝや氏は選ばれて代表取締役に就任兼ねて中伊合名會社出資社員として今日に至る、勤嚴温厚な

る紳士なり。

【宗教】淨土宗 【所得稅】一〇二圓

【家庭】妻かね女明治二十六年三月二十日生、日本橋高女卒埼玉縣人亡秋元善次郎氏四女、明治四十三年二月十九日婚姻入籍。長男一郎氏大正二年九月二十六日生。長女治子女大正四年八月十九日生。二女光子女大正六年八月二十七日生。三女幸子女大正八年十二月六日生。四女和子女大正十一年四月十一日生。二男隆治氏大正十三年一月一日生。五女佳子女大正十四年五月十日生。

【主なる親戚】甥久保久平氏埼玉縣大里郡岡部村大字宿根一番地。義弟秋元米太郎氏埼玉縣大里郡深谷町大字西島一三四、妻かね女實弟。

久米 資氏

明治十二年四月二十八日生

【營業】エプロン服飾品加工卸

【營業所】東京市日本橋區田所町二十三番地 電話(浪花 六三)

【住 所】同 所

【本籍地】同 所

【略歴】久米商店は先代久米半藏氏後ち資と改むの開業に

大字高岩七九。

【主なる出身者】望月伊之助氏(エプロン裁縫)淺草區福井町池田萬吉氏(エプロン裁縫)淺草區西島越。新井茂氏(エプロン商)本所二葉町。

久我 由松氏

明治二十八年十二月十八日生

【營業又】中形裏地加工卸商合資會社九久代表社員

【營業所又】東京市日本橋區新材木町十二番地 電話(浪花 三〇八)

【住 所】同 所

【本籍地】同 所

【略歴】氏は久我嘉助氏の次男なり嘉助氏は京都の人木原家の出にして明治十七年久我家を相續す日本橋區堀留金中間屋吉田商店に勤め明治三十年本業を獨立開始し漸次業容を整ふ由松氏は大阪市南本町松田宗商店に修業し歸りて家業に従事し來りしが震災後資本金二萬圓の合名會社を設立し營業を續け更に昭和五年二月資本金五萬圓の合資會社と爲す嘉助氏は昭和六年二月病歿して由松氏相續せり資性着實温和なる紳士なり。

【宗教】眞宗 【所得稅】一〇四圓

〔ク〕

日生大正十一年五月入籍。

【主なる親戚】小島惣右衛門氏(店主生家)在豊橋市字杉木五九。土橋市太郎氏(婿養子藤作氏生家)南埼玉郡篠原津村

係る先代は元沼津藩主水野出羽守の御小姓係を勤めしものなるが維新後生家の相續を實弟に譲り其際授與せられたる金祿公債を資本に區内本石町に於て洋唐物商を開始し後ち人形町大時計際に移り毛糸及袋物洋物等を商へるが所謂士族の商法業績上らず後ち現業に轉じ苦心慘憺の甲斐あり次第に業容を好展し遂に現容をなす當主は愛知縣豊橋市小島惣右衛門氏の二男其幼名を勝次郎氏と稱せり生後間もなく久米家に引取られ同家の養子となる資性篤實毛糸編物の技術に秀でエプロン加工には天才的手腕を有しあり。

【趣味】將棋 【宗教】日蓮宗 【營業收益稅】七七圓

【家庭】養母貴尾女弘化四年三月二十一日生、千葉縣士族亡近藤愼七氏二女。妻くら女明治十一年十一月三十日生鈴木木喜三郎氏長女。長女延女明治卅五年九月二十三日生紅葉川高女出身婿養子藤作氏妻。長男延藏氏明治四十三年十一月二十五日生府立第一商業出身。二男幸吉氏大正二年五月五日生府立第一商業出身。三男雄三氏大正四年十月十六日生府立第一商業在學。婿養子藤作氏明治二十九年二月十二日生大正十一年五月入籍。

〔く〕

【家庭】 母ふさ女 明治五年五月十五日生。妻あき女 明治三十五年五月十六日生。長女嘉代子女 大正十二年一月九日生。次女貞子女 大正十三年十月二十六日生。長男嘉男氏 大正十五年十月七日生。三女和子女 昭和二年十二月二十六日生。四女和可子女 昭和四年十月十六日生。弟喜代次氏 明治三十五年六月十一日生。妹復子女 大正二年一月十六日生。生山協女學校卒業。

【主なる親戚】 京都市蝸薬師吳服卸商松居久左衛門氏。下谷區竹町吳服小賣村田左吉氏。妹つる女の縁先三宅繁太郎氏日清生命保険株式會社福島支社長。

【主なる出身者】 日本橋區堀町五番地中形加工卸商瀧田春雄氏。同區迫旅籠町綿布商西田儀三郎氏。

久保井金三氏

明治二十二年二月二十五日生

【營業所】 廣幅綿布卸渡邊洋行東京店支配人

【職業】 廣幅綿布卸渡邊洋行東京店支配人

【勤務先】 京都市日本橋區新設町五番地 電話(浪花)三三〇〇

【本籍地】 滋賀縣高島郡西庄村大字寺久保二百七十九番地

【職業】 實地、中形卸

明治十年二月六日生

栗原宗治氏

井金四郎氏同ふみ女の四男なり、夙に京都渡邊洋行に勤務し目下東京店支配人なり、本店は當主定次郎氏の先々代角兵衛氏の開業もとビロード仲買なりしが先代伊兵衛氏繼承後明治三十四年頃より内外織物を扱ひ東京大阪上海に支店を設けあり東京店は久保井氏出張員となり開拓に努めたるものにて氏は渡邊嘉平氏の(店主の婚戚)甥にして店主の信認厚しと稱さる。

【趣味】 銃獵、釣魚 【宗教】 眞宗 【所得税】 三八圓

【家庭】 妻幸女 群馬縣桐生市宇桐生百七十一番地吉田儀平氏長女明治三十四年一月三日生。長男康雄氏 大正十一年六月十三日生。高輪小學校在學。長女テイ子女 大正十三年六月二十一日生。

【主なる親戚】 渡邊嘉平氏 叔父、京都市元誓願寺智惠光院西入ル西陣織物製造業。義父吉田儀平氏 群馬縣桐生市宇桐生一七一。

【主なる出身者】 日本橋區大傳馬町二丁目綿布卸田口三郎氏

栗原茂吉氏

明治十六年四月三十日生

【營業所】 生絹染絹銘仙卸柿原合名會社東京支店營業部長

【職業】 生絹染絹銘仙卸柿原合名會社東京支店營業部長

【勤務先】 京都市日本橋區通旅籠町四番地 電話(浪花)七八・一〇九・五八〇

【住 所】 府下北豐島郡瀧野川町田端五百三十四番地

【本籍地】 埼玉縣北埼玉郡須加村大字須加四千五百四十九番地

【略歴】 氏は栗原定五郎氏の長男にして、年少時より同店に奉公し格勤今日に及ぶ、昭和三年には東京織物問屋同業組合より勤続三十年の表彰を受けた。現在氏は同店の營業部長として活躍しつゝあるものにして、性瀾達、加ふるに商手腕の見るべきものあり主家の信望厚し。

【趣味】 謡曲、圍碁 【宗教】 曹洞宗 【所得税】 七七圓

【家庭】 妻女とめ女 明治二十九年六月二十一日生北埼玉郡忍町大字行田武笠助次郎氏四女、趣味琴曲、常盤津。二男孝吉氏 大正七年九月十五日生明治中學在學中。二女富美子女 大正十三年九月六日生。五男秀吉氏 大正十五年十月十日生。六男茂八氏 昭和四年九月二十日生。七男進氏 昭和五年十二月十二日生。

〔く〕

【主なる親戚】 日本橋區大傳馬町二丁目雜綿布商我野喜太郎氏。埼玉縣忍町行田足袋製造卸栗原代八氏。

【略歴】 氏は埼玉縣行田の出身なり。生家は行田足袋の製造家として老舗且つ資産家なり。氏は幼年の頃出京して日本橋區元濱町角大中村商店(現株式會社中村商店)に入り斯業を習得、二十五歳にして退店獨立す。爾來孜々として業務に努力し今日の基礎を築くに至る。現今業務の大綱を述べ、實務は主として養嗣子二三吉氏これを擔當す。經營振り地味堅實業勢日に伸展を辿りつゝあり。

【趣味】 圍碁 【宗教】 淨土宗 【所得税】 一五四九圓

【營業收益税】 二二四圓 【地租】 九三圓

【家庭】 妻ムメ女 明治十七年三月十二日生石原繁三郎氏二女、養子よね女(二三吉氏妻) 明治二十六年五月卅日生、石原繁三郎氏四女。婿養子二三吉氏 明治二十一年三月二十六日生大島源之丞氏弟。孫健太郎氏(二三吉氏長男) 大正八年十月十七日生。孫富士女(二三吉氏長女) 大正十二年五月三日生。孫善次郎氏(二三吉氏二男) 昭和二年十月二十日生。

【主なる親戚】 日本橋區大傳馬町二丁目雜綿布商我野喜太郎氏。埼玉縣忍町行田足袋製造卸栗原代八氏。

〔く〕

【主なる親戚】 埼玉縣忍町大字行田武笠助次郎氏 無職妻女里家。埼玉縣行田今泉恒吉氏 足袋製造業従兄弟。

栗原 弘氏

明治二十年十一月十四日生

【營業】 吳服太物小賣正直屋吳服店主

【營業所】 東京市本郷區駒込東片町百六番地 電話(小石川三六六)

【住 所】 府下荏原郡世田ヶ谷町代田六百三十五番地 電話(世田ヶ谷三三)

【本籍地】 東京市本郷區駒込東片町百六番地

【略歴】 氏は埼玉縣北埼玉郡原道村栗原吉五郎氏の長男なり。十四歳の頃上京し芝區三田通り播摩屋吳服店に永年奉公せしが主家蹉跌して現所に移轉營業持續を企畫せしが遂に思はしからず閉店廢業するに及びたれば乃ち栗原氏その後を讓受たるものにして爾來漸次伸展して今日に至れるなり。

【趣味】 大弓 【宗教】 眞言宗

【所得税】 二四七圓 【營業收益税】 一三五圓

【家庭】 妻タカ女 明治三十五年一月二十七日生埼玉縣北埼玉郡原道村小島豊吉氏孫加須實科女學校卒業。長男康太郎氏 大正二年五月一日生早稻田實業學校卒業現在店務従事。三男輝雄氏 大正十四年六月二十三日生。四男昭治氏 昭和二年一月二十四日生。五男泰氏 昭和五年七月二十五日生。

【主なる親戚】 埼玉縣北埼玉郡原道村栗原多四郎氏。同所小島豊吉氏。

【主なる出身者】 西巢鴨町池袋常盤通り奥谷幸一氏 吳服商。王子町十條服部廣次氏 吳服商。

栗本 捨造氏

明治二十八年八月二十三日生

【營業】 各種織物問屋株式會社九紅商店東京支店營業部長

【營業所】 東京市日本橋區元濱町八番地 電話(代表浪花 突四)

【住 所】 府下豊多摩郡澁橋町柏木九百九十五番地

【本籍地】 滋賀縣犬上郡久徳村大字栗栖四百五十一番地

【略歴】 氏は亡栗本幾次郎氏の二男として本籍地に生れ大正十三年分家一家をなす明治四十三年丸紅大阪本店に入り格働する事多年漸次累進同店關東織物仕入を擔當し居りたるが昭和五年拔擢せられて東京支店營業部長に榮轉し爾來支店長階級に授け卓越せる才腕を振ひつゝあるものにして資性温順交際に丈け各方面の印象頗る良好なり。

【趣味】 園藝 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻千代女 明治三十六年一月十八日生。長男精一氏

昭和四年十月二日生。

【主なる親戚】 實兄栗本惣平氏 滋賀縣犬上郡久徳村字栗栖農業。實母實家山中與三松氏 滋賀縣犬上郡久徳村字栗栖農業。叔父山中宇三郎氏 朝鮮感鏡北道堆基、雜貨吳服商。妻女實家北川嘉衛氏 滋賀縣坂田郡長濱町字三堂前、雜貨小賣。姉縁先大管吉衛氏 滋賀縣犬上郡大瀧村、藥種商。姉縁先桂善兵衛氏 滋賀縣犬上郡久徳村字栗栖、農業。

栗田 庄太郎氏

明治十三年二月十四日生

【營業】 ネル、セル卸

【營業所】 東京市日本橋區久松町一番地 電話(浪花 七六)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代庄太郎氏の二男にして舊名を五郎と稱せしが明治三十三年先代歿後襲名す。先代の家業を繼承して地味堅實に推移今日に至れり。

【宗教】 淨土宗 【營業收益税】 一八七圓

〔く〕

【家庭】 妻ナミ女 明治十七年十月五日生日本橋區藥研堀町安田喜平氏妹。長女美彌女 大正六年十月二十六日生。

【主なる親戚】 日本橋區橋町一丁目栗田豊太郎氏 洋傘、羅紗既成品卸。義兄安田喜平氏 同區藥研堀町三〇。

栗田 侃英氏

明治十八年三月十一日生

【營業】 木綿卸商

【營業所】 東京市日本橋區通油町十八番地 電話(浪花 四〇三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 神奈川縣鎌倉郡小坂村小袋七百番地

【略歴】 氏は栗田與四郎氏の二男にして舊名を莞治郎と稱せしが大正十三年六月現名に改む。十三歳の頃より区内大門通り山作商店(現存せず)に奉公し精勵して其手腕を認められしが二十二歳の時退店米國に渡り苜蓿栽培等に従事或程度の富を得て歸朝す。而して京橋區木挽町に洋反物卸商を営みしも震災後廢業偶々氏の甥に當る武田氏が主家廢業によつて浪人たりしかば乃ち栗田氏出資武田氏をして業務を擔當せしむることとして再開業、爾來無難に經過して今日に至れるものなり

【宗教】 禪宗 【所得税】 七三圓

【營業收益税】 八一圓

【家庭】 妻こと女 明治三十一年十一月二十一日生京橋區木

〔く〕

挽町二丁目小野寺吉五郎氏長女。長女直子女。大正十四年三月十一日生。養女康子女。大正十二年九月十六日生。前記小野寺吉五郎氏孫。

【主なる親戚】 京橋區木挽町二丁目小野寺吉五郎氏。建築業

栗田豊太郎氏

明治三十三年九月一日生

【職業名】 羅紗既製品及ビ洋傘卸 合資會社上野屋商店代表社員

【營業所又】 東京市日本橋區橋町一丁目十四番地 電話(浪花 二六)

【住 所】 東京市下谷區下根岸六十六番地 電話(下谷三三)

【本籍地】 東京市日本橋區東線河岸二十四番地

【略歴】 氏は亡栗田房太郎氏の二男にして昭和四年九月房太郎氏の病歿により家督を相続し同時に業務をも継業してその代表社員となり鋭意業務の向上に努めつゝ今日に至る。温厚なる士なり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 淨土宗

【家庭】 母イヨ女。明治八年十月三日生日本橋區久松町栗田庄太郎氏三女。妹佐保子女。明治三十九年十月十四日生亡房太郎氏二女。婿養子源助氏(佐保子女夫)。明治三十四年六月二十五日生山形縣南村山郡上山町松本治助氏弟專修大學卒現

在文部省勤務。弟竹代氏。明治四十二年十二月三十六日生第一商業學校卒。弟孝之助氏。明治四十四年十一月十五日生早稲田專門部商科在學中。弟忠造氏。大正三年二月十日生第一商業學校在學中。

【主なる親戚】 日本橋區久松町栗田庄太郎氏。實母里方。

【主なる出身者】 府下龜戸三丁目永松得三氏。羅紗製品洋傘小賣。

黒部八郎平氏

明治五年八月八日生

【職業名】 染吳服西陣織物大島紬卸 合資會社黒部商店代表社員

【營業所又】 東京市日本橋區本町四丁目十二番地電話(日本橋 三九八)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣坂田郡長濱町大字八幡百三十八番地

【略歴】 氏は黒部八郎平氏の長男にして舊名を幸次郎と稱せしが明治三十四年八月實父の隠居と共に襲名す。元來氏は十二、三歳の頃迄は家業なる下駄商に従事せしが其の後長濱縮緬の行商を開始し爾來日夜奮闘漸次身を興して業容の伸展を見、店礎を築くに至りしが昭和五年春現合資會社を設立しその代表社員となりて業容の復興に努めつゝ今日に及ぶ。

黒川善一氏

明治二十二年一月二十四日生

【職業名】 米澤織物、長井紬、越後織物卸、株式會社丸善黒川商店代表取締役

【營業所又】 東京市日本橋區村松町二十番地 電話(浪花 〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は本所區相生町二丁目田中熊吉氏の長男にして大正四年九月黒川淳女に入夫婚姻す氏は年少より日本橋區橋町入丸市田商店(後丸榊に併合)に勤め大正四年獨立せり元來氏は頗る商手腕を有し開業後數年にして相當の業容を示すに至れるが更に昭和四年區整後現所に店舗の新容を整へるに至れり現在前掲織物を主として扱ひ各デパート方面に販路を有す

【趣味】 謡曲 【宗教】 淨土宗 【所得税】 六一七圓

【營業收益税】 二八〇圓 【地租】 二八圓

【家庭】 妻淳女。明治二十二年五月十日生黒川とく二女淑徳高女卒。長女たつ子女。大正十二年十二月八日生お茶の水高女在學中。二女なる女。大正十五年五月九日生。

【主なる親戚】 澁谷町衆樂十今村信吉氏。本所區東兩國二ノ二五植村奎次郎氏。吳服商。

〔く〕

氏。織物卸。

【主なる出身者】 東京市日本橋區葺屋町川瀬藏氏。吳服卸。神田區大和町二高木長二郎氏。吳服仲間賣買業。京都市新町六角服部佐市氏。吳服卸。同市佛具屋町松原上ル久保田正五郎氏。吳服卸。

【趣味】 謡曲 【宗教】 曹洞宗

【營業收益税】 四四二圓

【家庭】 妻エイ女。明治十六年十二月二十五日生京都市下京區佛光寺通り油小路東入鈴木治兵衛氏姉。母かよ女。慶應二年五月七日生滋賀縣坂田郡長濱町秋山甚平氏二女。長男幸藏氏。明治三十一年十二月二十二日生同志社大學商科卒現在店務従業。幸藏氏妻喜久枝女。明治三十四年九月十四日生京都市上京區岡崎西福川町横田萬壽之助氏長女。京都府立第一高女卒。二男亡寛二氏妻俊子女。明治三十六年十月九日生京都市烏丸通綾小路下ル伊吹平助氏五女。外に幸藏氏に一男三女、亡寛二氏に四男あり。

【主なる親戚】 京都市下京區佛光寺通油小路鈴木治兵衛氏。染物加工業。同市上京區岡崎西福川町横田とみ女。無職。同市室町通り伊吹平助氏。織物問屋業。横濱市萬代町黒部敬一氏。織物卸。

【主なる出身者】 東京市日本橋區葺屋町川瀬藏氏。吳服卸。

神田區大和町二高木長二郎氏。吳服仲間賣買業。京都市新町六角服部佐市氏。吳服卸。同市佛具屋町松原上ル久保田正五郎氏。吳服卸。

〔主なる出身者〕 日本橋區濱町二丁目七〇齋藤光一郎氏（絹布卸）。

黒川 傳氏

明治元年四月八日生

【職業又】 廣幅織物卸合資會社黒谷商店代表社員
【職業所又】 東京市日本橋區田所町二十一番地 電話（浪花）
【勤務先】 同 本郷區湯島天神町二丁目三六番地電話（下谷）
【住 所】 同
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は福井縣吉田郡西藤島村字三ツ屋黒川傳兵衛氏の二男として生る黒谷商店前業務擔當社員たる黒川正氏の養父なるが壯時志を政界に立て、東西を馳驅し後ち北海道に涉り一時土木請負業等を經營せしことあり大正二年頃上京して有價證券の利殖等をなす其後養子黒川正氏の相談役たる立場にありたるが昭和五年五月八日同氏病歿後業務の監督をなすこととなれるものなり、現在當店無限責任代表社員たり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 日蓮宗
【所得稅】 會社九三圓 【營業收益稅】 會社六七圓
【家庭】 妻トヨエ女 北海道旭川市字三條通三ノ左八號梅木知保長女明治二年十月十一日生。長女喜代女 大正四年七月

一日生、日本橋區箱崎町四ノ一木村カツと養子縁組。婦ハルノ女 明治三十一年四月十三日生亡黒川正氏妻女。孫和可女 大正九年十二月七日生亡黒川正氏長女湯島小學校通學中。孫傳三郎氏 大正十五年六月六日生亡黒川正氏二男。孫巳巳夫氏 昭和四年一月三十日生亡黒川正氏三男。

桑島 貞作氏

明治十四年十一月二十五日生

【職業又】 毛斯綸、洋反物卸桑島合資會社代表社員
【職業所又】 東京市日本橋區堀留町二丁目十九番地 電話（浪花）
【勤務先】 同 府下豊多摩郡代々幡町代々木西原九百五十八番地
【住 所】 同
【本籍地】 東京市日本橋區堀留町二丁目十九番地

【略歴】 氏は埼玉縣北葛飾郡靜村亡桑島貞良氏の五男にして大正八年十一月分家す。年少時より區内長谷川町近房商店（現存せず）に奉公し精勵約二十年に及びたるが、大正五年圓滿退店、合資會社を組織して代表社員となり現業を開始せり。爾來順調に經過して今日に至る。業界の堅人として名あり各方面の印象良好なり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 一五八圓
【家庭】 妻加津女 明治二十六年二月二十一日生日本橋區濱町二丁目十二番地粕谷清次郎氏長女。三女良子女 大正七年九月十五日生。五女民子女 大正十三年十月七日生。六女節子女 昭和二年二月十一日生。
【主なる親戚】 埼玉縣北埼玉郡大桑村大字南篠崎戸川五兵衛氏 農業。日本橋區濱町二丁目粕谷清次郎氏 藥種卸小賣商

桑原 定治氏

明治三十年九月二日生

【營業】 羅紗切賣商
【營業所】 東京市神田區佐久間町二丁目九番地 電話（下谷）
【住 所】 同
【本籍地】 新潟縣南蒲原郡大面村大字北湯甲百二十一番地

【略歴】 氏は桑原半治氏の六男なり。年少時神田區柳町武神商店に入り斯業を見習ひ大正九年圓滿退店して獨立せり。爾來比較的無難に經過して今日に至る。

【宗教】 日蓮宗 【所得稅】 四一圓
【營業收益稅】 五六圓
【家庭】 妻くに女 明治三十五年十二月二十日生靜岡縣濱松

市利水谷喜三郎氏長女。長女房子女 大正十二年五月二十一日生。三男敏朗氏 昭和三年十一月二十八日生。外に實兄甲子藏氏は淺草區富坂町實兄健治氏は板橋町、實弟七治氏は區内岩本町に住す。

【主なる親戚】 濱松市利水谷喜三郎氏 洋服商。

の部

山本元三郎氏

明治三十四年六月十三日生

【職業】 加工綿布問屋

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町十番地 電話(浪花)五八・二五五・四五九

【住 所】 東京市赤坂區新坂町二十六番地 電話(青山)三三〇

【本籍地】 滋賀縣神崎郡八日町大字八日市三百番地

【略歴】 先代元三郎氏は滋賀縣神崎郡八日市町字八日市の人なり生家は輸出の製茶業を営み居りたるが業績上らざるより父業を實弟に譲り弟清次郎氏と共に上州方面に行き一家の再興を企圖せしも意の如くならず上京して日本橋區に織物問屋を営める親戚門田嘉右衛門氏(先代)方に寄寓し店務を手傳ひ居りしが若干の貯財を得るに及び明治三十二年獨立兄弟合名の形式にて門田支店名義にて日比し藤森の一族を呼寄せ中形裏地の加工を開始したるに壯時兎角不運勝なりし氏も此頃より次第に幸運に恵まれ松本榮吉氏(最初の支配人)大菅晋次郎氏、松吉桑吉氏、前田米吉氏(前支配人)辻末吉氏(現支配人)等を始めとし好店員續出したるより本業が逐年良好となりし

と共に有價證券等にも尠なからざる利を得たるより遂に現在の業容をなすに至る。而して同店には辻支配人の勤続三十九年木下氏の三十四年を始めとし鈴村、辻(芳)、増田、位田の店員諸氏は何れも二十年以上の永勤者を出し各氏共一特長ある手腕家と評されあるは同店の強味とする所たり。當主は先代の長男夙に大倉商業學校を卒業し大正十五年五月二十四日先代の歿後相續して幼名房三氏を改め元三郎を襲名し克く父業を繼承して經營を全からしめ地味堅實なる青年紳士にして商手腕亦凡ならずと謂ふ。

【趣味】 書畫 【宗教】 淨土宗

【所得稅】 二二、五〇三圓 【營業收益稅】 一、五四〇圓

【家庭】 母いよ女し藤森源三郎氏長女、慶應三年十月十一日生。妻富子女し和歌山縣人木村平右衛門二女明治三十八年四月二十六日生和歌山高等女學校出身。妹歌女し山本泰次郎氏妻女子高等師範出身。義弟泰次郎氏し滋賀縣人西村勝治氏弟明治三十二年十一月三十日神戸高商出身元川崎銀行員現シルクストッキング會社勤務。姪禮子し泰次郎氏と歌女との長女昭和五年五月十日生。

【主なる親戚】 母里藤森源三郎氏滋賀縣金屋村。姉花子縁先山本倍三氏し牛込區北町十一法學士日清紡取締役。妻父木村

平右衛門氏し日本橋區江戸橋一ノ一三木村實業株式會社長共の他數社重役。義兄西村勝治氏し日本橋區濱町自動車業。叔父三木定七氏し播州龍野町吳服商。伯父山本清次郎氏し日本橋蠟燭町。伯父山本定吉氏し八日市。從兄山本喜三郎氏し製茶業。同し日比しげ子女し大森町。

【主なる出身者】 前田米吉氏し(東京綿布卸)。大菅晋次郎氏し郷里に在り。

山本太右衛門氏

明治二年六月廿二日生

【職業又職名】 吳服太物小賣 ことも屋吳服店主

【營業所又勤務先】 東京市小石川區表町十一番地 電話(小石川)三三三

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡能登川村大字能登川二百二十六番地

【略歴】 氏は舊名を豊次郎と稱し明治二十五年先代太右衛門を襲名す。中年の頃郷里に於て國産麻布の仲立業を営みしことありしも明治四十三年再轉して現業者となる現時營業は息直重郎氏をして擔當せしめ氏は半歳を郷里に歸臥し居りて叡山の世話役等に擧げられあり。

【趣味】 義太夫、書畫骨董 【宗教】 天台宗

山本與吉郎氏

明治十五年六月二十八日生

【職業】 縹紗並にボタン卸小賣

【營業所】 東京市神田區須田町二十二番地 電話(神田)三三三

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は金澤市春日町山本直吉郎氏の長男にして十四五歳の頃上京し四谷區葉茶屋に奉公し居たるが勤続約十年の後臺灣に渡りしも得る所なく歸京して日本橋區吳服橋際にあり

〔中〕

し橋本卸店に入りしが因となり現業を經營するに至れるものにして同店に勤続すること一年退店して神田區永富町に卸の小賣を始め其後現所に移轉し來り毛織物をも兼營し、今日に至れり。

【營業收益稅】 七〇圓

【家庭】 妻つる女 明治十七年十二月十五日生。長男與市氏 大正二年九月二日生。二男徳次氏 大正七年八月二十七日生。三男幸三氏 大正九年十二月二十二日生。四男昌雄氏 大正十二年二月十九日生。二女和子女 昭和二年四月十二日生。五男富保氏 昭和五年六月五日生。

【主なる親戚】 市内神田區美土代町三丁目五稻塚太郎氏 妻女里方。

山田 忍 三氏

明治十八年十二月二十日生

【營業又】 百貨店株式会社白木屋專務取締役

【職業先】 東京市日本橋區通一丁目八番地 電話(日本橋)二三三三

【住所】 東京市麴町區中六番町五十二番地 電話(九段)三三九

【本籍地】 山口縣厚狹郡厚狹町大字山川八百二十四番地

【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は新潟縣西蒲原郡小中川村山田佐藏氏の二男にして明治三十年十月分家して一家をなす。夙に上京して神田區柳原片柳常次郎商店(現存せず)に奉公し斯業を見習ひたる後明治二十九年圓滿退店して獨立開業し爾來順調に推移して漸次産を築き今日の業礎をなすに至れり。

【趣味】 將棋 【宗教】 淨土宗

【所得稅】 一一三七圓 【營業收益稅】 四一七圓

【地租】 七八圓

【家庭】 長男信也氏 明治三十三年十一月十日生店務從事。婿養子昇氏 明治二十九年三月二十七日生府下北多摩郡拜島村加藤源二郎氏三男店務從事。長女英女 明治三十八年十一月十五日生昇氏妻。二男俊夫氏 明治四十一年十一月十二日生國學院大學在學。二女和子女 大正十年十月六日生。信也氏妻ノブ女 明治三十八年一月四日生同區鐵砲町原政治氏長女。俊夫氏妻はな女 明治四十一年七月六日生同區東龍閑町十九中村憲藏氏長女。外界氏に二女俊夫氏に一男あり。

【主なる親戚】 日本橋區鐵砲町十八原政治氏 織物問屋。神田區東龍閑町十九中村憲藏氏 菓子製造業。

元陸軍次官中將山田隆一氏長女君女の婿養子となり同八年三月家督を相續す、明治三十八年陸軍士官學校を卒業し母校教官を奉ずること多年大正十三年三月退職して山田商會を開設自動車業を經營する傍らフォード代理店及び山田出版(株)會社を營み十四年以來選ばれて麴町區會議員となり、昭和二年二月白木屋專務取締役に就任今日に至る。在郷陸軍歩兵少佐にして正六位勳六等たり。

【宗教】 淨土宗 【所得稅】 二九五七圓

【家庭】 妻女君女 明治二十四年一月一日生、故山田隆一長女東京府立第三高女卒。長男明氏 大正四年十月十日生。養女閔女 明治四十五年五月七日生。

【主なる親戚】 養女閔女の伯父山田貢作氏 山口縣厚狹郡出合村第百十九番屋敷。實兄浪山清眞氏 同縣熊毛郡光井村二九九八番地。

山田 平次郎氏

明治四年八月十七日生

【營業又】 吳服太物卸 山田平商店主

【職業先】 東京市神田區岩本町三番地 電話(浪花)四七〇

【主なる出身者】 神田區岩本町中村利吉氏 吳服卸。四谷區傳馬町一丁目服山福太郎氏 吳服商。小樽市奥澤町櫻井牛作氏 吳服商。

山田 藤五郎氏

明治十九年十二月二十四日生

【營業】 足袋生地及廣幅綿布卸商

【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町二丁目二十九番地 電話(浪花)三〇〇

【住 所】 東京市麴町區下六番町十六番地

【本籍地】 東京市日本橋區大傳馬町二丁目二十九番地

【略歴】 氏は愛知縣幡豆郡西尾町大字天王三番地戸主山田久平氏長男にして明治三十六年九月二十三日家督を相續す年少時上京して日本橋區大傳馬町壽商會に入り勤続約八年の後二六商會に轉じ、三十歳の頃圓滿退店の上大正三年二月同區小舟町二丁目一番地に獨立次いで大正十五年四月現所を買收移轉せり。

【趣味】 野球 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 四〇七圓

【營業收益稅】 一九六圓

【家庭】 實母たけ女 文久元年十二月十四日生、愛知縣幡豆郡西尾町中町高須治七氏二女。妻さだ女 明治二十三年七月

一日生、愛知縣西尾町錦城一三番地辻太助氏女。長男久治氏
 大正二年十月二十六日生。東京府立第一商業在學。長女ふ
 み子女大正九年五月十六日生。二女さき女大正九年五月
 十六日生。弟幸治郎氏明治二十七年十一月十五日生。幸治
 郎氏妻鈴江女明治三十三年十月十八日生、神田區表猿樂町
 三番地山田繁一氏妹。甥久平氏大正十年四月十六日生。甥
 榮助氏大正十一年十一月二十四日生。甥廣氏大正十五年
 三月八日生。姪みよ女昭和四年三月二十日生。
 【主なる親戚】 實弟高須縫次郎氏東京府下阿佐ヶ谷町、無
 職。義父山田龜之助氏芝區佐久間町、双物卸。
 【主なる出身者】 四巾物仕立卸早川秀一氏神田區岩本町。
 同早川守正氏神田區岩本町。同高須治平氏下谷區御徒町
 同仕立物卸並に足袋卸小賣鶴間千代松氏小石川區柳町。

山田勘藏氏

明治七年十一月九日生

【營業又】 吳服太物小賣商山田屋吳服店主
 【職業名】 吳服太物小賣商山田屋吳服店主
 【勤務先】 東京市本所區押上町六十八番地 電話(隅田〇六九)
 【住所】 同所
 【本籍地】 同所

【略歴】 氏は静岡縣磐田郡見付町山田勘平氏の長男として生
 れ年少より同地清水屋吳服店に奉公せしが兵役によりて日清
 戦役に參じ後臺灣總督府巡查となり再び日露戦役に従軍せし
 が凱旋後更に樺太巡查となり明治三十九年辭職し上京して日
 本橋區彌生町風呂敷問屋西川政吉商店に入り業務を見習ひ四
 十一年圓滿退店して本所區中之郷元町に本業を開店し大正三
 年現所に移轉して今日に至る氏は夙に興業界に志あり映畫事
 業に携りて現時坂間商事株式會社及びマキノ映畫關東配給所
 の各取締役たり。

【趣味】 映畫、麻雀 【營業收益税】 七八圓

【家庭】 妻はま女明治十七年八月十三日生千葉縣君津郡木
 更津町石渡治郎吉氏長女。長女金女明治四十二年八月三十
 日生。二女清女大正三年一月十日生。長男富司氏大正九
 年七月十四日生。姉わき女明治五年九月二日生。

山田末松氏

明治十六年十二月十五日生

【營業又】 吳服太物小賣商伊勢屋吳服店主
 【職業名】 吳服太物小賣商伊勢屋吳服店主
 【勤務先】 府下豊多摩郡澁谷町上通三丁目四番地電話(青山一四七)
 【住所】 同所
 【本籍地】 同所

【住所】 同所
 【本籍地】 同所

【略歴】 氏は三重縣桑名郡桑名町大字寶殿町五三一山田清五
 郎氏の參男なり夙に上京して芝區三田播摩屋吳服店に奉公し
 後徴兵にて入營中主家の廢業したるより退營後多少の顔馴染
 を辿りて糶吳服を營み數年にして約六百圓の資金を得たるよ
 り明治四十四年現所附近に本業を開始し兎に角も順調に経過
 せるが數年の後旭銀行の破綻に會し資産の大部分を失ひたる
 も屈せず努力經營して漸次發展するに至り以て今日に及ぶ。
 【家庭】 妻とめ女明治廿年三月二十八日生東京府人一柳友
 吉三女。長女まさ子女大正元年十一月五日生實踐高女實科
 卒。二女よし子女大正三年八月七日生實踐高女實科在學。
 長男恒雄氏大正六年十一月十七日生。三女房子女大正十
 年四月十四日生。四女たか子女大正十三年七月一日生。五
 女やす子女大正十五年十一月三日生。
 【主なる親戚】 花井鐵次郎氏日本橋區檜物町七。

山田誠一氏

明治二十八年九月二十七日生

【營業又】 吳服太物小賣 山田屋吳服店主
 【職業名】 吳服太物小賣 山田屋吳服店主

【營業所又】 東京市淺草區地方今戸町百十二番地 電話(淺草三一)
 【勤務先】 同所
 【住所】 同所
 【本籍地】 同所

【略歴】 氏は山田成雄氏の二男にして大正十三年一月成雄氏
 の隠居に因り家督を相続す。同店は明治三十九年先代成雄氏
 の開業に係り當初は小石川區鶴籠町邊に開業したるも漸次伸
 展して四十二年淺草區田中町に移轉し來り更に翌年現所に再
 轉せしものなり。而して同店は地の利を得て業容逐年向上を
 示し地元に於ける有力店として今日に至れり。現時成雄氏は
 隠居し居りて誠一氏が營業一切を繼承し熱心經營に努力しつ
 りあり。

【趣味】 園藝 【宗教】 眞言宗
 【所得税】 三二〇圓 【營業收益税】 一五九圓

【家庭】 父成雄氏安政元年七月二十五日生。妻女くめ女
 明治卅三年三月十八日生淺草區地方今戸町鈴木ふき女の女。
 長女芳子女大正八年一月十八日生。長男久雄氏大正十二
 年八月二日生。二女美惠女大正十四年九月廿五日生。三女
 ひで子昭和二年七月七日生。四女まち子昭和四年八月六
 日生。實弟亮二氏明治三十四年十月二十一日生。亮二氏妻
 タネ女明治卅六年五月一日生足利市永樂町直井富造氏叔母

【中】

【主なる親戚】 京橋區八丁堀仲町高橋雅夫氏〓寫眞業。淺草區田町二丁目砂岡豊二郎氏〓吳服商。朽木縣足利郡毛野村大字山川初谷吉次郎氏〓商店員。

【主なる出身者】 府下三河島町々屋榎本雄三氏〓吳服商。府下吾嬭町保母圭造氏〓吳服商。千葉縣松戸町中山喬氏〓吳服商。

山下清吾氏

明治三十五年七月十八日生

【營業又】 關東吳服及綿織物卸株式會社龜忠商店代表取締役

【職名】 東京市日本橋區長谷川町十四番地

【營業所又】 電話(浪花)一七・一三・一三(三六)

【住 所】 府下豊多摩郡澁谷町八幡通二丁目二十三番地 電話(青山)三六〇

【本籍地】 東京市日本橋區長谷川町十四番地

【略歴】 氏は横濱市辨天通一丁目十七番地藤井嘉太郎氏の四男にして大正八年四月叔父山下忠七郎氏の養子となり同店の店員に相伍して店務を見習ひ昭和五年十月營業を株式組織となして代表取締役となる。家業は四代前の開業に係り忠七郎氏は病弱の爲め營業上の表面に立たず静養し居るものなり。清吾氏は性質温厚にして然も實務に長じ一般の氣受良好なる青年紳士たり。

【趣味】 野球 【宗教】 禪宗

【家庭】 養父忠七郎氏〓明治十九年八月二十九日生。養祖母わか女〓萬延元年三月十七日生。妻花子女〓明治四十一年六月二十二日生。

【主なる親戚】 橋本幸吉氏〓祖母方姻戚、市外千住町中組、古久屋吳服店。松崎文吉氏〓妻女里方、淺草區千束町三丁目素封家。藤井嘉太郎氏〓實父、横濱市辨天通貿易商。石井武男氏〓姻戚、赤坂區青山南町陸軍砲兵大佐。

【主なる出身者】 市外中野町石井山造氏〓米國在留貿易商。埼玉縣熊谷町野口モスリン店野口堅助氏。同縣浦和町貫繼商星野淺造氏。深川區木場町材木商友田貞次郎氏。

山下庄之助氏

明治二十一年二月十五日生

【營業】 毛紡綉綿布小物加工卸商

【營業所】 東京市日本橋區岩代町一番地 電話(浪花)三三〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區堺町四番地

【略歴】 氏は福井縣南條郡武生町北村四十三番地戸主山下與三郎氏の二男なり明治三十三年五月二十一日上京親戚なる日

本橋區新乗物町牧田源太郎商店に勤務し努力怠らず同店の支配人となりしが大正六年五月退店してブローカーとなり熱心従業逐次資金を作り昭和四年十月二十三日現業を開始して今日に至り誠に勤儉力行の人として知らる。

【趣味】 謡曲 【宗教】 門徒宗

【家庭】 妻ユキ女〓明治二十三年一月三日生神田區白壁町村松常次郎三女、二女房子〓大正七年六月二十七日生、長男秀一郎氏〓大正十年四月十六日生。

【主なる親戚】 義兄牧田源太郎氏〓日本橋區新乗物町舊主人。村松常次郎氏〓上繪師(神田區白壁町妻女里方)。

山崎良吉氏

明治十二年三月三十日生

【營業】 中形金巾染地加工卸

【營業所】 東京市日本橋區新和泉町六番地 電話(浪花)三六〇

【住 所】 府下豊多摩郡那加町高圓寺二百二十三番地 電話(中野)三三〇

【本籍地】 茨城縣水戸市大字上市向井町千八百十番地

【略歴】 氏は山崎庄介氏の長男にして夙に上京し日本橋區久松町西彦商事に入り勤続十九年同店支配人たりしが明治四十二年退店獨立す。爾來比較的順調に推移して今日に至れるが

嗣子幼年の爲め昭和二年冬長女に泰平氏を養子として迎へたり。現時泰平氏又店頭にあり氏を補佐しつゝあり。

【宗教】 眞宗 【營業收益税】 八四圓

【家庭】 妻いと女〓明治十九年十一月三日生府下南足立郡舍人村新井龍藏氏三女。長女徳子女〓明治四十一年七月二十四日生養子泰平氏妻。三女文子女〓大正二年九月二十六日生實踐高等女學校卒。長男吉太郎氏〓大正八年五月十日生。五女常女〓大正十二年九月十日生。養子泰平氏〓明治三十二年一月一日生川越市大字川越水村岩三郎氏三男。

【主なる親戚】 府下南足立郡舍人村新井龍藏氏。神田區岩本町六石井源七氏〓二女婚家先。川越市大字川越水村岩三郎氏。

【主なる出身者】 日本橋區橋町平井龜三郎氏〓中形卸。同區堺町古庄國三郎氏中形卸。

山崎増三郎氏

明治十四年八月二十七日生

【營業又】 蚊帳、綿卸 合資會社山崎商店代表社員

【職名】 東京市日本橋區久松町二十七番地 電話(浪花)三五〇

【營業所又】 同 所

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【中】

【略歴】氏は埼玉縣北足立郡青木村山崎義次郎氏の三男にして明治四十三年五月分家す。年少時より神田區東龍岡町川口兼吉商店に奉公し大正四年獨立せるが爾來幾多曲折を経て昭和三年合資會社に組織を變更し現業容を維持しつゝ今日に及べり。

【宗教】 禪宗

【家庭】 妻よし女 明治二十二年十月三十日生埼玉縣北足立郡川口町永瀬龍藏氏長女。長男益太郎氏 明治四十四年一月五日生中央商業學校卒店務從事。長女榮子女 大正三年九月二十日生三輪田高女在學。三男善三郎氏 大正五年十二月三日生中央商業學校在學。二女貞子女 大正九年六月五日生。三女英子女 大正十一年四月七日生。四男平吉郎氏 昭和三年十月二十日生。

【主なる親戚】 下谷區上野櫻木町高橋金平氏(實兄)。日本橋區久松町二齋藤兼吉氏(實弟)綿布卸。

【主なる出身者】 府下北千住三丁目加藤三郎氏 製綿工場。府下上尾久溝向多田司氏 製綿工場。府下尾久町上尾久岡田六右衛門氏 綿卸小賣商。

山鹿信造氏

明治十五年十一月十五日生

【營業】 京吳服卸

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町八番地 電話(浪花三三)

【住 所】 府下荏原郡荏原町戸越

【本籍地】 東京市日本橋區長谷川町八番地

【略歴】 氏は大阪市東區今橋一丁目三十八番屋敷山本鶴敏氏の次男にして明治三十八年十二月京都市上京區大宮通元誓願寺下る二丁目山鹿米次郎氏の婿養子となり三女タネ女を配せられ昭和四年四月分家して一家をなす。氏は年少時より山鹿氏經營の山鹿商店大阪店に入店し明治三十年頃同東京支店に移りたるものにして大正十年支店關係を絶ちて氏の獨立店となし以て今日に及べるものなり。

【趣味】 謡曲、圍碁 【宗教】 禪宗

【營業收益税】 一四〇圓

【家庭】 妻タネ女 明治十七年四月十八日生山鹿米次郎氏二女。長男一郎氏 明治四十五年五月十四日生府立第八中學校店務從事。二男誠次氏 大正五年十二月二十二日生府立第一中學在學中。三男仙三郎氏 大正十年二月二十七日生。

【主なる親戚】 大阪市東區今橋一丁目山本正氏 生家。京都

市上京區大宮通り元誓願寺下る山鹿米次郎氏。同市竹屋町山鹿九郎兵衛氏。

【主なる出身者】 東京府下大森町不入斗下村榮三郎氏 吳服仲間卸。

山口康太郎氏

明治三十二年十一月二十五日生

【營業又 職業名】 裏地中形捺染緋晒卸前川太郎兵衛商店支配人

【營業所又 勤務先】 東京市日本橋區堀留町二丁目八番地 電話(浪花三三三)

【住 所】 東京市日本橋區濱町三丁目六番地

【本籍地】 滋賀縣犬上郡彦根町向四十七番地

【略歴】 氏は本籍地山口市太郎氏の長男にして昭和二年六月千代女と婚姻す年少より上京して同店に入り奉公すること多年實直にして忠勤怠りなく認められて同店支配人となり今日に及べり。

【宗教】 眞宗

【家庭】 妻千代女 明治三十八年七月十三日生滋賀縣犬上郡多賀村多賀竹内政吉氏長女。長男昇一郎氏 昭和三年十二月三日生。

【主なる親戚】 父山口市太郎氏 本籍地。姉婿野瀬茂一郎氏

滋賀縣犬上郡福滿村字野瀬。妹婿田附山治郎氏 滋賀縣坂田郡南郷里村新榮。

山澤悦彌氏

明治十八年三月二十五日生

【營業又 職業名】 モスリン 銘仙小賣末廣屋モスリン店主

【營業所又 勤務先】 東京市牛込區山吹町二百三十一番地 電話(牛込三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は新潟縣中蒲原郡横越村山澤甚藏氏の長男にして舊名を留吉と稱せしが大正四年六月悦彌と改む。年少時より北海道今井吳服店に奉公し恪勤十五年に及びしが大正三年十月圓滿退店して獨立す。爾來順調に推移し震災にも災厄を免れ店礎更に堅りて今日に至る。

【趣味】 圍碁 【宗教】 眞宗

【所得税】 一三五圓 【營業收益税】 一二六圓

【家庭】 父甚藏氏 弘化元年九月二十七日生。妻女 昭和三年十一月死亡。長男勝彌氏 大正六年六月三十日生。二男節彌氏 大正十三年十二月二十八日生。

【主なる親戚】 淺草區田原町二丁目梨本又三郎氏。

山中忠兵衛氏

明治五年五月十六日生

【營業】 中形、裏地卸

【營業所】 東京市日本橋區堀留町三丁目五番地

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區富澤町二十七番地

【略歴】 氏は先代忠兵衛氏の二男にして舊名を勝藏と稱し明治四十二年先代を襲名す。同店は元小賣商にして明治五年先代が創業せしものなり。氏は年少時上總屋吳服店、小堀屋商店等に奉公し十九歳の頃退店して父業を扶けしが大正十二年六月小賣業を廢し震災後現業を開始して今日に至れるものなり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗

【家庭】 三男英夫氏 明治四十三年四月一日生店務從事。二女千鶴子女 大正二年六月五日生。四男達夫氏 大正五年九月二十三日生。五男勇氏 大正九年八月二十日生。弟正之助氏 明治十五年一月十九日生現在兵庫縣武庫郡精道村住(商店員)。正之助氏妻ミツ女 明治二十六年七月三十一日生京都市下京區本町十七丁目大住駒吉氏長女。

【主なる親戚】 埼玉縣南埼玉郡岩槻町下村米次郎氏(白綿布

機業)。

【主なる出身者】 日本橋區蠟燭町一ノ四杉田準二氏 吳服商同區蠟燭町竹内重次氏 吳服商。本所區向島須崎町入江省助氏 吳服商。

矢島兵吉氏

明治四年十一月二十二日生

【營業】 木綿金巾裏地卸商

【營業所】 東京市日本橋區富澤町七番地 電話(浪花三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は矢島益兵衛氏の長男として生れ明治二十六年父の死歿に因り家業を繼ぐ、齡十二三歳の頃日本橋區橋町一丁目に在りし綿布商中村磯八商店に奉公し、熱心商道を極めたるが明治三十一年圓滿退店して主家の援助により橋町二丁目に獨立開業せり、後明治三十五年現所に移轉し當時は兎角の辛酸ありたれども、よく耐え業容を一新し、爾來堅實を旨とし、徳義を忽せにせず、世間の信用を擔ひて、今日順境裡に在り。

【趣味】 讀書 【宗教】 淨土宗

【所得稅】 六九圓

【家庭】 妻女は那女 明治十七年十二月十五日生、芝區愛宕町三丁目五番地山田國介氏妹。二男英夫氏 明治四十年六月五日生、家業從事。

矢島榮三郎氏

明治二十九年七月三十日生

【營業】 吳服木物小賣商丁字屋吳服店主

【營業所】 東京市深川區東大工町四番地 電話(本所 二〇三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は茨城縣東茨城郡磯濱町古渡已之吉氏の三男として生れ十五歳の時上京し日本橋區長谷川町織物問屋下田助次郎商店に奉公せしが溫和實直なる性格は能く店主の信頼を得て大正十二年店主三女の婿養子となり家業を繼承して今日に至る性來の努力家にしてその營業熱心なる奮闘振は年次多少の業績を擧げ來たりて堅實なる業容の下に推移しあり、人物温厚にして一般印象良好なり。

【趣味】 謡曲、旅行 【宗教】 天台宗

【所得稅】 五〇圓 【營業收益稅】 八四圓

矢古島源一郎氏

明治十二年八月十九日生

【營業】 風呂敷卸商

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町九番地 電話(浪花三〇六)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡伊庭村一九三四番地亡矢古島源藏氏の長男なり幼時上京して日本橋區通油町風呂敷問屋中村三平商店に奉公し嚴格なる人と稱せられたる先代に師事して誤らず且つ氏は眞宗の篤信家にして造詣深く常に信念をもつて營業に對し獨立以來の精勵見るべきものあり其商勢を擧ぐる

〔中〕

と共に内容をも充實し來りしが大正十二年の大震災にて商品約十萬圓と建物價格三萬五千圓を焼失するの損害を招けるが元來地方への賣込み大部分なりしより賣掛金約三萬圓を回收して同年九月十五日には早くも西大久保に於て假營業を開始し十一月一日より焼跡へ新築したる店舗に移り爾來業容を次第に恢復して其後隣接地なる織物市場跡の權利を買収して區整移轉後も依然業界好良の位置を占めあり目下營業は支配人小林氏並に娘婿虎吉氏等に委ね氏は其大體を監督しあり。

【趣味】 謠曲 【宗教】 淨土眞宗

【所得稅】 一、一六七圓 【營業收益稅】 四二〇圓

【家庭】 妻この女 明治十二年四月二十四日生片山直七氏長女。長男一郎氏 明治四十四年四月十八日生慶應大學商科卒。長女優子女 明治三十九年五月二十三日生麴町千代田高女卒は其夫矢古島虎吉氏と共に昭和三年五月八日分家す。三女千代子女 大正七年五月二十九日生高師附屬御茶水女學校在學。婿養子虎吉氏 明治三十五年十二月十八日生區内長谷川町九に昭和三年五月分家す。

【主なる親戚】 矢古島金之助氏 〔生家相續人〕滋賀縣神崎郡伊庭村。出岡廣吉氏 〔分家矢古島虎吉氏生家〕三重縣河藝郡白子町字寺家。

【主なる出身者】 中野傳三郎氏 〔在區内岩代町〕風呂敷問屋

矢野佐太郎氏

明治六年九月二十九日生

【營業又】 雜綿布卸合資會社矢野商店代表社員

【職業又】 東京市日本橋區堺町四番地 電話〔浪花三三〕

【營業所又】 東京市日本橋區堺町四番地 電話〔浪花三三〕

【住 所】 同 所

【本籍地】 和歌山縣海草郡岡崎村大字神前四百十七番地

【略歷】 氏は矢野山之助氏の長男にして壯年の頃より和歌山市に於て綿布の鞘取りをなせしが明治卅九年出京して前川メネル部に入り間もなく同メネル郡の閉鎖と共に當時大阪に在りし義兄西岡氏の後援によりて西岡支店名義下に區内堀留町に開業せしも大正十二年大阪店の破綻に次で震災の爲め同支店も大打撃を受けたれば當時債權者等と種々折衝の結果西岡名義とは別個に矢野商店の出現を見たり。其後昭和五年五月合資會社に組織を變更し氏は代表社員として今日に至る

【宗教】 淨土宗 【所得稅】 一五圓

【營業收益稅】 四二圓

【家庭】 妻良女 明治十年四月一日生和歌山縣海草郡和歌浦町西岡良助氏二女。養女富子女 大正三年十月一日生西岡良

助氏の四女。

【主なる親戚】 和歌山縣海草郡和歌浦町西岡良助氏。東京市麻布區矢野留次郎氏 實弟吳服商。

【主なる出身者】 埼玉縣幸手町宮崎正壽氏 雜綿布卸。

矢野捨吉氏

明治三十六年一月十五日生

【營業又】 雜綿布製織卸野呂織物工場東京出張所支配人

【職業又】 東京市神田區松枝町一番地 電話〔浪花三三〕

【營業所又】 東京市神田區松枝町一番地 電話〔浪花三三〕

【住 所】 同 所

【本籍地】 大分縣宇佐郡津房村大字六郎九三三十八番地

【略歷】 氏は矢野兼吉氏の三男にして年少時上京して日本橋區廣中綿布商坂本商店〔現存せず〕に勤務し、後野呂出張所に轉ず。精勵恪勤の士、野呂氏二女こう女を配せられ現在同東京出張所の支配人として努力しつゝあり。

【趣味】 觀劇 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻こう女 明治三十八年一月二十日生埼玉縣北足立郡青木村野呂豊吉氏二女。長女靜子女 昭和三年六月一日生長男健藏氏 昭和五年二月二十六日生。

【主なる親戚】 前記野呂豊吉氏 妻女實家。

安田源藏氏

文久三年一月十日生

【營業又】 關東吳服及織物卸商株式會社安源商店專務取締役

【職業又】 東京市日本橋區橋町一丁目六番地 電話〔浪花三三〕

【營業所又】 東京市日本橋區橋町一丁目六番地 電話〔浪花三三〕

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歷】 氏は栃木縣足利郡足利町安田佐右衛門氏の長男にして明治十二年家督を相續す。家業を繼ぎ營々努力の結果相當の産をなすに至りしが震災後合資會社に組織を變更し昭和二年更に現株式會社に變更して氏は專務取締役に就任せり、東京織物問屋組合の長老にして曾て副組合長として業界の爲めに努められたり。

【趣味】 讀書 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 一四九圓

【家庭】 長男友太郎氏 明治二十七年七月十五日生慶應大學理財科卒業。長女富美女 明治三十六年十二月三十日生府立第一高等女學校卒業。

【主なる親戚】 福岡縣三池町服部省三氏 三井礦山社員。大連市長谷川吉次氏 三越大連支店長。

【主なる出身者】 日本橋區橋町一丁目齋藤甚八氏 雜綿布卸。

足利市榮町殿岡利助氏 機業家。

安田周吾氏

明治十年十月十七日生

【職業名】 五斯毛、新洋朱子卸商株式會社安田商店代表取締役
【職業所又】 東京市日本橋區久松町十七番地 電話(浪花三七)
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は岐阜縣養老郡笠郷村大字船附三十七番戸先代安田周吾氏の長男明治二十九年三月家督を相続す年少時上京毛織物卸商渡邊商店に約十三年勤務し更に日本橋區青物町松下商店に勤務数年の後明治三十三年獨立營業を開始し爾來具さに辛酸を嘗め遂に現容をなすに至り業界に於ける苦勞人として知らる。且つ趣味豊かの方に於て特に川柳には造詣深く依子としての雅號あり又繪畫に長ぜり。

【趣味】 川柳、繪畫 【宗教】 眞宗
【所得稅】 六四圓 【營業收益稅】 三六圓
【家庭】 妻ヤエ女 山口縣熊毛郡阿月村第三百二十番屋敷鈴川敏介氏長女明治十七年四月二十三日生。長男武彌氏 中央大學出身店務從事明治三十七年十一月九日生。長女靜子女 。

山口縣高女卒明治四十三年一月五日生。三男佐吉氏 株式會社齋藤嘉商店に勤務中。

安田仁太郎氏

明治六年四月十日生

【職業名】 子供着製造卸業合資會社九安商店代表社員
【職業所又】 東京市淺草區須賀町十九番地 電話(淺草五五)
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は石川縣石川郡二塚村安田安兵衛氏の長男として生る代々農を業とし土地の舊家にして相當の資産を有せしも先代の好人物より禍して全財を散じ困窮するに至りしより一意發心して商を志し金澤市に赴きて同市島田町に住し二三の業に従事せしも何れも面白からず遂に大正六年上京して淺草區鳥越町に寓し種々の業を轉じ或は露店商をなす等具に辛酸を嘗めたり後小切商を始め既成品を加味して微弱乍ら商内をなす中多少の貯蓄を得て大正十一年同區壽町五一に現業を開店す爾來熱心經營の結果店勢次第に伸展し業容を擴張して遂に今日の業礎をなし昭和五年五月現所に移轉し十二月營業を資本金二萬圓の合資會社となすに及び代表社員となり今日に

至る現時長男敬作氏と共に専心店務に精勵し居れり。

【宗教】 眞言宗

【家庭】 母壽々女 嘉永四年二月二十日生。妻コト女 明治十一年九月二十四日生石川縣石川郡二塚村字専光寺北河善左衛門長女。長男敬作氏 明治三十四年六月三日生。婦とよ女 明治三十九年六月八日生麴町區飯田町二ノ二十五高橋新太郎氏二女。四女清子女 明治三十八年七月十六日生。五女千代子女 明治四十五年三月十五日生。三男虎吉氏 大正三年二月十八日生。四男榮司氏 大正五年十一月十六日生。五男都介氏 大正七年十月二十三日生。六男昇氏 大正十年三月五日生。孫壽々代女 昭和四年三月二十八日生敬作氏長女。

安居吉太郎氏

明治十一年十二月一日生

【職業名】 京吳服關東吳服卸合名會社藤安商店代表社員
【職業所又】 東京市日本橋區元濱町十二番地 電話(浪花三六)
【住 所】 滋賀縣愛知郡葉枝見村大字田附八百五十八番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡葉枝見村亡安居久左衛門氏の長男にして大正六年九月父久左衛門氏死亡に因り家督を相続す年

少より叔父故阿藤清七氏の店に奉公し後實弟阿藤久太郎氏と共に合名會社藤安商店を創立し目下同店代表社員として専ら仕入を擔當す資性温厚着實にして商手腕に富める紳士なり。

【宗教】 眞宗

【家庭】 妻勢つ女 明治十八年十一月二十六日生。長男四郎兵衛氏 明治四十四年一月二日生滋賀縣立八幡商業卒業郷里に在り。
【主なる親戚】 阿藤久太郎氏 市内日本橋區元濱町十二番安商店。阿藤清八氏 京都市室町御池下る。阿藤伊右衛門氏 滋賀縣愛知郡愛知川村大字長野二百四十八(妻女里方)。

柳治三吉氏

明治十五年二月十四日生

【職業名】 絹織物洋服裏地卸株式會社柳商店代表取締役
【職業所又】 東京市神田區連雀町十八番地 電話(神田三七)
【住 所】 府下入新井町不入斗八百八十八番地 電話(大森三三)
【本籍地】 東京市本所區東兩國三丁目九番地ノ二號

【略歴】 氏は京都市上京區新町安藤治兵衛氏の四男に生れ明治三十七年十二月柳定吉氏養女トシ女の婿養子となりしものなり若年の頃曾和商店に斯業を見習ひ震災直後先代定吉氏病

〔中〕

歿後現業を繼承し昭和三年八月資本金五十萬圓の現株式會社に組織を變更し同店社長として現在に至る。

【營業收益稅】 一二三圓

【家庭】 妻トミ女 明治十二年六月四日生長崎縣北松浦郡平戸村甘利俊次氏長女。長女富治子女 大正五年十月十七日生養子芳之助氏 明治三十八年二月八日生神田區佐柄木町十二奧村安吉長男。婦松子女 明治卅七年四月二十七日生日本橋區長濱町四丁目多田吉藏氏四女芳之助氏妻。孫博子女 昭和三年十月九日生。

【主なる親戚】 東京市外巢鴨町巢鴨一四七六甘利俊直氏 養女雪枝女婚家先。

柳才吉氏

明治三十二年十一月十七日生

【營業又職名】 吳服太物小賣大和屋吳服店主

【營業所又勤務先】 府下北豊島郡南千住町八丁目六番地 電話(淺草)〇五

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は亡柳才吉氏の長男にして舊名を林太郎と稱せしが昭和三年五月才吉氏の病歿によりて襲名す。同店は明治二

十八年先代の開業にして熱心なる經營振りにより業容逐次向上して今日の業礎を見るに至りたるものなるが先代の歿後一切を繼業せる當主又極めて經營振り緻密にして堅實なる業歩を辿りつゝあるものなり。

【趣味】 觀劇 【宗教】 淨土宗

【所得稅】 三六六圓 【營業收益稅】 九八圓

【地租】 六〇圓

【家庭】 母とみ女 明治八年七月二十日生、北豊島郡南千住町大澤林助氏二女。妻のぶ女 明治三十七年三月十五日生牛込區若宮町福田博光氏の女。長男廣武氏 大正十五年九月三十日生。長女晴子女 昭和三年二月二十六日生。

【主なる親戚】 牛込區若宮町福田博光氏 會社員。下谷區谷中關江孝次氏(實弟幸助氏養家) 無職。下谷區元黒門町林宇右衛門氏。

【主なる出身者】 府下龜戸町浦寛次郎氏 吳服商。寺島町茅野周一氏 吳服商。王子町十條小林三千夫氏 吳服商。

柳生譽三吉氏

明治十六年二月三日生

【營業】 モスリン専門小賣商兼屋モスリン店主

【營業所】 東京市淺草區馬道町一丁目三號ノ二十六 電話(淺草)元

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は福井市東上町中野新助氏の長男にして長ずるに及び同地柳生辰藏氏の養子となる。明治四十三年頃上京現所に於て貴金屬商を開業其後同業者と謀り法人組織とせしも氏は幾干もなく脱退して大正九年現業者に轉ぜり。其後業容漸次伸展して大正十二年頃には府下千住町に支店を設置し無難なる業勢を維持しつゝ今日に至る。

【宗教】 眞宗

【家庭】 妻しな女 明治十七年三月七日生福井市足羽町六十八番地坂村金吉氏長女。

【主なる親戚】 東京市本郷區森川町一番地門登代氏。

八木増次郎氏

明治十年五月二十日生

【營業】 毛斯綸洋反物卸

【營業所】 東京市日本橋區彌生町五番地 電話(浪花)四〇八

【住所】 同所

【本籍地】 滋賀縣犬上郡高宮町二千四百三十九番地

【略歴】 氏は八木武平氏の四男にして年少時京都丸掛商店に

入り、後同東京店に轉勤明治三十二年先代市田彌惣右衛門氏の獨立後望まれて入丸市田商店支配人となり四十二年先代歿後幼主を補佐しつゝありしが震災後圓満退店して大正十三年現業を獨立開始し、爾來無難に經過して今日に至れり。

【趣味】 圍碁、謡曲 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻しげ女 明治十七年二月二十七日生滋賀縣犬上郡多賀村馬場治一郎氏妹。

【主なる親戚】 滋賀縣犬上郡多賀村馬場治一郎氏。

まの部

前川太郎兵衛氏

明治四十年二月八日生

【營業】 裏地、中形、捺染緋及晒卸

【營業所】 東京市日本橋區堀留町二丁目八番地 電話(浪花三三三)

【住 所】 東京市小石川區林町六十八番地 電話(小石川七三四)

【本籍地】 東京市日本橋區堀留町二丁目八番地

【略歴】 先代太郎兵衛氏は幼年時伯父太郎右衛門氏に随伴して上京本業に従事中爲人を囑目せられ伯父に男子なかりしため其養子となり明治二十八年家督を相続せり、致々營々寸暇も忽にせず當時既に百萬の富を積む、本業に熱心なるは勿論他面殖産を志し資金運用の妙を極め、逐年資産を増大し千萬長者たるに至りたり、大正十五年三月七十六歳にして逝去せり當主は其四男として出生、治三郎名なりしが、家督相続後大正十五年四月十九日太郎兵衛を襲名せり、寛大圓滿にして内外の衆望を負ふ、未だ若冠なれど父業を主宰して悖らず、加ふるに分家義兄なる廣吉道平兩氏至誠を盡し、日々精勵萬般の補佐に任じ、戮力協心父業を守りあり、誠に當家の三柱石にして、家運を磐石の安きに置く所以なり。

【趣味】 野球、愛犬家 【宗教】 眞宗

【所得税】 三七六圓 【營業收益税】 二八五圓

【家庭】 母系津女 安政五年七月八日生、日本橋區本町四丁目山路茂兵衛氏の養妹。妻喜美子女 明治四十三年十月十四日生芝區三田一丁目手塚常次郎氏の長女東京女學館出身昭和四年三月十一日婚姻入籍せり。長女珠子 昭和五年三月五日生。

【主なる親戚】 前川善三郎氏 滋賀縣犬上郡高宮町に居す同族の間に本宅と呼ぶ滋賀縣多額納税者にして又慈善事業家、藍綬褒章所持者。前川彌助氏 京都衣棚通下立賣下ルに住す富豪にして日本織物加工株式會社社長。手塚常次郎氏 妻女の里方、芝區三田一丁目五番地に居住し地主として知らる。前川萬治郎氏 日本橋區富澤町一九綿布商株式會社前川商店代表者。前川斧次氏 日本橋區久松町一三綿布商前川商店主。【主なる出身者】 岩佐捨藏氏 日本橋區堀留町四番地キヤラコ卸商。北村太次郎氏 日本橋區新和泉町五番地に生地綿布卸商。

前川萬治郎氏

明治二十四年四月六日生

【營業又 職名】 綿織物、生白、晒卸株式會社前川商店代表取締役

【營業所又 勤務先】 東京市日本橋區富澤町十九番地 電話(浪花八七七)

【住 所】 東京市小石川區大塚窪町三十八番地電話(小石川三七〇)

【本籍地】 東京市日本橋區富澤町十九番地

【略歴】 氏は故前川太兵衛氏の長男にして大正十二年三月家督を相続す。學習院中等科を経て大正二年東京高等商業學校を卒業し、直に一年志願兵として入隊す、除隊後家業を継ぎしが震災には相當の打撃を受けたり。直後現株式會社を設立し氏はその代表取締役となりて爾來業勢の向上に努めつゝ今日に及ぶ。

【趣味】 乗馬、水泳、讀書 【宗教】 眞宗

【所得税】 六七圓

【家庭】 妻泰女 明治三十九年九月五日生麴町區元園町田口義三氏四女東京女學館卒業。先妻女みよ女(前川斧次氏二女)は大正十五年十二月婚姻、昭和二年十一月死亡。

【主なる親戚】 日本橋區久松町十三前川斧次氏。同區堀留町二丁目前川太郎兵衛氏。横濱市住吉町二丁目田中芳之助氏 。

實妹綱家先。麴町元園町二丁目田口義三氏 妻女里方。

前川斧次氏

明治元年四月二十日生

【營業】 中形、裏地、加工綿布卸

【營業所】 東京市日本橋區久松町十三番地 電話(浪花三三三)

【住 所】 東京市小石川區大塚窪町六番地 電話(小石川七三五)

【本籍地】 東京市日本橋區久松町十三番地

【略歴】 氏は滋賀縣の人にして池田太一郎氏の長男に生れ前川太郎兵衛商店支店たりし現店を擔任し居たるが明治二十八年八月十五日太郎兵衛氏長女こう女の婿養子となるものなり其後本支店の關係を廢止し同氏個人店として經營し爾來順調に推移し現在に至れり、因に日本橋區富澤町に於て半襟風呂敷卸を營む池田知次郎氏は氏の實弟にして池田家を相続す

【所得税】 二七二七圓 【營業收益税】 一九六圓

【家庭】 妻こう女 明治五年三月三十日生。長男榮次郎氏 明治廿七年十月七日生。婦てい女 明治三十二年七月三十日生日本橋區田所町大熊丑之助氏二女榮次郎氏妻。二男豊吉氏 明治三十二年一月一日生。三男久三郎氏 明治三十四年九月二十四日生。五男和吉氏 明治四十一年九月二十五日生。六男信吉氏 明治四十三年四月七日生。三女キミ女 明治四

〔家〕

十五年四月十七日生。孫泰次郎氏。大正十四年一月五日生。榮次郎氏長男。婦里女。明治三十九年六月四日生。豊吉氏妻。孫和夫氏。昭和二年一月二日生。豊吉氏長男。孫義郎氏。昭和三年三月十六日生。榮次郎氏二男。婦ミセ女。明治四十四年四月四日生。久三郎氏妻。孫昌夫氏。昭和五年七月三十日生。榮次郎氏三男。孫喜久子女。昭和五年八月二十四日生。久三郎氏長女。

【主なる親戚】 市内日本橋區富澤町三半襟風呂敷卸池田知二郎氏。實弟。市内日本橋區田所町十七綿布卸大熊丑之助氏。長男妻。女里方。同區富澤町九木綿卸株式會社前川商店社長前川萬治郎氏。亡二女みよ女夫。栃木縣下都賀郡栃木町一九三吳服太物洋反物卸加滿屋大塚金兵衛氏。三男久三郎氏妻。ミセ女里方。

前川久次郎氏

明治十七年十一月一日生

【職業名】 布團蚊帳卸問屋西村伊亮商店支配人
【職業所】 東京市日本橋區新大阪町三番地 電話(浪花三三三) (浪花三三三)
【住 所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣愛知郡秦川村大字日加田二千六十三番地

【略歴】 氏は本籍地前川久五郎の長男として生れ大正四年十一月先代の死により家督を相続して戸主となる十七歳の時より上京して西伊商店に入り恪勤多年に及び精勤を認められて大正十四年同店支配人に昇進す、性温厚にして着實採算に長じ業務を擔當して熱心營業の任に當り居れり。

【宗教】 眞宗
【家庭】 母す江女。文久三年八月二十九日生。妻乃婦女。明治二十四年一月二十二日生。妹いと女。明治二十三年十二月十三日生。長女惠美女。大正八年十二月八日生。長男久郎氏。昭和二年五月二十二日生。
【主なる親戚】 兄村岸左衛門氏。滋賀縣愛知郡秦川村安孫子。兄増田直次郎氏。滋賀縣愛知郡八木莊村島川前支配人。兄栗田新次郎氏。大阪市北區神山町七〇。妻弟宿谷七兵衛氏。滋賀縣愛知郡秦川村深草二三七。

前田三來雄氏

明治二十五年九月十三日生

【職業名】 モスリン小賣商前田モスリン店主
【職業所】 東京市下谷區入谷町二十五番地 電話(下谷三三三)
【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所
【略歴】 氏は福井縣吉田郡上志比村藤卷山田十平氏の三男にして福井縣立師範學校を卒業後上京して前田イネ女と入夫婚姻す。震災後別家して現業を開始せるものなるが經驗淺きに拘らず熱心従業して今日の業容を示すに至れるなり。

【趣味】 園芸 【宗教】 眞宗 【所得税】 七〇圓
【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 妻イネ女。明治二十五年八月二十五日生。淺草區阿部川町三十二番地前田初藏氏長女。
【主なる親戚】 福井縣吉田郡上志比村藤卷山田外未雄氏。

松居元右衛門氏

明治九年二月二十九日生

【職業名】 帶地卸株式會社松居織工場取締役社長
【職業所】 出張所東京市日本橋區新木町五番地 電話(浪花四七七) (本店) 福岡市春吉町六百九十二番地
【住 所】 京都市岡崎東天王町 電話(上呉)
【本籍地】 福岡市東中洲町二百五十六番地

【略歴】 氏は先代亡元右衛門の長男として生れ明治三十一年九月先代の死により家督を相続して襲名す。家業は代々吳服商を營み居りしが先代の福岡市に工場を建設し博多織業に従

事してより漸進して京都に工場を設け西陣帶地をも製織す。明治四十一年創立二十五年記念として大阪支店を設けると共に資本金五萬圓の合資組織となし仲展著しく更に大正八年資本金五十萬圓の株式會社を設立し氏は其の取締役社長となり大正十一年東京出張所を設置す氏は温厚篤實にして經營の才あり營業は堅實なる推移を以て仲展を示せり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 一三四圓
【家庭】 妻ちよ女。明治十六年一月八日生。長男與一氏。明治三十九年三月五日生。京都帝大經濟學部卒。

【主なる親戚】 松居久左衛門氏。京都市嵯藥師室町東入ル合名會社星久商店主。松居久右衛門氏。滋賀縣神崎郡北五箇莊村龍田。松居庄右衛門氏。滋賀縣神崎郡北五箇莊村龍田。弟松居豊三郎氏。福岡縣山門郡柳川町書籍文具商。弟松居庄治郎氏。福岡市大名町同店取締役。妻叔父三上清兵衛氏。京都市新町三條下ル監査役。妻兄三上彦藏氏。滋賀縣神崎郡南五箇莊村七里監査役。

【主なる出身者】 宮村吉造氏。福岡市橋口町デパート松屋。猪田治三郎氏。大阪市北區上福島一丁目松葉屋吳服店。瀬川竹次郎氏。京都市中立賣通り堀川西陣織物商。河村道之助氏。日本橋區葺屋町六京吳服帶地卸商。

〔ま〕

松居久左衛門氏

明治十四年十月十九日生

【職業名】 染呉服兒服卸及悉皆業合名會社星久商店社員

【營業所又】 東京市日本橋區新藥物町十一番地 電話(浪花五五)

【勤務先】 (本店) 京都市船場區室町東入辨慶町

【住 所】 京都市上京區中河原町九十一番地ノ二 電話(上三三)

【本籍地】 滋賀縣神崎郡北五箇莊村大字龍田百十六番地

【略歴】 氏は先代久左衛門の長男にして明治三十一年七月家督を相続す家業は悉皆業として現在迄七代を關する舊舖たり營業を繼承して刻苦精勵し次第に業容を伸展せしめ大正九年七月資本金七萬五千圓の合名會社星久商店を設立し別に染呉服及兒服卸を兼營せしが大正十三年十二月染呉服を合併して二拾萬圓に増資す京都を本店とし東京を支店として現時店員四十名を使用し弟孝三氏を代表社員として實務を擔當せしめ氏は其背後にありて監督し尙ほ氏の個人名義にて兒服卸をなす。

【趣味】 盆栽 【宗教】 眞宗 【所得税】 二二九二圓

【營業收益税】 一四〇圓

【家庭】 妻マサ女 明治二十二年八月五日生京都市下京區東洞院通綾小路下ル扇酒屋町深尾武右衛門氏二女。長女しげ女

明治四十五年一月一日生京都府立第一高女卒。二女さだ女 大正四年五月七日生。二男久一郎氏 大正六年二月九日生 三女ひさ子女 大正八年十一月十九日生。四男彌三郎氏 大正十四年十一月九日生。

【主なる親戚】 弟松居雅二氏 京都市下京區室町通新町ノ間三條下ル了頓圖子町。弟中井長兵衛氏 京都市日本橋區通油町株式會社中井長商店代表取締役。弟松居孝三氏 滋賀縣神崎郡北五箇莊村大字龍田三八七。

松下岩雄氏

明治三十五年五月二十三日生

【職業名】 關東織物卸株式會社松下商店社長

【營業所又】 東京市日本橋區新材木町十四番地 電話(浪花六三)

【勤務先】 同 所

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は亡松下岩雄氏の長男にして舊名を信次郎と稱せしが大正八年先代の病歿により襲名す、早稻田大學商科の出身なり。先代歿後は家業を合名組織となし氏はその代表社員たりしが、昭和五年十一月株式に組織再變更と同時にその社長となり現在に至る。

【趣味】 寫眞 【宗教】 曹洞宗 【所得税】 六二四圓

【營業收益税】 八九圓

【家庭】 祖母ヤス女 弘化元年十一月十三日生現在荏原郡大井町一〇七七に住す。妻そめ女 明治四十二年一月三十一日生京橋區銀座四丁目十七柴崎三之助氏三女跡見高等女學校卒業。妹奈か子女 明治四十二年九月十七日生佛英和女學校卒業現在大井町祖母の下に在り。

【主なる親戚】 京橋區銀座四丁目柴崎三之助氏(半襟商)。府下西巢鴨町池袋一五六八池田爲次氏(古川電氣工業株式會社員)。

【主なる出身者】 日本橋區久松町二十三青木隆藏氏(兩毛品卸)。同區蠟殼町二丁目三宅俊雄氏(吳服商)。同區蠟殼町石島三郎氏(吳服商)。四谷區傳馬町十三丁目大竹房吉氏(吳服商)。府下澁谷町廣尾佐藤銀次郎氏(吳服商)。

松崎慶治氏

明治二十二年四月十四日生

【職業名】 子供學生服卸

【營業所】 東京市神田區豐島町二十七番地 電話(浪花三五)

【住 所】 同 所

【本籍地】 栃木縣下都賀郡細村大字中島千二十四番地

【略歴】 氏の祖は幕府時代の旗本にて現本籍地は其の任務地なりしと稱せらる維新後祖父廣長氏及父宗廣氏は栃木縣廳に勤めし人なり氏は松崎家の長男にて十三歳の時洋服裁縫を見習ひ十九歳にして上京せしが壯年に及び縫工卒として徵集せられたり後再役して縫工長となり、日獨戰爭の際工廠内に在りて戰時勤務の功に依り勳七等に叙せらる退役後市内神田區角田商店に入店せしも數年ならずして主家内容縮少するに當り圓滿退店の上大正十五年神田佐久間町に高久商店の仕立物を引受け獨立せり爾來子供服に主力を注ぐに至り異狀の進出振りを見せ昭和五年春現所に移轉せり現在其の製品は大部分デパート方面に納入し居るものにて従業員七名を便役し其の將來を期待せらる。

【宗教】 禪宗 【所得税】 一三圓

【營業收益税】 三九圓

【家庭】 實母シナ女 元治元年十二月生目下本籍地に在り。實弟金一郎氏 明治卅六年四月生小學校卒業後目下店業を授けつゝあり。妻たみ女 明治廿五年七月生茨城縣結城町田村源吉氏長女。長女美江子女 大正五年四月生神田高等女學校二年生。二女俊枝女 大正七年八月生柳北小學校六年在學。

【家】

【主なる親戚】 妻女實家田村榮太郎氏 茨城縣結城郡結城町一五四七目下在京店業に在り。分家實妹フデ女 茨城縣結城町一五四七目下木籍地に在り。

松田永松氏

明治十九年一月二日生

【營業】 羅紗既製品卸
【營業所】 東京市神田區富松町十三番地 電話(浪花三三三)
【住所】 同所
【本籍地】 同所

【略歴】 氏は新潟縣中頸城郡柿崎村六四〇九の第五、戸主石黒眞司郎氏實弟なり幼名を由松と稱し大正七年一月十四日先代永松氏の養子となりたるが同十一年六月廿八日前戸主死亡に因り同年七月五日家督相續をなし同月十日襲名す、而して氏は少年時代上京、日本橋區彌生町羅紗卸商島田商店に約八ヶ年間勤続後前記松田家に入婿せるものにして却々の奮闘家なり現に店員と共に自ら地方に出張し販賣の第一線に活動す
【宗教】 眞宗 所得税 三八七圓
【營業收益税】 一一三圓
【家庭】 妻女イト女 明治二十五年七月六日生、大正七年一

月十四日婚姻す。長女ま津子女 大正七年一月六日生、日本橋高女一年在學。長男永一氏 大正八年十月二十三日生、千代田小學五年在學。二女ヨシ子女 大正十一年十月十九日生、千代田小學二年在學。三女イヨ子女 昭和五年三月六日生。
【主なる親戚】 義兄堀井榮藏氏 新潟縣長岡市草生津一九五番戸。妻女イト女の實兄、金融業。
【主なる出身者】 羅紗既製品卸猪井廣吉氏 神田區富松町十三番地。洋服既製品小賣業西勝三郎氏 下谷區上野町。

松村久次郎氏

明治二十二年六月十七日生

【營業】 毛織物加工卸
【營業所】 東京市日本橋區高砂町七番地 電話(浪花三三三)
【住所】 同所
【本籍地】 滋賀縣神崎郡能登川村大字能登川五百四十八番地
【略歴】 氏は故松村久三衛氏の二男大正十五年三月分家す、年少時上京して親戚なる日本橋區濱町堀兵衛商店に永年勤続せり。大正九年退店獨立せるものなるが當初はブローカーより出發し後現所に店舗を構へるに至れり。
【宗教】 眞宗

【家庭】 妻まさ女 明治三十一年四月十日生滋賀縣神崎郡能登川村川村源兵衛氏長女、長男欣一氏 大正八年七月一日生、長女愛子女 大正十二年二月四日生。三男博次氏 大正十四年十二月六日生。

【主なる親戚】 滋賀縣神崎郡能登川村川村源兵衛氏 吳服小賣商。日本橋區濱町一丁目十一堀口兵助氏、吳服卸。

松阪はつ女

明治五年十月二十八日生

【營業】 毛斯綸卸
【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町十七番地 電話(浪花七二五)
【住所】 同所
【本籍地】 東京市日本橋區通油町八番地

【略歴】 同女は京都市下京區下魚棚通油小路東入東町曾我清八氏の長女にして明治三十年一月京都府久世郡宇治町松阪勘右衛門氏二男晴吉に嫁す、家業は約三十五年前開始したるものにして初め夫晴吉氏之を經營せしものなるが後株式組織となし大正十五年二月更に個人經營に還元してはつ女其の營業名儀人となり實務は嗣子吉之助氏之を擔當せり。

【趣味】 園藝 宗教 淨土宗

【家庭】 夫晴吉氏 元治元年十二月十九日生。二男吉之助氏 明治三十年二月九日生。婦富久女 明治三十三年十一月六日生三輪田高女卒、二男吉之助氏妻、四男隣之助氏 明治四十一年十二月六日生農業大學卒。五男勘七郎氏 明治四十二年六月二十二日生島根縣立水産商船學校卒。六男八郎助氏 大正六年一月九日生國學院中學在學。孫晴之氏 大正十二年二月一日生、吉之助氏長男。孫彰子女 大正十一年六月二十九日生、同長女。孫福子女 大正十二年十月二十三日生、同二女。孫博正氏 昭和三年二月四日生同二男。

【主なる親戚】 松阪金三郎氏 夫實兄、京都府宇治町。曾我清八氏 里方、京都市下京區下魚棚通油小路東入。深田與三兵衛氏 吉之助氏妻富久女里方、日本橋區富澤町京吳服卸。松阪廣政氏 市中中澁谷四百二十七番地。福井久信氏 二女階子女夫京橋區本湊町。
【主なる出身者】 小西佐吉氏 日本橋區横山町一ノ九半襟小物卸。中井喜一郎氏 日本橋區田所町一六毛斯綸洋反物卸。小林勝治氏 日本橋區濱町一丁目十七毛斯綸小物卸。

松浦豊藏氏

明治二十三年八月十六日生

【營業】 銘仙専門小賣松浦いせん店主
 【營業所】 府下豊多摩郡中野町本町通り四丁目十六番地 電話(中野三六)
 【住所】 同所
 【本籍地】 同所

【略歴】 氏は静岡縣小笠郡西郷村松浦春藏氏の三男にして大正二年一月分家す。幼少の頃より同郡掛川町山崎茂七商店に奉公し約七ヶ年勤務、明治四十三年同満退店の上獨立す。約一ヶ年餘を八王子市に滞在して産地の模様を見學すると共に少量の外賣を開始したるが四十四年上京して當初淀橋町柏木に開業大正十三年暮現所に移轉せり。

【宗教】 禪宗 【營業收益税】 二五圓

【家庭】 妻九ミ子女 明治十九年一月二十五日生八王子市横田碩雄氏長女。二男豊氏 大正十年五月十八日生。

【主なる親戚】 八王子市横田碩雄氏(妻女實家)。静岡縣小笠郡西郷村松浦春藏氏(本家)。

松倉留吉氏

明治二十三年一月十七日生

【營業】 風呂敷タオル卸商
 【營業所】 東京市日本橋區東縁河岸二號地 電話(浪花三三〇)
 【住所】 同所
 【本籍地】 同所

【略歴】 氏は先代幾次郎氏の三男なり、埼玉縣越ヶ谷町に生れ二十二歳の時上京して日本橋區橋町二丁目五番地風呂敷卸商瀬川雅次郎商店に入り恪勤十三年間主家の爲に盡し大正十三年同満退店して現所に獨立創業し爾來順調に恵まれたれば業容漸次伸展し鞏固たる地盤を築くに至れり、扱品の多種類に涉る點は同業者の追隨を許さざるものと説かる。性格信念厚く霸氣に富み日蓮主義の崇拜者なる事は業界周知の事實なり。

【趣味】 登山、大弓 【宗教】 日蓮宗

【所得税】 九圓 【營業收益税】 三三圓

【家庭】 妻トキ子女 明治二十九年七月三日生、神奈川縣農星野芳三郎氏二女。長男一衛氏 大正十一年五月十三日生。長女久美子女 大正十五年五月三日生。二女妙子女 昭和三年六月十二日生。

【主なる親戚】 義兄内田熊次郎氏 足袋商東京府下千住町二丁目。

松原健次氏

明治三十三年五月十七日生

【營業】 洋反物加工卸合資會社松原商店代表社員
 【職業名】 同
 【營業所】 東京市日本橋區長谷川町八番地 電話(浪花四〇四)
 【住所】 同所
 【本籍地】 東京市小石川區關口町六十八番地

【略歴】 氏は松原寅吉氏の二男にして年少時より亡兄藤吉氏の經營せし合資會社松原商店に於て斯業に従事しつゝありしが、昭和三年十二月藤吉氏病歿せる爲め乃ち氏がその代表社員となり一切を繼業して今日に及べるものなり。

【趣味】 釣 【宗教】 眞宗 【所得税】 二二圓

【家庭】 實父戸主松原寅吉氏 慶應二年一月五日生現在本籍地に住す。亡藤吉氏妻志津女 明治三十一年一月一日生岐阜市白木町九高橋幸一郎氏の姉。健次氏弟幸一氏 明治三十八年三月二十七日生店務従事。同新太郎氏 明治四十二年三月二十三日生店務従事。健次氏妻ふみ女 明治三十九年五月一日生岐阜市白木町九番地高橋とく女繼子。

【主なる親戚】 岐阜市外加納町尾藤鏡吉氏(傘小賣商)。小石川區早稻田鶴巻町田中兩三郎氏(水菓子商)。

松宮語氏

明治二十三年一月十七日生

【營業】 綿ネルクレップ廣幅織物卸丸爲合資會社東京支店支配人
 【職業名】 同
 【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町二丁目十七番地 電話(浪花〇一九・三六八)
 【住所】 府下豊多摩郡中野町新山通り三ノ八(電話中野四七四)
 【本籍地】 大阪市東區清水谷西之町三百三十番地

【略歴】 氏は福井縣丹生郡吉川村小泉故松宮松太郎氏の長男にして十五歳の時丸爲商店の前身たる南爲商店東京支店に入店後大阪本店に轉じたりしが大正十年東京支店支配人として就任爾來奮闘能く同店の業容を進展し同店が斯業に主要なる位置を占むるに至りしは氏の努力與つて效ありと見られつゝあり夙に同店無限出資社員の一人たり資性温厚にして情誼に富み商手腕亦凡ならず。

【宗教】 日蓮宗

【家庭】 妻女シツ女 明治三十三年四月二十二日生。長男英治氏 大正三年十二月二十日生東亞商業學校生徒。長女貞子女 大正四年二月三日生精華女學校生徒。二男孝氏 大正九

〔ま〕

年九月六日生雑色小學校生徒。三女元子女。大正十三年一月一日生雑色小學校生。三男孝天氏。大正十四年一月十九日生雑色小學生。四女博子女。昭和二年七月二十日生。四男孝明氏。昭和四年三月五日生。五男五郎氏。昭和六年二月六日生。【主なる親戚】松宮孫右衛門氏。福井縣丹生郡吉川村農實兄奈良縣北葛城郡高田町鳥谷石松氏妻女里方。橋本しず女。福井市本町郵便局前足袋雜貨商橋本しず女妹婚家。福井市豊島上町活版原料業橋本新四郎氏實弟養子先。福井縣今立郡國立村塚町輸出入絹機業井上藤右衛門氏(嫂姻戚)。

増永七藏氏

明治十九年一月一日生

【營業】 羅紗既製品卸
【營業所】 東京市神田區松枝町十五番地 電話(浪花五〇二)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】氏は埼玉縣綾瀨村大字蓮田三十二番地戸主平民増永梅太郎氏二男にして明治四十二年六月十八日分家し戸主となる。十七歳の時上京し毛織物商渡邊丈太郎商店(十數年前廢業不現存)に約七年間勤続退店の上、明治四十一年八月現所

に獨立開業爾來地味堅實に經營今日に至れり、内容充實せる店舗たるは氏が多年不撓の努力と其經營宜敷を得たる結果と云ふ可し。

【宗教】 天台宗 【所得税】 三〇圓

【營業收益税】 五六圓

【家庭】 妻女トク女。明治十九年十二月十三日生、別項前田政吉氏長女、明治四十二年七月三日當主と婚姻。長男誠一氏。明治四十二年七月四日生、昭和二年三月錦城商業學校卒業爾來家業に従事す。

【主なる親戚】 義父前田政吉氏。神田區三河町、白米商。實兄命吉氏。埼玉縣南埼玉郡綾瀨村蓮田、農業。叔父山口命助氏。同縣同郡同番地、地主。

【主なる出身者】 吳服太物小賣業大木命助氏。埼玉縣上尾町新井屋羅紗既製品卸深谷福意氏。神田區岩本町一〇番地。印刷業木藤秀雄氏。京橋區船松町九番地、三豊社。

増田孝右衛門氏

明治三十四年九月五日生

【營業】 帶地卸株式会社松居織工場東京出張所主任
【職名】

【營業所】 東京市日本橋區通油町二十二番地 電話(浪花五七六)
【住所】 同 所
【本籍地】 東京市日本橋區堀留町三丁目一番地

【略歴】氏は長野縣諏訪郡上諏訪町宮坂貞吉氏の三男にして明治三十六年丸山テウ女と入夫縁組をなす。養家の業に従事し後年支店設置さるゝや支店擔當者として業務の向上に努めしが、本店は爾來業績學らず遂に閉鎖せしにより當時支店たりし現店が一切の業務を繼承すると同時に協助氏の獨立店となれるものなり。爾來氏は専心業務に勵みつゝ今日に至る。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻シヅ女。明治二十三年十一月二十五日生日本橋區濱町二丁目十二番野藤次郎氏の姉。二男正次郎氏。明治三十九年九月十三日生大倉高商卒店務從事中。長女繁子女。明治四十五年三月二十三日生實科女學校卒後同校専科を卒業。三男秀雄氏。大正十四年五月二日生。

【主なる親戚】 荏原郡目黒町丸山嘉兵衛氏(無職)。日本橋區岩代町一宮坂多見助氏(風呂敷卸)。同區新材木町平林時助氏(綿布卸)。

【主なる出身者】 日本橋區富澤町早味六治氏(小物類卸)。

〔ま〕

丸山協助氏

明治十一年十一月二十日生

【營業】 毛斯綸、絹物小物卸

【營業所】 東京市日本橋區新材木町五番地 電話(浪花五七六)
【勤務先】 東京市日本橋區中洲町三十二番地
【住所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣愛知郡八木莊村大字島川千二百番地
【略歴】氏は本籍地増田甚吉氏の長男にして大正六年三月より當京都支店に入り奉公する中大正十年徴兵によりて敦賀營兵に入隊十二年一月除隊し歸りて勤務翌十三年一月東京出張所に轉任し恪勤して怠らず店主の信任厚く昭和二年七月主任となり精勵を以て今日に至る、性溫良にして實直内外の印象宜しく業務を擔當して同店に重きをなす業容は氏の才腕を俟つて順調なる伸展を示し前途更に期待せらるゝ所あり。

【趣味】 演劇、寫眞 【宗教】 眞宗

【家庭】 妻千代女。明治四十一年十月二十日生滋賀縣愛知郡八木莊村島川一二三一西堀勇次郎氏長女。

【主なる親戚】 父増田甚吉氏。本籍地に同じ。姉婿西田伊三郎氏。滋賀縣愛知郡葉枝見村田附三九。妹養父西村喜代治郎氏。滋賀縣愛知郡八木莊村島川一一八三。

丸茂文次郎氏

明治十七年一月二十八日生

【營業】蒲團、蚊帳卸小賣

【營業所】東京市神田區東龍閑町五番地 電話(浪花四三)

【住所】同 所

【本籍地】同 所

【略歴】氏は甲府市緑町丸茂要七氏の弟にして大正十五年七月分家す。夙に上京して日本橋區横山町紅葉屋商店(現存せず)に奉公し明治四十三年退店獨立せしものなり。爾來幾曲折漸次向上して今日に至る。氏は日蓮宗に對して熱烈なる信仰を有し居れりと。

【宗教】日蓮宗 【營業收益税】六四圓

【家庭】妻豊女 明治二十三年一月二十日生赤坂區新町三ノ四〇雨宮喜三郎氏二女。

【主なる親戚】甲府市緑町三丸茂要七氏 蒲團蚊帳商。赤坂區新町三丁目雨宮喜三郎氏 株式取引所員。

萬崎與五右衛門氏

明治七年七月二十四日生

【營業又】洋服雜貨小賣株式會社萬崎洋服店

【營業所又】東京市神田區通神保町五番地 電話(神田三三三)

【住所】東京市小石川區竹早町百二十四番地電話(小石川三二)

【本籍地】千葉縣夷隅郡古澤村榎澤千五百五十五番地

【略歴】氏は千葉縣人亡萬崎圓三郎氏の長男にして明治四十一年九月圓三郎氏死亡に因り家督相續す十五歳の時上京し京橋區銀座山西洋服店に奉公し勤続約五ヶ年の後兩三年間洋服職人として經過したるが明治三十一年若干の資金を以て神田區錦町一丁目に獨立開店し爾來刻苦勉勵種々困難に遭遇したるも能く耐へ遂に萬崎の名をして廣く世間に知らしむるに至り昭和六年四月資本金十萬圓の合資會社に近時又株式會社に組織を變更し氏は表面に立たず。

【所得税】二七七二圓 【營業收益税】七五六圓

【家庭】母うた女 安政元年十二月十日生。妻キン女 明治二十年四月廿八日生。長女婦美代女 明治三十五年三月三十一日生。長男與志夫氏 明治四十年三月四日生。二女治枝女 明治四十四年一月九日生。二男與一氏 大正五年二月十日生

五女よし子女 大正七年十一月十五日生。三男與三郎氏 大正十年八月十七日生。四男與四郎氏 大正十二年九月五日生
【主なる親戚】芹澤半藏氏 妻女里方、麴町區飯田河岸十八號。

間塚嘉一郎氏

明治三十七年三月八日生

【營業】吳服太物小賣近江屋吳服店主

【營業所】東京市深川區猿江裏町百二十五番地

【住所】同 所

【本籍地】同 所

【略歴】氏は間塚半十郎氏の長男なり。約一ヶ年間區内黒江町武藏屋吳服店に奉公して斯業の經驗を得て歸店し家業を繼承し業容地味今日に至る。

【趣味】觀劇 【宗教】眞宗

【所得税】四五〇圓 【營業收益税】一四〇圓

【家庭】母こぶ女 明治十五年五月二十日生岐阜縣安八郡神戶町林治助氏三女。妻芳子女 明治三十七年一月二日生埼玉縣大里郡妻江町小池慎太郎氏長女。長女初枝女 昭和二年五月十六日生。二女幸女 昭和五年四月二十五日生。

【主なる親戚】埼玉縣大里郡妻江町小池慎太郎氏。深川區千田町高木金藏氏 吳服商。

眞弓留吉氏

明治七年十一月三十日生

【營業】吳服太物小賣武藏屋吳服店主

【營業所】東京市神田區南神保町八番地 電話(九段二〇〇)

【住所】同 所

【本籍地】同 所

【略歴】氏は日本橋區松島町中村常次郎氏の四男にして明治十六年六月眞弓家の養子となる。氏は元來横濱市武安吳服店に奉公して斯業を見習ひたるものにして獨立せしは明治三十八年なるが當初は綿布本位を商ひたるものにして漸次一般吳服をも加へ來り今日の業容を示すに至りたるものなり。

【趣味】園藝 【宗教】禪宗 【所得税】三七七圓

【營業收益税】一一四圓

【家庭】妻すゑ女 明治十三年六月三日生埼玉縣北足立郡川口町關口倉吉氏妹。長女將子女 大正五年五月十三日生。
【主なる親戚】埼玉縣北足立郡川口町關口倉吉氏 無職。

ふ之部

古屋徳兵衛氏

明治十一年三月十九日生

【職業名】百貨店株式会社松屋呉服店社長
 【職業所又】は勤務先 東京市京橋區銀座三丁目一番地 電話(京橋三三二) 外四九七本
 【住 所】東京市麴町區五番町十四番地 電話(九段七三〇)
 【本籍地】横濱市中區石川町四丁目十四番地

【略歴】松屋は三代前の祖甲州出身古屋長吉氏が維新前横濱に織物業を開きたるに始り先代徳兵衛氏に至り鶴屋呉服店の名を著し明治二十二年神田今川橋に松屋呉服店を買収し屋號を踏襲し京濱兩地に陣容を張り三十三年百貨店に變更す、氏は先代徳兵衛氏の二男として生れ明治四十四年家督相續と共に前名藤八を改め襲名せり大正八年一族を以つて資本金壹百萬圓の株式組織となし同十三年五百萬圓に増資し續いて十四年銀座に進出し爾來斯界に雄飛する事多年現在の業礎を作するに成功せり氏は温厚にして商才に富み現時古屋合名代表社員を兼任し各方面の信頼を受けつゝあり。

【宗教】 禪宗 【所得税】 一六三三三圓

【家庭】 妻美津女 明治十四年七月二十九日生。亡兄正太郎氏妻アサ女 明治六年二月五日生。

【主なる親戚】 妻女實家青地伊一氏 東京市麴町區平河町五ノ一七。亡兄妻女實家田邊幸七氏 横濱市中區中根岸三六五地主。實弟古屋惣八氏 東京市外淀橋柏木四三六松屋常務取締役。實弟古屋榮一氏 東京市外入新井町不入斗一三八〇松屋取締役。義弟牛山武兵衛氏 東京市日本橋區通四丁目目一吳服太物商。實姉嫁先内藤彦一氏 東京市京橋區銀座六丁目二松屋常務取締役。

古屋惣八氏

明治十四年三月八日生

【職業名】百貨店株式会社松屋呉服店常務取締役
 【職業所又】は勤務先 東京市京橋區銀座三丁目一番地 電話(京橋三三二) 外四九七本
 【住 所】府下豊多摩郡淀橋町柏木四百卅六番地電話(四谷八三三)
 【本籍地】横濱市中區石川町四丁目十四番地

【略歴】氏は先代古屋徳兵衛氏の四男として生れ當代徳兵衛氏の實弟なり年少時代より古屋家に在りて兄徳兵衛氏と共に父業を恢弘するに努め松屋今日の業礎を確立せるものにして明治三十八年十一月を以つて分家一家を成し現時松屋常務取

縮役たる外古屋合名會社出資社員たり。

【宗教】 禪宗 【所得税】 六五五七圓

【家庭】 妻もと女 明治二十一年五月五日生。長男惣太郎氏 明治四十二年一月二十八日生。二男祐次郎氏 明治四十四年一月一日生。長女稚代女 大正二年八月十九日生。三男善正氏 大正四年十一月一日生。二女智代女 大正七年六月二十四日生。三女貴代女 大正十年六月六日生。四男哲男氏 大正十一年九月二十七日生。四女富代女 大正十四年一月四日生。

【主なる親戚】 妻女實家奥村正右衛門氏 山梨縣甲府市八日町四二。實兄古屋徳兵衛氏 東京市麴町區五番町一四同店社長。實兄古屋榮一氏 東京市外入新井町不入斗同店取締役。義兄弟牛山武兵衛氏 東京市日本橋區通四丁目目吳服太物商。義兄内藤彦一氏 東京市京橋區銀座六丁目松屋常務取締役。

古屋榮一氏 (通稱)

明治十八年八月四日生

【職業名】百貨店株式会社松屋呉服店取締役兼營業部長
 【職業所又】は勤務先 東京市京橋區銀座三丁目一番地 電話(京橋三三二) 外四九七本

【住 所】府下荏原郡入新井町不入斗千三百八十番地 電話(大森三三三)
 【本籍地】東京市牛込區市谷町二丁目二十五番地

【略歴】氏は先代古屋徳兵衛氏の五男として生れ通稱晃道と名乗る當代徳兵衛氏並に惣八氏の實弟なり夙より兄を援け松屋現在の進展に努力し來り現時取締役兼營業部長として温厚なる風格と洗練せられたる手腕とを以つて店內を統率し居れり明治四十三年十一月を以つて分家し今日に至る。

【宗教】 禪宗 【所得税】 一〇九四圓

【家庭】 妻政子女 明治二十二年八月十六日生。長男一郎氏 明治四十四年八月一日生。二男健一氏 大正元年十一月八日生。

【主なる親戚】 妻女實家小野寺直二郎氏 横濱市中區寄崎町四三。長兄古屋徳兵衛氏 東京市麴町區五番町一四松屋社長。實兄古屋惣八氏 東京市外淀橋柏木松屋常務取締役。義兄内藤彦一氏 東京市京橋區銀座六丁目松屋常務取締役。義弟牛山武兵衛氏 東京市日本橋區通四丁目目吳服太物商。

古川源次郎氏

明治十一年七月二十二日生

【營業又】各種織物問屋株式会社塚本商店
 【職業名】
 【營業所又】東京市日本橋區伊勢町八番地 電話(日本橋)自三三三
 【勤務先】滋賀縣犬上郡磯田村大字三津屋千五十六番地
 【住 所】同 所
 【本籍地】同 所

【略歴】氏は前戸主古川源次郎氏長男に生れ幼名を源二と稱したるが大正元年十二月十四日改名、同年十月二十九日家督相續をなす、夙に當店に入り主家の爲めに忠勤を勵む處あり支配人たりしが先頃服部宗次郎氏就任せり。

【趣味】書畫 【宗教】眞宗 【所得税】一二五九圓
 【家庭】妻もと女 明治二十三年一月二十六日生、滋賀縣人 渡邊四良助氏長女、明治四十三年五月一日婚姻入籍。長男源次氏 大正二年七月二十四日生。

【主なる親戚】義父渡邊四良助氏 滋賀縣愛知郡愛知川町大字香掛十五番屋敷。實弟古川岩次郎氏 同縣犬上郡磯田村大字三津屋五九番屋敷。義弟寺村駒次郎氏 同縣同郡日夏村六一三、實妹靜女の夫。實弟源榮氏 同縣犬上郡磯田村三津屋一〇三九分家。

古川伊右衛門氏

明治十一年十二月十五日生

【營業】繡織物卸商
 【營業所】東京市日本橋區通津町二十二番地 電話(浪花)三三三
 【住 所】同 所
 【本籍地】滋賀縣神崎郡旭村大字山本三百八番地

【略歴】氏は四國の出身亡濱野政治郎氏の四男なり前名を留三郎氏と稱せり多年大阪古川合名會社の個人時代に奉公し明治三十八年三月二十七日滋賀縣神崎郡旭村大字山本三百八番地古川文吾氏の養嗣子となり一族古川忠治氏の長女たけ女と婚姻し明治四十年七月十一日當時絶家しありたる古川伊右衛門を再興して其家名を踏襲す而して古川商店が明治四十二年合名會社となりたる後も業務執行社員となりたるが後ち店主傳次郎氏自ら營業の衝に當るに至り退店して大正十二年出京獨立營業を開始するに至れり。

【趣味】盆栽 【宗教】門徒宗
 【家庭】妻たけ女 明治十七年四月廿六日生。長女千代子女 明治四十年七月十三日生、龍田高女卒後滋賀縣人大塚順氏に嫁す。二女ふみ女 明治四十四年八月十八日生龍田高女卒後京都に修學。長男良太郎氏 大正三年一月二日生生後間も

なく死亡。二男昇次郎氏 大正四年九月二十七日生神崎商業學校生徒。

【主なる親戚】今井政吉氏(工學士在淀橋町)實弟なり。古川忠三郎氏(織物商在京都)妻女の里。大塚順氏(在滋賀縣朝日野村)長女の姻嫁先。野村清太氏(在京都)親戚。

古谷増三郎氏 (通稱)

明治三十五年八月十五日生

【營業又】羽二重、生絹、染吳服卸石田勘兵衛商店東京出張所支配人
 【職業名】
 【營業所又】東京市日本橋區富澤町二十一番地 電話(浪花)三三〇
 【勤務先】
 【住 所】同 所
 【本籍地】京都市東山區馬町通本町東入北棟果町三百十二番地

【略歴】氏は古谷仁藏氏の二男にて通稱直三と稱し十四歳の頃石田勘兵衛商店京都本店に入店せり。爾來恪勤主家の信認を得て大正十三年九月東京出張所に轉じ來り當所支配人として精勵業勢の向上を計りつゝ今日に至る。資性温厚の士なり。

【趣味】謡曲 【宗教】曹洞宗
 【家庭】實父仁藏氏 明治六年九月二十八日生。實母よし女 明治八年五月十三日生滋賀縣滋賀郡和邇村藤木常吉氏妹。實兄仁三郎氏 明治三十三年九月十日生仁藏氏長男目下近藤

古田光伯氏

明治十五年四月四日生

【營業又】吳服太物小賣合資會社扇屋吳服店代表社員
 【職業名】
 【營業所又】東京市深川區東森下町三十八番地 電話(本所)二六三
 【勤務先】
 【住 所】同 所
 【本籍地】愛知縣中島郡今伊勢村大字開明四百六十四番戸

【略歴】氏は愛知縣丹波郡丹陽村森佐右衛門氏の三男にして舊名を小一と稱し明治四十三年三月古田さかゑ女と婚養子婿姻せしが大正十四年九月さかゑ女死亡大正十五年九月あき女と婚姻す、而して昭和四年六月光伯と改名せり。元來同店は明治四十三年の開業に係り逐年業務の向上を辿り來りしが昭和五年一月現合資會社に組織變更をなすに當り氏はその代表社員となり業勢の仲展に努力しつゝ今日に至れるものなり。

【宗教】御嶽教

〔ふ〕

【家庭】 養父新太郎氏 安政五年二月十六日生。養母たき女 明治二年三月三日生名古屋東區京町二丁目伊藤仙次郎氏 姉。妻あき女 明治二十三年四月二十五日生愛知縣中島郡 奥町白木一平氏姉。長女天留子女 大正六年一月十四日生。 二女政子女 大正十年三月十九日生。

【主なる親戚】 深川區門前仲町森濱三郎氏(實兄)。愛知縣中 島郡奥町白木一平氏。

藤野茂八氏

明治十八年六月十七日生

【職業又】 毛斯綸洋反物卸株式会社藤野茂八商店取締役社長
【職名】
【營業所又】 東京市日本橋區通旅籠町十番地 電話(浪花)七六〇
【勤務先】 東京市赤坂區青山南町六丁目十二番地電話(青山)三〇〇
【住 所】 東京市日本橋區通旅籠町十番地
【本籍地】 東京市日本橋區通旅籠町十番地

【略歴】 氏は先代藤野茂八氏の長男にして幼名を清次郎と稱せり慶應大學を卒業明治三十四年四月十日先代の病歿せるより家督を相続し同年五月二十日茂八を襲名す、曩に東京モスリン紡織株式會社の取締役東京織物問屋同業組合副組長等の公職に在りしが近時是等の公私關係事業役員を辭して家業に専念す家業は明治初年三代前の開業大里屋と稱し代々斯業を

營む昭和五年七月三十日資本金十二萬五千圓の株式會社に組織を改め其業容を新にせり。

【趣味】 旅行、園藝 【宗教】 淨土宗
【所得稅】 三、〇九五圓 【營業收益稅】 六二四圓
【地租】 一〇一圓

【家庭】 妻菊枝女 明治二十年八月二十四日生元東京市長故 奥田義人氏の姻戚たる兵庫縣人奥田力氏二女。長女きよ子女 明治四十年九月四日生山口縣人長谷川庚一氏に嫁す。長男 忠彦氏 明治四十二年三月二十五日生慶大通學。二男茂彦氏 明治四十五年三月二十一日生慶大通學。三男正彦氏 大正二年十二月三十日生慶大豫科在學。四男清彦氏 大正十年五月十四日生慶應幼稚舎通學。二女佐智子女 大正十三年九月十四日生聖心女學院小學部通學。

【主なる親戚】 奥田操氏 妻女の里相續人もと東京貯藏監査 役(在洗足)。長谷川銚五郎氏 (長女きよ子縁嫁先) 在兵庫縣 蘆屋。谷本俊彦氏 (姻戚) 在青山。

【主なる出身者】 田野井由之助氏 (東京洋反物ブローカー) 山瀬曆爾氏 (東京洋反物ブローカー)。

藤原友太郎氏

慶應元年三月二十四日生

【職業又】 生絹染絹銘仙卸柿原合名會社東京支店支配人
【職名】
【營業所又】 東京市日本橋區通旅籠町四番地電話(浪花)七六〇
【勤務先】 東京市神田區美土代町一丁目二十番地
【住 所】 東京市神田區美土代町一丁目二十番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣秩父郡國神村大字金崎九戸主亡藤原吉太郎氏の二男として生る幼時秩父町柿原商店に奉公し精勤怠らず上席店員となりしが濱田久兵衛氏の支配人當時退店して日露の戦役に従軍凱旋後主家に再勤して後ち支配人となり目下主人代理として經營を統制せり、性着實にして主家の信任厚く夫人との間に二男三女あり家庭にありては子女の學ぶ琴生花等を自ら見様見真似て宗匠振を發揮しある等誠に圓滿の人と評せらる。

【趣味】 碁 【宗教】 曹洞宗

【家庭】 妻ユク女 秩父郡平忠作氏二女。長男光三氏 明治三十五年三月十八日生。二男守之輔氏 明治三十六年九月二十八日生。長女豊子女 明治四十三年十二月十三日生。二女敬子女 大正八年一月三十一日生。三女トリ子女 大正十一

年一月七日生。婦富美子女 明治四十三年六月十二日生長男 光三氏妻女。

【主なる親戚】 藤原彦太郎氏(秩父郡國神村)生家。平浪五郎氏(秩父郡國神村)妻女の里。藤原種次氏(秩父郡日野澤千四百〇)息嫁の里。

藤井良吉氏

文久元年五月十六日生

【職業又】 タオル敷布ハンカチ加工卸合資會社藤井商店代表社員
【職名】
【營業所又】 東京市日本橋區馬喰町三丁目十一番地電話(浪花)六〇八
【勤務先】 東京市日本橋區馬喰町三丁目十一番地電話(浪花)六〇八
【住 所】 同 所
【本籍地】 東京市日本橋區橋町一丁目一番地

【略歴】 氏は先代正之助氏の四男なり、兵庫縣出石町に生れ年少の頃上京して日本橋區通三丁目丸善株式會社に入り約六ヶ年間斯業を見習ひ明治二十年圓滿退店して獨立創業し爾來順調に恵まれて斯界に重きを成すに至れり、資性濃厚にして仁侠に富み既往に於ては隠れたる逸話多し。

【趣味】 圍碁 【宗教】 曹洞宗

【所得稅】 二六五圓 【營業收益稅】 一〇五圓
【家庭】 長女富路子女 明治四十一年一月九日生日本橋高等

〔ふ〕

女學校卒業。婿養子彌太郎氏。明治三十五年三月二十五日生
 大阪市西區北堀江三丁目十番地藤井ツネ女長男にて大阪市東
 區久右衛門町河島商店に約十三年間斯業を見習ひ長女富路子
 女の婿養子となる。孫良子女。昭和四年七月十五日生。
 【主なる親戚】 義父長澤健氏。地主、淺草區壽町四十二番地
 義兄長澤幹太郎氏。鼻緒卸商、日本橋區綠河岸。
 【主なる出身者】 高山金藏氏。ハンカチ加工卸業日本橋區久
 松町。柏原新藏氏。コート仕立商、日本橋區吳服町。

藤咲稻太郎氏

明治十年十月十三日生

【營業】 羅紗既製品卸
 【營業所】 東京市神田區柳原河岸十八號地 電話(浪花三三六)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 茨城縣東茨城郡磯濱町八百三十五番屋敷
 【略歴】 氏は茨城縣平民前戸主忠右衛門氏の令孫なり、幼時
 父母を喪ひ祖父忠右衛門氏の手で養育さる、十一歳の時水戸
 市上市金町小林吳服店に奉公し二十五歳迄精勤したるが圓滿
 退店の上明治三十四年十一月二十三日上京、神田區豊島町二
 十七番地に獨立し陸海軍拂下被服商を開始す、かくて大正十

三年三月現所に轉じ從來の扱品以外に漸次新物をも加へ震災
 後よりは全然本業者となり今日に至れり、業務を見る事頗る
 熱心にして終始自ら第一線に活動す、濃厚篤實なる紳士にし
 て現に京濱羅紗同盟會第四部會評議員、東京既製品卸商組合
 副組長たり。

【趣味】 園藝 【宗教】 禪宗
 【所得税】 二六八圓 【營業收益税】 一六八圓
 【家庭】 養子力藏氏。明治二十九年五月十二日生淺草區淺草
 町渡邊市太郎氏實弟にして大正十三年十一月當主長女富女の
 婿養子となる日本橋區島末商店出身。長女富女。明治三十六
 年一月十五日生一ツ橋高女卒業、生花及び茶の湯をよくす。
 孫喜一氏。昭和元年七月二日生。孫かよ女。昭和三年三月二
 十八日生。
 【主なる親戚】 實弟卯之吉氏。羅紗既製品小賣、京橋區南傳
 馬町。渡邊市太郎氏。既製品小賣、淺草區淺草町養子力藏氏
 實弟。
 【主なる出身者】 洋服裁縫業小林信治氏。新潟縣長岡市表一
 の町。羅紗既製品小賣業木村辰之助氏。福岡縣大牟田市。

藤咲卯之吉氏

明治十二年二月十五日生

【營業】 既製洋服小賣商
 【營業所】 東京市京橋區南傳馬町二丁目三番地
 【住所】 同 所
 【本籍地】 東京市神田區橋本町二丁目四番地
 【略歴】 氏は茨城縣東茨城郡磯濱町藤咲與四郎氏の二男にし
 て明治三十六年九月分家して一家をなす元現所にありたる蘭
 部ブラザーに若干の資金を融通し居りたる處同店が閉店する
 に至りしより其の借家權を譲受け大正十五年四月本業を開始
 せり、氏は元印刷業護謄賣買等をなし居りたるため本業には
 無經驗なる處より實兄藤咲稻太郎氏方に奉公中の長男正雄氏
 を呼戻して本業に携はしめ以て今日に及べるものなり。
 【所得税】 三八圓 【營業收益税】 六一圓
 【家庭】 妻ミヨノ女。明治十三年四月一日生、長女貞子女。明
 治三十六年十二月十八日生。長男正雄氏。明治三十九年八
 月十四日生。三男兼吉氏。大正二年八月二十日生。
 【主なる親戚】 藤咲稻太郎氏。實兄、神田區柳原河岸羅紗既
 製品卸商。森本林兵衛氏。妻女里方、廣島縣安佐郡八木村。

藤村清太郎氏

明治二十一年六月七日生

【營業】 縮布卸商
 【營業所】 東京市日本橋區久松町九番地 電話(浪花三三六)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 滋賀縣愛知郡東押立村大字中一色三百七十七番地ノ一
 【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡東押立村大字一色三七七番ノ一亡
 藤村傳平氏の長男にして夙に八幡商業學校に入り在學四年に
 して十八歳の時上京日本橋區田所町金巾問屋樋口商店に奉公
 し退店して大正十年三月主家後援の下に現所に獨立せり資性
 溫良にして細心同業間に印象佳なり。
 【宗教】 淨土宗 【所得税】 五〇圓
 【家庭】 妻高女。明治三十八年七月二十二日生跡見高等女學
 校の出身。長女智子女。大正七年四月四日生佐藤高等女學校
 に通學。長男茂雄氏。昭和二年一月一日生。二男勳氏。昭和
 三年八月七日生。三男省三氏。昭和六年一月三日生。亡弟妻
 ゆみ女。明治三十七年三月三十一日生愛知川縣立高女卒業廣
 田増右衛門氏三女。
 【主なる親戚】 堀田德次氏。日本橋區久松町(義弟)。廣田増
 右衛門氏。亡弟兵次郎氏妻の里(愛知郡西押立村大字勝堂九

〔ふ〕

(一) 布施眞三氏 神崎郡旭村伊野部妹いと縁嫁先。

藤本徳藏氏

明治十二年五月十日生

【職業】 絨氈製品卸小賣
【營業所】 東京市京橋區長澤町十番地 電話(京橋三五七)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は川越市連雀町の人にて市内神田區中鶴商店に本業を修得し明治三十六年現所に開業熱心經營の結果漸次進展來りしも震災に店舗商品一切を烏有に歸し一時新宿に引籠りしが十三年二月現所に再築復歸し今日に至る。

【所得税】 九五圓 【營業收益税】 七五圓

【家庭】 二女花子女 明治四十五年一月十日生。妻もとへ女 明治二十二年四月六日生。二男峯雄氏 大正十一年一月五日生。

【主なる親戚】 市内深川區西永町一楠住子女 妻女姪

藤沼喜三郎氏

明治二十年一月二十五日生

【職業又】 綿布卸商合資會社藤沼商店代表社員
【營業所又】 東京市日本橋區久松町二十七番地 電話(浪花三三六)
【勤務先】 同 所
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣北葛飾郡權現堂藤沼政太郎氏の二男にして大正五年分家す。年少時より日本橋區富澤町矢島兵吉氏商店に奉公し大正五年退店獨立せり。爾來順調に經過したるが大震災には相當深刻なる打撃を蒙りたれば災後は合名組織に改め營業を持続せり、而して昭和四年に至り更に合資會社を設立して今日に至れり。

【宗教】 眞言宗 【所得税】 八六圓

【營業收益税】 二八圓

【家庭】 妻豊女 明治二十四年六月十四日生京橋區本材木町三丁目石井堤吉氏姪。長女きく女 明治四十四年十月二十七日生日本女子商業學校卒業。二女喜美子女 大正九年十一月三日生。三女喜代子女 大正十三年三月二十二日生。四女登喜子女 昭和二年二月八日生。

【主なる親戚】 京橋區本材木町三丁目石井堤吉氏 無職。日本橋區橋町二丁目藤沼敬氏 綿布卸實弟。
【主なる出身者】 府下烏山村島田七之助氏 莫スリン小賣商

藤沼敬氏

明治二十二年八月二十日生

【職業】 綿布卸商
【營業所】 東京市日本橋區橋町二丁目四番地 電話(浪花三四四)
【住所】 同 所
【本籍地】 東京市日本橋區龜井町七番地

【略歴】 氏は埼玉縣北葛飾郡權現堂藤沼政太郎氏の三男にして大正三年分家す。年少時日本橋區大傳馬町小津清左衛門商店に奉公し大正七年退店獨立斯業を開始せしものにして爾來地味堅實を以て終始し來り業容積極の傾きあるも無難に經過して今日に至れり。

【宗教】 眞言宗

【家庭】 かね女 明治二十七年一月二日生埼玉縣北葛飾郡吉田村遠藤伊右衛門氏妹。長女富美女 大正四年一月廿六日生日本女子商業學校在學中。二女敏子女 大正六年十一月十一日生。三女政子女 大正八年九月二十七日生。四女よし子女

深田與三兵衛氏

明治三年一月二十日生

【職業又】 京吳服卸株式會社深田商店取締役社長
【營業所又】 東京市日本橋區富澤町二十一番地 電話(浪花三九六)
【勤務先】 東京市麴町區土手三番町十五番地 電話(九段一四七)
【住所】 滋賀縣神崎郡能登川村大字北須田六十五番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣犬上郡彦根町植田六郎平氏の長男にして舊名を周太郎と稱せしが明治三十三年深田家に養子となり同二十八年十一月先代を襲名す。元來同店は嘉永年間の創業に係り當主はその三代目に當るものなり、氏は性温厚着實にして斯界に於ける店格を具へるに至りたるが昭和五年春現株式會社に組織を變更するに至り氏はその社長に就任し業勢の更新に努力しつゝ今日に及ぶ、曾つて郷里の村長に推され公共に盡したる事尠からず。

【ふ】

【趣味】 謠曲、書畫骨董

【宗教】 眞宗

【營業收益税】 三六二圓

【家庭】 養母しか女 文久元年七月十六日生滋賀縣蒲生郡小中村福地喜藏氏長女。妻とよ女 明治十二年五月二十一日生先代與三兵衛氏長女。長男與一郎氏 明治三十一年十一月三十日生早稲田實業卒。二男幸治郎氏 明治四十年六月十七日生專修商業卒。五女芳子女 大正二年九月二十八日生。與一郎氏妻美代子女 明治三十八年一月三十日生、彦根高女卒。外に與一郎氏に二男一女あり。

【主なる親戚】 府下代々幡町植田六郎平氏(實弟)。日本橋區通旅籠町十七毛斯輪卸松坂吉之助氏(二女婚姻)。同區富澤町三毛斯輪卸横田禎之氏(三女婚姻)。滋賀縣蒲生郡西櫻谷村釀造業(嫁里方)森本仙右衛門氏。四谷區北伊賀町三〇深田柳三郎氏(長女千代婚養子同店取締役)

【主なる出身者】 日本橋區高砂町十三龍停三氏 結城織及び近在綿布卸。同區大傳馬町二ノ六村田平治氏 京吳服染絹卸同區久松町北村英吉郎氏 京吳服卸。同區長谷川町十六内西鐵造氏 京吳服卸。同區久松町古川彌太郎氏 京吳服卸。同區堺町辻靜一氏 半襟小物類卸。

深町秀一氏

明治十三年三月二十日生

【營業】 半襟類卸

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町七番地 電話(浪花三三〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 東京市牛込區新小川町一丁目九番地

【略歴】 氏は深町源次郎氏の二男にして明治三十九年分家す年少時より區内長谷川町湯澤商店に奉公して斯業を見習ひ明治四十三年獨立す。當初久松町に店舗を構へ大正二年現所に進出し來れるものにして爾來現金屋となり順調に經過して今日に至れるものなり。

【宗教】 眞言宗 【所得税】 四七一圓

【營業收益税】 二三四圓

【家庭】 妻ミチ女 明治二十一年十月二日生小石川區大塚町大塚留次郎氏二女。長女幸子女 明治四十五年五月二十六日生日本橋高等女學校在學中。

【主なる親戚】 小石川區大塚町八大塚留次郎氏 岳父。

【主なる出身者】 日本橋區富澤町一松平宏氏 半襟卸商。府下砂町鈴木寅吉氏 吳服商。

服井一郎氏

明治十四年十月二日生

【營業】 雜吳服卸商

【營業所】 東京市日本橋區久松町三十八番地 電話(浪花七五)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は愛知縣知多郡有松町先代服井一郎氏の二男にして前名安治と稱す明治二十三年父に従ひて上京し家業有松絞商に従事せしが三十四年徴兵によりて入隊し日露役に従軍す歩兵軍曹たり、三十九年歸りて自ら雜吳服卸商を開業し漸次發展を辿りて今日に至る而して四十四年十一月先代一郎氏死亡によりて家督を相續し大正四年二月襲名す、氏は通稱を繁昌と謂ひ人物溫和眞面目にして酒煙草を口にせず店員六名を使用し營業に専心す誠實信義にて人格圓滿なるを以て聞え町内の世話人として店務の傍ら活動す。

【趣味】 謠曲 【宗教】 曹洞宗

【所得税】 一〇六圓 【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 母しげ女 文久元年二月二十五日生。妻トウ女 明治十九年八月十四日生栃木縣上都賀郡日光町落合林之助氏妹叔母あい女 慶應元年十一月十六日生先々代服井一郎氏四女

布施寅吉氏

明治十四年五月五日生

【營業】 雜綿布洋反物卸

【營業所】 東京市日本橋區岩代町一番地 電話(浪花三五)

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣愛知郡西押立村大字西菩提寺百五十九番地

【略歴】 氏は滋賀縣人亡布施武兵衛氏三男に生れ、壯年時上京して雜吳服商を營み、約十三、四年前氏の親近者なる西澤某氏と共に合名會社を設立し綿布卸業を開きたるが震災直後會社を解散して市内日本橋區大傳馬町二丁目三一番地に獨立昭和三年一月現所に移轉今日に至る。

【趣味】 將棋、演劇 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻女とき女 明治三十年九月十五日生、群馬縣多野郡藤岡町大字藤岡三一八戸主根岸泰藏氏三女、大正十一年五月十五日婚姻入籍。長男寅一氏 大正十二年七月二十二日生日本橋區十思小學校二年在學。二男武次氏 大正十四年七月二十三日生。長女モト子 昭和三年三月十七日生。三男三郎

【ふ】

氏 昭和五年七月二十五日生。四男五郎氏 昭和五年七月二十五日生。

【主なる親戚】 義父根岸泰藏氏 群馬縣多野郡藤岡町大字藤岡三一八番地、農業。

福田喜平氏

明治十二年九月二十九日生

【職業又】 兩毛近在越後米澤織物卸合資會社福田商店代表社員

【營業所又】 東京市日本橋區通鹽町十五番地 電話(浪花三九六)

【住所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區橋町一丁目九番地

【略歴】 氏は群馬縣山田郡毛里田村福田新太郎氏の實弟にして明治四十二年分家す。年少時より足利市買糴商山商店に奉公し同店破綻後上京して明治三十五年獨立せるものなり、當初は仲買業なりしが漸次現業に轉じ來り相當の業容を示しつゝありしに震災にて打撃を蒙りたれ共復興し合資會社を組織して營業を繼續せり、爾來成績を挙げ内容の充實を計り實力手腕共に業界の中堅たり。

【宗教】 日蓮宗 【所得稅】 九七圓

【營業收益稅】 五三八圓

【家庭】 妻サク女 明治二十四年五月二十三日生 荏原郡大井町三四二六新居倉造氏二女目白女子大學家政科卒業。養子京次郎氏 明治四十三年三月二十日生 群馬縣山田郡毛里田村福田仁平氏二男日本大學法科在學中。長男雅一氏 大正十四年十二月一日生。長女富美子女 大正十二年七月十四日生。二男榮二氏 昭和三年二月二十五日生。二女正子女 昭和五年七月四日生。

【主なる親戚】 新居倉造氏 染料商、荏原郡大井町。福田茂三郎氏 吳服商、赤坂區田町。原田金三郎氏 生糸買糴商、足利市通六丁目。

【營業】 吳服太物小賣玉屋吳服店主

【營業所】 東京市本郷區駒込東片町八番地 電話(小石川三六)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

福田傳吉氏

明治十一年三月十三日生

【略歴】 氏は神田區元岩井町吉田安太郎氏の弟にして舊名を三吉と稱せり。明治三十八年福田家に養子となり明治四十一年先代死亡により家督を相続し同時に先代傳吉を襲名せり、

繼業後無難なる經過を辿り今日に至れり氏は斯業の傍ら公的方面に貢献せしこと尠からず、推されて區會議員たりしことあり。

【宗教】 禪宗 【所得稅】 三一六圓

【營業收益稅】 八四圓 【地租】 一一五圓

【家庭】 養母よし女 慶應二年十一月二十六日生 日本橋區本銀町二丁目吉崎庄之助氏妹。妻ハル女 明治二十年四月二十二日生 日本橋區青物町會田瀧次郎氏二女。長男一郎氏 明治三十九年二月二十四日生。二女喜美女 明治四十三年一月二日生。二男豊氏 大正十年一月十一日生。

【主なる親戚】 日本橋區本銀町吉崎庄之助氏。同區青物町會田瀧次郎氏。

福田久次郎氏

明治二十二年十二月二十二日生

【職業又】 吳服太物小賣合資會社赤のれん松屋吳服店代表社員

【營業所】 東京市芝區南佐久間町二丁目四十六番地 電話(芝三五六)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は群馬縣館林町福田秀太郎氏の弟にして大正七年

分家す、年少より淺草區田原町松屋吳服店に奉公し大正四年八月退店して當初深川區高橋際に開店せるが後現所に移轉し來る熱心従業しつゝあり本年八月廿七日現組織に改む。

【宗教】 禪宗 【所得稅】 二〇〇圓

【營業收益稅】 一四八圓

【家庭】 妻キン女 明治二十八年十二月十五日生 宇都宮市池上町龜山盛一郎氏妹。長男菊太郎氏 大正七年十二月六日生。三男正雄氏 大正十二年十二月一日生。四男光男氏 大正十四年一月八日生。長女ちゑ女 大正十五年一月九日生。

【主なる親戚】 (妻女實兄) 宇都宮市池上町龜山盛一郎氏。

福田生藏氏

明治二十六年十月二十二日生

【營業】 毛織物卸商

【營業所】 東京市神田區東龍閑町八番地 電話(浪花五九)

【住所】 同 所

【本籍地】 栃木縣宇都宮市元石町九百二十二番地

【略歴】 氏は福田德三郎氏の長男なり、宇都宮市小袋町八番地に生れ十六歳の時上京して神田區東龍閑町毛織物卸商武神吉藏商店に入り恪勤十年間斯業を見習ひ大正七年間満退店し

〔ふ〕

て現所に於て獨立創業し爾來家業に精勵したれば業容漸次伸
展し今日の業礎を築き斯界に於ける堅實なる店舗との定評あ
り、資性温厚にして商才に富み逐年隆盛に赴きつゝあり。

【趣味】 旅行 【宗教】 天台宗 【所得税】 八七圓

【營業收益税】 八九圓

【家庭】 父徳三郎氏 明治三年三月二十九日生。母カネ女 明治五年二月十二日生。弟久平氏 明治二十九年五月二十八日生。深川區佐賀町肥料商鈴鹿商店勤務中。弟宗平氏 明治三十九年三月二十日生家業に従事中。弟利七氏 明治四十四年三月二十日生家業に従事中。妻ふじ女 明治三十一年四月二十五日生。麴町區中六番町四八馬具商久保田藤太郎氏の三女に生れ千代田高等女學校卒業。二女歌子女 大正十一年十二月七日生。三女泰子女 大正十五年四月二十六日生。四女孝子女 昭和四年五月二十五日生。
【主なる親戚】 鈴木定右衛門氏 米穀商、宇都宮市川向町。平山清藏氏 雜貨商、麴町區飯田町六丁目一

福田善市氏

明治三十四年十月二十日生

【營業】 婦人雜貨子供洋品製造

【營業所】 東京市日本橋區濱町一丁目九番地 電話(浪花五五)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣南埼玉郡大山村柴山福田喜八氏の七男なり年少より京橋區八丁堀木下尙三郎商店に奉公し同店の會社組織となるに及び代表社員となりしが大正十二年十月獨立して半込區早稲田鶴巻町に開業し後神田區江川町に移り同十四年日本橋區若松町に轉ぜしが更に昭和三年現所に來たりて今日に至る氏は手腕の人にして採算に長ず店員二名を使用し年産約十五萬圓主として三越専門に賣込めり。

【趣味】 大弓 【宗教】 曹洞宗 【所得税】 七四圓

【營業收益税】 八一圓 【地租】 二二圓

【家庭】 妻しげ女 明治三十六年八月十五日生埼玉縣北埼玉郡禮羽村原半次郎氏長女。長男慎一郎氏 大正十三年八月三十日生。長女喜美枝女 昭和二年三月十五日生。

【主なる親戚】 原文藏氏(妻女生家相續人) 埼玉縣北埼玉郡禮羽村。

福島安三氏

明治十四年五月二十五日生

【營業】 大島鹿兒島紬薩摩上布買繼卸

【營業所】 東京市日本橋區堺町五番地 電話(浪花四八)

【住所】 同 所

【本籍地】 鳥取縣東伯郡倉吉町大字西仲町二百六十四番屋敷

【略歴】 氏は明治二十九年春郷里の高等小學を卒業後大阪に出で藤田喜兵衛大阪支店に奉公せり、而して明治三十二年頃主家の女婿にして當時大阪支店長たりし齋藤傳次郎氏が大島紬琉球織物の買繼商として分離獨立することとなりしかば氏も又齋藤氏の店に轉勤し爾來十數年間勤續中大正元年偶々前記藤田商店の破綻に關聯して齋藤商店又蹉跌閉店の悲運に會せり、而し氏は克く最後迄忠勤苦闘を續けたる爲め取引先も氏の誠意に感じて同情と後援を與ふるに至れり、依て氏は爾後數年間を大阪に於て同業の買繼ブローカーとして活躍し順調に進展しつゝありしが兼て氏は東京進出の志を夙に有し居り偶々近親者の勧めもありたれば大正八年多年の宿望を執行して上京し日本橋區通油町に開業し、京阪永年の販路を守ると共に更に東京開拓に努力奮勵し終始薄利多賣主義を以て一貫し漸次業勢の伸展を計り今日の業礎を作す。元來買繼本位

にて思惑買をなさざりし爲め翌九年の大暴落にも損失を免れ寧ろ同年下期には意外の好成績を挙げ得たり、而して大震災には相當損害を受けたるも直後速に再起し一層の努力を拂いつゝ現店舗を新築し業容の擴張に専心して順調に進展し今日に及ぶ。

【趣味】 書畫、骨董 【宗教】 眞宗

【所得税】 一三圓 【營業收益税】 三九圓

【主なる親戚】 深川區入舟町一金田源藏氏、京橋區銀座山川喜太郎氏。

福島豊次郎氏

明治二十三年三月二十一日生

【營業】 色絨専門切賣及軍服製造販賣業

【營業所】 東京市麴町區麴町三丁目十番地 電話(九段〇二四)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府豊多摩郡落合町大字下落合五三八番地福島銀次郎氏二男なり、年少時區内山元町羅紗卸商太田音吉氏方に入店在勤約八年の後大正九年圓滿退店、舊主並に氏の實兄忠五郎氏の後援を受けて麴町四丁目角に獨立し今日に至る

【ふ】

大正十二年の大震災時には店舗及び商品の焼失損相当額に達したるも直後間も無く復興し、現今市内一流の色織紗切賣業者たり東京洋服商工同業組合麹町區部副部長、麹町公民會實業部長として多年業界に盡粹す。

【宗教】 眞宗

【家庭】 妻女ヤス女 明治二十七年五月四日生、市内芝區初吹町一三番地北濱熊次郎氏長女、大正五年十月十二日婚姻入籍。長女八重女 大正五年十月三日生、府立第一高女在學。

二男淳隆氏 大正十二年六月六日生。三男康祐氏 大正十四年十月二十九日生。四女千恵子女 昭和二年一月一日生。四男基祐氏 昭和五年三月十三日生。

【主なる親戚】 義弟北濱善弘氏 東京市芝區初吹町一三番地妻女ヤス女實家。

福島重太郎氏

明治十九年四月二十六日生

【營業】 色織綿布及洋服材料卸
【營業所】 東京市麹町區麹町八丁目五番地 電話(九段)二〇〇〇
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は前戸主福島仙之助氏長男に生れ、大正二年九月四日家督相續をなす、年少の頃四谷區井上帽子店に入り永年勤続の後日露戦役後現所に獨立帽子製造販賣を營み、其間幾多の波瀾を経て大正十年現業者に轉換今日に至る、溫和實直なる人物にして且つ相當努力家なり、現在麹町八丁目會理事たり。

【趣味】 謠曲、旅行 【宗教】 淨土宗

【營業收益税】 五六圓

【家庭】 妻女みつ女 明治二十五年一月四日生、東京府豊多摩郡淀橋町大字角管一七九番地高橋半次郎氏三女。長女美代女 明治四十五年六月二十日生、千代田高女卒業、目下レヂイ洋服縫製學院一年在學。姉きよ女 明治十七年三月二十五日生。二女よし女 大正四年四月二十一日生、府立第三高女

三年在學。長男仙太郎氏 大正六年二月一日生、早稻田實業一年在學。二男次郎氏 大正九年二月十九日生、番町小學五年在學。三男慎三郎氏 大正十三年十月一日生、三女壽美子女 昭和二年二月二十九日生。

【主なる親戚】 甥柴田清氏 淺草區森下町、金物商。高橋常太郎氏 東京府豊多摩郡淀橋町大字角管一七九番地、呉服小賣業。

【主なる出身者】 帽子製造小賣業福田泰三氏 八王子市横山町。

福島多一郎氏

明治十一年七月九日生

【營業】 銘仙、蚊帳卸
【營業所】 東京市日本橋區長谷川町十九番地
【住所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣愛知郡西押立村大字勝堂

【略歴】 氏は福島新衛門氏の長男にして十三歳の頃上京し日本橋區長谷川町田源商店に勤務すること三十五年に及び。大正十二年二月獨立し熱心經營しつゝ今日に至る。

【趣味】 觀劇 【宗教】 禪宗

【家庭】 母てる女 嘉永五年九月二十六日生亡福島新衛門氏長女。妻房女 明治二十二年十一月二十七日生北海道三石郡三石村塚本直次郎氏妹。長男道之助氏 大正三年十一月二十日生。長女千代女 大正七年八月九日生。二男徳三郎氏 大正十五年五月十九日生。

【主なる親戚】 北海道三石郡三石村塚本和三郎氏 小樽市塚本商店勤務。

福山市三郎氏

明治九年十二月一日生

【營業】 襪呉服卸商
【營業所】 東京市神田區東松下町二十二番地 電話(浪花)三〇〇〇
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は福山梅藏氏の長男にして年少の頃より伊勢丹呉服店に奉公し明治四十四年七月梅藏氏の死歿と同時に主家を退店して父業を繼ぐ。元來同店は古着商たりしものなるが繼業後漸次現業に轉じ來りしものにして爾來堅實なる經營を續け今日に至れるものなり。現在は長男昇三郎氏をして業務を擔當せしめ居れり。

【趣味】 觀劇 【宗教】 淨土宗 【營業收益税】 七一圓

【家庭】 繼母うた女 慶應元年四月二十六日生麹町區飯田町三丁目岡安文吉氏姉。妻ふく女 明治十三年九月九日生牛込區改代町田草川萬兵衛氏四女。長男昇三郎氏 明治卅三年三月十日生商工中學校修業し現在店務從事。三男英造氏 明治三十八年十月二十一日生專修商業學校卒現在店務從事。五男梅夫氏 大正元年九月一日生現在店務從事。昇三郎氏妻登志子女 明治三十六年十二月二十八日生日本橋區岩附町大野普

次郎氏二女。外に孫二男一女あり。
【主なる親戚】 日本橋區岩附町大野晋次郎氏 醫療機械商。
牛込區神樂町山本繁吉氏 元市會議員。

福山隈次郎氏

明治二十八年八月四日生

【營業又
は職名】 琉球織物卸合資會社稻西屋福山商店代表社員
【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區堺町八番地 電話 浪花B00A
【住 所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣蒲生郡八幡町大字魚屋町上三十四番地
【略歴】 氏は同縣同郡中野村小島七兵衛氏の二男にして大正
十三年五月福山茂七氏と養子縁組をなす。年少時より大阪市
稻西商店に奉公して斯業を見習ひ後越後物の仕入主任を勤む
これより曩に稻西店出身の奥谷藏氏の經營せる現店舗を大正
十四年奥氏死亡せるを以て氏は主家稻西商店の肝煎にて奥氏
の後を繼承し改めて現合資會社を設立し、氏はその代表社員
となりて爾來業勢の向上に努めつゝ今日に至れるものなり。
【趣味】 圍碁 【宗教】 淨土宗
【家庭】 妻米女 明治三十七年七月十五日生 大阪市東區館屋

町二丁目小西辰藏氏長女。長女知子女 大正十五年四月八日
生。長男欽也氏 昭和五年三月三日生。
【主なる親戚】 滋賀縣蒲生郡中野村大字中野小島七兵衛氏 店主實家。大阪市東區館屋町二丁目小西辰藏氏 妻女實家。
【主なる出身者】 日本橋區堺町八鈴木益次郎氏 琉球織物卸

福井賢之助氏

明治三十二年十月六日生

【營業】 羅紗切賣商
【營業所】 東京市神田區通新石町八番地 電話 神田三三三
【住 所】 同 所
【本籍地】 府下荏原郡品川町大字品川新宿四十四番地
【略歴】 氏は市内神田區土手ストック商會に約十五年間程勤
務し主席店員として仕入、帳場等に當り主家の信認を得たる
が昭和二年主家諒解の下に圓滿退店して獨立せり、人物眞面
目との評ありて開業以來業勢の向上に努力しつゝ今日に至る
【趣味】 スポーツ 【宗教】 日蓮宗
【所得稅】 一四六圓 【營業收益稅】 一二六圓
【家庭】 妻慶女 明治三十四年二月九日生 神田區東福田町石
井佐市氏長女。長男豊氏 大正十五年二月十九日生。二男治

夫氏 昭和二年十月十六日生。長女孝子女 昭和五年九月二
十五日生。
【主なる親戚】 岳父石井佐市氏 神田區東福田町。荏原郡品
川町新宿 福原豊次郎氏。

福井辰二郎氏

明治二十五年十一月二十一日生

【營業又
は職名】 京吳服卸株式會社升宮商店取締役
【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區富澤町二十七番地 電話 浪花三三七〇
【住 所】 京都市上京區今小路 電話(上京A0)
【本籍地】 東京市日本橋區箱崎町四丁目二番地
【略歴】 氏は滋賀縣栗田郡野路村前同戶主福井晋七氏二男な
り令父晋七氏は明治十八年頃京都市室町通り松原上ルに於い
て太物卸業を開始し前戶主たる實兄芳之助氏と共に盛業中な
りしも晋七氏は大正十三年七月頃芳之助氏は同十四年七月六
日何れも相次いで病歿するに及び前戶主に相續人なかりした
め氏が事實上の相續者たるに至れり、而して氏は明治三十六
年四月二十一日京都市松原不明門東入る織物問屋宮本儀助商
店に入り恪勤約十六年の後昭和三年五月一日圓滿退店、同年
八月四日現會社設立さるゝや直ちに同店取締役として入社す

【趣味】 圍碁 【宗教】 眞言宗 【所得稅】 一〇圓
【家庭】 妻女壽美代女 明治三十五年十月十八日生、大阪市
浪花區霞町一丁目一番地洋酒問屋福井岩吉氏長女、大阪市立
第一高女卒業。長女美貴枝女 大正十一年一月十六日生、京
都市衣笠小學校三年在學。二女美榮子女 大正十三年五月八
日生。三女照美女 大正十五年一月七日生。四女昭子女 昭
和三年一月二日生。
【主なる親戚】 伯父渥美新助氏 京都市室町四條下る、悉皆
業。從兄大久保秀次郎氏 東京府下世田ヶ谷町世田ヶ谷五〇
築地活版株式會社取締役。義兄木村齊雄氏 大阪市西區新町
南通り五丁目十九番地工學士造船技師。

福 富 基氏

大正二年一月十二日生

【營業】 羅紗切賣既製品卸洋服裁縫商
【營業所】 東京市神田區錦町一丁目十二番地 電話(神田三三六)
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所
【略歴】 氏は新潟縣人亡福富半助氏の二男にして昭和五年六
月半助氏死亡に因り家督相續す亡半助氏は約四十年前新潟縣

【ふ】

高田市より出で、白木屋専属の松田洋服工場に入り五年にして獨立洋服注文及既製品生地の間賣買を営み震災前頃には羅紗直輸入をもなしたりしが不幸にして病歿基氏若年にして家業を繼承せるものなり。

【所得税】 八六圓 【營業收益税】 八四圓

【家庭】 繼母みち女 明治十六年十月二十一日生。義兄甲三郎氏 明治三十四年九月一日生茨城縣漆町亡國井幸次郎氏五男にして大正十五年七月半助氏三女まさ女と婚養子縁組をなす。姉まさ女 明治四十一年一月三十一日生。姉富美女 明治四十四年八月二十六日生。弟等氏 大正三年十二月二十六日生。妹良子女 大正十一年九月二十六日生。甥保夫氏 昭和二年七月十二日生義兄甲三郎氏長男。甥和夫氏 昭和四年十一月二十八日生同上二男。

【主なる親戚】 森繁吉氏 繼母里方、長野縣高井郡豊郷村。國井通太郎氏 義兄甲三郎氏實兄茨城縣漆町。

の部

小林吟右衛門氏

明治六年二月十九日生

【營業又職名】 綿絹織物問屋株式会社丁吟商店社長

【營業所又勤務先】 東京市日本橋區堀留町二丁目三番地

【住 所】 滋賀縣愛知郡豊椋村字小田町四十二番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代吟右衛門氏の二男にして前名を森之助と稱す。明治十六年家督を相續して五代目吟右衛門を襲名し本業を営む。大正十年三月營業を株式会社となすに及び取締役社長となり兼ねて保全事業たる小林合名會社代表社員たり。前に東京銀行取締役其の他近江鐵道社長をなし現に滋賀縣多額納税たり營業は親戚なる取締役支配人小林源左衛門氏に擔當せしめ氏は郷里にありて時々上京するのみ常に旅行して商況を視察し夙に昭和三年には米國を視察して歸り續いて昭和四年歐洲を巡歴して普く世界の風物に接し大いに新知識を得て翌五年歸朝し人格圓滿にして濃厚活達の紳士たり。

【趣味】 謡曲、旅行 【宗教】 淨土宗

【家庭】 弟拾次郎氏 明治二十六年十月四日生丁吟商店専務取締役小林合名社員。妻いく女 明治十九年十一月三日生滋賀縣甲賀郡土山村字北土山一六三七土山太郎氏姉。弟妻ひさ女 明治三十三年三月八日生拾次郎氏妻滋賀縣神崎郡旭村字山本三六九小泉嘉兵衛氏長女。

【主なる親戚】 妹貞女 婚家瀧定助氏 名古屋市西區東萬町三ノ二各織物卸並綿布毛絲貿易業。小林源左衛門氏 欄參照

【主なる出身者】 薩摩治兵衛氏 日本橋區田所町三丸丁子。杉村甚兵衛氏 日本橋區新材木町一毛斯綸洋反物卸商。澤田政七氏 日本橋區新築物町一〇綿布卸商。

小林源左衛門氏

明治十七年七月十一日生

【營業又職名】 株式会社丁吟商店取締役兼支配人

【營業所又勤務先】 東京市日本橋區堀留町二丁目三番地

【住 所】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡豊椋村字小田町一八七戸島與平氏の三男にして前名金藏と稱す。明治四十四年十一月同村先代小林吟右衛門氏四女亡政女と入夫婚姻して戸主となり翌四十

(こ)

五年二月源左衛門と改名す。年少より丁吟商店に勤務し現時
同店取締役兼支配人として營業一切を擔當す資性堅實にして
情誼に富み衆望あり。

【趣味】 園芸 【宗教】 淨土宗 【所得税】 一一六圓

【家庭】 二男勝次郎氏 大正三年十二月二十四日生京都兩洋
中學在學。長女雪女 大正六年十一月六日生滋賀縣立愛知高
女在學。妻まつ女 明治十七年四月二十二日生。

【主なる親戚】 小林吟右衛門氏關參照。妻弟杉立忠三郎氏 滋
賀縣愛知郡八木莊村字矢守九八。

小林八百吉氏

明治十九年九月九日生

【營業又
は職名】 百貨店株式會社松坂屋常務取締役

【營業所又
は勤務先】 東京市下谷區上野廣小路一番地 電話代表(下谷1110)
東京市京橋區銀座六丁目十一番地 銀座MIDY(銀座2100)

【住
所】 府下巢鴨町巢鴨三丁目二十六番地 電話(大塚三二)

【本籍地】 三重縣志摩郡越村二百四十八番地

【略歴】 氏は本籍地小林庄藏氏の長男にして早稻田大學を卒
業後同店に入り累進して現時同店常務取締役として活動しつ
ゝあり。

【所得税】 一九九五圓

【家庭】 父戸主小林庄藏氏 安政四年四月十三日生。弟友三
郎氏 明治二十七年二月十八日生。弟富氏 明治三十二年三
月七日生。妻園子女 明治卅二年七月十日生。二男克彦氏 昭
和三年九月十三日生。三男邦彦氏 昭和五年七月十三日生

【主なる親戚】 姉婿山崎善八郎氏 三重縣志摩郡船越村二四
三。姉婿山際花之助氏 三重縣志摩郡船越村九一八。叔父山
際八百助氏 三重縣志摩郡船越村二七八。伯父山際寅之助氏
 三重縣志摩郡船越村。弟長男養父小林保次郎氏 三重縣志
摩郡船越村三五五。先妻兄川田常八氏 高知縣土佐郡旭村石
井一五〇九。

小林文次郎氏

明治九年三月二十三日生

【營業
又
は職名】 羅紗加工卸商近文商店主

【營業所】 東京市神田區岩本町六番地 電話 浪花(〇六)

【住
所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は栃木縣安蘇郡葛生町字葛生三一〇吉澤熊次郎氏
の二男にして前名を条吉と稱す。明治三十六年二月先代小林
文次郎氏の養子となり業務を擔當して精勵する所あり明治四

十年四月養父の隱居するに及びて文次郎を襲名し家督を相續
す熱心經營して今日に至り、既に相當の産を成して業礎を作
せり。

【趣味】 魚釣 【宗教】 眞宗

【所得税】 八〇五圓 【營業收益税】 二二四圓

【家庭】 繼母クラ女 安政六年六月九日生。長男敬吉氏 明
治三十八年八月十五日生大倉商業卒業。二男快造氏 大正二
年四月一日生錦城中學卒業。婦初子女 明治四十年十月十五
日生立教高女卒業。孫君子女 昭和三年九月二十五日生敬吉
氏長女。

【主なる親戚】 女婿水澤忠三郎氏 甲府市下連雀町四〇。弟
吉澤春吉氏 神田區岩本町六。義兄腰高孝三郎氏 栃木縣安
蘇郡植野村赤坂。二女文子養嫁先海老原かつ女 淺草區千束
町二ノ一七二。

【主なる出身者】 荒瀬政藏氏 神田區岩本町六羅紗加工卸商
腰高三四郎氏 神田區東龍閑町一六羅紗加工卸商。安齊善吉
氏 神田區柳町一羅紗既製品小賣商。森豐次郎氏 仙臺市名
掛町羅紗既製品小賣商。

(こ)

小林了一氏

明治十六年九月二十日生

【營業又
は職名】 毛織物既製品卸合資會社島村商店代表社員

【營業所又
は勤務先】 東京市神田區岩本町六番地 電話(浪花三〇七)

【住
所】 東京市神田區東龍閑町九番地

【本籍地】 東京市神田區岩本町六番地

【略歴】 氏は岐阜縣人小林與左衛門氏二男に生れ明治二十二
年十二月十一日岐阜縣稻葉郡厚見村項下七九番地亡小林與三
右衛門養子となり同時に家督相續をなす。十三歳の頃上京富
店に入り合資會社設立後は無限責任出資社員となりて今日に
至る。地方販賣部長として敏腕を振ひつゝあり。

【趣味】 旅行 【宗教】 眞宗 【所得税】 一〇一圓

【家庭】 妻フク女 明治三十年三月六日生。東京府人谷又五
郎氏長女。昭和四年五月三十一日婚姻入籍。養女富貴子女 大
正十一年七月一日生。東京府人島村一郎氏妹。昭和四年六
月二十一日入籍。

【主なる親戚】 實兄小林宇三郎氏 岐阜縣稻葉郡厚見村項下
七九。養父谷又五郎氏 芝區三田四丁目十三番地。島村一郎
氏 日本橋區江戸橋二丁目二番地。

〔こ〕

小林 確 郎氏

明治十三年一月十一日生

【營業】 毛織物卸商
【營業所】 東京市日本橋區通子日四番地 電話(日本橋)三五八四
【住所】 東京市京橋區新富町七丁目八番地 電話(京橋)三四一
【本籍地】 東京市日本橋區通二丁目四番地

【略歴】 氏は三重縣土族にして代々藤堂家の家老職の家柄に生る。父小林遙氏は維新後所謂士族の商法にて失敗を重ね氏の出生頃は全く赤貧洗ふが如くなりしかば氏は此の中に育ち具に辛酸を嘗め十三歳にして日本橋區通一丁目毛織物商中善商店に奉公し大正三年獨立開業す爾來熱心にして且つ實直なる性格は良く業界の信用を博し今日に至る。

【趣味】 歌舞伎芝居、繪 【宗教】 淨土宗

【所得税】 八九圓 【營業收益税】 八四圓

【家庭】 妻女きよう女 靜岡縣沼津市城内一三九窪田牧藏氏 二女明治二十一年二月二十四日生。長男茂男氏 大正六年二月一日生麻布中學二年在學。

【主なる親戚】 妻女兄窪田半三郎氏 東京市外角管毛織物既製品小賣。實兄岡本勤氏 市外駒澤町居住元三井銀行大阪支店次長。實弟小林鎮氏 市内大塚仲町雜貨新聞經營。妻女叔

父川口長藏氏 靜岡縣富士郡田子浦村酒造業。

【主なる出身者】 鯉江萬助氏 神田連雀町一七毛織物商。

小林 利 八郎氏

明治十九年九月二十六日生

【營業】 毛織物卸商
【營業所】 東京市神田區平永町二十一番地 電話(浪花)三八
【住所】 府下荏原郡入新井町新井宿九百九十四番地
【本籍地】 廣島縣沼津郡松永町音七十六番地

【略歴】 氏は廣島縣沼津郡松永町音七十六番地戸主先代亡小林利八郎氏長男にして幼名を得一氏と稱す。六歳の時父を喪ひ祖父兵助氏後見の下に明治二十六年前戸主を襲名し同時に家督相続をなす。同三十七年尾の道商業學校を卒業後直ちに大阪市東區高麗橋筋三丁目株式會社芝川商店に店員として入店同四十二年東京市日本橋區佐内町所在同店東京支店に轉じ格勤二十數年に及びたるが、大正十三年圓滿退店の上現所に獨立せり。性着實温厚なる紳士にして現在約十名の店員を督し熱心經營に従事す。

【趣味】 園藝 【宗教】 眞宗

【所得税】 三五圓 【營業收益税】 二二〇圓

轉籍し來れり資性温良親戚間には情誼厚き人と評さる。

【趣味】 旅行 【宗教】 門徒宗 【所得税】 一八一圓

【營業收益税】 一四〇圓

【家庭】 妻ヨシ女 明治二十年七月三十一日生は亡西脇健治氏二女。

【主なる親戚】 小林儀一氏(實弟)日本橋區馬喰町四ノ二〇。

西脇庄五郎氏(妻女の里)麴町區麴町六丁目一五。

【主なる出身者】 坂上高氏(既製洋服卸)麴町九丁目二番地。

【家庭】 妻女芳江女 明治二十四年五月三十一日生、彦根女學校卒業、趣味生花。二男康男氏 大正八年八月三日生、入新井町立第二小學校五年在學。長女利子女 大正十年十一月二十日生、同小學三年在學。三男良三氏 大正十二年十二月三十日生、同小學一年在學。二女瑩子女 大正十五年四月三日生。四男正弘氏 昭和二年十二月十日生。

【主なる親戚】 義父林八太郎氏 滋賀縣彦根町、妻女芳江女實家なり。

小林 甚 太郎氏

明治十五年二月二十七日生

【營業】 既製洋服類卸
【營業所】 東京市麴町區麴町七丁目十一番地 電話(九段)二〇六
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

〔こ〕

【略歴】 氏は新潟縣長岡市表町五ノ九亡小林甚太郎氏の長男なり。幼時上京麹町一丁目洋服拂下品卸商仁木商店に奉公したるが明治四十三年現所に開業漸進今日に至る。是より前明治二十七年七月二日先代歿後家督を相続し、同三十一日前名大太郎を改め甚太郎氏を襲名す昭和二年七月二十七日現所に

小林 寅 吉氏

明治六年七月二十九日生

【營業】 中形裏地卸
【營業所】 東京市日本橋區長谷川町二十三番地
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は千葉縣印旛郡佐倉町内彌勒町百番地平民小川源右衛門氏の四男夙に日本橋區富澤町二十七番地小林退助商店に奉公明治三十五年八月五日主家に見込まれて退助氏の二女誠の婚養子となる。明治四十一年十二月十日分家して戸田屋名義の下に中形裏地の卸商となれり。

【所得税】 一〇三圓 【營業收益税】 七〇圓
 【家庭】 妻誠女 明治十五年一月一日生。二女貴美子女 明治四十年六月十七日生は婿養子英一氏の妻。三女昌子女 明治四十二年十月十三日生。五女茂女 大正三年四月廿五日生 婿養子英一氏 京橋區松屋町一 小林孝次郎氏長男にして昭和四年十二月十二日入籍。孫秀子 昭和五年二月廿七日生。
 【主なる親戚】 小川源右衛門家(店主の生家)千葉縣佐倉町。

小林 鐵次郎氏 (通稱)

明治二十一年二月十三日生

【營業】 太物小賣商小林太物店主
 【營業所】 東京市日本橋區松島町二番地 電話(浪花五五)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 東京市日本橋區蠣殼町二丁目十五番地
 【略歴】 氏は愛知縣名古屋市八日屋町高井房次郎氏の二男として生る。親戚なる小林たき女の養子となり同市桔梗屋吳服店に奉公せしが明治四十四年上京して三越吳服店に勤務し大正二年八月退店して日本橋區蠣殼町二ノ一五に獨立開業せり而して業勢次第に伸展し現時四谷神田四ツ木平井目白の五箇所に支店を有す。氏は通稱を鐵次郎と言ひて營業に努めたる

が本年八月合資會社(一萬圓)に變更氏は表面に立たぬ事となれり。

【宗教】 佛教
 【家庭】 妻すま女 明治二十五年七月二十四日生愛知縣村瀬光三郎氏二女。長男善一郎氏 明治四十四年一月十二日生。二男孝次郎氏 大正二年五月二十四日生。長女よし女 大正四年八月六日生。三女清子女 大正八年八月一日生。養子てる女 明治三十年六月一日生名古屋市中區新柳町丸寛太郎氏長女府下本田村四ツ木一二五居住。
 【主なる親戚】 高井勘兵衛氏 名古屋市中區新柳町丸寛太郎店。角田榮藏氏 四谷區新宿三ノ一。

小林 三郎氏

明治三十一年三月十三日生

【營業又】 吳服太物小賣商近江屋吳服店主
 【職業名】 東京市淺草區茅町二丁目十五番地 電話(淺草四〇〇)
 【營業所又】 同 所
 【住所】 同 所
 【本籍地】 同 所
 【略歴】 氏は京都市上京區下鴨松ノ木町八〇内藤新一郎氏の三男として生る。大正六年叔父小林茂三郎氏の養子となり大

正十二年七月養父の歿するに及び長女千代女と婚姻して入夫し家督を相続して戸主となる氏は大正十二年早稻田大學商科の出しして商才あり現業を繼ぎて大過なきを持し今日に及べるものにて店員八名を使用し堅實に熱心經營し居れり。
 【趣味】 食道樂、運動 【宗教】 眞宗
 【所得税】 一二四圓 【營業收益税】 一一七圓
 【家庭】 妻千代女 明治三十五年七月六日生滋賀縣坂田郡長濱町字南吳服小林茂三郎氏長女。長女美智子女 大正十五年一月十日生。長男茂氏 昭和二年十一月二十一日生。

小林 平八氏

明治十三年十二月九日生

【營業又】 毛織物洋傘生地卸合名會社小林平八商店代表社員
 【職業名】 東京市日本橋區村松町十二番地 電話(浪花三三七)
 【營業所又】 同 所
 【住所】 同 所
 【本籍地】 同 所
 【略歴】 氏は新潟縣三島郡出雲崎町字羽黒町平民戸主小林民治氏の實弟にして明治四十四年七月八日分家戸主となる當初は郷里にありて荒物雜貨小賣業を営みつゝありしが明治三十八年頃上京し、日本橋區通旅籠町洋傘商並木昇三氏方に入店

勤続約七年の後明治四十五年二月無事退店して本所松坂町に獨立す。かくて刻苦精勵多少の蓄財を得たるより、同三年頃日本橋區村松町五番地に出で翌年現所に移轉したり。大正十二年震災の打撃甚大にして之が解決の必要上、同十三年資本金一萬圓を以て合資組織となしたるが、震災負債の仕拂方法も解決せるため昭和四年九月三十日會社を解散、爾來個人經營に還元したるが翌五年十二月資本金三萬圓の合名會社を設立して其代表社員たり性質着にして相當手腕家なり。

【宗教】 日蓮宗 【所得税】 二六〇圓
 【營業收益税】 一三一圓
 【家庭】 妻女ヒロ女 明治二十四年八月二十二日生、新潟縣南蒲原郡三條町大字三條字二の町一一五番地前戸主太田善吉氏長女、大正三年三月三十日婚姻す。養子文平氏 大正六年七月二十日生、新潟縣北魚沼郡堀内村大字堀の内三一八番地戸主渡邊猶七氏孫大正十二年六月一日養子縁組、府立第三中學一年在學。

【主なる親戚】 實兄小林民治氏 東京府豊多摩郡戸塚町大字源兵衛六二番地。義弟渡邊丑太郎氏 新潟縣北魚沼郡堀内村大字堀の内三一八番地、鮮魚商。當主小林平八氏實妹タツ女嫁先、義弟太田英作氏 新潟縣南蒲原郡三條町大字三條字二

〔こ〕の町一五番地、開業以來當主を補佐し當店支配人なり。
【主なる出身者】子供服既製品卸山崎正一郎氏神田區淡路町、當店に約十三年間勤続昭和四年十月頃退店獨立す。

正三年三月一日生。三女ヨシ女大正五年二月十七日生。二男基良氏大正九年二月二十日生。三男常良氏大正十年七月十五日生。四男富良氏大正十三年十二月十日生。

小林平助氏

明治十五年九月四日生

【營業又職名】 吳服太物小賣商常陸屋吳服店主
【營業所又勤務先】 東京市麻布區籠筈町三十二番地 電話(赤坂三三九)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】氏は福島縣西白河郡西白河町字天神町一〇野崎可長の三男として生れ年少より神田區岩井町玉屋吳服店に永年奉公したるが二十五歳の時日本橋區濱町二丁目吳服太物小賣商小林定七氏の養妹の婿養子となり若干の資産を分與せられて明治四十一年麻布區籠筈町六三に獨立開業し漸進して後現所に移轉し支障なく今日に至る。

【趣味】 園藝 【宗教】 眞宗

【家庭】妻多賀女明治二十二年九月一日生日本橋區濱町二丁目島村喜八三女。長男定吉氏明治四十二年二月八日生。長女千代子女明治四十四年六月十二日生。二女ケイ女大

二年四月十六日生。

小林明司氏

明治三十三年十一月二十五日生

【營業】 加工綿布卸商
【營業所】 東京市日本橋區富澤町二十八番地 電話(浪花三三〇)
【住所】 同 所
【本籍地】 群馬縣邑樂郡中野村大字鶴二百七十六番地

【略歴】氏は小林百次郎氏の六男として生れ二十一歳の時日本橋區橋町二丁目綿布問屋川又商店(現存せず)に入りて斯業を見習ひ大正十三年二十五歳にして同區村松町に獨立開業す熱心經營の結果業容順調を辿りて次第に伸展の實を示し昭和三年同區高砂町に移轉せしが昭和五年十月更に現所に進出す性温厚にして着實且つ商才に富む。

【趣味】 將棋 【宗教】 神道

【家庭】妻ヨミ女明治三十七年三月十四日生小野里榮吉氏長女。長女登美子女昭和三年三月一日生。長男久夫氏昭和五年十一月八日生。

【主なる親戚】 兄小林春藏氏本籍地戸主。妻兄小野里榮次郎氏府下小松川町中平井(小野里染工場主)。姉婿八幡清十郎氏芝區田村町白米商。

小林士郎氏

明治二十五年一月二十八日生

【營業】 中形及手拭加工卸商
【營業所】 東京市日本橋區村松町三十三番地 電話(浪花三五六)
【住所】 同 所
【本籍地】 東京市日本橋區久松町十四番地

【略歴】氏は新潟市西大畑町故小林勇作氏の五男に生る父勇作氏は舊新發田藩祐筆なりと聞く十六歳の時上京し日本橋區久松町株式會社下忠商店東京店に入り約二十三年勤続同店支配人の地位にありしが昭和四年十二月獨立本業を開始したるものなり營業は中形加工卸業にして關西問屋を得意として賣込みつありて開業尙ほ日淺きも人物は温厚にして一般の氣受良好なり。

【宗教】 淨土宗

【家庭】妻シツ女明治三十二年十月三十一日生栃木縣足利市通三丁目絹紡絲商新井千代吉氏長女。長女耕女大正十

小林百松氏

明治三十年二月二十日生

【營業又職名】 株式會社藤武良商店毛斯綸卸店營業主任
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區村松町四番地 電話(浪花三三〇)
【住所】 府下北豐島郡瀧ノ川町八百六十五番地
【本籍地】 北海道空知郡砂川町字砂川

【略歴】氏は新潟縣人にして當時北海道空知郡砂川町字砂川に居住しありたる小林八百松氏の長男として生る。明治四十四年即ち氏が十六歳の時札幌今井吳服店に入店し精勤怠らず大正九年同店卸部を獨立して株式會社藤武良商店の創立さるゝや同社に轉じ大正十五年四月東京に轉勤し現に營業部主任たり。

【宗教】 淨土眞宗

【家庭】妻幸女明治四十一年十二月生北海道西紋龜村新木卯七氏長女。長男清一氏大正十四年七月六日生。二男正男氏昭和五年三月三十日生。姉キク女北海道砂川町百八十三番地小川小平氏に嫁す。

【主なる親戚】 内山權次郎氏同郡比角村(祖母の生家。芦川平吉氏(中濱村)母の生家。新木卯七氏(西紋龜)妻の里。

小林恒太郎氏

明治二十三年七月二日生

【職業名】 加工綿布卸合名会社小林恒商店代表社員

【は勤務先】 東京市日本橋區新乗物町四番地 電話(浪花聖毛)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京都市烏丸通佛光寺小林恒七氏長男として生る年少より同市高倉通六角藤瀬兵三郎商店に奉公し恪勤多年常に精勵の聞えありしが大正十一年四月圓滿退店して獨立本業を開始し大阪名古屋北陸方面を販路として大いに業容を張りたるも感ずる所あり進出を志して大正十二年三月上旬し日本橋區濱町河岸に店舗を構へ着々地盤を開拓して店勢の仲展に努む。而して震災後一時堀留三丁目に居りしが昭和二年現所に移轉せり。斯くて市内仲間の外東北信越方面に販賣し來りしが昭和六年四月資本金一萬圓の合名会社に組織を變更し經營を續け居れり。

【宗教】 淨土宗

【家庭】 母トミ女 安政三年七月二十二日生。妻サト女 明治二十八年十月十五日生滋賀縣人伊東才次郎氏長女。長女資

奈子女 大正八年三月二十三日生。二女照枝女 大正十四年六月六日生。

【主なる親戚】 伊東才次郎氏 滋賀縣高島郡朽木村字宮坊前九八五。田中秀藏氏 京都市堺町松原。

小菅丹治氏

明治十五年四月二十七日生

【職業名】 百貨店株式会社伊勢丹社長

【は勤務先】 東京市神田區旅籠町二丁目三、六番地電話(下谷 二六二)

【住所】 東京市本郷區元町一丁目六番地 電話(小石川 三三七)

【本籍地】 東京市神田區旅籠町二丁目四番地

【略歴】 氏は神奈川縣足柄上郡川村高橋菅右衛門氏の三男にして年少時代小田原町油屋吳服店に入り恪勤する事多年明治四十一年先代丹治氏に望まれて養子となり其の長女を配せらる。爾來伊勢丹吳服店に在りて先代を補佐し益々業容の進展に務めたるものにして大正五年三月先代病歿に依り、相續襲名今日に至る。同店は夙に帝都に於ける五大デパートたる三越、白木屋、松屋、松坂屋、高島屋に追隨する業容を示すものにて昭和五年九月資本金五十萬圓全拂の株式組織に改め之が代表取締役となれり、此の外小菅家奥向資産保全事業たる小

菅合名の代表社員として一切を主宰し居るものにて目下二百萬圓に増資し新宿進出に内定せり。

【趣味】 讀書、謠曲、書畫 【宗教】 日蓮宗

【所得稅】 二六〇圓

【家庭】 養母めた女 元治元年十二月十一日生。妻とき女 明治十九年十月二十五日生。長男利雄氏 大正七年十二月十五日生高等師範附屬中學校一年在學。養女喜子女 大正四年三月二十五日生神田高等女學校五年在學。二男振作氏 大正十二年十二月五日生慶應附屬小學校一年在學。

【主なる親戚】 本家小菅擴治氏 東京市本郷區湯島一丁目ラボカ本舗主。養母實家金井德衛門氏 東京市神田區佐久間町材木商。分家小菅千代市氏 東京市牛込區市ヶ谷田町伊勢丹專務取締役。分家小菅正三氏 東京本郷區丸山新町伊勢丹取締役。分家小菅正一氏 東京市下谷區茅町伊勢丹店員。從弟細田昌靖氏 東京市本郷區駒込千駄木町四八美松百貨店取締役。生家高橋熊太郎氏 神奈川縣足柄上郡川村農業。

【主なる出身者】 大熊柳三氏 東京市神田區元柳原町、吳服卸商。

小菅千代市氏

明治二十三年十一月二十日生

【職業名】 百貨店株式会社伊勢丹專務取締役

【は勤務先】 東京市神田區旅籠町二丁目三、六番地電話(下谷 二六二)

【住所】 東京市牛込區市ヶ谷田町三丁目十四番地電話(牛込 六八五)

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は神奈川縣津久井郡青野原村八木四郎右衛門氏の二男にして日本橋區小舟町織物問屋株式会社久保田商店出身なり。大正二年先代小菅丹治氏に望まれて其の二女の婿養子となり爾來伊勢丹吳服店に在りて義兄丹治氏と共に營業の進展に努力しつゝあるものにして濃厚且つ商手隨に富み商勢と歴史を誇る同店を支配し絶大の信用を博し居れり。

【趣味】 大弓、玉突、謠曲、書畫 【宗教】 日蓮宗

【所得稅】 一五一圓

【家庭】 妻愛子女 明治二十五年一月二十五日生。長男冠一氏 大正四年九月二十四日生高千穂中學校四年在學。長女隆子女 大正六年九月二十五日生澁谷女學校二年在學。二女龜代女 大正十一年四月五日生御茶の水高女附屬小學校三年在學。三女銀子女 大正十四年五月八日生。

【主なる親戚】 小菅丹治氏欄参照。生家八木四郎次氏（神奈川縣津久井郡青野原村農業。）

小堀治三郎氏

明治八年八月三日生

【職業又】 各種織物問屋株式會社市田商店取締役
【營業所又】 東京市日本橋區田所町二十番地 東京店電話（代表浪花）
【住 所】 府下荏原郡東調布町大字下沼部七六番地 電話（田園調布）
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は前戸主小堀治兵衛氏二男にして、大正九年三月四日家督を相続す、夙に當店に入り主家の爲めに只管努力する處あり、後年東京店營業部長として震災直後の活躍特に目覺しく現今同店取締役たり、業界知名の卓見家として知られ同東京店今日の業礎は氏の力に俟ちし事大なり。

【所得税】 二〇三圓

【家庭】 妻あい女（明治十一年十月十二日生、東京市麴町區麹町五丁目五番地亡柳川平助氏姉、明治三十二年三月七日婚姻入籍。二男修次氏（明治三十八年八月十七日生。三男榮三氏（明治四十一年八月十九日生。二女登代女（大正二年三月

若干の曲折ありたるも兎に角昇天的勢を以つて進展し米山商店の存在を明にすると共に昭和五年資本金十萬圓全拂の株式組織に改め之が専務取締役となり事實上の擔當者として今日に至る氏は温厚なる紳士にして對者に極めて好印象を與へ以つて其の將來を各方面より期待せられ居れり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗

【家庭】 父與三郎氏（慶應元年正月二日生。妻實女（明治二十八年十一月一日生、長男秀男氏（大正五年七月十日生。二女外志子女（大正十四年一月四日生。三女晴代女（昭和二年七月二十日生。姉ソト女（明治二十三年一月二十四日生。義兄和吉氏（明治十八年一月二十三日生。弟松藏氏（明治四十二年五月十九日生。妹芳枝女（大正三年六月一日生。甥正明氏（大正元年十月五日生。甥俊明氏（大正七年八月十日生。甥博氏（大正十年二月十三日生。

【主なる親戚】 妻女實家米山幾太郎氏（石川縣金澤市安江町一〇一番地の三羅紗卸商。義兄實家高村九郎三郎氏（石川縣河北郡小坂村高柳農業。姪初榮女縁先加野治吉氏（下谷區御徒町株式會社米山商店監査役。

十日生。五男正吉氏（大正四年十一月二十二日生。三女富美子女（大正八年四月二十一日生。姉敏子女（明治四十二年四月二十七日生、愛媛縣人河合貞久氏長女昭和六年二月十二日二男修次氏と婚姻入籍。

【主なる親戚】 市田治一郎氏（長男にして市田家入夫）（京都府市柳馬場三條上る。河合貞久氏（二男修次氏妻女里方愛媛縣松山市大字千船町五八。其の他市田彌三郎氏欄参照。

小堀孝太郎氏（通稱）

明治二十九年一月六日生

【職業又】 羅紗卸商株式會社米山商店専務取締役
【營業所又】 東京市神田區花房町三番地 電話（下谷）
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は横濱市磯子町字濱一六八六小堀與三郎氏の長男として生れ幼時より家業たりし生糸及び絹製品貿易業を見習ひ傍ら横濱商業學校に學びたり、されども震災と共に再び立つ能はざる打撃を受けしものなれば氏は已む無く妻女の實家たる金澤市米山幾太郎氏の許に行き同市より商品の供給を受け上京米山商店東京支店の名義を以つて斯業を創始せり爾來

小松 視 次 氏

明治九年十月二十五日生

【職業又】 百貨店株式會社松屋吳服店營業次長兼吳服仕入課長
【營業所又】 東京市京橋區銀座三丁目一番地 電話（代表京橋三二）
【住 所】 東京市麴町區上二番町三番地
【本籍地】 山梨縣北巨摩郡神山村武田六百二十五番地

【略歴】 氏は本籍地に於て亡小松喜平氏の長男として生れ明治三十六年十一月家督を相続せり。年少時代より松屋に入りて恪勤する事多年漸次累進現時營業次長兼吳服仕入課長たり氏は温厚にして手腕あり對者感極めて良好なれば各方面より信用を博し居り曩きに海外の百貨店を視察せり、近く同店淺草支店の開設と共に同支店長として就任すべきやに傳えらる

【所得税】 一七〇圓

【家庭】 母かね女（嘉永五年一月十一日生。妻龜代女（明治二十年三月十三日生。長男一太郎氏（明治四十二年一月十八日生。二女サク女（大正二年九月九日生。三女禮子女（大正四年九月十二日生。

【主なる親戚】 母實家亡上野八左衛門氏（山梨縣北巨摩郡駒井村。妻實家中込龜造氏（山梨縣中巨摩郡飯野村二六九九。

【主なる出身者】

姉縁先堀田新太郎氏 山梨縣甲府市。妹縁先井上治作氏 山梨縣北巨摩郡中田村二五。

【主なる親戚】 義姉多崎かね女 明治五年八月二十二日生、當店出資社員、京橋區中橋廣小路町九番地。

小松由太郎氏

明治十六年一月三日生

【營業又】 絲類組紐服飾雜貨卸小賣合名會社越前屋多崎商店代表

【營業又】 毛織物既製品卸商合資會社島田商店代表社員

【職務先】 東京市京橋區中橋廣小路町九番地 電話(京橋三三七)

【職務先】 東京市淺草區壽町二十八番地 電話(淺草三六六)

【本籍地】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は日本橋區吳服町二十九番地高谷重右衛門氏二男、明治三十七年十二月二十日小松婦美女と結婚同四十一年一月九日多崎かね女の養子となる然して昭和四年四月一日協議離縁となり同町同番地に分家す。東京府多額納稅議員にして温厚篤實なる紳士、現時當店代表社員たる外東京織物商組合長、東京卸商組合長東京市社會局囑託等の名譽職に就任中なり。

【宗教】 眞宗 【所得稅】 一、八〇三圓

【略歴】 氏は小松福松氏の弟なり。長野縣南安曇郡倭村の出身にして年少の頃上京して淺草區壽町毛織物既製品卸商島田又右衛門商店に入り格勤十年間商道の辛酸を嘗め從來の商才を店主に認められ同店合資會社組織するや代表社員に選ばれ縦横の手腕を振ひ自ら陣頭に立つて店員を鞭達督勵し業務の擴張には寢食を忘れ其熱誠努力は遂に今日の盛大を極むるに至れり。商才に富み新進氣鋭の人物として斯界に於ける成功者と目され居れり。

【營業收益稅】 五三三圓

【趣味】 野球 【宗教】 曹洞宗

女 昭和五年一月十八日生。

【主なる親戚】 寺島幸次郎氏 帽子商、淺草區茶屋町。

【主なる出身者】 大竹定治氏 洋服既製品商、新潟縣三條町。

柴崎五郎氏 同、東京府下西巢鴨町池袋。小山新氏 同、淺草區千束町。白井茂門氏 同、長野縣豊科町。

小島彌三郎氏

(通稱 淳佑)

明治十六年四月五日生

【營業又】 各種織物問屋株式會社市田商店東京店營業部長

【家庭】 妻かつ女 明治二十三年三月二十四日生、同縣人竹村末治郎氏長女、大正八年二月七日婚姻入籍。長男一郎氏 明治四十四年三月二日生。二男利治氏 大正三年三月二日生。三男和雄氏 大正八年十二月二十四日生。六男輝彦氏 大正十四年五月二十日生。

【本籍地】 滋賀縣愛知郡西押立村大字南菩提寺六百九十四番地

【主なる親戚】 小島利平氏 同縣同郡西押立村大字南菩提寺七四一、本家にして且つ二女をみ女(大正七年三月十九日生) 養家、竹村吉平氏 滋賀縣犬上郡青波村大字後三條妻女里方。西澤徳三郎氏 同縣愛知郡秦川村大字斧磨三三四三、長女せつ女(大正五年十月九日生) 養家。

【略歴】 氏は滋賀縣人小島利平氏三男にして、明治三十七年三月五日分家戸主となる夙に當店に入り多年主家の爲めに盡す處あり、前營業部長小堀治三郎氏の後を享けて、往年東京店營業部長に就任爾來環境不良の折柄同東京店をして依然業界第一位の標準店たらしめつゝあるは氏の努力に俟つところ頗る大なり、資性温厚にして識見に富み主家上下の信望頗る厚し。

小島一郎氏

明治二十三年十月八日生

【營業又】 足袋卸商

【營業所】 東京市神田區岩本町十九番地 電話(浪花四六)

【本籍地】 府下荏原郡大崎町袖ヶ崎二千五百五十一番地

【本籍地】 府下豊多摩郡戸塚町下戸塚三百二十三番地

【略歴】 氏は忍藩の藩士を祖に持ち埼玉縣鴻ノ巣町に於て小島記十郎氏の長男として生る。十五歳の折叔父小島完吉氏の下に入り當時埼玉縣羽生町附近にて産出する青縞の買繼業に

【所得稅】 二七一圓

【略歴】 氏は忍藩の藩士を祖に持ち埼玉縣鴻ノ巣町に於て小島記十郎氏の長男として生る。十五歳の折叔父小島完吉氏の下に入り當時埼玉縣羽生町附近にて産出する青縞の買繼業に

【こ】

従事せり。爾來完吉氏を授け粉骨専心奮闘続け良く進出したるものにして現在埼玉縣多額納税者として世界一及勤王足袋の商標の下に全國に得意先を有し居る羽生町小島完吉商店の反面に氏の努力を見逃す得ざるものなり。而して大正二年東京に卸販賣店を設置するに當り氏は獨立して之を引受け年次向上發展を見つゝ今日に至れり。

【宗教】 淨土宗

【家庭】 實父記十郎氏 六十六歳。實母マヌ女六十歳兩氏共本籍地に於て隱居、妻好女 明治三十年十一月十八日生。長女あさ女 大正七年八月二十二日生千櫻小學校六年在學。

【主なる親戚】 叔父小島完吉氏 埼玉縣羽生町足袋製造業埼玉縣多額納税者。妻女實家儘田勝太郎氏 埼玉縣羽生町糸商埼玉縣多額納税者。從兄小島幸平氏 東京市下谷區墨門町足袋小賣商。從兄川島峯作氏 大阪府下寶塚元宇都宮商業學校教授。甥小島英一氏 商科大學卒業後鐘紡兵庫工場在勤。妻女甥儘田東一郎氏 商科大學卒業後東洋紡大阪工場在勤。

小泉覺次郎氏

明治十五年二月五日生

【營業又】 木綿金巾綿ネル卸合名會社大津商店代表社員

【營業所又】 東京市日本橋區新村木町十四番地 電話(浪花三七)

【職務先】 東京市日本橋區新村木町十四番地 電話(浪花三七)

【住所】 同 所

【本籍地】 東京市神田區南神保町十二番地

【略歴】 氏は亡小泉源次郎氏の二男にして明治二十二年三月家督相續す。夙に日本橋區通油町小泉久次郎商店に入りたるが明治四十年頃同僚須賀井駒太、村田和市の兩氏と共に退店同區久松町に共同經營にて本業を開始し大正六年合名會社を組織して其の代表社員となり以て今日に及ぶ。

【家庭】 妻美津女 明治二十六年七月五日生。長女幸子女 大正五年三月十五日生。長男市藏氏 大正七年八月七日生。三男良三氏 大正十年四月八日生。二女弘子女 大正十三年八月二十四日生。四男完治郎氏 昭和二年十二月五日生。

【主なる出身者】 田中源四郎氏 妻里方滋賀縣愛知郡愛知川町。

小泉佐吉氏

明治九年五月十六日生

【營業】 毛斯綸洋反物卸商

【營業所】 東京市日本橋區葺屋町四番地 電話(浪花三六)

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣神崎郡旭村大字山本五十七番地

【略歴】 氏は小泉宗七氏の三男として生る二十歳の頃より日本橋區橋町三ノ三市田彌惣右衛門商店に奉公し勤続約十五年に及ぶ其の間精勵にしてその手腕を認められ同店支配人の位置に至れり明治四十五年退店して獨立本業を開始し奮闘努力の結果相當の資力を有するに至る。

【趣味】 談論 【宗教】 天台宗

【家庭】 妻多美女 明治二十七年三月八日生滋賀縣人外村甚吉氏四女。長男總一郎氏 大正十一年二月六日生。二男佐太郎氏 大正十四年三月五日生。二女左代女 昭和二年八月九日生。

【主なる親戚】 外村甚之介氏 滋賀縣神崎郡南五個莊村川並六三四。加藤重太郎氏 市外代々木上原驪吳服商。

小瀬竹松氏

明治十九年五月十五日生

【營業又】 百貨店株式會社高島屋東京支店支配人

【職務先】 東京市京橋區京橋一丁目五番地 電話(京橋二二・七三六・七六〇)

【住所】 東京市京橋區鈴木町十一番地 電話(京橋一四)

【本籍地】 奈良市東南町二十五番地

【略歴】 氏は亡小林甚之助氏の長男にして同店呉服部の出身なり。京都本店より大阪支店に轉じ震災後歐米の視察をなし歸朝後東京支店支配人として現在に及ぶ。同店百選會にはその創設の當初より干與し同會をして今日の聲名を保たしむるに至りたるは氏の努力大なりと評せらる。

【所得税】 八五圓

【家庭】 妻ます女 明治二十七年十二月五日生京都市下京區麩屋町通り松原上ル鍵屋町嘉幸鶴次郎氏長女。

【主なる親戚】 前記嘉幸鶴次郎氏。

小室榮三郎氏

明治二十一年三月一日生

【營業】 關東織物卸商

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町八番地 電話(浪花三九)

十四年十二月十一日生。四男昭雄氏。昭和三年六月十七日生

四女和江女。昭和五年二月十一日生。

【主なる親戚】 兄綿貫定吉氏。埼玉縣川越市多賀町織物卸商

【略歴】 氏は埼玉縣川越市多賀町織物卸商綿貫定吉氏の三男として生れ當主定吉氏の實弟なり、年少より八王子市同業土屋留次郎商店に奉公し恪勤廿年に及ぶ大正三年迎へられて同市小室福太郎氏の婿養子となり大正九年九月無事圓滿退居して小室家より分家し獨立して仕入部を川越の生家に販賣出張所を横濱に置き同市を中心として鎌倉横須賀より小田原方面を販路とし相當の成績を収めたるが大正十二年の震災によりて翌年三月川越に引揚げ後日本橋區村松町卅一に現業を開始し昭和六年二月現所に移轉せり、現時店員八名を使用して仕入を實弟常吉氏に帳場を菱山武夫氏に各擔當せしめ氏は八王子自宅より通勤して熱心營業を監督し居り。性着實温健にして經營は専ら地味堅實を旨とし着々無難に推移せり。

小杉幸次郎氏

明治十年四月二十五日生

【營業所】 尾、三、遠近在織物卸商

【營業所】 東京市日本橋區富澤町五番地 電話(浪花三二)

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區富澤町十一番地

【略歴】 氏は小杉源四郎氏の二男として生れ後叔父伊兵衛の養子となり明治三十五年養父の歿後家督を相続すると共に營業を繼承して漸次進出し無難に今日に至る、業務は主として長男小一郎氏之を擔當し氏は當時公事に奔走して談論を事とす現に家屋稅調査委員たり。

【趣味】 談論 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 一五圓

【營業收益稅】 三三圓

【家庭】 養母りう女。安政三年六月十五日生。妻きく女。明治十七年十月八日生。長男小一郎氏。明治三十四年五月二十一日生慶大卒。長女いと女。明治三十五年十二月十七日生日

【趣味】 旅行 【宗教】 眞言宗

【家庭】 妻ヨシ女。明治廿五年一月六日生八王子市南町菱山作兵衛氏長女。二男善次郎氏。大正五年九月十一日生八王子勤勞中學校在學。二女サカエ女。大正十年一月一日生。三男正三郎氏。大正十二年四月二十三日生。三女キミエ女。大正

に從ひ來たりて營業に従事せしが大正十二年四月店主伯父の死歿によりて其の後を繼ぎ獨立經營となし今日の業容を見るに至れり、氏は温厚にして着實營業には頗る熱心にして活動家なり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗 【所得稅】 九〇圓

【營業收益稅】 五〇圓

【家庭】 母きぬ女。明治六年十二月七日生滋賀縣大津市字境川中西作兵衛氏長女。妻ふさ女。明治三十六年六月十一日生滋賀縣大津市境川森田藤助氏六女。長男俊一氏。大正十五年三月二十三日生。長女豊子女。昭和三年八月十七日生。

【主なる親戚】 叔父中西誠治郎氏。京都市西陣今小路七木松西陣帶地卸商。

小槇秀太郎氏

明治二十二年十一月四日生

【營業所】 帶地卸小賣商森田屋帶店主

【營業所】 東京市日本橋區住吉町二十二番地 電話(浪花三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 京都市中京區新町通姉小路下ル町頭町九十番地

【略歴】 氏は本籍地に於て生る小槇幸治郎氏の長男なり十四歳の時より伯父に當る帶地商森田彦次郎商店に入りて業務を見習ひ大正六年同店が日本橋區蠟燭町三ノ六に店舗設置する

小谷卯一郎氏

明治二十二年十月七日生

【營業所】 吳服太物小賣山城屋店主

【營業所】 東京市西谷區傳馬町三丁目二十四番地電話(四谷三三四)

【住 所】 同 所

【本籍地】 埼玉縣北埼玉郡加須町大字加須九百八十七番地

【略歴】 氏は埼玉縣加須町神澤直三郎氏の長男にして亡小谷